MEISEI UNIVERSITY

2015年度
学生募集要項

通信教育部
教育学部　教育学科

取得できる教員免許状・資格

- ≫大学卒業資格［学士（教育学）の学位］
- ≫幼稚園教諭１種・2種免許状[※5]
- ≫小学校教諭１種・2種免許状
- ≫中学校教諭１種・2種免許状
（国語・社会・数学・理科[※1]・音楽[※2]・美術[※3]・英語）
- ≫高等学校教諭１種免許状
（国語・地理歴史・公民・数学・理科[※1]・音楽[※2]・美術[※3]・英語）
- ≫特別支援学校教諭１種・2種免許状
（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- ≫保育士資格[※4 ※5]
- ≫社会教育主事任用資格
- ≫図書館司書資格
- ≫学校図書館司書教諭資格

※１ 理科の実験科目の単位修得を必要とする場合、４月生のみの募集となり、入学選考試験があります。
※２ 音楽は正科生１年次入学の４月生のみの募集となります。
※３ 美術は４月生のみの募集となります。
※４ 保育士資格は正科生１年次入学（4月生のみ）と科目等履修生（4月生・10月生）の募集となります。
※５ 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

CONTENTS

改正認定こども園法の特例により、幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

◎募集にあたって

理科の実験科目の単位修得希望者必読！

最終学歴などスタート時の個々の状況に応じて入学コースが異なります。

大学卒業、免許状・資格取得を目指すコース

◎入学コース（正科生）

大学卒業者が免許状・資格取得を目指すコース

◎入学コース（正科・課程履修生）

取得したい科目を単独で履修できるコース

◎入学コース（科目等履修生）

免許法認定通信教育の科目を履修するためのコース

◎入学コース（認定通信生）

高校を卒業していない方が大学入学資格を得るコース

◎入学コース（特修生）

◎教員免許状・資格取得について

◎出願について

◎その他

アイコンについて

教員免許状取得希望者(正科生／正科・課程履修生／科目等履修生／認定通信生)は、必読であることを示します。

教科専門(理科)コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は、必読であることを示します。

最終学歴から、入学コースや教員免許状・資格取得までの所要年数がすぐわかる！次ページの
最終学歴別入学コース表
も一緒にCHECK!

最終学歴別入学コース表

最終学歴	入学コースおよび免許状・資格取得までの所要年数※1
■ 中学校卒業、高等学校中退（18歳以上）	特修生　資格取得までの所要年数：1年 ▶092ページ参照
■ 高等学校卒業 ■ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）合格	正科生1年次入学 ▶018ページ～参照 卒業までの所要年数：4年 免許状・資格取得までの所要年数：4年
■ 大学、短期大学中退 （1年以上在学30単位以上修得）	正科生2年次編入学 ▶021ページ～参照 卒業までの所要年数：3年 免許状・資格取得までの所要年数：3年
■ 大学中退 （2年以上在学62単位以上修得） ■ 専修学校専門課程（専門学校）修了 （編入学資格を有する方） ▶115ページ参照 ■ 短期大学卒業	正科生3年次編入学 ▶024ページ～参照 卒業までの所要年数：2年 ※ 教科専門コースおよび特別支援教員コースの学生が、卒業と同時に小学校教諭1種免許状を取得する場合は、卒業までにもう1年（計3年）かかります。 免許状取得までの所要年数：2年※11 資格取得までの所要年数：2年※11
■ 大学卒業※9	正科・課程履修生 ▶042～057ページ参照 ◎小学校教員コース 免許状取得までの所要年数：2年※11 ◎教科専門コース 免許状取得までの所要年数：2年※11 ◎特別支援教員コース 免許状取得までの所要年数：1～2年※12 ◎教育学コース 資格取得までの所要年数：1年 ※ 社会教育主事任用資格と図書館司書資格の両資格を取得する場合は、もう1年（計2年）かかります。
■教員としての勤務経験を活かして免許状・資格を取得する場合 他校種免許状取得 所持免許状の上進 他教科免許状取得 ■一部の不足科目を履修し免許状・資格を取得する場合	科目等履修生　認定通信生 免許状・資格取得までの所要年数については諸条件により異なります。 ▶科目等履修生は060～086ページ参照 ▶認定通信生は088・089ページ参照

※1　所要年数は最短の年数です。
※2　理科の実験科目の単位修得を必要とする場合、4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。▶008・009ページ参照 ただし、正科生3年次編入学、正科・課程履修生、科目等履修生出願希望者で4つの実験科目を既に修得している場合は、入学選考試験が不要となりますので10月生も募集しています。
※3　音楽は正科生1年次入学の4月生のみの募集となります。
※4　美術は4月生のみの募集となります。
※5　保育士資格は正科生1年次入学（4月生のみ）と科目等履修生（4月生・10月生）の募集となります。
※6　改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。
※7　特別支援学校教諭免許状を取得するには基礎となる普通免許状（幼・小・中・高いずれかの教員免許状以下「基礎免許状」という。）の取得条件を満たしている必要があります。基礎免許状を所持しない場合は、以下に案内するコースで普通免許状を取得することが可能です。
→　小学校教諭免許状を基礎免許状とすることを希望する場合は、特別支援教員コースにて、特別支援学校教諭免許状と小学校教諭免許状の両方が取得可能です。

取得できる免許状・資格 → 受講コース

大学入学資格（正科生1年次入学資格） → 大学入学資格取得コース

大学卒業資格

- 幼稚園教諭1種・2種※6
- 小学校教諭1種・2種

→ 小学校教員コース

- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（国語）
- 中学校教諭1種・2種（社会）・高等学校教諭1種（地理歴史・公民）
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（数学）
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（理科）※2
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（音楽）※3
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（美術）※4
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（英語）

→ 教科専門コース

- 特別支援学校教諭1種・2種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）※7

→ 特別支援教員コース※8

- 幼稚園教諭1種・2種、保育士資格※5※6

→ 子ども臨床コース

- 社会教育主事任用資格
- 図書館司書資格
- 大学卒業資格

→ 教育学コース

希望により取得可能です
＋小学校教諭1種・2種
＋学校図書館司書教諭 ※幼を除く

- 幼稚園教諭1種・2種※6
- 小学校教諭1種・2種

→ 小学校教員コース

- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（国語）
- 中学校教諭1種・2種（社会）・高等学校教諭1種（地理歴史・公民）
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（数学）
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（理科）※2
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（美術）※4
- 中学校教諭1種・2種・高等学校教諭1種（英語）

→ 教科専門コース

- 特別支援学校教諭1種・2種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）※7
- 小学校教諭1種・2種

→ 特別支援教員コース※8

- 社会教育主事任用資格 ※10
- 図書館司書資格 ※10

→ 教育学コース

希望により取得可能です
＋学校図書館司書教諭 ※幼を除く

- 幼稚園教諭1種・2種※6
- 小学校教諭1種・2種
- 中学校教諭1種・2種（国語・社会・数学・理科・美術・英語）※2 ※4 ※13
- 高等学校教諭1種（国語・地理歴史・公民・数学・理科・美術・英語）※2 ※4 ※13
- 特別支援学校教諭1種・2種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）※13
- 保育士資格※5※6
- 社会教育主事任用資格
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格

→ 幼稚園教諭免許状を基礎免許状とすることを希望する場合は、小学校教員コースに入学してください。
→ 中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状とすることを希望する場合は、教科専門コースに入学してください。
｝基礎免許状を取得した後に、特別支援教員コースへ再入学が必要となります。

※8 特別支援教員コースにて特別支援教育実習を行う際は、教育実習校の確保について注意が必要です。098ページ参照

※9 海外の大学卒業者は、正科・課程履修生に入学することはできません。正科生3年次編入学が可能となる場合がありますので事前に事務局入学担当まで問い合わせてください。

※10 一部の不足科目を履修する場合は、科目等履修生での入学を検討してください（不足単位数による）。

※11 必要条件を満たしている場合に限り2種免許状を1年で取得できる場合があります。

※12 基礎免許状所持者が入学年度に特別支援学校で特別支援教育実習の実施が可能な場合に限り、所要年数が1年となります。特別支援学校の教育実習校の受入人数の制約により、所要年数が2年かかる場合が多くあります。また、基礎免許状を所持しない場合や、特別支援学校教諭免許状に加え、小学校教諭1種・2種免許状を取得希望する場合の所要年数は2年となります。

※13 数学・英語・特別支援学校の教員免許状取得にかかわる科目のうち、一部認定通信生として履修可能な科目があります。088・089ページ参照

募集概要

募集定員

- ■ 正科生　2,000名（2、3年次編入学、正科・課程履修生を含む）※ 子ども臨床コースは50名
- ■ 科目等履修生　若干名
- ■ 認定通信生　若干名
- ■ 特修生　若干名

※ 理科の実験科目の単位修得を必要とする方の定員は、正科生、正科・課程履修生、科目等履修生を合わせて60名となります。

募集学部・学科・コース

- ■ 教育学部　教育学科　正科生1年次入学、正科生2年次編入学、正科生3年次編入学、正科・課程履修生、科目等履修生、特修生
- ■ その他　認定通信生

本学で取得できる学位（正科生のみ）

学士（教育学）の学位

本学で取得できる教員免許状・資格

幼稚園教諭1種・2種免許状※5
小学校教諭1種・2種免許状
中学校教諭1種・2種免許状（国語　社会　数学　理科※1　音楽※2　美術※3　英語）
高等学校教諭1種免許状（国語　地理歴史　公民　数学　理科※1　音楽※2　美術※3　英語）
特別支援学校教諭1種・2種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育の領域）
保育士資格※4 ※5
社会教育主事任用資格
図書館司書資格
学校図書館司書教諭資格

※1　理科の実験科目の単位修得を必要とする場合、4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。
▶008・009ページ参照
※2　音楽は正科生1年次入学の4月生のみの募集となります。
※3　美術は4月生のみの募集となります。
※4　保育士資格は正科生1年次入学（4月生のみ）と科目等履修生（4月生・10月生）の募集となります。
※5　改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

入学コース

通信教育課程の場合、入学目的、入学資格により正科生、正科・課程履修生、科目等履修生、認定通信生、特修生と入学コースが異なります。

■ 正科生（正科生1年次入学、正科生2年次編入学、正科生3年次編入学） ▶017ページ参照

正規の教育課程にしたがって大学教育を受けます。卒業すれば通学課程と同様に学士（教育学）の学位が与えられます。入学コース、受講コース等により取得できる教員免許状・資格取得までの所要年数が異なります。

■ 正科・課程履修生 ▶041ページ参照

学士の学位を有する方（4年制大学卒業者）が、教員免許状、社会教育主事任用資格、図書館司書資格のみを取得するためのコースです。

■ 科目等履修生 ▶059ページ参照

本学通信教育部で開講する受講可能科目の中より希望する科目のみを受講します。ただし、介護等体験、教育実習指導、教育実習、教職実践演習は受講できません。

■ 認定通信生 ▶087ページ参照

免許法認定通信教育として1年ごとに文部科学省から認定を受けた科目を履修するための入学コースです。

■ 特修生 ▶091ページ参照

高等学校中退者等で、大学入学資格のない方（2015（平成27）年4月1日現在満18歳以上、中学校卒業以上の方）が本学の教育学部教育学科（通信教育課程）へ入学する資格を得るためのコースです（すべての単位を修得後、正科生1年次へ入学できます）。

入学時期 出願期間

▶教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は、出願期間が異なるため008ページを確認してください。

該当条件	出願期間	
	4月生	10月生
「G　人物に関する調査書」を用意できない場合 ▶122・123ページ参照	2014年12月19日（金）〜2015年4月7日（火）消印有効	2015年6月23日（火）〜2015年10月3日（土）消印有効
卒業見込みの方の場合 ▶113ページ参照	2014年12月19日（金）〜2015年3月19日（木）消印有効	2015年6月23日（火）〜2015年9月19日（土）消印有効
上記に該当しない場合	2014年12月19日（金）〜2015年4月28日（火）消印有効	2015年6月23日（火）〜2015年10月28日（水）消印有効

注意！

① 事務局窓口に持参する場合は、上記日程の事務受付時間までとなります。▶157ページ参照
② 出願受付時期により学習開始時期が変動します。同一入学時期であっても、科目終了試験の受験機会は、学習開始時期や学習進度により異なります。▶012・013ページ参照
　また、どの開講期のスクーリングから受講が可能になるかは出願受付時期により異なります。▶014ページ参照
③ 出願期間内は随時受付をしています。一度提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
④ 教材が届き次第、レポート学習が開始できるため、出願が早いほど学習期間が長く、有利になります。ただし、科目終了試験の受験、スクーリングの受講は4月生は4月以降、10月生は10月以降から可能となります。
⑤ 障がいを有する方の問合せについては、006ページを参照してください。
⑥「専門士」の称号を有さない専修学校専門課程修了者で編入学資格審査を受ける場合は、115ページを参照してください。

選考方法

選考方法は書類選考が基本となります。ただし、「理科の実験科目の単位修得を必要とする方」については入学選考試験を行います。▶008・009ページ参照

【1】本学通信教育代表委員会で審議のうえ、選考結果を通知いたします。
【2】出願の際は指定されたものをすべて揃えて提出してください。
【3】書類に不備がある場合は、別途連絡しますが、不備が充足されるまでの間は、選考は保留となります。
【4】入学不許可の場合は別途通知し、入学時納入金のうち入学選考料を除く金額を返金いたします。
　なお、不許可の理由についての問合せには応じかねます。
【5】出願書類に虚偽の内容が認められた場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

募集概要

二重学籍の禁止

次の事項の該当者は本学通信教育部へ正規の学生（正科生、正科・課程履修生）として入学することができません。
万一、入学後に二重学籍が発覚した場合は、退学処分となり、修得した単位は無効となります。

【1】学校教育法に定める短期大学・大学・大学院に正規の学生として在学、休学中の方
【2】学校教育法に定める専修学校専門課程（専門学校）に在学、休学中の方
【3】文部科学大臣の指定する教員養成機関等に在籍中の方
【4】本学（通学課程および通信教育課程）に在学中の方

※ 他の短期大学・大学・大学院に正規の学生で在学中の方が、本学通信教育部の科目等履修生、認定通信生として入学することは可能です。なお、在学中の大学等の学則に抵触するかは必ず確認をしてください。

外国人および国外在住者の入学について

外国人および国外在住者で、以下の事項を満たす方は、出願可能です。

【1】日本語が堪能であること
【2】スクーリング、科目終了試験等は日本国内においてのみ実施するので、これに出席が可能なこと
【3】日本国内に保証人がいること
【4】国外在住者の場合、本学通信教育部から送付する郵便物はすべて保証人を通じて行うこと

身体に障がいを有する方の出願について

身体に障がいを有する場合は、**出願締切日の2週間前**までに必ず本学通信教育部入学担当へ問い合わせてください。

事前にご相談がなく、出願書類が送付された場合は、入学の受付および審査ができない場合があります。

■ 問合せについて

問合せは、文書（障がいの程度、入学希望コース、連絡先などを明記）または電話でお願いいたします。学内の状況を事前にご理解いただいたうえで出願を検討していただくためです。障がいの状況によっては本学通信教育部の判断によりキャンパスを見学していただき、あわせて面接を実施いたします。面接時には入学後の履修方法や開講科目内容、成績評価基準について、障がいの有無にかかわらず同一となる点、対応が困難となる事項等を説明いたします。

■ 対応について

本学通信教育部では、施設・設備の改善に努めていますが、次の点については対応できません。

【1】スクーリング、科目終了試験等の参加時における手話通訳、移動補助者等の確保
【2】教材および試験問題の点字化、拡大化、録音教材化、データ等への加工
【3】試験時間等の延長
【4】点字化、拡大化、録音教材化、データ等に加工したレポート、試験の答案用紙の提出
【5】その他特別対応

出願から学習開始まで

▶教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は出願から学習開始までが異なるため009ページを確認してください。

■出願者➡大学　■大学➡出願者

1 出願書類作成 証明書準備 入学時納入金振込

≫出願書類上の注意を確認のうえ、書類の作成を行います。▶116〜125ページ参照

≫出身校等にて必要な証明書等を揃えます。

≫入学時納入金を**ゆうちょ銀行以外の金融機関窓口またはコンビニエンスストア等**にて振り込みます。

≫コンビニエンスストア等での振込手続きについて▶121ページ参照

2 出願書類　提出

≫指定の封筒にて、出願期間内に提出します。出願締切日は該当条件によって異なります。▶005ページ参照

3 出願書類　受付 出願書類審査・選考

≫出願書類の到着後、不備がない場合、出願書類到着より3日程度で本学通信教育部より**受付ハガキ**を送付し、書類審査･選考を行います。

≫書類に不備があった場合、書面や電話などで不備請求を行います。

≫不備内容の確認または不備のあった書類が再度届き、書類が整い次第、本学通信教育部より**受付ハガキ**を送付し、書類審査・選考を続行します。

4 入学許可通知・学生証または受講証および教材配付

≫書類選考後は、入学許可者へ入学許可通知および学生証または受講証を特定記録郵便にて送付します。入学不許可の場合はその旨を通知します。

≫教材等は、入学許可通知および学生証または受講証とは**別便**（宅配便）にて送付します。

≫書類に**不備等がない場合**、お手元に入学許可通知や教材等が届くまでに約1ヵ月を要します（大型連休および本学通信教育部事務局夏期・冬期休業期間は除く）。

≫教材到着後、レポート学習を開始することができますが、正科生、正科・課程履修生については入学後に別途履修手続きを行うことにより、配当年次の履修上限単位数までの履修登録ができます。詳細は入学後に送付する『履修の手引』にて確認してください。

5 学習開始

≫出願受付時期により学習開始時期が変動します。同一入学時期であっても、科目終了試験の受験機会は、学習開始時期や学習進度により異なります。▶012・013ページ参照
また、どの開講期のスクーリングから受講可能になるかは出願受付時期により異なります。▶014ページ参照

≫学習方法、学習上のルール等については入学後に送付する『履修の手引』を確認してください。

※ 出願書類の**「G 人物に関する調査書」が用意できず、面接試問を受験する場合**は試問終了後、書類審査・選考手続きに入るため、教材等の送付は通常の選考より日数を要します。

入学選考試験について
理科の実験科目の単位修得を必要とする方

入学選考試験

■ 教科専門(理科)コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方の入学選考試験について

免許種の性格上、技術・技能面での素養を考査する必要性から、本学通信教育部における通常の選考方法(書類選考)に加え以下の要領による入学選考試験を別途実施します。なお、ここでの実験科目とは次の科目を指し、1科目でも本学での単位修得が必要な場合は入学選考試験の対象者となります。

【1】対象の実験科目

免許法施行規則に定める科目区分	本学開講授業科目名
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験(コンピュータ活用を含む。)
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験(コンピュータ活用を含む。)

【2】選考対象　① 正科生1年次入学、正科生2年次編入学
② 正科生3年次編入学、正科・課程履修生、科目等履修生で理科の実験科目の単位修得が必要な方

【3】募集定員　計60名

【4】選考方法　小論文、面接、出願書類による総合選考

【5】出願期間　4月生のみの募集となります。

該当条件	出願期間
「G 人物に関する調査書」を用意できない場合 ▶122・123ページ参照	2014年12月19日(金)〜2015年 1月24日(土) 消印有効
上記に該当しない場合(卒業見込み対象者を含む。)	2014年12月19日(金)〜2015年 1月31日(土) 消印有効

※「G 人物に関する調査書」が用意できない場合、入学選考試験および書類選考の前に入学選考試験とは別の面接試問(小論文試験を含む)の受験が必要となります。▶122・123ページ参照

※ 障がいを有する方の問合せについては、006ページを参照してください。

※「専門士」の称号を有さない専修学校専門課程修了者で編入学資格審査を受ける場合は、115ページを参照してください。

【6】選考日　**2015年3月7日(土)もしくは3月8日(日)のいずれか1日**
※ 希望日の指定はできません。

【7】選考会場　明星大学 日野校　※ 集合時間、集合場所等の詳細は「受験票」送付時に通知します。

【8】選考結果通知書送付予定日　**2015年3月14日(土)**　※ 結果についての問合せには応じかねます。

理科の実験科目必要・不要について

■ 正科生1年次入学、正科生2年次編入学

理科の教員免許状の取得をめざすことを前提とするため、全員が【理科の実験科目の単位修得を必要とする方】に該当し、入学選考試験の受験が必要となります。

■ 正科生3年次編入学、正科・課程履修生

理科の教員免許状の取得をめざすことを前提とするため、免許法施行規則に規定される4つの実験科目をすべて修得済みでない場合は【理科の実験科目の単位修得を必要とする方】に該当し、入学選考試験が必要となります(他大学で修得予定の方は除く)。

また、4つの実験科目をすべて修得済みの場合(注:中学校用の「学力に関する証明書」において修得済みであること。)は、書類選考のみとなりますので、4月生・10月生のいずれでも入学が可能です。修得済みかどうかについては、理科の教員免許状に関する単位修得を行った大学等で、「学力に関する証明書」を取得し、上記に記載の免許法施行規則に規定される4つの実験科目をすべて修得済みであるかを確認してください。

▶入学選考の要・不要については142ページQ&A 29〜31もあわせて確認してください。

出願者➡大学　大学➡出願者

出願から学習開始まで
理科の入学選考試験対象者

1 出願書類提出
（入学時納入金は入学選考料のみ）

≫出願書類上の注意を確認のうえ、書類作成を行います。
▶116～125ページ参照
≫出身校等にて必要な証明書等を揃えます。
≫**10,000円**の入学選考料を**ゆうちょ銀行以外の金融機関窓口またはコンビニエンスストア**にて振り込みます。
≫コンビニエンスストア等での振込手続きについて
▶121ページ参照
≫指定の封筒にて、出願期間内に提出します。出願締切日は該当条件によって異なります。
▶008ページ参照

2 出願書類を受付し、入学資格等を審査

≫出願書類の到着後、不備がない場合、出願書類到着より3日程度で本学通信教育部より**受付ハガキ**を送付し、入学資格等の審査を行います。
≫書類に不備があった場合、書面や電話などで不備請求を行います。
≫不備内容の確認または不備のあった書類が再度届き、書類が整い次第、本学通信教育部より**受付ハガキ**を送付し、入学資格等の審査を続行します。

3 受験票を送付

≫2月下旬頃の発送となります。
到着したら内容を確認してください。

4 入学選考試験

≫入学選考試験：2015年3月7日（土）もしくは3月8日（日）のいずれか1日
※ 希望日の指定はできません。

5 選考結果通知書・入学時納入金銀行振込用紙の発送

≫合格者発表：2015年3月14日（土）本学より発送予定。
あわせて本学通信教育部ホームページにも掲載します。

6 入学選考料を除く入学時納入金の振り込み

≫合格者納入期限：2015年3月27日（金）
正科生1年次入学は144,000円、正科生2･3年次編入学、正科･課程履修生は159,000円、科目等履修生は16,000円（履修登録費＋補助教材費）＋1単位につき6,500円

7 入学許可通知および学生証または受講証送付

≫2015年4月10日（金）発送予定

8 教材配付
（学生証または受講証と教材は**別便**にて送付）

≫2015年4月10日（金）発送予定

9 学習開始

≫スクーリングは、6月スクーリングから受講可能です。
≫科目終了試験は、8月から受験可能です。
≫学習方法、学習上のルール等については入学後に送付する『履修の手引』を確認してください。

入学時納入金／辞退についての注意事項

入学時納入金

【1】入学時納入金は、「F 入学時納入金銀行振込用紙」にて最寄りの銀行窓口で電信扱いにて振り込みし、出納印を受けてください。コンビニエンスストア等で振り込む場合は**121**ページに従い手続きをしてください（手続きに必要な振込手数料は出願者のご負担となります）。

① 現金自動預払機（ATM）での送金は受付できません。銀行係員がATMを勧めても使用しないでください。また、ペイジーを利用しない場合インターネットバンキング・ゆうちょ銀行は利用できません。

② 2007（平成19）年1月4日から、本人確認手続きに関する法令が改正になりました。10万円を超える現金による振込みを行う場合、本人確認書類が必要となります。詳しくは、振込みを依頼する金融機関に問い合わせてください。

【2】入学時納入金は一括して全額を振り込んでください（分割はできません）。
ただし、教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は入学選考試験があるため、入学時納入金は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。入学選考試験に合格した場合に入学選考料を除く入学時納入金を改めて振り込んでいただきます。

辞 退

出願・入学辞退については下記のとおりとなりますので注意してください。なお、出願・入学辞退を希望する方は、事務局入学担当へお電話にてお知らせください。必要な手続きをご案内します。

【1】教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方

① 入学選考料納入後、出願前に出願辞退
入学選考料の全額を返金します。ただし、2015年４月28日（火）までに辞退のお申し出がなかった場合、出願前であっても返金できません。また、次年度以降へ持ち越すこともできません。

② 出願後、入学許可前に出願辞退
書類選考を開始しているため、入学選考料は返金できません。

③ 入学選考試験に合格し入学時納入金（入学選考料を除く）を納入後に入学辞退
入学金（科目等履修生は履修登録費）を除く全額を返金します。ただし、2015年4月30日（木）までに辞退のお申し出がなかった場合は退学となり返金できません。

④ 入学選考試験に合格し本学通信教育部が指定する期日までに入学時納入金（入学選考料を除く）の納入がされなかった場合、入学選考試験の合格は取消しとなります。

【2】上記対象者以外

① 入学時納入金を納入後、出願前に出願辞退
全額返金いたします。ただし、４月生としての出願を予定していた場合は2015年４月28日（火）まで、10月生としての出願を予定していた場合は2015年10月28日（水）までに辞退のお申し出がなかった場合、出願前であっても返金できません。また、次年度以降へ持ち越すこともできません。

② 出願後、入学許可前に出願辞退
入学選考料を除く全額を返金します。

③ 入学許可日より14日目以内に入学辞退
入学選考料および入学金（科目等履修生、認定通信生は履修登録費）を除く全額を返金します。

④ 入学許可日より15日目以降の入学辞退
退学となり、入学時納入金の返金はできません。

⑤ 入学不許可の場合には、入学選考料を除く全額を返金します。

※ 入学許可は本学通信教育部で決定後、郵送にて通知します。入学辞退のご連絡をいただくタイミングによっては、入学許可通知がお手元に届く前であっても、既に入学許可日が過ぎている場合があります。

教育学部（通信教育課程）の人材養成の目的およびその他の教育研究上の目的

教育学部（通信教育課程）の人材養成の目的およびその他の教育研究上の目的

教育学部（通信教育課程）は、明星学苑及び明星大学の建学の精神、大学設置基準及び大学通信教育設置基準の理念に基づき、次の様な人材養成に関する目的及び教育研究上の目的をもって教育を行うものとする。

教育学部（通信教育課程）の人材養成の目的

教育学部（通信教育課程）では、「教科に関する専門的知識・技能を備えた教育者及び児童福祉についての専門的知識・技能を備えた人の育成」を教育目標とし、この理念・目的に基づき、初等教育教員養成から後期中等教育教員養成に至るまでの教員養成、及びそれらの教育機関における教員養成以外に、社会的要請の強い児童福祉及び幼児教育、並びに初等教育の世界で教育的な仕事を通して活躍する人材の養成を目的とする。

教育学科の人材養成の目的およびその他の教育研究上の目的

教育学科の人材養成の目的

「教育の根本は教師（指導者）にあり」との教員養成観及び児童福祉観に基づき、本学苑の建学の精神「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」を目指し、本学の教育目標「自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成」の実現を図る。ついては、教育の意義と必要性を論理的・分析的・実践的に理解して教育実践力を培い、学習者各々の資質能力を発揮して適切な教育活動や児童福祉に携わることのできる教員・保育士などを養成する。

1 「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」
とは、生きとし生けるものが、お互いの存在を認め合い、自立して共存するためのモットーである。この調和した精神により信頼を得て、身近な共同社会から世界へと貢献する人を育てる。

2 「自己実現を目指し社会貢献ができる人の養成」
は、個性・能力を発揮しながら発達・成長するとともに、その社会を維持・発展させる原動力である。自己実現と社会貢献は表裏一体であるとの自覚のもと、実践的な教育を展開する。

3 上述の目的に沿って、以下のような人材養成をする。

① 教育学及び心理学の基礎知識と初等教育に係わる実践的・応用的教育研究を通して、小学校教諭・幼稚園教諭を養成
② 初等教育と中等教育のより密接な連続性の志向に資する教員養成を目指すため、教育学及び心理学の基礎的知識と教科の専門性を備えた小学校教員・中等教育教員を養成
③ 特別支援教育に係わる教育学及び心理学の基礎知識と特別支援教育に係わる実践的・応用的教育研究を通して、特別支援学校あるいは特別支援学級を担当する教諭を養成
④ 教育学と心理学の基礎知識を前提に幼児教育及び児童福祉に係わる実践的・応用的教育研究を通して、保育士・幼稚園教諭を養成
⑤ 教育学と心理学の基礎的知識及び専門的知識についての教育研究を通して、生涯学習の場などにおいて幅広く教育的仕事に携わる人材を養成

教育学科のその他の教育研究上の目的

1 心理学・社会学等の学問的成果も取り入れた教育学の理論的、実践的基礎研究
2 初等教育に係る理論的、実践的教育研究
3 中等教育に係る理論的、実践的教育研究
4 特別支援教育に係る理論的、実践的教育研究
5 児童福祉に係る理論的、実践的教育研究
6 社会教育・生涯学習に係る理論的、実践的教育研究

（2014年度現在）

学習方法について

単位修得のための3つの受講方法

RT科目

レポートおよび科目終了試験に合格して
単位を修得する方法

R テキストを基にしたレポート作成
科目ごとに指定されたレポート課題に基づき、レポートを作成します。1単位につき約2,000字が目安です。

▼

R レポート提出
科目終了試験を受験する月の※**2ヵ月前の15日**までに提出します。
期日までに不備なく受付されれば、科目終了試験の申込資格が得られます。
※ 提出締切日が事務局休業日の場合は翌営業日に繰り下がる場合があります。

▼

R 教員によるレポート添削指導
担当教員によるレポート添削指導を通じて、理解を深めるのが通信教育のレポート学習の中心です。難しく感じた部分は「質問用紙」を使って担当教員に質問することも可能です。

▼

T 科目終了試験を受験
全国56ヵ所に会場を設定（1回の試験につき最大4科目まで受験可能）。1科目あたりの試験時間は45分間で、レポートが合格していなくても受験することができます。「優・良・可」いずれかの評価を得られれば合格です。不合格の場合は再受験が必要です。

▼

R レポート合格
レポート添削指導を受け、履修単位数分のレポートすべてに合格すると、その科目のレポート学習は完了です。不合格の場合、再提出が必要です。

▼

T 科目終了試験合格

▼

SR科目

スクーリングおよびレポートに合格して
単位を修得する方法

S スクーリング（面接授業）
各会場に通い、授業（集中講義）に出席します。授業は原則規定の時間数の全出席が必要です。

▼

S スクーリング試験
授業内試験を行います。「優・良・可」のいずれかの評価を得られれば合格です。不可・否の場合は再受講が必要です。

▼

S スクーリング合格

▼

R テキストを基にしたレポート作成
科目ごとに指定されたレポート課題に基づき、レポートを作成します。1単位につき約2,000字が目安です。

▼

R レポート提出
各スクーリングのレポート提出目安日を参考に提出してください。

（レポートの提出はスクーリング受講前でも可能）

▼

R 教員によるレポート添削指導
担当教員によるレポート添削指導を通じて、理解を深めるのが通信教育のレポート学習の中心です。難しく感じた部分は「質問用紙」を使って担当教員に質問することも可能です。

▼

R レポート合格
レポート添削指導を受け、履修単位数分のレポートすべてに合格すると、その科目のレポート学習は完了です。不合格の場合、再提出が必要です。

▼

S科目

スクーリングに合格して
単位を修得する方法

S スクーリング（面接授業）
各会場に通い、授業（集中講義）に出席します。授業は原則規定の時間数の全出席が必要です。

▼

S スクーリング試験
授業内試験を行います。「優・良・可」のいずれかの評価を得られれば合格です。不可・否の場合は再受講が必要です。

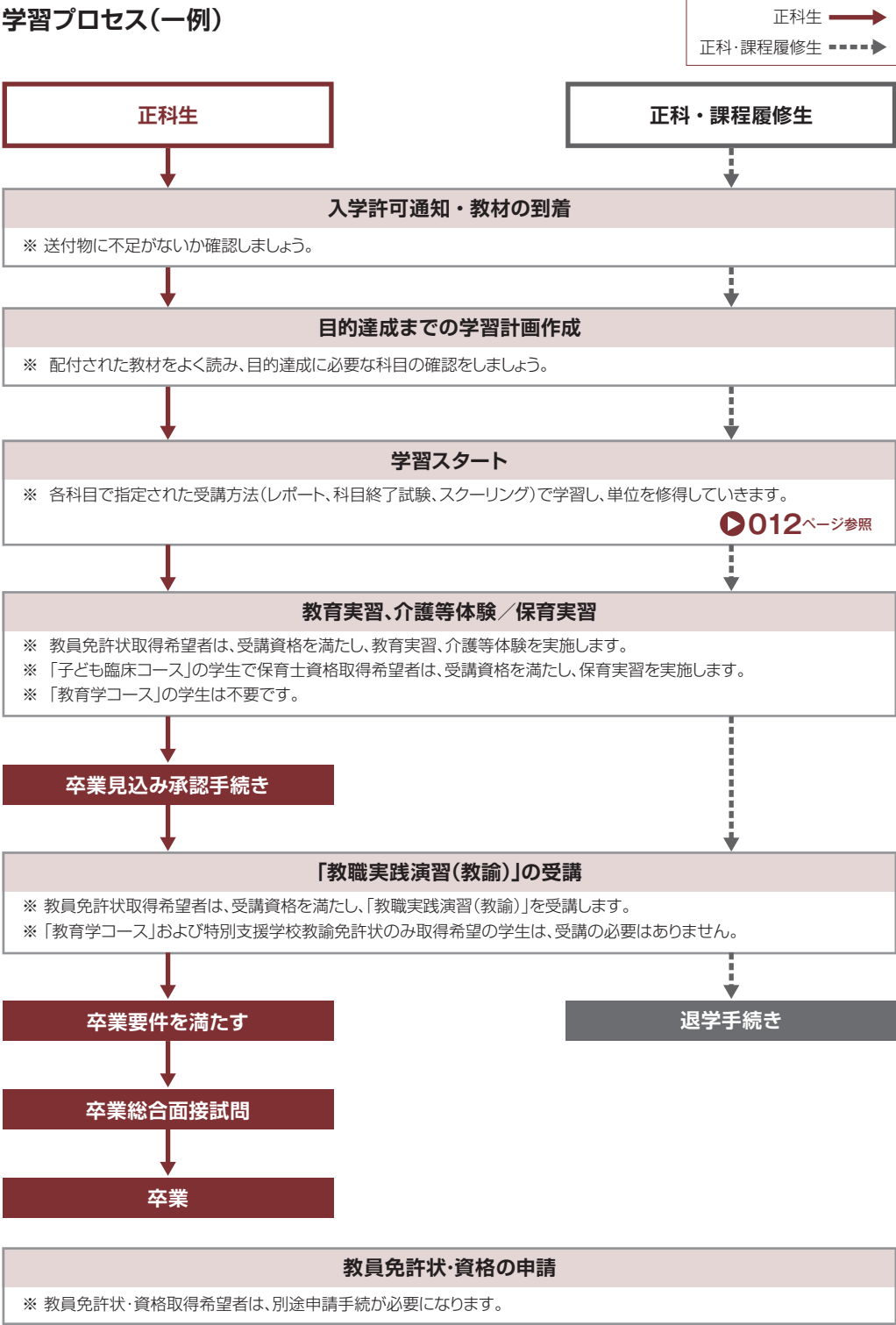
▼

S スクーリング合格

単位修得

受講方法は各科目によって設定されていますが、RTorSRと設定されている科目については、どちらかの受講方法を選択して単位を修得します。履修登録の時点では、受講方法をRTとするのか、SRとするのか、とくに決定しておく必要はありません。受講方法RTを選択する場合は、レポート提出後に試験の申込みを行い、受験をします。受講方法SRを選択する場合は、スクーリングの申込みを行い、受講とレポート提出（スクーリング受講前でも提出可）をします。なお、RTorSR科目の場合は、RTで学習を進めていたとしても、スクーリングの申込みをすることで、SRへ受講方法を切り替えることができます。また、SRからRTへの受講方法の切り替えも可能です。

入学から目的達成までの学習プロセス

入学から目的達成までの一連のプロセスを紹介しますので、参考にしてください。なお、学習の進度によっては紹介している手続きなどの順番が入れ替わる場合があります。また、入学コース・受講コースによっても実施内容が異なります。事務手続きなどの詳細は、入学後に送付する『履修の手引』を確認してください。

スクーリングについて

▶ スクーリングについては 140 ページQ＆A18以降も参照してください。

スクーリングについて

スクーリングは面接授業ともいわれており、講師との対面授業を意味します。
通信課程においては、レポート学習と試験の自宅学習が中心となりますが、印刷教材等による授業だけでは学習できない、または学習効果が十分に期待できない科目については、スクーリングを実施します。本学でも一部の科目については、スクーリングを実施しており、受講方法「S」または「SR」の科目の場合は、スクーリングを受講しないと単位修得ができない科目として設定しています。

また、大学通信教育設置基準により、卒業（＝学士の学位を通信課程で取得）する場合は、「卒業の要件として修得すべき単位数124単位のうち30単位以上は、面接授業により修得するものとする」と定められており、規定の単位数に相当する授業時間をスクーリングによって単位修得する必要があります。このため、正科生１年次入学生、正科生２年次編入学生、正科生３年次編入学生が卒業をする場合、規定されたスクーリング単位が必要となります。なお、本要項に記載されている科目の単位は履修単位を表しており、スクーリング単位と別のものです。スクーリング単位を計算する場合は、次のように考えてください。
受講方法が「Ｓ」の科目は、科目の履修単位＝スクーリング単位と計算します。受講方法が「ＳＲ」の科目は、科目の履修単位が１または２単位のいずれであってもスクーリング単位を１単位として計算します。
正科・課程履修生または科目等履修生として入学し、教員免許状・資格のみを取得する場合は、スクーリング単位の考え方は不要です。
なお、スクーリングは不慮の事故や不測の事態に鑑み、妊娠している方の受講申込および受講はできません。

スクーリングの開講時期（2015年度予定）

出願から学習開始までの選考期間に日数を要することから、初年度に受講できるスクーリングは、以下のように出願書類の提出時期によって一部制限がありますので、お含みおきのうえ、学習計画をたててください。
出願書類に不備があった場合、または、「G 人物に関する調査書」が用意できず、面接試問を受験する場合は、通常の選考より日数を要するため、希望するスクーリングの申込みに間に合わない場合があります。
各実施時期に開講する会場·科目·日程については、別添のリーフレットを参照してください。

入学時期	受講を希望するスクーリング種別			初年度スクーリング受講のための出願書類提出締切日（消印有効）
	スクーリング開講期	受講申込時期	実施時期	
4月生	5月スクーリング	4月上旬	5月	2015年３月10日（火） ※ただし、入学選考試験を必要とする方は受講不可
	6月スクーリング	5月上旬	6月	2015年３月31日（火）
	7月スクーリング	5月上旬	7月	
	夏期スクーリング	6月上旬	8月	2015年４月23日（木）
	9月スクーリング	7月上旬	9月	2015年４月28日（火）
10月生	10月（秋期）スクーリング	8月上旬	10月	2015年７月６日（月）
	12月（冬期）スクーリング	11月上旬	12月下旬	2015年10月６日（火）
	1月スクーリング	12月上旬	1月	2015年10月17日（土）
	3月（春期）スクーリング	1月上旬	3月	2015年10月28日（水）

※ 中·高「理科」の実験科目、中·高「美術」の教科に関する科目のスクーリングについては、上記条件に含まれません。

スクーリング受講費

受講費はスクーリング申込み後、受講許可を受けてから各スクーリング開講前日までに振り込んでください。

区分		単位		単価
スクーリング受講費（全スクーリング）	講義科目	1科目	6コマ	8,000円
			12コマ	16,000円
	演習科目	1科目	6コマ	10,000円
			12コマ	20,000円
	教科専門（理科）コース実験科目	1科目		35,000円
	教科専門（音楽）コース実技科目	1科目		90,000円
	教科専門（美術）コース実技科目	1科目		90,000円

受講費と受講期間について（参考）

各コース別のスクーリング受講費・受講期間の目安は下表のとおりです。なお、受講科目数等により、概算を上回る場合があります。

正科生

受講コース	入学コース	卒業までの受講費合計金額(概算)	スクーリング受講期間目安			
			1年次	2年次	3年次	4年次
小学校教員	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	3週間	2週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				
教科専門(国語)	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	3週間	3週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				
教科専門(社会)	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	3週間	3週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				
教科専門(数学)	正科生1年次入学	380,000円〜	3週間	4週間	4週間	2週間
	正科生2年次編入学	304,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	240,000円〜				
教科専門(理科)	正科生1年次入学	440,000円〜	3週間	2〜3週間	2〜3週間	2週間
	正科生2年次編入学	364,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	300,000円〜				
教科専門(音楽)※1	正科生1年次入学	1,152,000円〜	3週間	2週間	2週間	2週間
教科専門(美術)	正科生1年次入学	1,488,000円〜	3週間	7週間	8週間	2週間
	正科生2年次編入学	1,404,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	1,396,000円〜				
教科専門(英語)	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	4週間	4週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				
特別支援教員	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	2週間	2週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				
子ども臨床	正科生1年次入学	430,000円〜	3週間	4週間	3週間	2週間
教育学※2	正科生1年次入学	332,000円〜	3週間	3週間	2週間	2週間
	正科生2年次編入学	256,000円〜	上記期間に準じますが、履修配当学年の変動等により、受講期間に変動が生じます。			
	正科生3年次編入学	192,000円〜				

注意!

※1 教科専門(音楽)コースは2・3年次に、それぞれ1年間にわたって毎週行われるスクーリングの受講が必要です。
このスクーリングに参加ができない場合、中学校・高等学校教諭免許状(音楽)の取得ができません。

※2 図書館司書資格を取得する場合は、上記に加えてスクーリング受講費48,000円が追加となります。

正科・課程履修生

受講コース	教員免許状・資格取得までの受講費合計金額(概算)	スクーリング受講期間目安	
		3年次	4年次
小学校教員(幼稚園教諭1種)	88,000円〜	4週間	
小学校教員(小学校教諭1種)	20,000円〜	2日間	3〜4日間
教科専門(国語)　中1種/高1種/中1種+高1種	20,000円〜	2日間	3〜4日間
教科専門(社会) 中1種(社会)/高1種(地理歴史)/高1種(公民)/ 中1種(社会)+高1種(地理歴史)/ 中1種(社会)+高1種(公民)/ 中1種(社会)+高1種(地理歴史･公民)/ 高1種(地理歴史)+高1種(公民)	20,000円〜	2日間	3〜4日間
教科専門(数学)　中1種/高1種/中1種+高1種	100,000円〜	4週間	
教科専門(理科)　中1種/高1種/中1種+高1種	160,000円〜	4週間	
教科専門(美術)　中1種/高1種/中1種+高1種	1,296,000円〜	13週間	
教科専門(英語)　中1種/高1種/中1種+高1種	84,000円〜	4週間	
特別支援教員	24,000円〜	2週間	
教育学(社会教育主事任用資格)	16,000円〜	1週間	
教育学(図書館司書資格)	80,000円〜	3週間	

入学コース

正科生1年次入学

※ 通学課程と同様、卒業すると学士（教育学）の学位が取得できます。

入学資格・出願書類については106ページを参照してください。

受講コース

目的により下記から受講するコースを1つ決めてください。正科生1年次入学の「小学校教員コース」「教科専門コース」「特別支援教員コース」の選択者は、2年次進級時にこの3コース内で受講コースを変更できますが、選択コースによっては希望に沿えない場合があります（「教科専門（理科・音楽・美術）コース」および「子ども臨床コース」へのコース変更はできません）。

小学校教員コース・教科専門コース・特別支援教員コース・子ども臨床コースの希望者については094〜104ページも参照してください。

小学校教員コース

■大学卒業資格（学士の学位）、幼稚園教諭1種・2種免許状※1、小学校教諭1種・2種免許状を取得できるコースです。

※ 小学校教諭の教員免許状を取得する場合は、希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

教科専門コース

■大学卒業資格（学士の学位）、小学校教諭1種・2種免許状、中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状を取得できるコースです（ただし、教科は下記①〜⑦のいずれかに限る）。

① 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（国語）
② 中学校教諭1種・2種（社会）、高等学校教諭1種免許状（地理歴史・公民）
③ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（数学）
④ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（理科）※1
⑤ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（音楽）※2
⑥ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（美術）※2
⑦ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭1種免許状（英語）

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 理科コースは、4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。008・009ページ参照

※2 音楽、美術の各コースは、4月生のみの募集となります。

特別支援教員コース

■大学卒業資格（学士の学位）、小学校教諭1種・2種免許状、特別支援学校教諭1種・2種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得できるコースです。

※ 特別支援学校教諭免許状のみの取得はできません。小学校教諭免許状の取得は必須です。

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

子ども臨床コース（4月生のみ募集）

■大学卒業資格（学士の学位）、幼稚園教諭1種・2種免許状※1、保育士資格※1を取得できるコースです。

※1 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

教育学コース

■教育学を中心に学び、大学卒業資格（学士の学位）を取得するコースです。本コースでは、教員免許状を取得することはできませんが、希望により社会教育主事任用資格、図書館司書資格を取得することが可能です。

卒業所要年数

4年

在学可能年数

8年間（休学期間を除く）

入学時納入金および学費

入学時納入金は出願時に、**154,000円を一括**で振り込んでください。
ただし教科専門（理科）コース出願者は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。入学選考試験合格後に入学選考料を除く入学時納入金を改めて振り込んでいただきます。

▶ 入学時納入金に関する注意事項、辞退については010ページを参照してください。

入学時納入金内訳

内　訳	金　額
入学選考料	10,000 円
入学金	30,000 円
授業料（年額）	108,000 円
補助教材費	6,000 円
合 計	**154,000 円**

教科専門(理科)コース	左記コース以外共通
入学選考料のみ **10,000円** 残額は選考結果により後日請求	**154,000円** 一括支払い

卒業するまでに必要な費用の目安

卒業および教員免許状・資格取得までに必要な費用の目安は下表のとおりです。
※ 下表は1種免許状を取得する場合の費用の目安です。

受講コース	入学時納入金（1年目の学費含む）	2年目の学費	3年目の学費	4年目の学費	教育実習指導費※1 保育実習指導費	介護等体験費	スクーリング受講費※2（必修科目のみ）	卒業審査料※3	卒業までの合計
小学校教員	154,000円	114,000円	114,000円	114,000円	35,000円	10,000円	332,000円～	5,000円（～20,000円）	878,000円～
教科専門（国語） 教科専門（社会） 教科専門（英語）					35,000円～70,000円	10,000円	332,000円～		878,000円～
教科専門（数学）					35,000円～70,000円	10,000円	380,000円～		926,000円～
教科専門（理科）					35,000円～70,000円	10,000円	440,000円～		986,000円～
教科専門（音楽）					35,000円～70,000円	10,000円	1,152,000円～		1,698,000円～
教科専門（美術）					35,000円～70,000円	10,000円	1,488,000円～		2,034,000円～
特別支援教員					70,000円	10,000円	332,000円～		913,000円～
子ども臨床					90,000円～125,000円	―	430,000円～		1,021,000円～
教育学※4					―	―	332,000円～		833,000円～

① 受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。
② 卒業または教員免許状・資格を最短年数で取得できない場合は5年目以降の学費（60,000円／年）が必要です。
③ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の入学金・学費等はその額を改定する場合があります。
※1 複数の教員免許状・資格を取得する場合、教員免許状の校種や資格の種類によって、それぞれの実習指導費がかかる場合があります。
※2 スクーリング必修科目（卒業をするのに必要なスクーリング単位を含む）のみの目安金額です。スクーリングが選択できる科目（RTorSR）の受講科目数により、目安を上回る場合があります。
※3 卒業資格試験を選択する場合は5,000円（卒業審査料）、卒業研究を選択する場合は20,000円（卒業研究指導料＋卒業研究審査料）が必要です。
※4 図書館司書資格を取得する場合は、上記に加えてスクーリング受講費48,000円が追加となります。

卒業要件単位数について

下表の内訳に基づき、124単位以上の修得が必要です（あわせてスクーリング単位※1を30単位以上修得が必要）。

区分	種別	科目	単位	小計	計
全学共通科目 ▶028ページ参照	必　修	自立と体験1	2単位	15単位	32単位
		健康・スポーツ科学論	2単位		
		健康・スポーツ演習1	1単位		
		情報リテラシーa	2単位		
		情報リテラシーb	2単位		
		外国語（英語）1A	1単位		
		外国語（英語）1B	1単位		
		法学1	2単位		
		法学2（日本国憲法）	2単位		
	選　択			17単位以上※2	
学科科目	必修科目	▶028ページ参照		25単位	92単位
	選択科目	▶029～040ページ参照		67単位以上※3	
					合計124単位※4

※1 スクーリング単位とは、スクーリング（面接授業）の出席時間数に応じた単位です。▶014ページ参照
※2 学科科目で92単位を超えて修得した単位のうち、9単位まで含むことができます。
※3 教育学コースにおいては社会教育主事任用資格、図書館司書資格にかかわる資格科目の単位を28単位まで含むことができます。
※4 上記単位数は、卒業に必要な単位数であって、取得する教員免許状・資格によっては、修得単位数が124単位を超える場合があります。

▶ より具体的な年次修得科目・上限単位数の詳細については、次ページを参照してください。

正科生1年次入学

年次別修得単位数の目安

年次	全学共通科目 科目名	単位	S単位※2	受講方法	学科科目(必修科目) 科目名	単位	S単位※2	受講方法	学科科目(選択科目) 科目名	単位	S単位※2	受講方法	年次履修上限単位数※1
1年	自立と体験1	2	2	S	教育学入門	2		RT	学科科目(選択科目)から2～8単位選択 ▶029～040ページ参照	2～8			～41単位
	健康･スポーツ科学論	2		RT	教育原理	2	(1)	RTorSR					
	健康･スポーツ演習1	1	1	S	教育の制度と経営	2		RT					
	外国語(英語)1A	1	1	SR	教職入門	2		RT					
	外国語(英語)1B	1	1	SR	自立と体験2	2	2	S					
	情報リテラシーa	2	1	SR									
	情報リテラシーb	2	1	SR									
	法学1	2	(1)	RTorSR									
	法学2(日本国憲法)	2	(1)	RTorSR									
	上記科目に加え全学共通科目から8～12単位選択 ▶028ページ参照	8～12											
2年	教育学コースのみ：全学共通科目から4単位以上選択 ▶028ページ参照	4			教育学基礎演習1	1	1	S	学科科目(選択科目)から30～48単位選択 ▶029～040ページ参照	30～48			38～52単位
	教育学コース以外：–				教育学基礎演習2	1	1	S					
					教育心理学	2		RT					
3年	–				教育実践ゼミ1	1	1	S	学科科目(選択科目)から30～50単位選択 ▶029～040ページ参照	30～50			32～52単位
					教育実践ゼミ2	1	1	S					
4年	–				教育実践ゼミ3	1	1	S	教育学コースのみ：–				19～23単位
					卒業研究または卒業指定科目から8単位選択 ※3	8			教育学コース以外：教職実践演習(教諭)	2	1	SR	
									学科科目(選択科目)から4～10単位選択 ▶029～040ページ参照	4～10			
合計	124～162単位(卒業までに必要な単位:124単位)												

※1 履修上限単位数は、コースによって異なります。詳細は入学後、『履修の手引』にてご案内します。
※2 **S単位**･･･スクーリング単位。卒業までに**30単位**以上修得していることが必要です。( )はスクーリングを選択した場合の修得単位です。
※3 卒業研究または卒業指定科目から8単位修得することが必要です。

注意!

① 小学校･中学校の教員免許状を取得する場合は、介護等体験が必要です。
② 各種教員免許状を取得する場合は、3年次以降で「教育実習」「教育実習指導(特別支援の場合は「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」)」が必要です。
③ 保育士資格を取得する場合は、2年次で「保育実習1」「保育実習指導1」、3年次で「保育実習2または3」「保育実習指導2または3」が必要です。

教科専門(音楽)コースのスクーリング

教科専門(音楽)コースは、実技を要する科目が多いため、2年次･3年次にそれぞれ1年間にわたって、スクーリングを開講する予定です。このスクーリングに参加ができない場合、中学校･高等学校教員免許状(音楽)の取得や卒業ができません。出願にあたって、よく勘案のうえ、コースを決めてください。

開講科目

028～040ページを参照してください。

単位認定について

1年次入学対象者はいかなる場合でも個別の単位認定をしません。本学においては124単位を修得する前提での入学となります。

正科生2年次編入学

※ 通学課程と同様、卒業すると学士（教育学）の学位が取得できます。

▶ 入学資格・出願書類については 107ページを参照してください。

受講コース

目的により下記から受講するコースを決めてください。受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。

▶ 小学校教員コース・教科専門コース・特別支援教員コースの希望者については094～102ページも参照してください。

小学校教員コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、幼稚園教諭１種・2種免許状※1、小学校教諭１種・2種免許状を取得できるコースです。

※ 小学校教諭の教員免許状を取得する場合は、希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

教科専門コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、小学校教諭１種・2種免許状、中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状を取得できるコースです（ただし、教科は下記①～⑥のいずれかに限る）。

① 中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状（国語）
② 中学校教諭１種・2種（社会）、高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
③ 中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状（数学）
④ 中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状（理科）※1
⑤ 中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状（美術）※2
⑥ 中学校教諭１種・2種、高等学校教諭１種免許状（英語）

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 理科コースは、4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。▶ 008･009ページ参照

※2 美術コースは、4月生のみの募集となります。

特別支援教員コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、小学校教諭１種・2種免許状、特別支援学校教諭１種・2種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得できるコースです。

※ 特別支援学校教諭免許状のみの取得はできません。小学校教諭免許状の取得は必須です。

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

教育学コース

■ 教育学を中心に学び、大学卒業資格（学士の学位）を取得するコースです。本コースでは、教員免許状を取得することはできませんが、希望により社会教育主事任用資格、図書館司書資格を取得することが可能です。

卒業所要年数

3年

在学可能年数

7年間（休学期間を除く）

正科生2年次編入学

入学時納入金および学費

入学時納入金は出願時に、**169,000円を一括**で振り込んでください。
ただし教科専門（理科）コース出願者は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。入学選考試験合格後に入学選考料を除く入学時納入金を改めて振り込んでいただきます。

▶ 入学時納入金に関する注意事項、辞退については010ページを参照してください。

入学時納入金内訳

内　訳	金　額
入学選考料	10,000 円
入学金	45,000 円
授業料（年額）	108,000 円
補助教材費	6,000 円
合 計	**169,000 円**

金額間違いに注意！

入学選考料のみ
10,000円
残額は選考結果により後日請求

左記コース以外共通

169,000円
一括支払い

卒業するまでに必要な費用の目安

卒業および教員免許状･資格取得までに必要な費用の目安は下表のとおりです。
※下表は1種免許状を取得する場合の費用の目安です。

受講コース	入学時納入金（1年目の学費含む）	2年目の学費	3年目の学費	教育実習指導費※1	介護等体験費	スクーリング受講費※2（必修科目のみ）	卒業審査料※3	卒業までの合計
小学校教員	169,000円	114,000円	114,000円	35,000円	10,000円	256,000円～	5,000円（～20,000円）	703,000円～
教科専門(国語) 教科専門(社会) 教科専門(英語)				35,000円～70,000円	10,000円	256,000円～		703,000円～
教科専門(数学)				35,000円～70,000円	10,000円	304,000円～		751,000円～
教科専門(理科)				35,000円～70,000円	10,000円	364,000円～		811,000円～
教科専門(美術)				35,000円～70,000円	10,000円	1,404,000円～		1,851,000円～
特別支援教員				70,000円	10,000円	256,000円～		738,000円～
教育学※4				—	—	256,000円～		658,000円～

① 受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。
② 卒業または教員免許状･資格を最短年数で取得できない場合は４年目以降の学費（60,000円／年）が必要です。
③ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の入学金･学費等はその額を改定する場合があります。
※1 複数の教員免許状を取得する場合、教員免許状の校種によって、それぞれの教育実習指導費がかかる場合があります。
※2 スクーリング必修科目（卒業をするのに必要なスクーリング単位を含む）のみの目安金額です。
スクーリングが選択できる科目（RTorSR）の 受講科目数により、目安を上回る場合があります。
※3 卒業資格試験を選択する場合は5,000円（卒業審査料）、卒業研究を選択する場合は20,000円（卒業研究指導料+卒業研究審査料）が必要です。
※4 図書館司書資格を取得する場合は、上記に加えてスクーリング受講費48,000円が追加となります。

卒業要件単位数について

下表の内訳に基づき、124単位以上の修得が必要です（認定にかかわらず卒業にはスクーリング単位※1を23単位以上修得が必要）。

区分		科目	単位	小計	計
全学共通科目 ▶028ページ参照	必修	自立と体験1	2単位	15単位	32単位
		健康･スポーツ科学論	2単位		
		健康･スポーツ演習1	1単位		
		情報リテラシーa	2単位		
		情報リテラシーb	2単位		
		外国語（英語）1A	1単位		
		外国語（英語）1B	1単位		
		法学1	2単位		
		法学2（日本国憲法）	2単位		
	選択			17単位以上※2	
学科科目	必修科目	▶028ページ参照		25単位	92単位
	選択科目	▶029～040ページ参照		67単位以上※3	
					合計124単位※4

※1 スクーリング単位とは、スクーリング（面接授業）の出席時間数に応じた単位です。▶014ページ参照
※2 学科科目で92単位を超えて修得した単位のうち、9単位まで含むことができます。
※3 教育学コースにおいては社会教育主事任用資格、図書館司書資格にかかわる資格科目の単位を28単位まで含むことができます。
※4 上記単位数は、卒業に必要な単位数であって、取得する教員免許状･資格によっては、修得単位数が124単位を超える場合があります。

▶ より具体的な年次修得科目･上限単位数の詳細については、次ページを参照してください。

年次別修得単位数の目安

<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th colspan="5">全学共通科目</th><th colspan="4">学科科目（必修科目）</th><th colspan="5">学科科目（選択科目）</th><th rowspan="2">年次履修上限単位数※1</th></tr>
<tr><th colspan="2">科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th><th>科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th><th colspan="2">科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th></tr>
<tr><td colspan="16">一括認定　25単位</td></tr>
<tr><td rowspan="8">2年</td><td rowspan="3">教育学コースのみ</td><td rowspan="3">全学共通科目から8単位以上選択 ▶028ページ参照</td><td rowspan="3">8</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>教育学入門</td><td>2</td><td></td><td>RT</td><td rowspan="3">教育学コースのみ</td><td rowspan="3">学科科目（選択科目）から28単位選択 ▶039ページ参照</td><td rowspan="3">28</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="8">~50単位</td></tr>
<tr><td>教育原理</td><td>2</td><td>(1)</td><td>RTorSR</td></tr>
<tr><td>教育の制度と経営</td><td>2</td><td></td><td>RT</td></tr>
<tr><td rowspan="5">教育学コース以外</td><td rowspan="5">–</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td>教職入門</td><td>2</td><td></td><td>RT</td><td rowspan="5">教育学コース以外</td><td>国語（書写を含む。）</td><td>2</td><td>(1)</td><td>RTorSR</td></tr>
<tr><td>教育学基礎演習1</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td><td>社会</td><td>2</td><td>(1)</td><td>RTorSR</td></tr>
<tr><td>教育学基礎演習2</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td><td>生活科</td><td>2</td><td></td><td>RT</td></tr>
<tr><td>教育心理学</td><td>2</td><td></td><td>RT</td><td rowspan="2">上記科目に加え学科科目（選択科目）から28~32単位選択 ▶029~038ページ参照</td><td rowspan="2">28~32</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td colspan="2" rowspan="2">–</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>教育実践ゼミ1</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td><td colspan="2" rowspan="2">学科科目（選択科目）から30~48単位選択 ▶029~040ページ参照</td><td rowspan="2">30~48</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">40~50単位</td></tr>
<tr><td>教育実践ゼミ2</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4年</td><td colspan="2" rowspan="3">–</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>教育実践ゼミ3</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td><td>教育学コースのみ</td><td>–</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">19~43単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">卒業研究または卒業指定科目から8単位選択 ※3</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>教育学コース以外</td><td>教職実践演習（教諭）</td><td>2</td><td>1</td><td>SR</td></tr>
<tr><td colspan="2">学科科目（選択科目）から4~26単位選択 ▶029~040ページ参照</td><td>4~10</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="16">合計　124~162単位（卒業までに必要な単位：124単位（一括認定単位含む））</td></tr>
</table>

※1 履修上限単位数は、コースによって異なります。詳細は入学後、『履修の手引』にてご案内します。
※2 **S単位**・・・スクーリング単位。卒業までに**23単位以上**修得していることが必要です。(　)はスクーリングを選択した場合の修得単位です。
※3 卒業研究または卒業指定科目から8単位修得することが必要です。

注意！

① 小学校・中学校の教員免許状を取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。
② 各種教員免許状を取得する場合は、3年次以降で「教育実習」「教育実習指導（特別支援学校の教員免許状の場合は「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」）」が必要です。
③ 教員免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、一括認定に関わらず別途「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「情報リテラシーa」「情報リテラ シーb」「外国語（英語）1A」「外国語（英語）1B」「法学2（日本国憲法）」の履修が必要になります。

2年次編入学の単位認定について

入学時の審査によって、正科生2年次編入学が認められた場合は、本学入学前に他大学・短期大学において修得された単位を「一括認定」で25単位認定します。
詳細は下表のとおりです。

<table>
<tr><td rowspan="2">全学共通科目</td><td>必修</td><td>「自立と体験1」・「健康・スポーツ科学論」・「健康・スポーツ演習1」・「情報リテラシーa」・「情報リテラシーb」・「外国語（英語）1A」・「外国語（英語）1B」・「法学1」・「法学2（日本国憲法）」</td><td>15単位</td></tr>
<tr><td>選択</td><td></td><td>8単位</td></tr>
<tr><td>学科科目</td><td>必修</td><td>「自立と体験2」</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計25単位</td></tr>
</table>

※ 教員免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、認定にかかわらず別途「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「情報リテラシーa」「情報リテラシーb」「外国語（英語）1A」「外国語（英語）1B」「法学2（日本国憲法）」の履修が必要になります。
※ 大学・短期大学で修得された教員免許状および資格にかかわる科目の単位認定は行いません。

開講科目

028~040ページを参照してください。

正科生3年次編入学

※ 通学課程と同様、卒業すると学士（教育学）の学位が取得できます。

入学資格・出願書類については 108ページを参照してください。

受講コース

目的により下記から受講するコースを決めてください。
受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。

小学校教員コース・教科専門コース・特別支援教員コースの希望者については094～102ページも参照してください。

小学校教員コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、幼稚園教諭1種・2種免許状※1、小学校教諭１種・2種免許状を取得できるコースです。

※ 小学校教諭１種免許状（以下「小１種免許状」という。）と幼稚園教諭１種免許状（以下「幼１種免許状」という。）の両方を取得しようとする場合、どちらかを主たる教員免許状として履修することになります。

※「小１種免許状」を主たる目的として入学した方が、次に「幼１種免許状」の科目を履修する場合には追加履修費がかかりませんが、「幼１種免許状」の取得を主たる目的として入学した方が「小１種免許状」も取得しようとした場合、取得カリキュラムの相違により入学後別途追加履修費が必要となります。027ページ参照

※ 小学校教諭の教員免許状を取得する場合は、希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

教科専門コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状を取得できるコースです。（ただし、教科は下記①～⑥いずれかに限る。）

① 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状（国語）
② 中学校教諭1種・2種（社会）、高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
③ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状（数学）
④ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状（理科）※1
⑤ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状（美術）※2
⑥ 中学校教諭1種・2種、高等学校教諭１種免許状（英語）

※ 希望により小学校教諭1種・2種免許状の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。027ページ参照

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 理科コースで実験科目の修得を必要とする場合は4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。008・009ページ参照

※2 美術コースは4月生のみの募集となります。

特別支援教員コース

■ 大学卒業資格（学士の学位）、特別支援学校教諭１種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得できるコースです。

※ 希望により小学校教諭１種・2種免許状の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要 027ページ参照 ）。

※ 基礎となる普通免許状（幼・小・中・高いずれかの教員免許状）を所持していない方は、特別支援学校教諭免許状取得条件を満たすと同時に小学校教諭免許状取得条件を満たさなければ特別支援学校教諭免許状取得ができません（入学後別途追加履修費が必要 027ページ参照 ）。

※ 特別支援教員コースにて特別支援教育実習を行う際は、教育実習校の確保について注意が必要です。098ページ参照

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

教育学コース

■ 教育学を中心に学び、大学卒業資格(学士の学位）を取得するコースです。本コースでは、教員免許状を取得することはできませんが、希望により社会教育主事任用資格、図書館司書資格を取得することが可能です。

卒業所要年数

２年
ただし、希望する教員免許状の組み合わせによって３年間必要となる場合があります。

在学可能年数

６年（休学期間を除く）

入学時納入金および学費

入学時納入金は出願時に、**169,000円を一括**で振り込んでください。
ただし教科専門（理科）コースで実験科目の単位修得を必要とする出願者は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。入学選考試験合格後に入学選考料を除く入学時納入金を改めて振り込んでいただきます。▶入学時納入金に関する注意事項、辞退については010ページを参照してください。

入学時納入金内訳

内　訳	金　額
入学選考料	10,000 円
入学金	45,000 円
授業料（年額）	108,000 円
補助教材費	6,000 円
合 計	**169,000 円**

教科専門（理科）コースで実験科目の単位修得を必要とする方	左記コース以外共通
入学選考料のみ **10,000円** 残額は選考結果により後日請求	**169,000円** 一括支払い

卒業するまでに必要な費用・期間の目安

卒業および教員免許状・資格取得までに必要な費用の目安は下表のとおりです。
※ 下表は1種免許状を取得する場合の費用・期間の目安です。卒業をするより先に2種免許状の取得も可能です。
▶2種免許状の取得の期間については095ページを参照してください。

受講コース	卒業所要年数※6	入学時納入金（1年目の学費含む）	2年目の学費	3年目の学費※5	教育実習指導費※1	介護等体験費	スクーリング受講費※2（必修科目のみ）	追加履修費※4	卒業審査料※3	卒業までの合計
小学校教員（小学校のみ）	2年	169,000円	114,000円	—	35,000円	10,000円	192,000円～	—	5,000円（～20,000円）	525,000円～
小学校教員（幼稚園のみ）	2年			—	35,000円	10,000円	204,000円～	—		537,000円～
小学校教員（小学校→幼稚園）	2年			—	35,000円	10,000円	198,000円～	—		531,000円～
小学校教員（幼稚園→小学校）	2年			—	35,000円	10,000円	204,000円～	52,000円		589,000円～
教科専門（国語）	2年			—	35,000円	10,000円	192,000円～	—		525,000円～
教科専門（国語）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	234,000円		854,000円～
教科専門（社会）	2年			—	35,000円	10,000円	192,000円～	—		525,000円～
教科専門（社会）中（社）・高（地歴）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	260,000円		880,000円～
教科専門（社会）中（社）・高（公民）+小学校				60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	195,000円		815,000円～
教科専門（社会）中（社）・高（地歴・公民）+小学校				60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	286,000円		906,000円～
教科専門（社会）高（地歴・公民）+小学校				60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	299,000円		919,000円～
教科専門（数学）	2年			—	35,000円	10,000円	240,000円～	—		573,000円～
教科専門（数学）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	240,000円～	221,000円		889,000円～
教科専門（理科）	2年			—	35,000円	10,000円	300,000円～	—		633,000円～
教科専門（理科）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	300,000円～	221,000円		949,000円～
教科専門（美術）	2年			—	35,000円	10,000円	1,396,000円～	—		1,729,000円～
教科専門（美術）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	1,396,000円～	221,000円		2,045,000円～
教科専門（英語）	2年			—	35,000円	10,000円	192,000円～	—		525,000円～
教科専門（英語）+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	221,000円		841,000円～
特別支援教員	2年			—	35,000円	—	192,000円～	—		515,000円～
特別支援教員+小学校	3年			60,000円	70,000円	10,000円	192,000円～	104,000円		724,000円～
教育学（学士のみ）・（社会教育主事任用資格）	2年			—	—	—	180,000円～	—		468,000円～
教育学（図書館司書資格）	2年			—	—	—	228,000円～	—		516,000円～
教育学（社会教育主事任用資格+図書館司書資格）	2年			—	—	—	228,000円～	13,000円		529,000円～

① 受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。
② 「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要な場合は、入学後別途追加履修費（1単位につき6,500円）が必要です（出願書類の「学力に関する証明書」にて確認します）。履修の要・不要につきましては、入学後、事務局入学担当より文書でご案内します。▶056ページ参照
③ 卒業または教員免許状・資格を最短年数で取得できない場合は3年目以降の学費（60,000円／年）が必要です。
④ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の入学金・学費等はその額を改定する場合があります。
※1 複数の教員免許状を取得する場合、教員免許状の校種によって、それぞれの教育実習指導費がかかる場合があります。
※2 スクーリング必修科目（卒業をするのに必要なスクーリング単位を含む）のみの目安金額です。スクーリングが選択できる科目（RTorSR）の受講科目数により、目安を上回る場合があります。
※3 卒業資格試験を選択する場合は5,000円（卒業審査料）、卒業研究を選択する場合は20,000円（卒業研究指導料＋卒業研究審査料）が必要です。
※4 3年目（小学校教員（幼稚園→小学校）は2年目）以降、履修上限単位数を超えて科目を履修する際にかかる費用です。再入学をしたほうが、学費が低額になる場合があります。▶027ページ参照
※5 複数の教員免許状を取得する場合、必要単位を修得するため3年かかる場合があります。再入学をしたほうが、学費が低額になる場合があります。▶027ページ参照
※6 教育実習を実施する地域によって、所要年数以内で教員免許状を取得できない場合があります。▶098ページ参照

正科生3年次編入学

卒業要件単位数について

下表の内容に基づき、124単位以上の修得が必要です（認定にかかわらず卒業にはスクーリング単位※1を15単位以上修得が必要）。

<table>
<tr><td rowspan="10">全学共通科目
▶028ページ参照</td><td rowspan="9">必修</td><td>自立と体験1</td><td>2単位</td><td rowspan="9">15単位</td><td rowspan="10">32単位</td></tr>
<tr><td>健康・スポーツ科学論</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>健康・スポーツ演習1</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>情報リテラシーa</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>情報リテラシーb</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>外国語（英語）1A</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>外国語（英語）1B</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>法学1</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>法学2（日本国憲法）</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>選択</td><td colspan="3">17単位以上※2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学科科目</td><td>必修科目</td><td colspan="3">▶028ページ参照　25単位</td><td rowspan="2">92単位</td></tr>
<tr><td>選択科目</td><td colspan="3">▶029～040ページ参照　67単位以上※3</td></tr>
<tr><td colspan="6">合計124単位※4</td></tr>
</table>

※1 スクーリング単位とは、スクーリング（面接授業）の出席時間数に応じた単位です。▶014ページ参照
※2 学科科目で92単位を超えて修得した単位のうち、9単位まで含むことができます。
※3 教育学コースにおいては社会教育主事任用資格、図書館司書資格にかかわる資格科目の単位を28単位まで含むことができます。
※4 上記単位数は、卒業に必要な単位数であって、取得する教員免許状・資格によっては、修得単位数が124単位を超える場合があります。

▶ **より具体的な年次修得科目・上限単位数の詳細については、下記を参照してください。**

年次別修得単位数の目安

<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th colspan="5">全学共通科目</th><th colspan="4">学科科目（必修科目）</th><th colspan="5">学科科目（選択科目）</th><th rowspan="2">年次履修上限単位数※1</th></tr>
<tr><th colspan="2">科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th><th>科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th><th colspan="2">科目名</th><th>単位</th><th>S単位※2</th><th>受講方法</th></tr>
<tr><td colspan="16">一括認定　50単位</td></tr>
<tr><td rowspan="9">3年</td><td rowspan="3">教育学コースのみ</td><td rowspan="3">全学共通科目から8単位以上選択 ▶028ページ参照</td><td rowspan="3">8</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>教育学入門</td><td>2</td><td></td><td>RT</td><td colspan="2" rowspan="9">学科科目（選択科目）から22～36単位選択 ▶029～040ページ参照</td><td rowspan="9">22～36</td><td rowspan="9"></td><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">44～50単位</td></tr>
<tr><td>教育原理</td><td>2</td><td>(1)</td><td>RTorSR</td></tr>
<tr><td>教育の制度と経営</td><td>2</td><td></td><td>RT</td></tr>
<tr><td rowspan="6">教育学コース以外</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td>教職入門</td><td>2</td><td></td><td>RT</td></tr>
<tr><td>教育学基礎演習1</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td></tr>
<tr><td>教育学基礎演習2</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td></tr>
<tr><td>教育心理学</td><td>2</td><td></td><td>RT</td></tr>
<tr><td>教育実践ゼミ1</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td></tr>
<tr><td>教育実践ゼミ2</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4年</td><td colspan="2" rowspan="3">－</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>教育実践ゼミ3</td><td>1</td><td>1</td><td>S</td><td>教育学コースのみ</td><td>－</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">35～43単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">卒業研究または卒業指定科目から8単位選択 ※3</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>教育学コース以外</td><td>教職実践演習（教諭）</td><td>2</td><td>1</td><td>SR</td></tr>
<tr><td colspan="2">学科科目（選択科目）から4～10単位選択 ▶029～040ページ参照</td><td>4～10</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="16">合計　125～145単位（卒業までに必要な単位：124単位（一括認定単位含む））</td></tr>
</table>

※1　履修上限単位数は、コースによって異なります。詳細は入学後、『履修の手引』にてご案内します。
※2　**S単位**・・・スクーリング単位。卒業までに**15単位以上**修得していることが必要です。（　）はスクーリングを選択した場合の修得単位です。
※3　卒業研究または卒業指定科目から8単位修得することが必要です。

注意！

① 小学校・中学校の教員免許状を取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。
② 各種教員免許状を取得する場合は、3年次以降で「教育実習」「教育実習指導（特別支援学校の教員免許状の場合は「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」）」が必要です。
③ 教員免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、一括認定に関わらず別途「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「情報リテラシーa」「情報リテラシーb」「外国語（英語）1A」「外国語（英語）1B」「法学2（日本国憲法）」の履修が必要になります（別途追加履修費がかかります）。

3年次編入学の単位認定・単位修得免除について

入学時の審査によって、正科生3年次編入学が認められた場合は、本学入学前に他大学・短期大学等において修得された単位を「一括認定」で50単位認定します。詳細および内訳は下表のとおりです。

<table>
<tr><td rowspan="2">全学共通科目</td><td>必修</td><td>「自立と体験１」・「健康・スポーツ科学論」・「健康・スポーツ演習１」・「情報リテラシーａ」・「情報リテラシーｂ」・「外国語（英語）１Ａ」・「外国語（英語）１Ｂ」・「法学1」・「法学２（日本国憲法）」</td><td>15単位</td></tr>
<tr><td>選択</td><td></td><td>8単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学科科目</td><td>必修</td><td>「自立と体験２」</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>※1</td><td>25単位</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計50単位</td></tr>
</table>

※ 教員免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、認定にかかわらず別途「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習１」「情報リテラシーａ」「情報リテラシーｂ」「外国語（英語）１Ａ」「外国語（英語）１Ｂ」「法学２（日本国憲法）」の履修が必要になります（別途履修費が必要）。
※ 社会教育主事任用資格、図書館司書資格の一部の単位を修得し、教育学コースへ入学を希望する場合は、出身の短期大学または大学へ単位修得証明書の発行依頼をし、本学へ証明書を提出してください。
※ 出身大学・短期大学より個別認定する科目の有無にかかわらず、卒業するためには本学で74単位以上の単位を修得する必要があります。
※ 本学が発行する「学力に関する証明書」には、本学にて修得した科目の単位のみを記載します。免許申請の際は、出身の短期大学または大学が発行する「学力に関する証明書」とあわせて居住する都道府県教育委員会へ提出してください。
※１ 短期大学または大学で修得された教員免許状にかかわる科目の単位認定または単位修得免除については、取得を希望している教員免許状と同一校種の課程認定がある場合（たとえば、小学校の教員免許状を取得希望で、出身の短期大学または大学に同免許状の取得が可能であった場合など）について、「学力に関する証明書」を基に、科目の免許法施行規則区分等の諸条件を確認のうえで検討します。課程認定の有無については、出身の短期大学または大学に問い合わせてください。該当者へは入学後、個別に通知します。入学許可後は単位修得免除の手続きができない場合がありますので、必ず出願時に取得希望校種の「学力に関する証明書」を提出してください。▶117ページ参照

開講科目

028～040ページを参照してください。

複数免許状・資格を希望する場合の履修費・最短所要年数について

下表の備考欄に★印がついている場合は、学籍を継続するより、卒業し正科・課程履修生へ再入学する方が学費が低額になります。
追加履修費・所要年数は下表のとおりです。

<table>
<tr><th>受講コース</th><th colspan="2">希望免許状・資格</th><th>最初に希望する免許状・資格</th><th>次に希望する免許状・資格</th><th>所要年数</th><th>必要単位合計※1</th><th>追加履修必要単位※1</th><th>追加履修費※2</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">小学校教員コース</td><td colspan="2" rowspan="2">小学校教諭1種+幼稚園教諭1種</td><td>小</td><td>幼</td><td>2</td><td>79</td><td>0</td><td>0円</td><td></td></tr>
<tr><td>幼</td><td>小</td><td>2</td><td>87</td><td>8</td><td>52,000円</td><td></td></tr>
<tr><td>教科専門(国語)コース</td><td colspan="2">中学校教諭･高等学校教諭1種(国語)+小学校教諭1種</td><td>中高(国)</td><td>小</td><td>3</td><td>115</td><td>36</td><td>234,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td rowspan="8">教科専門(社会)コース</td><td colspan="2">中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴･公民)</td><td>中(社)高(地歴･公民)</td><td></td><td>2</td><td>93</td><td>0</td><td>0円</td><td></td></tr>
<tr><td>中学校教諭1種(社会)</td><td rowspan="7">+小学校教諭1種</td><td>中(社)</td><td>小</td><td>3</td><td>113</td><td>20</td><td>130,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭1種(地歴)</td><td>高(地歴)</td><td>小</td><td>3</td><td>115</td><td>22</td><td>143,000円</td><td>★※5</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭1種(公民)</td><td>高(公民)</td><td>小</td><td>3</td><td>115</td><td>22</td><td>143,000円</td><td>★※5</td></tr>
<tr><td>中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴)</td><td>中(社)高(地歴)</td><td>小</td><td>3</td><td>133</td><td>40</td><td>260,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(公民)</td><td>中(社)高(公民)</td><td>小</td><td>3</td><td>123</td><td>30</td><td>195,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴･公民)</td><td>中(社)高(地歴･公民)</td><td>小</td><td>3</td><td>137</td><td>44</td><td>286,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭1種(地歴･公民)</td><td>高(地歴･公民)</td><td>小</td><td>3</td><td>139</td><td>46</td><td>299,000円</td><td>★※5</td></tr>
<tr><td>教科専門(数学)コース</td><td colspan="2">中学校教諭･高等学校教諭1種(数学)+小学校教諭1種</td><td>中高(数)</td><td>小</td><td>3</td><td>113</td><td>34</td><td>221,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>教科専門(理科)コース</td><td colspan="2">中学校教諭･高等学校教諭1種(理科)+小学校教諭1種</td><td>中高(理)</td><td>小</td><td>3</td><td>113</td><td>34</td><td>221,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>教科専門(美術)コース</td><td colspan="2">中学校教諭･高等学校教諭1種(美術)+小学校教諭1種</td><td>中高(美)</td><td>小</td><td>3</td><td>113</td><td>34</td><td>221,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>教科専門(英語)コース</td><td colspan="2">中学校教諭･高等学校教諭1種(英語)+小学校教諭1種</td><td>中高(英)</td><td>小</td><td>3</td><td>113</td><td>34</td><td>221,000円</td><td>★</td></tr>
<tr><td>特別支援教員コース</td><td colspan="2">特別支援学校教諭1種+小学校教諭1種</td><td>特別支援または小※3</td><td>小または特別支援</td><td>3</td><td>95</td><td>16</td><td>104,000円</td><td></td></tr>
<tr><td>教育学コース</td><td colspan="2">社会教育主事任用資格+図書館司書資格※4</td><td>社会教育主事</td><td>図書館司書</td><td>2</td><td>81</td><td>2</td><td>13,000円</td><td></td></tr>
</table>

※1 教育実習単位、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目は除く。
※2 追加履修費は、入学後履修上限単位数を超えて履修する際に振り込んでください。出願時の入学時納入金に加算する必要はありません。
※3 基礎となる普通免許状を所持していない場合は、小学校教諭免許状を先に取得する必要があります。
※4 最初に図書館司書資格、次に社会教育主事任用資格を希望した場合も所要年数、必要単位数、追加履修費は変わりません。
※5 再入学する場合、初めの教科専門コース在籍時に介護等体験を行うことが、3年間で高等学校教諭と小学校教諭の免許状を取得する条件となります。

教育学部開講科目一覧

※正科生2年次編入学者および正科生3年次編入学者は、履修配当学年が変動する科目があります。
※受講方法：R=レポート　T=試験　S=スクーリング ▶012ページ参照

全学共通科目

教育目標	心と体の健康管理の教育			現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本知識と技術の習得					
コア	人間を考える			言葉とコミュニケーション					
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	●健康・スポーツ科学論	2	RT	●外国語(英語)1A	1	SR	●情報リテラシーa	2	SR
	●健康・スポーツ演習1	1	S	●外国語(英語)1B	1	SR	●情報リテラシーb	2	SR
	倫理学1	2	RT	外国語(英語)2A	1	SR			
	倫理学2	2	RT	外国語(英語)2B	1	SR			
	宗教学1	2	RT	外国語(ドイツ語)1A	1	SR			
	宗教学2	2	RT	外国語(ドイツ語)1B	1	SR			
	心理学1	2	RTorSR	外国語(ドイツ語)2A	1	SR			
	心理学2	2	RTorSR	外国語(ドイツ語)2B	1	SR			
	教育学1	2	RT	外国語(中国語)1A	1	SR			
	教育学2	2	RT	外国語(中国語)1B	1	SR			
				外国語(中国語)2A	1	SR			
				外国語(中国語)2B	1	SR			

教育目標	幅広い教養を身につけた自立する市民の育成								
コア	歴史と文化を知り、創る			社会の営みを理解する			自然と科学を理解する		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	外国事情1	2	RT	●法学1	2	RTorSR	統計学1	2	RTorSR
	外国事情2	2	RT	●法学2(日本国憲法)	2	RTorSR	統計学2	2	RTorSR
	文化人類学1	2	RT	現代政治を読み解く1	2	RT	基礎数学1	2	RT
	文化人類学2	2	RT	現代政治を読み解く2	2	RT	基礎数学2	2	RT
	日本史1	2	RT	国際関係論1	2	RT	生物学1	2	SR
	日本史2	2	RT	国際関係論2	2	RT	生物学2	2	SR
	西洋の歴史と文化1	2	RT	生涯学習論1	2	RT			
	西洋の歴史と文化2	2	RT	生涯学習論2	2	RT			
				図書館の基礎と展望	2	RT			

コア	自立と体験		
年次	科目名	単位	受講方法
1	●自立と体験1※1	2	S

●印：必修科目

※1 「自立と体験1」は正科生1年次入学のみ履修が必要です。

※　科目の「1」「2」または「1A」「1B」と分割されている科目は、セットで履修が必要です。

学科科目(必修科目)

年次	科目名	単位	受講方法
1	自立と体験2※1	2	S
	教育学入門	2	RT
	教職入門	2	RT
	教育原理	2	RTorSR
	教育の制度と経営	2	RT
2	教育心理学	2	RT
	教育学基礎演習1	1	S
	教育学基礎演習2	1	S
3	教育実践ゼミ1	1	S
	教育実践ゼミ2	1	S
4	教育実践ゼミ3	1	S
	卒業研究※2	8	

※1 「自立と体験2」は正科生1年次入学のみ履修が必要です。
※2 学科科目(選択科目)から「卒業研究指定科目」の8単位修得でも可。

小学校教員コース　コース別学科科目（選択科目）

				小学校関連科目			幼稚園関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	教育の最新事情	2	S	◎ 国語（書写を含む。）				2	RTorSR
				△ 社会				2	RTorSR
				◎ 生活科				2	RT
2	☆教育哲学	2	RT	◎ 算数				2	RTorSR
	☆教育社会学	2	RT	△ 理科				2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○▽音楽				2	RTorSR
	☆環境教育論	2	RT	○ 音楽実技１				1	S
	☆健康と食育	2	RT	○ 音楽実技２				1	S
	臨床心理学	2	RTorSR	○▽図画工作				2	RTorSR
	人材教育論	2	RT	○▽体育				2	RTorSR
	企業内教育論	2	RT	△ 児童心理学				2	RTorSR
	障害者教育総論	2	RT	◎ 初等教育課程論				2	RT
	発達障害論	2	RT	◎ 初等教育方法学				2	RTorSR
	☆障害児教育概論1	2	RT	○ 家庭科	2	RT	▽保育内容A・健康	2	SR
	☆障害児教育概論2	2	RT	△ 初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR	▽保育内容E・表現1	2	SR
	音楽療法	1	S	△ 初等社会科教育法	2	RTorSR	▽保育内容F・表現2	2	SR
	表現療法	1	S	△ 初等算数科教育法	2	RTorSR			
	発達指導支援法1	1	S	△ 初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法2	1	S	△ 初等生活科教育法	2	RT			
	教育法規1	2	RTorSR						
	教育法規2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究1	2	S						
	外国語活動指導法研究2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政１				2	RTorSR
	情報教育1	2	RT	教育行財政２				2	RTorSR
	情報教育2	2	RT	◎ 初等教育相談の基礎と方法				2	RT
	授業研究1	2	RT	◎ 初等教育実習指導				1	SR
	授業研究2	2	RT	◎ 初等教育実習				4	
	初等国語指導法研究1	2	S	△ 初等音楽科教育法	2	RTorSR	▽保育学1	2	RTorSR
	初等国語指導法研究2	2	S	△ 初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▽保育学2	2	RTorSR
	初等社会指導法研究1	2	S	△ 初等家庭科教育法	2	RT	▽幼児理解の理論と方法	2	RT
	初等社会指導法研究2	2	S	△ 初等体育科教育法	2	RTorSR	▽保育内容総論	2	SR
	初等算数指導法研究1	2	S	△ 道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	▽保育内容B・人間関係	2	SR
	初等算数指導法研究2	2	S	△ 特別活動の指導法（小学校）	2	RT	▽保育内容C・環境	2	SR
	初等理科指導法研究1	2	S	△ 児童・進路指導論	2	RT	▽保育内容D・言葉	2	SR
	初等理科指導法研究2	2	S						
	初等音楽指導法研究1	2	S						
	初等音楽指導法研究2	2	S						
	初等図画工作指導法研究1	2	S						
	初等図画工作指導法研究2	2	S						
4	人材教育研究	2	SR	◎ 教職実践演習（教諭）				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：小学校教諭免許状取得のための選択必修科目（2 単位選択）
△印：小学校教諭免許状取得のための必修科目
▽印：幼稚園教諭免許状取得のための必修科目

教育学部開講科目一覧

教科専門(国語)コース　コース別学科科目(選択科目)

				小学校関連科目			中学校・高等学校(国語)関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語(書写を含む。)	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎国語学概論	2	RT
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎日本文法 1	2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎日本文法 2	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技 1	1	S	◎日本語表現法	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技 2	1	S	◎国文学	2	RT
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎国文学史	2	RT
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎日本文学概論	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎国語科教育法 1	2	RTorSR
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR			
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT			
	☆障害児教育概論 1	2	RT	◎初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規 1	2	RTorSR						
	◇教育法規 2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究 1	2	S						
	外国語活動指導法研究 2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政 1				2	RTorSR
	◇情報教育 1	2	RT	教育行財政 2				2	RTorSR
	◇情報教育 2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究 1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR
	◇授業研究 2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法(中高)	2	RT
	初等国語指導法研究 1	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
	初等国語指導法研究 2	2	S	◎道徳教育の指導法(小学校)	2	RTorSR	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法(小学校)	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎古典文学	2	RT
							◎近代文学	2	RT
							◎漢文学	2	RT
							△書道 1	2	RT
							書道 2	2	S
							◎国語科教育法 2	2	RTorSR
							◎国語科教育法 3	2	RTorSR
							◎国語科教育法 4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習(教諭)				2	SR

☆印:卒業研究指定科目
◎印:教員免許状取得のための必修科目
○印:教員免許状取得のための選択必修科目(2単位選択)
△印:中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印:中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印:「教科又は教職に関する科目」

教科専門（社会）コース　コース別学科科目（選択科目）

年次	科目名	単位	受講方法	小学校関連科目 科目名	単位	受講方法	中学校（社会）・高等学校（地理歴史・公民）関連科目 科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語（書写を含む。）	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆比較教育制度	2	RT	◎算数	2	RTorSR	☆教育哲学	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	◎理科	2	RT	☆教育社会学	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎日本史概説	2	RT
	臨床心理学	2	RTorSR	○音楽実技1	1	S	▽日本史各論1	2	RT
	人材教育論	2	RT	○音楽実技2	1	S	▽日本史各論2	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○図画工作	2	RTorSR	◎外国史概説	2	RT
	障害者教育総論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎地理学入門（地誌を含む。）	2	RT
	発達障害論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎法律学概論1（国際法を含む。）	2	RT
	☆障害児教育概論1	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR	◎法律学概論2（国際法を含む。）	2	RT
	☆障害児教育概論2	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT	◎社会学概論	2	RT
	音楽療法	1	S	◎初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR	◎経済学概論1（国際経済を含む。）	2	RT
	表現療法	1	S	◎初等社会科教育法	2	RTorSR	◎経済学概論2（国際経済を含む。）	2	RT
	発達指導支援法1	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR	▽倫理学概論	2	RT
	発達指導支援法2	1	S	◎初等理科教育法	2	RT	▽宗教学概論	2	RT
	◇教育法規1	2	RTorSR	◎初等生活科教育法	2	RT	◎社会・地理歴史科教育法1	2	RTorSR
	◇教育法規2	2	RTorSR	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	外国語活動指導法研究1	2	S						
	外国語活動指導法研究2	2	S						
3	◇情報教育1	2	RT	教育行財政1				2	RTorSR
	◇情報教育2	2	RT	教育行財政2				2	RTorSR
	◇授業研究1	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	教育の歴史と思想	2	RT
	◇授業研究2	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	初等社会指導法研究1	2	S	◎初等家庭科教育法	2	RT	▲道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR
	初等社会指導法研究2	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎特別活動の指導法（中高）	2	RT
				◎道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
				◎特別活動の指導法（小学校）	2	RT	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育実習指導	1	SR	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習	4		△中等教育実習B	2	
							▽外国史各論1（東洋史）	2	RT
							▽外国史各論2（西洋史）	2	RT
							▽人文地理学	2	RT
							▽自然地理学	2	RT
							▽地誌学概説	2	RT
							◎哲学概論	2	RT
							◎政治学概論1（国際政治を含む。）	2	RT
							◎政治学概論2（国際政治を含む。）	2	RT
							心理学概論	2	RT
							◎社会・地理歴史科教育法2	2	RTorSR
							◎社会・公民科教育法1	2	RTorSR
							◎社会・公民科教育法2	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習（教諭）				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目（2単位選択）
△印：中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印：中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
▽印：高等学校教諭免許状取得のための必修科目
◇印：「教科又は教職に関する科目」

教育学部開講科目一覧

教科専門(数学)コース　コース別学科科目(選択科目)

年次	科目名	単位	受講方法	小学校関連科目 科目名	単位	受講方法	中学校・高等学校(数学)関連科目 科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語(書写を含む。)	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎代数学 1	2	RT
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎代数学 2	2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎幾何学 1	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技 1	1	S	◎幾何学 2	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技 2	1	S	◎解析学 1	2	RT
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎解析学 2	2	RT
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎コンピュータ演習 1	1	S
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎コンピュータ演習 2	1	S
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR	◎数学科教育法 1	2	RTorSR
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT			
	☆障害児教育概論 1	2	RT	◎初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規 1	2	RTorSR						
	◇教育法規 2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究 1	2	S						
	外国語活動指導法研究 2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政 1				2	RTorSR
	◇情報教育 1	2	RT	教育行財政 2				2	RTorSR
	◇情報教育 2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究 1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR
	◇授業研究 2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法(中高)	2	RT
	初等算数指導法研究 1	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
	初等算数指導法研究 2	2	S	◎道徳教育の指導法(小学校)	2	RTorSR	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法(小学校)	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎確率論	2	RT
							◎統計学	2	RT
							◎コンピュータ演習 3	1	S
							◎コンピュータ演習 4	1	S
							◎数学科教育法 2	2	RTorSR
							◎数学科教育法 3	2	RTorSR
							◎数学科教育法 4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習(教諭)				2	SR

☆印:卒業研究指定科目
◎印:教員免許状取得のための必修科目
○印:教員免許状取得のための選択必修科目(2単位選択)
△印:中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印:中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印:「教科又は教職に関する科目」

教科専門（理科）コース　コース別学科科目（選択科目）

年次	科目名	単位	受講方法	小学校関連科目 科目名	単位	受講方法	中学校・高等学校（理科）関連科目 科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語（書写を含む。）	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎物理学概論 1	2	RT
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎物理学概論 2	2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎生物学概論 1	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技 1	1	S	◎生物学概論 2	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技 2	1	S	◎生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1	S
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎地学概論 1	2	RT
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎地学概論 2	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1	S
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR	◎理科教育法 1	2	RTorSR
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT			
	☆障害児教育概論 1	2	RT	◎初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規 1	2	RTorSR						
	◇教育法規 2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究 1	2	S						
	外国語活動指導法研究 2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政 1				2	RTorSR
	◇情報教育 1	2	RT	教育行財政 2				2	RTorSR
	◇情報教育 2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究 1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR
	◇授業研究 2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法（中高）	2	RT
	初等理科指導法研究 1	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
	初等理科指導法研究 2	2	S	◎道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法（小学校）	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1	S
							◎化学概論 1	2	RT
							◎化学概論 2	2	RT
							◎化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1	S
							◎理科教育法 2	2	RTorSR
							◎理科教育法 3	2	RTorSR
							◎理科教育法 4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習（教諭）				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目（2単位選択）
△印：中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印：中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印：「教科又は教職に関する科目」

教育学部開講科目一覧

教科専門(音楽)コース　コース別学科科目(選択科目)

				小学校関連科目			中学校・高等学校(音楽)関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語(書写を含む。)	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎ソルフェージュ1	1	S
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎ソルフェージュ2	1	S
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎声楽・歌唱1	1	S
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技1	1	S	◎声楽・歌唱2	1	S
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技2	1	S	◎器楽1	1	S
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎器楽2	1	S
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎指揮法	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎音楽理論1	2	RT
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR	◎音楽理論2(楽典)	2	RT
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT	◎作曲・編曲法1(基礎)	2	RT
	☆障害児教育概論1	2	RT	◎初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR	◎音楽科教育法1	2	RTorSR
	☆障害児教育概論2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規1	2	RTorSR						
	◇教育法規2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究1	2	S						
	外国語活動指導法研究2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政1				2	RTorSR
	◇情報教育1	2	RT	教育行財政2				2	RTorSR
	◇情報教育2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR
	◇授業研究2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法(中高)	2	RT
	初等音楽指導法研究1	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
	初等音楽指導法研究2	2	S	◎道徳教育の指導法(小学校)	2	RTorSR	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法(小学校)	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎声楽・歌唱3	1	S
							◎器楽3	1	S
							◎器楽4(和楽器)	1	S
							◎音楽理論3(音楽史)	2	RT
							◎作曲・編曲法2(応用)	1	S
							◎音楽科教育法2	2	RTorSR
							◎音楽科教育法3	2	RTorSR
							◎音楽科教育法4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習(教諭)				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目(2単位選択)
△印：中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印：中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印：「教科又は教職に関する科目」

教科専門(美術)コース　コース別学科科目(選択科目)

				小学校関連科目			中学校·高等学校(美術)関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語(書写を含む。)	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎デッサン1	1	S
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎デッサン2	1	S
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎絵画1	1	S
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技1	1	S	◎絵画2	1	S
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技2	1	S	◎彫塑1	1	S
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎彫塑2	1	S
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎教職美術入門(鑑賞)	2	S
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎美術理論1	2	RT
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR	美術理論2	2	RT
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT	◎美術史概論	2	RT
	☆障害児教育概論1	2	RT	◎初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR	◎日本·東洋美術史	2	RT
	☆障害児教育概論2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR	◎美術科教育法1	2	RTorSR
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規1	2	RTorSR						
	◇教育法規2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究1	2	S						
	外国語活動指導法研究2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政1				2	RTorSR
	◇情報教育1	2	RT	教育行財政2				2	RTorSR
	◇情報教育2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR
	◇授業研究2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法(中高)	2	RT
	初等図画工作指導法研究1	2	S	◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
	初等図画工作指導法研究2	2	S	◎道徳教育の指導法(小学校)	2	RTorSR	◎生徒·進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法(小学校)	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童·進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎映像メディア表現1	1	S
							映像メディア表現2	1	S
							◎デザインA	1	S
							◎デザインB	1	S
							◎平面構成基礎	1	S
							◎立体構成基礎	1	S
							◎映像メディア表現3	1	S
							映像メディア表現4	1	S
							△工芸基礎A	1	S
							△工芸基礎B	1	S
							工芸A	1	S
							工芸B	1	S
							◎美術科教育法2	2	RTorSR
							◎美術科教育法3	2	RTorSR
							◎美術科教育法4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習(教諭)				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目(2単位選択)
△印：中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印：中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印：「教科又は教職に関する科目」

教育学部開講科目一覧

教科専門(英語)コース　コース別学科科目(選択科目)

				小学校関連科目			中学校・高等学校(英語)関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	◇教育の最新事情	2	S	◎国語(書写を含む。)	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎英語学概論	2	RT
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	◎英文法	2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎英米文学 1	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技 1	1	S	◎英米文学 2	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技 2	1	S	◎英語コミュニケーション 1	2	S
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎英語コミュニケーション 2	2	S
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎異文化理解 1	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR	◎英語科教育法 1	2	RTorSR
	障害者教育総論	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR			
	発達障害論	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT			
	☆障害児教育概論 1	2	RT	◎初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 2	2	RT	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	音楽療法	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 1	1	S	◎初等生活科教育法	2	RT			
	発達指導支援法 2	1	S	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	◇教育法規 1	2	RTorSR						
	◇教育法規 2	2	RTorSR						
	外国語活動指導法研究 1	2	S						
	外国語活動指導法研究 2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政 1				2	RTorSR
	◇情報教育 1	2	RT	教育行財政 2				2	RTorSR
	◇情報教育 2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎中等教育課程論	2	RTorSR
	◇授業研究 1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	▲道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR
	◇授業研究 2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎特別活動の指導法(中高)	2	RT
				◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎中等教育方法学	2	RT
				◎道徳教育の指導法(小学校)	2	RTorSR	◎生徒・進路指導論	2	RTorSR
				◎特別活動の指導法(小学校)	2	RT	◎中等教育相談の基礎と方法	2	RT
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎中等教育実習指導	1	SR
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎中等教育実習A	2	
				◎初等教育実習指導	1	SR	△中等教育実習B	2	
				◎初等教育実習	4		◎英語コミュニケーション 3	2	S
							◎英語コミュニケーション 4	2	S
							◎異文化理解 2	2	RT
							◎英語科教育法 2	2	RTorSR
							◎英語科教育法 3	2	RTorSR
							◎英語科教育法 4	2	RTorSR
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習(教諭)				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目(2単位選択)
△印：中学校教諭免許状取得のための必修科目
▲印：中学校教諭免許状取得のための必修科目および高等学校教諭免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」
◇印：「教科又は教職に関する科目」

特別支援教員コース　コース別学科科目（選択科目）

				小学校関連科目			特別支援学校関連科目		
年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	教育の最新事情	2	S	◎国語（書写を含む。）	2	RTorSR			
				◎社会	2	RTorSR			
				◎生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	◎算数	2	RTorSR	◎障害者教育総論	2	RT
	☆教育社会学	2	RT	◎理科	2	RT	発達障害論	2	RT
	☆比較教育制度	2	RT	○音楽	2	RTorSR	◎知的障害者の心理	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	○音楽実技 1	1	S	◎知的障害者の生理・病理	2	RT
	☆健康と食育	2	RT	○音楽実技 2	1	S	◎肢体不自由者の心理・生理・病理	2	RT
	臨床心理学	2	RTorSR	○図画工作	2	RTorSR	◎病弱者の心理・生理・病理	2	RT
	人材教育論	2	RT	○家庭科	2	RT	◎特別支援学校教育課程論	2	RT
	企業内教育論	2	RT	○体育	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 1	2	RT	◎児童心理学	2	RTorSR			
	☆障害児教育概論 2	2	RT	◎初等教育課程論	2	RT			
	音楽療法	1	S	◎初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR			
	表現療法	1	S	◎初等社会科教育法	2	RTorSR			
	発達指導支援法 1	1	S	◎初等算数科教育法	2	RTorSR			
	発達指導支援法 2	1	S	◎初等理科教育法	2	RT			
	教育法規 1	2	RTorSR	◎初等生活科教育法	2	RT			
	教育法規 2	2	RTorSR	◎初等教育方法学	2	RTorSR			
	外国語活動指導法研究 1	2	S						
	外国語活動指導法研究 2	2	S						
3	教育の歴史と思想	2	RT	教育行財政 1	2	RTorSR	◎知的障害者の指導法 1	2	SR
	情報教育 1	2	RT	教育行財政 2	2	RTorSR	知的障害者の指導法 2	2	SR
	情報教育 2	2	RT	◎初等音楽科教育法	2	RTorSR	◎肢体不自由者の指導法	2	SR
	授業研究 1	2	RT	◎初等図画工作科教育法	2	RTorSR	◎病弱者の指導法	2	SR
	授業研究 2	2	RT	◎初等家庭科教育法	2	RT	◎視覚障害者の心理・生理・病理	1	RT
				◎初等体育科教育法	2	RTorSR	◎聴覚障害者の心理・生理・病理	1	RT
				◎道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	◎重複障害・LD等の心理・生理・病理	2	RT
				◎特別活動の指導法（小学校）	2	RT	◎特別支援教育実習※1	3	
				◎児童・進路指導論	2	RT	◎視覚障害者の指導法	1	RT
				◎初等教育相談の基礎と方法	2	RT	◎聴覚障害者の指導法	1	RT
				◎初等教育実習指導	1	SR	◎重複障害・LD等教育の理論と実際	2	RT
				◎初等教育実習	4				
4	人材教育研究	2	SR	◎教職実践演習（教諭）	2	SR			

☆印：卒業研究指定科目
◎印：教員免許状取得のための必修科目
○印：教員免許状取得のための選択必修科目（2 単位選択）
※1 「特別支援教育実習」を行う際は、教育実習校の確保について、注意が必要です。▶098ページ参照

教育学部開講科目一覧

子ども臨床コース　コース別学科科目（選択科目）

年次	科目名	単位	受講方法	幼稚園関連科目			保育士関連科目		
				科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	教育の最新事情	2	S	○ 国語（書写を含む。）	2	RTorSR	△社会福祉論	2	RT
				社会	2	RTorSR	△子ども福祉論	2	RT
				○ 生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	△ 音楽実技１				1	S
	☆教育社会学	2	RT	△ 音楽実技２				1	S
	☆比較教育制度	2	RT	▲ 児童心理学				2	RTorSR
	☆環境教育論	2	RT	○▲初等教育方法学				2	RTorSR
	☆健康と食育	2	RT	○△保育内容Ａ・健康				2	SR
	人材教育論	2	RT	○△保育内容Ｅ・表現１				2	SR
	企業内教育論	2	RT	○△保育内容Ｆ・表現２				2	SR
	障害者教育総論	2	RT	▲ 幼児の音楽				2	SR
	発達障害論	2	RT	△ 幼児の造形				2	SR
	☆障害児教育概論１	2	RT	○ 算数	2	RTorSR	▲臨床心理学	2	RTorSR
	☆障害児教育概論２	2	RT	理科	2	RT	△相談援助	2	SR
	音楽療法	1	S	○ 音楽	2	RTorSR	△社会的養護	2	RT
	表現療法	1	S	○ 図画工作	2	RTorSR	△保育者論	2	RT
	発達指導支援法１	1	S	○ 体育	2	RTorSR	▲幼児教育思想史	2	RT
	発達指導支援法２	1	S	○ 初等教育課程論	2	RT	△発達心理学	2	RTorSR
	教育法規１	2	RTorSR	子どもと文化	2	SR	△子どもの保健１	2	RT
	教育法規２	2	RTorSR	子どもと環境	2	SR	△子どもの保健2	2	RT
	外国語活動指導法研究１	2	S	子どもと遊び	2	SR	△子どもの保健（演習）	1	SR
	外国語活動指導法研究２	2	S				△乳児保育１	1	SR
							△乳児保育２	1	SR
							△社会的養護内容	2	SR
							△保育実習指導１	2	SR
							△保育実習１	4	
3	教育の歴史と思想	2	RT	○△保育学１				2	RTorSR
	情報教育１	2	RT	○△保育学２				2	RTorSR
	情報教育２	2	RT	○▲初等教育相談の基礎と方法				2	RT
	授業研究１	2	RT	○▲幼児理解の理論と方法				2	RT
	授業研究２	2	RT	○△保育内容総論				2	SR
	子どもと表現	2	SR	○△保育内容Ｂ・人間関係				2	SR
				○△保育内容Ｃ・環境				2	SR
				○△保育内容Ｄ・言葉				2	SR
				△ 幼児の体育				2	SR
				教育行財政１	2	RTorSR	△保育課程論	2	RT
				教育行財政２	2	RTorSR	▲学童保育論	2	RT
				○ 初等教育実習指導	1	SR	△子どもの食と栄養	2	SR
				○ 初等教育実習	4		▲子どものメンタルヘルス	2	RT
							△子育て支援論	2	RT
							▲保育者・教師のメンタルヘルス	2	RT
							△子どもの発達臨床	2	SR
							▲家庭教育論	2	RT
							△障害児保育	2	SR
							▲乳児保育実践論	2	RT
							△保育相談支援	2	SR
							▲養護方法論	2	RT
							保育実習指導２ ※1	1	SR
							保育実習２ ※1	2	
							保育実習指導３ ※2	1	SR
							保育実習３ ※2	2	
4	人材教育研究	2	SR	○△教職実践演習（教諭）				2	SR

☆印：卒業研究指定科目
○印：幼稚園教諭免許状取得のための必修科目
△印：保育士資格取得のための必修科目
▲印：保育士資格取得のための選択必修科目 ▶104ページ参照
保育士資格取得のために※1 または※2 のいずれか３単位選択

教育学コース　コース別学科科目（選択科目）

年次	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法	科目名	単位	受講方法
1	教育の最新事情	2	S	社会	2	RTorSR			
	国語（書写を含む。）	2	RTorSR	生活科	2	RT			
2	☆教育哲学	2	RT	音楽療法	1	S	音楽実技2	1	S
	☆教育社会学	2	RT	表現療法	1	S	図画工作	2	RTorSR
	☆比較教育制度	2	RT	発達指導支援法1	1	S	家庭科	2	RT
	☆環境教育論	2	RT	発達指導支援法2	1	S	体育	2	RTorSR
	☆健康と食育	2	RT	教育法規1	2	RTorSR	児童心理学	2	RTorSR
	臨床心理学	2	RTorSR	教育法規2	2	RTorSR	初等教育課程論	2	RT
	人材教育論	2	RT	外国語活動指導法研究1	2	S	初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR
	企業内教育論	2	RT	外国語活動指導法研究2	2	S	初等社会科教育法	2	RTorSR
	障害者教育総論	2	RT	算数	2	RTorSR	初等算数科教育法	2	RTorSR
	発達障害論	2	RT	理科	2	RT	初等理科教育法	2	RT
	☆障害児教育概論1	2	RT	音楽	2	RTorSR	初等生活科教育法	2	RT
	☆障害児教育概論2	2	RT	音楽実技1	1	S	初等教育方法学	2	RTorSR
3	教育の歴史と思想	2	RT	授業研究2	2	RT	初等体育科教育法	2	RTorSR
	教育行財政1	2	RTorSR	保育学1	2	RTorSR	道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR
	教育行財政2	2	RTorSR	保育学2	2	RTorSR	特別活動の指導法（小学校）	2	RT
	情報教育1	2	RT	初等音楽科教育法	2	RTorSR	児童・進路指導論	2	RT
	情報教育2	2	RT	初等図画工作科教育法	2	RTorSR	初等教育相談の基礎と方法	2	RT
	授業研究1	2	RT	初等家庭科教育法	2	RT	幼児理解の理論と方法	2	RT
4	人材教育研究	2	SR						

☆印：卒業研究指定科目
※ 上記科目のほか、社会教育主事任用資格および図書館司書資格関連科目を履修することができます。040ページ参照

資格開講科目一覧

社会教育主事任用資格

年次	科目名	単位	受講方法	必要単位数
3	○生涯学習論1	2	RT	24単位
	○生涯学習論2	2	RT	
	○社会教育計画1	2	RT	
	○社会教育計画2	2	RT	
	○社会教育課題研究1	2	SR	
	○社会教育課題研究2	2	SR	
	○現代社会論特講(現代社会と社会教育1)	2	RT	
	○現代社会論特講(現代社会と社会教育2)	2	RT	
	△教育行財政1	2	RTorSR	
	△教育行財政2	2	RTorSR	
	△図書館の基礎と展望	2	RT	
	△職業指導Ⅰ	2	RT	
	△職業指導Ⅱ	2	RT	
	◇教育原理	2	RTorSR	
	◇教育の制度と経営	2	RT	
	◇国際関係論1	2	RT	
	◇国際関係論2	2	RT	

受講上の注意!

「社会教育課題研究1」「社会教育課題研究2」はSR科目ですので、スクーリングの受講が必要です。開講時期は夏期スクーリングのみとなります。正科生3年次編入学（短期大学卒、資格のみ希望）の入学者は、入学年度の夏期スクーリングにて受講できない場合は、1年間での資格取得はできません。

○印：資格取得のための必修科目
△印·◇印からそれぞれ 4 単位ずつ選択

図書館司書資格

年次		科目名	単位	受講方法	必要単位数
3	甲群	○生涯学習論1	2	RT	26単位
		○図書館制度·経営論	2	RT	
		○図書館の基礎と展望	2	RT	
		○図書館情報技術論	2	RT	
		○図書館サービス概論	2	RT	
		○情報サービス論	2	RT	
		○情報サービス演習1	1	S	
		○情報サービス演習2	1	S	
		○図書館情報資源概論	2	RT	
		○情報資源組織論	2	RT	
		○情報資源組織演習1	1	S	
		○情報資源組織演習2	1	S	
		○児童サービス論	2	RT	
	乙群	△図書·図書館史	2	RT	
		△図書館施設論	2	RT	
		△図書館実習	1	※1	

受講上の注意!

·「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は、コンピュータを扱う授業となりますのでスクーリング受講時までにキーボード操作に慣れていることが必要です。
·文部科学省委嘱による図書館司書講習にて修得した単位は一切使えません。本学通信教育部にてすべての単位を修得してください。

○印：資格取得のための必修科目
△印：選択必修科目（2 科目選択）
※1：図書館での勤務経験がある場合のみ選択可（勤務経験を考慮する場合は出願前に相談してください。）

学校図書館司書教諭資格

年次	科目名	単位	受講方法	必要単位数
3	○学校経営と学校図書館	2	RT	10単位
	○学習指導と学校図書館	2	RT	
	○読書と豊かな人間性	2	RT	
	○学校図書館の情報アプローチⅠ	2	SR	
	○学校図書館の情報アプローチⅡ	2	SR	

受講上の注意!

「学校図書館の情報アプローチⅠ」「学校図書館の情報アプローチⅡ」は、セットで履修が必要です。

○印：資格取得のための必修科目

入学コース

正科·課程履修生

入学資格·出願書類については 109ページを参照してください。

正科·課程履修生について

本学通信教育部で教員免許状（幼稚園·小学校·中学校·高等学校·特別支援学校）、資格（社会教育主事任用資格、図書館司書資格）のみを取得するための入学コースです。
通学課程の大学では、４年間で「卒業要件単位」（卒業に必要な単位）と「教職課程」、「資格課程」（教員免許状や資格に必要な単位）を並行して履修し、卒業と同時に教員免許状やその他の資格が取得できるようにカリキュラムが組まれていることが一般的ですが、本学通信教育部における正科·課程履修生とはその「教職課程」、「資格課程」だけを抽出し、１～２年でそれぞれの教員免許状·資格が取得できるようにカリキュラム化したコースでの学習を意味します。
４年制大学の既卒者（教員免許状やその他の資格を取得するうえで必要な基礎資格を満たしている方）を対象としますので、本学通信教育部において「卒業要件単位」の修得は必要ありません。目的とする教員免許状·資格に対して具体的に修得が必要な科目·単位の一覧は046～057ページを参照してください。

受講コース

目的により下記から受講するコースを決めてください。受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。

小学校教員コース・教科専門コース・特別支援教員コースの希望者については094～102ページも参照してください。

小学校教員コース

- ◎幼稚園教諭１種·2種免許状※1（希望により小学校教諭１種·2種免許状の取得も可能です。）
- ◎小学校教諭１種·2種免許状（希望により幼稚園教諭１種·2種免許状の取得も可能です。）

※ 小学校教諭免許状（以下「小免許状」という。）と幼稚園教諭免許状（以下「幼免許状」という。）の両方を取得しようとする場合、どちらかを主たる教員免許状として履修していただくことになります。

※「小１種免許状」を主たる目的として入学した方が、次に「幼１種免許状」の科目を履修する場合には追加履修費がかかりませんが、「幼１種免許状」の取得を主たる目的として入学した方が「小１種免許状」の科目を履修しようとした場合、取得カリキュラムの相違により入学後別途追加履修費が必要となります。

146～148ページ Q&A 55参照

※ 小学校教諭の教員免許状を取得する場合は、希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※１ 改正認定こども園法の特例により幼稚園教諭または保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

教科専門コース

教科は下記①～⑥のいずれかに限る。

① 中学校教諭１種·2種、高等学校教諭１種免許状（国語）
② 中学校教諭１種·2種（社会）、高等学校教諭１種免許状（地理歴史·公民）
③ 中学校教諭１種·2種、高等学校教諭１種免許状（数学）
④ 中学校教諭１種·2種、高等学校教諭１種免許状（理科）※1
⑤ 中学校教諭１種·2種、高等学校教諭１種免許状（美術）※2
⑥ 中学校教諭１種·2種、高等学校教諭１種免許状（英語）

※ 教科専門コースで小学校教諭１種·2種免許状の取得はできません。小·中·高の教員免許状のすべてを取得する場合は、小学校教員コースに再入学する必要があります（例：教科専門（国語）コースで中学校教諭１種·高等学校教諭１種免許状を取得後、小学校教員コースに再入学し小学校教諭１種免許状を取得）。

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

※1 理科コースで実験科目の修得を必要とする場合は４月生のみの募集となり、入学選考試験があります。

008・009ページ参照

※2 美術コースは4月生のみの募集となります。

特別支援教員コース

- ◎特別支援学校教諭１種·２種免許状（知的障害者·肢体不自由者·病弱者）
- ◎小学校教諭１種·2種免許状

※ 基礎となる普通免許状（幼·小·中·高いずれかの教員免許状）を所持していない方は、特別支援学校教諭１種·２種免許状取得条件を満たす前、もしくは同時に小学校教諭免許状取得条件を満たさなければ特別支援学校教諭１種·２種免許状取得ができません（入学後別途追加履修費が必要 146～148ページ Q&A 55参照）。

※ 特別支援教員コースにて特別支援教育実習を行う際は、教育実習校の確保について注意が必要です。

098ページ参照

※ 本学のカリキュラム上、特別支援学校教諭１種·２種免許状で必要単位数は同じです。055ページ参照

※ 希望により学校図書館司書教諭資格の取得も可能です（入学後別途追加履修費が必要）。

教育学コース

- ◎社会教育主事任用資格
- ◎図書館司書資格

既に教員免許状を所持しており学校図書館司書教諭資格のみ取得希望の方は、科目等履修生として入学してください。

在学可能年数

6年間（休学期間を除く）

入学時納入金および学費

入学時納入金は出願時に、**169,000円を一括**で振り込んでください。
ただし教科専門（理科）コースで実験科目の単位修得を必要とする出願者は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。入学選考試験合格後に入学選考料を除く入学納入金を改めて振り込んでいただきます。▶入学時納入金に関する注意事項、辞退については010ページを参照してください。

入学時納入金内訳

内　訳	金　額
入学選考料	10,000 円
入学金	45,000 円
授業料（年額）	108,000 円
補助教材費	6,000 円
合 計	**169,000 円**

教科専門（理科）コースで実験科目の単位修得を必要とする方

入学選考料のみ
10,000円
残額は選考結果により後日請求

左記対象者以外共通

169,000円
一括支払い

教員免許状・資格取得までに必要な費用・期間の目安

教員免許状・資格取得までに必要な費用・期間の目安は下表のとおりです。

※ 下表は1種免許状を取得する場合の費用・期間の目安です。▶2種免許状の取得の期間については095ページを参照してください。

受講コース	取得所要年数※5	入学時納入金（1年目の学費含む）	2年目の学費	教育実習指導費	介護等体験費	スクーリング受講費※3（必修科目のみ）	免許・資格取得までの合計
小学校教員（幼稚園のみ）	2年	169,000円	114,000円	35,000円	—	88,000円〜	406,000円〜
小学校教員（小学校のみ）	2年				10,000円	20,000円〜	348,000円〜
教科専門（国語）（社会）	2年				10,000円	20,000円〜	348,000円〜
教科専門（数学）	2年				10,000円	100,000円〜	428,000円〜
教科専門（理科）	2年				10,000円	160,000円〜	488,000円〜
教科専門（美術）	2年				10,000円	1,296,000円〜	1,624,000円〜
教科専門（英語）	2年				10,000円	84,000円〜	412,000円〜
特別支援教員（特別支援学校のみ）	1年		—		—	24,000円〜	228,000円〜
特別支援教員（特別支援学校+小学校）	2年		114,000円	70,000円※2	10,000円	44,000円〜	485,000円〜※4
教育学（社会教育主事任用資格）※1	1年		—	—	—	16,000円〜	185,000円〜
教育学（図書館司書資格）※1	1年		—	—	—	80,000円	249,000円

① 受講コースは1つのコースのみ選択が可能です。
② 「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要な場合は、入学後別途追加履修費（1単位につき6,500円）が必要です（出願書類の「学力に関する証明書」にて確認します）。履修の要・不要につきましては、入学後、事務局入学担当より文書でご案内します。▶056ページ参照
③ コースによっては2年目以降に別途追加履修費がかかる場合があります。▶146〜148ページ Q&A55 参照
④ 教育学コース・特別支援教員コース（特別支援学校教諭免許状のみ取得希望）において、1年で教員免許状・資格を取得できない場合は、2年目の学費（114,000円）が必要です。
⑤ 教員免許状・資格を最短年数で取得できない場合は3年目以降の学費（60,000円／年）が必要です。
⑥ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の入学金・学費等はその額を改定する場合があります。
※1 両資格を取得する場合の所要年数は2年です。
※2 特別支援教育実習指導費（35,000円）および初等教育実習指導費（35,000円）です。
※3 スクーリング必修科目のみの目安金額です。スクーリングが選択できる科目（RTorSR）の受講科目数により、目安を上回る場合があります。
※4 2年目に発生する追加履修費（78,000円）を含んでいます。▶146〜148ページ Q&A 55参照
※5 教育実習を実施する地域によって、所要年数以内で教員免許状を取得できない場合があります。▶098ページ参照

正科·課程履修生

正科·課程履修生の単位修得免除について

教育学コース（社会教育主事任用資格·図書館司書資格）

他大学等で資格に関する科目を一部修得済みである場合は、科目の内容や属性等の諸条件を確認のうえで、本学で単位修得免除になる場合があります。該当者へは入学後、個別に通知します。

小学校教員コース、教科専門コース、特別支援教員コース

出身大学で修得された教員免許状にかかわる科目の修得免除については、取得を希望している教員免許状と同一校種の課程認定がある場合（たとえば、小学校教員免許状を取得希望で、出身大学の学科にて同免許状の取得が可能であった場合など）について、「学力に関する証明書」を基に、科目の免許法区分等の諸条件を確認のうえで審査します。該当者へは入学時に、個別に通知します。出願時に取得希望校種の「学力に関する証明書」を提出してください。課程認定の有無については、出身大学に問い合わせてください。

117ページ参照

※ 出身大学の単位を本学の単位として認定しているわけではありません。
※ 本学が発行する「学力に関する証明書」には、本学にて修得した科目の単位のみを記載します。修得免除科目がある場合は、教員免許状申請の際に、出身の短期大学または大学が発行する「学力に関する証明書」とあわせて居住する都道府県教育委員会へ提出してください。

単位修得免除の扱いについて

出願時に提出された「学力に関する証明書」に基づき、出身大学における教職課程にかかわる修得科目の確認を行った結果、本学の教育課程のうち一部の科目が、修得免除となる可能性があります。これは本学通信教育部で取得希望する校種が、在籍していた出身大学に同一校種の課程認定を有していることが前提条件となります。

教科に関する科目／教職に関する科目

例1　本学で中学校（数学）の教員免許状を希望し、出身大学で中学校（数学）免許状の一部の単位を修得している場合
「学力に関する証明書　中学校（数学）」を提出してください。本学の規定に基づき、「教科に関する科目」「教職に関する科目」ともに修得免除を検討します。

例2　本学で高等学校（英語）の教員免許状を希望し、出身大学で中学校·高等学校（国語）免許状の一部の単位を修得している場合
「学力に関する証明書　高等学校（国語）」を提出してください。本学の規定に基づき、「教職に関する科目」のみ修得免除を検討します。

例3　本学で中学校（社会）·高等学校（地理歴史）·高等学校（公民）の教員免許状を希望し、出身大学で高等学校（地理歴史）免許状の一部の単位を修得している場合
「学力に関する証明書　高等学校（地理歴史）」を提出してください。「教科に関する科目」「教職に関する科目」について、単位修得免除とはいたしません。「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目のみ修得免除となります。中学校の課程認定がない場合、その旨を任意形式の用紙に記入し、出願書類に同封してください。この場合、本学のカリキュラムどおりにすべての単位を修得する必要があります。

例4　本学で小学校、幼稚園の教員免許状を希望し、出身大学で小学校の教員免許状の一部の単位を修得している場合
「学力に関する証明書　小学校」「学力に関する証明書　幼稚園」を提出してください。ただし、幼稚園の課程認定がない場合、その旨を任意形式の用紙に記入し、出願書類に同封してください。本学の規定に基づき、小学校の教員免許状に関する科目のみ修得免除を検討します。

例5　本学で小学校の教員免許状を希望し、出身大学で中学校·高等学校（体育）の教員免許状を取得し、かつ出身大学に小学校の課程認定があり、一部の単位を修得している場合
「学力に関する証明書　小学校」「学力に関する証明書　中学校（体育）」「学力に関する証明書　高等学校（体育）」を提出してください。小学校の「学力に関する証明書」にて本学の規定に基づき、小学校の教員免許状に関する科目の修得免除を検討します。中学校·高等学校の「学力に関する証明書」は「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目と当該教員免許状所持者の場合、本学での「教職実践演習」の履修は必要ないことを確認します。

教科又は教職に関する科目

本学の規定に基づき、修得免除とはいたしません。

入学前の教員免許状取得希望者の単位修得免除の確認について

入学前に修得免除の確認を希望する場合は、任意の用紙に以下の項目を記入のうえ、事務局入学担当へ送付してください。

送付先は157ページ参照

記入項目

① 氏名
② 住所
③ 電話番号（携帯電話番号）
④ 本学通信教育部で取得を希望する教員免許状
⑤ 既に所持している教員免許状（所持していない場合は、「教員免許状なし」と記入してください。）
⑥ 教員としての実務経験年数と校種（ない場合は、「勤務年数なし」と記入してください。）
⑦ 具体的に確認したい内容

同封書類

❶「学力に関する証明書」のコピー。前ページ参照
　※ 提出された書類は返却いたしません。本学で保管します。
　※ 単位修得免除の確認・質問事項の回答に2週間程度要する場合がありますので、ご了承ください。
　※ 質問は随時、受付しておりますが、出願時期が遅れる場合もありますので、ご注意ください。
❷ 返信用封筒（長形3号120mm×235mm。住所・氏名を明記、92円切手貼付）

正科･課程履修生開講科目一覧

小学校教員コース（幼稚園教諭）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分等				本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状 幼1種	幼2種	スクーリング費用
教科に関する科目		国語		国語(書写を含む。)	2	RTorSR	2	4単位選択	(¥8,000)
		算数		算数	2	RTorSR	2		(¥8,000)
		生活		生活科	2	RT	2		
		音楽		音楽	2	RTorSR	2		(¥8,000)
				音楽実技1	1	S			¥20,000
				音楽実技2	1	S			¥20,000
		図画工作		図画工作	2	RTorSR	2		(¥8,000)
		体育		体育	2	RTorSR	2		(¥8,000)
		これらの科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目 その他これら科目に準ずる内容の科目		社会	2	RTorSR			(¥8,000)
				理科	2	RT			
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	(¥8,000)
			·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	
				児童心理学	2	RTorSR			(¥8,000)
				保育学1	2	RTorSR	2		(¥8,000)
				保育学2	2	RTorSR	2		(¥8,000)
			·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	
				教育行財政1	2	RTorSR			(¥8,000)
				教育行財政2	2	RTorSR			(¥8,000)
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	初等教育課程論	2	RT	2	2	
			·保育内容の指導法	保育内容総論	2	SR	2		¥8,000
				保育内容A·健康	2	SR	2	2	¥10,000
				保育内容B·人間関係	2	SR	2	2	¥10,000
				保育内容C·環境	2	SR	2	2	¥10,000
				保育内容D·言葉	2	SR	2	2	¥10,000
				保育内容E·表現1	2	SR	2	2	¥10,000
				保育内容F·表現2	2	SR	2	2	¥10,000
			·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教育方法学	2	RTorSR	2	2	(¥8,000)
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	2	RT	2	2	
			·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	初等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	
	第5欄	教育実習		初等教育実習指導	1	SR	1	1	＊1
				初等教育実習	4		4	4	
	第6欄	教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	¥20,000
						総計単位数	53	39	

※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※「教職実践演習（教諭）」は、4年次（2年目）以降に履修可能となります。要・不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
＊1「初等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費（35,000円）に含まれています。

小学校教員コース（小学校教諭）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分等				本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状 小1種	取得可能な免許状 小2種	スクーリング費用
教科に関する科目	国語（書写を含む。）			国語（書写を含む。）	2	RTorSR	2	4単位選択	（¥8,000）
	社会			社会	2	RTorSR	2		（¥8,000）
	算数			算数	2	RTorSR	2		（¥8,000）
	理科			理科	2	RT	2		
	生活			生活科	2	RT	2		
	音楽			音楽	2	RTorSR	2単位選択		（¥8,000）
				音楽実技1	1	S			¥20,000
				音楽実技2	1	S			¥20,000
	図画工作			図画工作	2	RTorSR			（¥8,000）
	家庭			家庭科	2	RT			
	体育			体育	2	RTorSR			（¥8,000）
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	･教職の意義及び教員の役割 ･教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ･進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	･教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
			･幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2		
				児童心理学	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
			･教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	
				教育行財政1	2	RTorSR			（¥8,000）
				教育行財政2	2	RTorSR			（¥8,000）
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	･教育課程の意義及び編成の方法	初等教育課程論	2	RT	2	2	
			･各教科の指導法	初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
				初等社会科教育法	2	RTorSR	2	4単位選択	（¥8,000）
				初等算数科教育法	2	RTorSR	2		（¥8,000）
				初等理科教育法	2	RT	2		
				初等生活科教育法	2	RT	2		
				初等家庭科教育法	2	RT	2		
				初等音楽科教育法	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
				初等図画工作科教育法	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
				初等体育科教育法	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
			･道徳の指導法	道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
			･特別活動の指導法	特別活動の指導法（小学校）	2	RT	2	2	
			･教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教育方法学	2	RTorSR	2	2	（¥8,000）
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	･生徒指導の理論及び方法 ･進路指導の理論及び方法	児童･進路指導論	2	RT	2	2	
			･教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	初等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	
	第5欄	教育実習		初等教育実習指導	1	SR	1	1	＊1
				初等教育実習	4		4	4	
	第6欄	教職実践演習		教職実践演習（教諭）	2	SR	2	2	¥20,000
				総計単位数			**59**	**43**	

※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※ 小学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。▶101・102ページ参照
※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※「教職実践演習（教諭）」は、4年次（2年目）以降に履修可能となります。要･不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
※ 幼稚園教諭免許状の追加を希望する場合、小学校教諭免許状の選択科目は「家庭科」以外を履修してください。
＊1「初等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費（35,000円）に含まれています。

正科·課程履修生開講科目一覧

幼稚園教諭１種免許状の履修者が小学校教諭１種免許状を追加する場合

小学校教諭1種免許状を追加する場合、幼稚園教諭1種免許状の取得を前提に、下表の科目12科目24単位を追加履修することで小学校教諭1種免許状の取得が可能です。また、「介護等体験」が必要になります。

▶スクーリング費用については、047ページの小学校教員コース（小学校教諭）カリキュラムを参照してください。

科目名	受講方法	単位数
社会	RTorSR	2★
理科	RT	2★
児童心理学	RTorSR	2★
初等国語科教育法（書写を含む。）	RTorSR	2
初等社会科教育法	RTorSR	2
初等算数科教育法	RTorSR	2
初等理科教育法	RT	2
初等家庭科教育法	RT	2
初等音楽科教育法	RTorSR	2
初等図画工作科教育法	RTorSR	2
初等体育科教育法	RTorSR	2
道徳教育の指導法（小学校）	RTorSR	2
特別活動の指導法（小学校）	RT	2
児童·進路指導論	RT	2
	合　計	24単位

※ ★印から1科目2単位分選択

小学校教諭１種免許状の履修者が幼稚園教諭１種免許状を追加する場合

幼稚園教諭1種免許状を追加する場合、小学校教諭1種免許状の取得を前提に、下表の科目5科目10単位を追加履修することで幼稚園教諭1種免許状の取得が可能です。また、前ページに掲げる小学校教諭1種免許状の「教科に関する科目」の選択科目は、「家庭科」以外を選択してください。

▶スクーリング費用については、046ページの小学校教員コース（幼稚園教諭）カリキュラムを参照してください。

科目名	受講方法	単位数
保育内容総論	SR	2★
保育内容Ａ・健康	SR	2★
保育内容Ｂ・人間関係	SR	2★
保育内容Ｃ・環境	SR	2★
保育内容Ｄ・言葉	SR	2★
保育内容Ｅ・表現1	SR	2★
保育内容Ｆ・表現2	SR	2★
幼児理解の理論と方法	RT	2
	合　計	10単位

※★印から4科目8単位分選択

教科専門（国語）コース

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

区分	免許法施行規則に定める科目区分等				本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状				スクーリング費用
	中学校		高等学校					中1種	中2種	高1種	中1種高1種	
教科に関する科目	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）				●国語学概論	2	RT	2	2	2	2	
					日本文法1	2	RT	2		2	2	
					日本文法2	2	RT	2		2	2	
					日本語表現法	2	RT	2		2	2	
	国文学（国文学史を含む。）				●国文学	2	RT	2	2	2	2	
					●国文学史	2	RT	2	2	2	2	
					日本文学概論	2	RT	2		2	2	
					古典文学	2	RT	2		2	2	
					近代文学	2	RT	2		2	2	
	漢文学				●漢文学	2	RT	2	2	2	2	
	書道（書写を中心とする。）		—		●書道1	2	RT	2	2		2	
					書道2	2	S	2▽				¥16,000
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等		教職入門	2	RT	2	2	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理学	2	RT	2	2	2	2	
			・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	
					教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
					教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法		中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			・各教科の指導法		国語科教育法1	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
					国語科教育法2	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
					国語科教育法3	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
					国語科教育法4	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			・道徳の指導法		道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR	2	2	2☆	2	(¥8,000)
			・特別活動の指導法		特別活動の指導法（中高）	2	RT	2	2	2	2	
			・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	
	第5欄	教育実習			中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	＊1
					中等教育実習A	2		2	2	2	2	
					中等教育実習B	2		2	2	2☆	2	
	第6欄	教職実践演習			教職実践演習（教諭）	2	SR	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目					教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2★	¥16,000
					教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
					教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
					情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2★	
					情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2★	
					授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2★	
					授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2★	
							総計単位数	**59**	**39**	**59**	**61**	

●印：「一般的包括的内容を含む科目」　▽印：2単位選択　☆印：8単位選択　★印：4単位選択

※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。056ページ参照

※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。101・102ページ参照

※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。

※「教職実践演習（教諭）」は、4年次（2年目）以降に履修可能となります。要・不要については入学許可時、個別に案内します。096ページ参照

＊1「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費（35,000円）に含まれています。

教科専門(社会)コース 中学校教諭(社会)・高等学校教諭(地理歴史・公民)

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

区分	免許法施行規則に定める科目区分等 中学校(社会)	高等学校(地理歴史・公民)	本学開講授業科目名	単位	受講方法	中1種	中2種	高1種(地理歴史)	高1種(公民)	中1種(社)+高1種(地歴)	中1種(社)+高1種(公民)	中1種(社)+高1種(地・公)	高1種(地歴)+高1種(公民)	スクーリング費用
教科に関する科目	日本史及び外国史	日本史	●◇日本史概説	2	RT	2	2	2		2	2	2	2	
			日本史各論1	2	RT	2▽		2		2		2	2	
			日本史各論2	2	RT	2▽		2		2		2	2	
		外国史	●◇外国史概説	2	RT	2	2	2		2	2	2	2	
			外国史各論1(東洋史)	2	RT	2▽		2		2		2	2	
			外国史各論2(西洋史)	2	RT	2▽		2		2		2	2	
			教育の歴史と思想	2	RT	2▽		2☆		2★				
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学	◇人文地理学	2	RT	2▽		2		2		2	2	
			◇自然地理学	2	RT	2▽		2		2		2	2	
		地誌	●地理学入門(地誌を含む。)	2	RT	2	2	2		2	2	2	2	
			◇地誌学概説	2	RT	2▽		2		2		2	2	
	「法律学、政治学」	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	●◆法律学概論1(国際法を含む。)	2	RT	2	2△		2	2	2	2	2	
			法律学概論2(国際法を含む。)	2	RT	2			2	2	2	2	2	
			●◆政治学概論1(国際政治を含む。)	2	RT	2	2△		2	2	2	2	2	
			政治学概論2(国際政治を含む。)	2	RT	2			2	2	2	2	2	
	「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	●◆社会学概論	2	RT	2	2▲		2	2	2	2	2	
			教育社会学	2	RT	2▽			2☆		2★			
			●◆経済学概論1(国際経済を含む。)	2	RT	2	2▲		2	2	2	2	2	
			経済学概論2(国際経済を含む。)	2	RT	2			2	2	2	2	2	
	「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	●◆哲学概論	2	RT	2	2		2	2	2	2	2	
			教育哲学	2	RT	2▽			2☆		2★			
			倫理学概論	2	RT	2▽			2		2	2	2	
			宗教学概論	2	RT	2▽			2		2	2	2	
			心理学概論	2	RT				2☆		2★			
教職に関する科目	第2欄 教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
	第3欄 教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	2	2	2	2	(¥8,000)
		·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
		·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
			教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	(¥8,000)
			教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	(¥8,000)
	第4欄 教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	2	2	2	2	(¥8,000)
		·各教科の指導法	社会·地理歴史科教育法1	2	RTorSR	2	2	2		2	2	2	2	(¥8,000)
			社会·地理歴史科教育法2	2	RTorSR	2		2		2	2	2	2	(¥8,000)
			社会·公民科教育法1	2	RTorSR	2			2	2	2	2	2	(¥8,000)
			社会·公民科教育法2	2	RTorSR	2			2	2	2	2	2	(¥8,000)
		·道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	2	2	2☆	2☆	2	2	2	2☆	(¥8,000)
		·特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
		·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
	第4欄 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法	生徒·進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	2	2	2	2	(¥8,000)
		·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	2	2	2	2	
	第5欄 教育実習		中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	1	1	1	1	*1
			中等教育実習A	2		2	2	2	2	2	2	2	2	
			中等教育実習B	2		2	2	2☆	2☆	2	2	2	2☆	
	第6欄 教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	2	2	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目			教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	¥16,000
			教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	(¥8,000)
			教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	(¥8,000)
			情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	
			情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	
			授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	
			授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2☆	2★	2★	2★	2☆	
			総計単位数			**59**	**41**	**59**	**59**	**79**	**69**	**83**	**83**	

注釈は次ページ参照▶

教科専門(数学)コース

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

区分	欄	科目	事項	本学開講授業科目名	単位	受講方法	中1種	中2種	高1種	中1種 高1種	スクーリング費用
教科に関する科目		代数学		●代数学1	2	RT	2	2	2	2	
				代数学2	2	RT	2	2▲	2	2	
		幾何学		●幾何学1	2	RT	2	2	2	2	
				幾何学2	2	RT	2	2▲	2	2	
		解析学		●解析学1	2	RT	2	2	2	2	
				解析学2	2	RT	2	2▲	2	2	
		「確率論、統計学」		●確率論	2	RT	2	2	2	2	
				統計学	2	RT	2	2▲	2	2	
		コンピュータ		●コンピュータ演習1	1	S	1	1	1	1	¥20,000
				コンピュータ演習2	1	S	1	1▲	1	1	¥20,000
				コンピュータ演習3	1	S	1		1	1	¥20,000
				コンピュータ演習4	1	S	1		1	1	¥20,000
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	2	2	
			·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	
				教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·各教科の指導法	数学科教育法1	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
				数学科教育法2	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				数学科教育法3	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				数学科教育法4	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			·道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	2	2	2☆	2	(¥8,000)
			·特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2	RT	2	2	2	2	
			·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法	生徒·進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	
	第5欄	教育実習		中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	＊1
				中等教育実習A	2		2	2	2	2	
				中等教育実習B	2		2	2	2☆	2	
	第6欄	教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目				教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2★	¥16,000
				教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2★	
				総計単位数			**59**	**39~40**	**59**	**59**	

●印:「一般的包括的内容を含む科目」
▽印:4単位選択　▲印:1科目選択　☆印:8単位選択　★印:4単位選択
※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。▶101·102ページ参照
※ 「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※ 「教職実践演習(教諭)」は、4年次(2年目)以降に履修可能となります。要·不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
＊1 「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費(35,000円)に含まれています。

◀左ページ表について
●印:「一般的包括的内容を含む科目」(中学校社会)　◇印:「一般的包括的内容を含む科目」(高等学校地理歴史)
◆印:「一般的包括的内容を含む科目」(高等学校公民)　△印·▲印:それぞれ2単位ずつ選択　▽印:2単位選択　☆印:12単位選択　★印:8単位選択
※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。▶101·102ページ参照
※ 「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※ 「教職実践演習(教諭)」は、4年次(2年目)以降に履修可能となります。要·不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
＊1 「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費(35,000円)に含まれています。

正科·課程履修生開講科目一覧

教科専門(理科)コース

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

区分	免許法施行規則に定める科目区分等			本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状				スクーリング費用
	欄	中学校 / 科目区分	高等学校 / 事項				中1種	中2種	高1種	中1種 高1種	
教科に関する科目		物理学		●物理学概論1	2	RT	2	2	2	2	
				物理学概論2	2	RT	2		2	2	
		化学		●化学概論1	2	RT	2	2	2	2	
				化学概論2	2	RT	2		2	2	
		生物学		●生物学概論1	2	RT	2	2	2	2	
				生物学概論2	2	RT	2		2	2	
		地学		●地学概論1	2	RT	2	2	2	2	
				地学概論2	2	RT	2		2	2	
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、	●物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	S	1	1	1	1	¥35,000
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験(コンピュータ活用を含む。)、	●化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	S	1	1	1	1	¥35,000
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、	●生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	S	1	1	1	1	¥35,000
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	●地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	S	1	1	1	1	¥35,000
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	2	2	
			·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	
				教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·各教科の指導法	理科教育法1	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
				理科教育法2	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				理科教育法3	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				理科教育法4	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			·道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	2	2	2☆	2	(¥8,000)
			·特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2	RT	2	2	2	2	
			·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法	生徒·進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	
	第5欄	教育実習		中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	＊1
				中等教育実習A	2		2	2	2	2	
				中等教育実習B	2		2	2	2☆	2	
	第6欄	教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目				教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2★	¥16,000
				教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2★	
						総計単位数	**59**	**41**	**59**	**59**	

●印:「一般的包括的内容を含む科目」
▽印:4単位選択　☆印:8単位選択　★印:4単位選択
※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。▶101·102ページ参照
※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※「教職実践演習(教諭)」は、4年次(2年目)以降に履修可能となります。要·不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
＊1 「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費(35,000円)に含まれています。

▶右ページ表について
●印:「一般的包括的内容を含む科目」(中学校美術)　◇印:「一般的包括的内容を含む科目」(高等学校美術)
▽印:2単位選択　☆印:8単位選択　★印:4単位選択
※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。▶056ページ参照
※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。▶101·102ページ参照
※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※「教職実践演習(教諭)」は、4年次(2年目)以降に履修可能となります。要·不要については入学許可時、個別に案内します。▶096ページ参照
＊1 「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費(35,000円)に含まれています。

教科専門(美術)コース

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等		本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状				スクーリング費用
	中学校	高等学校				中1種	中2種	高1種	中1種 高1種	
教科に関する科目	絵画(映像メディア表現を含む。)		デッサン1	1	S	1		1	1	90,000
			デッサン2	1	S	1		1	1	90,000
			●◇絵画1	1	S	1	1	1	1	90,000
			絵画2	1	S	1		1	1	90,000
			●◇映像メディア表現1	1	S	1	1	1	1	90,000
			映像メディア表現2	1	S	1▽		1☆	1★	90,000
	彫刻		●◇彫塑1	1	S	1	1	1	1	90,000
			彫塑2	1	S	1		1	1	90,000
	デザイン(映像メディア表現を含む。)		●◇デザインA	1	S	1	1	1	1	90,000
			デザインB	1	S	1		1	1	90,000
			平面構成基礎	1	S	1		1	1	90,000
			立体構成基礎	1	S	1		1	1	90,000
			●◇映像メディア表現3	1	S	1	1	1	1	90,000
			映像メディア表現4	1	S	1▽		1☆	1★	90,000
	工芸	—	●工芸基礎A	1	S	1	1		1	90,000
			工芸基礎B	1	S	1			1	90,000
			工芸A	1	S	1▽				90,000
			工芸B	1	S	1▽				90,000
	美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)		●◇教職美術入門(鑑賞)	2	S	2	2	2	2	16,000
			●◇美術理論1	2	RT	2	2	2	2	
			美術理論2	2	RT	2▽		2☆	2★	
			●◇美術史概論	2	RT	2	2	2	2	
			●◇日本·東洋美術史	2	RT	2	2	2	2	
教職に関する科目	第2欄 教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	2	2	
	第3欄 教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
		·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	2	2	
		·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	
			教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
			教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
	第4欄 教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
		·各教科の指導法	美術科教育法1	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			美術科教育法2	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			美術科教育法3	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			美術科教育法4	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
		·道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	2	2	2☆	2	(¥8,000)
		·特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2	RT	2	2	2	2	
		·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	
	第4欄 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法	生徒·進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
		·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	
	第5欄 教育実習		中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	*1
			中等教育実習A	2		2	2	2	2	
			中等教育実習B	2		2	2	2☆	2	
	第6欄 教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目			教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2★	¥16,000
			教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
			教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
			情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2★	
			情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2★	
			授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2★	
			授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2★	
			総計単位数			**59**	**43**	**59**	**61**	

◀注釈は前ページ参照

正科・課程履修生開講科目一覧

教科専門(英語)コース

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等			本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な免許状				スクーリング費用
							中1種	中2種	高1種	中1種 高1種	
教科に関する科目		英語学		●英語学概論	2	RT	2	2	2	2	
				英文法	2	RT	2		2	2	
		英米文学		●英米文学1	2	RT	2	2	2	2	
				●英米文学2	2	RT	2	2	2	2	
		英語コミュニケーション		●英語コミュニケーション1	2	S	2	2	2	2	¥16,000
				英語コミュニケーション2	2	S	2		2	2	¥16,000
				英語コミュニケーション3	2	S	2		2	2	¥16,000
				英語コミュニケーション4	2	S	2		2	2	¥16,000
		異文化理解		●異文化理解1	2	RT	2	2	2	2	
				異文化理解2	2	RT	2		2	2	
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ·進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	RT	2	2	2	2	
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	RT	2	2	2	2	
			·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と経営	2	RT	2	2	2	2	
				教育行財政1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育行財政2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法	中等教育課程論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·各教科の指導法	英語科教育法1	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
				英語科教育法2	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				英語科教育法3	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
				英語科教育法4	2	RTorSR	2		2	2	(¥8,000)
			·道徳の指導法	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	2	2	2☆	2	(¥8,000)
			·特別活動の指導法	特別活動の指導法(中高)	2	RT	2	2	2	2	
			·教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等教育方法学	2	RT	2	2	2	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	RTorSR	2	2	2	2	(¥8,000)
			·教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	2	2	2	2	
	第5欄	教育実習		中等教育実習指導	1	SR	1	1	1	1	*1
				中等教育実習A	2		2	2	2	2	
				中等教育実習B	2		2	2	2☆	2	
	第6欄	教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2	SR	2	2	2	2	¥20,000
教科又は教職に関する科目				教育の最新事情	2	S	2▽		2☆	2★	¥16,000
				教育法規1	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				教育法規2	2	RTorSR	2▽		2☆	2★	(¥8,000)
				情報教育1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				情報教育2	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究1	2	RT	2▽		2☆	2★	
				授業研究2	2	RT	2▽		2☆	2★	
					総計単位数		**59**	**39**	**59**	**59**	

●印:「一般的包括的内容を含む科目」
▽印:4単位選択　☆印:8単位選択　★印:4単位選択
※ 入学時に指示のあった方は、別途「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の履修が必要になります。056ページ参照
※ 中学校教諭免許状取得希望者で入学時に指示のあった方は、介護等体験が必要です。101・102ページ参照
※ 「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※ 「教職実践演習(教諭)」は、4年次(2年目)以降に履修可能となります。要・不要については入学許可時、個別に案内します。096ページ参照
*1 「中等教育実習指導」のスクーリング費用は、教育実習指導費(35,000円)に含まれています。

特別支援教員コース（1種免許状）

（¥）：「知的障害者の指導法2」を履修する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分等			本学開講授業科目名	単位	受講方法	中心となる領域	含む領域	取得可能な免許状 特別支援学校	スクーリング費用
第1欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目		障害者教育総論	2	RT			2	
第2欄	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	発達障害論	2	RT	知的障害者			
			知的障害者の心理	2	RT	知的障害者		2	
			知的障害者の生理・病理	2	RT	知的障害者	視覚障害者 聴覚障害者	2	
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2	RT	肢体不自由者		2	
			病弱者の心理・生理・病理	2	RT	病弱者		2	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	特別支援学校教育課程論	2	RT	知的障害者	肢体不自由者 病弱者	2	
			知的障害者の指導法1	2	SR	知的障害者		2	¥8,000
			知的障害者の指導法2	2	SR	知的障害者			(¥8,000)
			肢体不自由者の指導法	2	SR	肢体不自由者		2	¥8,000
			病弱者の指導法	2	SR	病弱者		2	¥8,000
第3欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚障害者の心理・生理・病理	1	RT	視覚障害者		1	
			聴覚障害者の心理・生理・病理	1	RT	聴覚障害者		1	
			重複障害・LD等の心理・生理・病理	2	RT	重複・LD等		2	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害者の指導法	1	RT	視覚障害者		1	
			聴覚障害者の指導法	1	RT	聴覚障害者		1	
			重複障害・LD等教育の理論と実際	2	RT	重複・LD等		2	
第4欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		特別支援教育実習※1	3				3	
							総計単位数	29	

※「取得可能な免許状」欄が空欄の科目は、当該教員免許状の取得にあたっての必修科目ではありません。
※ 本学において特別支援学校教諭免許状を取得するために必要な科目および単位数は、1種・2種ともに同じです。
※ 上記カリキュラムに加え、「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」の出席が必要です。
※ 小学校教諭免許状の取得も希望する場合は047ページのカリキュラム表を確認のうえ、必要な単位を修得してください。
※1「特別支援教育実習」を行う際は、教育実習校の確保について、注意が必要です。▶098ページ参照

正科･課程履修生開講科目一覧

「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分	法定必要単位数	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用	備考
日本国憲法	2	法学2（日本国憲法）	2	RTorSR	（¥8,000）	
体育	2	健康･スポーツ科学論	2	RT		2単位の修得が必要
		健康･スポーツ演習1	1	S	¥20,000	
外国語コミュニケーション	2	外国語（英語）1A	1	SR	¥10,000	同一言語で2単位の修得が必要
		外国語（英語）1B	1	SR	¥10,000	
		外国語（ドイツ語）1A	1	SR	¥10,000	
		外国語（ドイツ語）1B	1	SR	¥10,000	
		外国語（中国語）1A	1	SR	¥10,000	
		外国語（中国語）1B	1	SR	¥10,000	
情報機器の操作	2	情報リテラシーa	2	SR	¥10,000	2単位の修得が必要
		情報リテラシーb	2	SR	¥10,000	

「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目として必要な「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」を各2単位以上修得していない場合は、本学通信教育部で当該単位を履修登録する必要があります（1単位につき6,500円の追加履修費がかかります）。履修の必要な科目については、出願時に提出された「学力に関する証明書」をもとに入学時にご案内します。履修手続きの方法についても入学時に案内しますので、入学後に履修手続きを行ってください。

学校図書館司書教諭カリキュラム

▶▶ 学校図書館司書教諭資格

「学校図書館司書教諭講習規定」に定める科目	本学開講授業科目名	単位	受講方法	必修／選択	スクーリング費用
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	RT	○	
学校図書館メディアの構成	学校図書館の情報アプローチI※1	2	SR	○	¥10,000
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	RT	○	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	RT	○	
情報メディアの活用	学校図書館の情報アプローチII※1	2	SR	○	¥10,000
			必要単位数	**10**	

○印：必修科目

※ 学校図書館司書教諭を履修希望の場合は、入学後に履修登録手続きを行ってください（1単位につき6,500円の追加履修費がかかります）。

※ 学校図書館司書教諭資格のみの取得希望者は、科目等履修生として出願してください。

※1 「学校図書館の情報アプローチI」「学校図書館の情報アプローチII」は、セットでの履修が必要です。

教育学コース

▶▶ 社会教育主事任用資格

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

「社会教育主事講習等規則」に定める科目	本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な資格 社会教育主事任用資格	スクーリング費用
生涯学習概論	生涯学習論1	2	RT	○	
	生涯学習論2	2	RT	○	
社会教育計画	社会教育計画1	2	RT	○	
	社会教育計画2	2	RT	○	
社会教育演習	社会教育課題研究1	2	SR	○	¥8,000
社会教育実習 社会教育課題研究	社会教育課題研究2	2	SR	○	¥8,000
社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）	現代社会論特講（現代社会と社会教育1）	2	RT	○	
	現代社会論特講（現代社会と社会教育2）	2	RT	○	
社会教育特講Ⅱ （社会教育活動・事業・施設）	教育行財政1	2	RTorSR	△	（¥8,000）
	教育行財政2	2	RTorSR	△	（¥8,000）
	図書館の基礎と展望	2	RT	△	
	職業指導Ⅰ	2	RT	△	
	職業指導Ⅱ	2	RT	△	
社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）	教育原理	2	RTorSR	◇	（¥8,000）
	教育の制度と経営	2	RT	◇	
	国際関係論1	2	RT	◇	
	国際関係論2	2	RT	◇	
			必要単位数	**24**	

○印：必修科目
◇印・△印からそれぞれ4単位ずつ選択

受講上の注意！

・「社会教育課題研究1」「社会教育課題研究2」はセットで履修が必要です。また、SR科目ですので、スクーリングの受講が必要です。
・開講時期は夏期スクーリングのみとなります。入学年度の夏期スクーリングにて受講できない場合、1年間での資格取得はできません。

▶▶ 図書館司書資格

「図書館法施行規則」に定める科目	本学開講授業科目名	単位	受講方法	取得可能な資格 図書館司書資格	スクーリング費用
生涯学習概論	生涯学習論1	2	RT	○	
図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	RT	○	
図書館概論	図書館の基礎と展望	2	RT	○	
図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	RT	○	
図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	RT	○	
情報サービス論	情報サービス論	2	RT	○	
情報サービス演習	情報サービス演習1	1	S	○	¥20,000
	情報サービス演習2	1	S	○	¥20,000
図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	RT	○	
情報資源組織論	情報資源組織論	2	RT	○	
情報資源組織演習	情報資源組織演習1	1	S	○	¥20,000
	情報資源組織演習2	1	S	○	¥20,000
児童サービス論	児童サービス論	2	RT	○	
図書・図書館史	図書・図書館史	2	RT	△	
図書館施設論	図書館施設論	2	RT	△	
図書館実習	図書館実習	1		△※	
			必要単位数	**26**	

○印：必修科目
△印：選択必修科目（2科目選択）
※印：図書館での勤務経験がある場合のみ選択可（勤務経験を考慮する場合は出願前に相談してください。）

受講上の注意！

・「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は、コンピュータを扱う授業となりますので、スクーリング受講時までにキーボード操作に慣れていることが必要です。
・文部科学省委嘱による図書館司書講習にて修得した単位は一切使えません。本学通信教育部にてすべての単位を修得してください。

入学コース

科目等履修生

入学資格・出願書類については110〜112ページを参照してください。

在籍可能年数

3年間（休学はできません。）

注意事項

【1】110ページの入学資格【1】(2)〜(6)により、教員免許状を取得する場合は、必要単位および履修科目について各都道府県の教育委員会へ履修相談・確認をしてください。履修相談・確認をした内容に基づいて登録科目を科目等履修生開講科目一覧の中より選択してください。なお、科目概要につきましては本学通信教育部ホームページを参照してください。
ホームページのURLは157ページ参照

【2】履修したい科目の「科目コード」「本学開講授業科目名」「単位」を「Ⅰ 科目等履修生・認定通信生 登録用紙」に記入してください。

【3】年間の履修登録単位の上限は30単位までです。30単位を超える場合は次年度以降の履修となります。

【4】科目等履修生は「初等教育実習指導」「初等教育実習」「中等教育実習指導」「中等教育実習Ａ」「中等教育実習Ｂ」「特別支援教育実習」「教職実践演習（教諭）」の履修および「介護等体験」の申込み・実施はできません。

【5】理科の実験科目「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」「化学実験（コンピュータ活用を含む。）」「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」「地学実験（コンピュータ活用を含む。）」の単位修得を必要とする場合、４月生のみの募集となり、入学選考試験があります。008・009ページ参照
理科の実験科目の単位修得を必要としない場合は、10月生として出願することができます。

【6】美術に関する科目の単位修得を必要とする場合、４月生のみの募集となります。

【7】科目等履修生は通常、入学後に履修科目を追加することが可能ですが、「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」「化学実験（コンピュータ活用を含む。）」「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」「地学実験（コンピュータ活用を含む。）」については、入学後に科目を追加することはできません。

【8】「Ｓ科目」「ＳＲ科目」（「教職実践演習（教諭）」など）のうち、一部の科目は履修できません。

【9】中学校・高等学校の音楽の教員免許状取得に関連する科目は開講していません。

【10】免許法認定通信教育として文部科学省から認定を受けている科目については科目等履修生では履修できません。088・089ページ参照

入学時納入金および学費

≫入学時納入金早見表

履修単位数	入学時納入金合計額 入学選考料・履修登録費・授業料・補助教材費込	履修単位数	入学時納入金合計額 入学選考料・履修登録費・授業料・補助教材費込	履修単位数	入学時納入金合計額 入学選考料・履修登録費・授業料・補助教材費込
1	32,500円	11	97,500円	21	162,500円
2	39,000円	12	104,000円	22	169,000円
3	45,500円	13	110,500円	23	175,500円
4	52,000円	14	117,000円	24	182,000円
5	58,500円	15	123,500円	25	188,500円
6	65,000円	16	130,000円	26	195,000円
7	71,500円	17	136,500円	27	201,500円
8	78,000円	18	143,000円	28	208,000円
9	84,500円	19	149,500円	29	214,500円
10	91,000円	20	156,000円	30	221,000円

履修登録単位が30単位を超える場合は、次年度以降に追加履修が可能。

入学時納入金に関する注意事項、辞退については010ページを参照してください。

注意！

上表は「科目数」ではなく「履修単位数」での計算となります。

内　訳	金　額
入学選考料	10,000円
履修登録費	10,000円
授業料（1単位につき）	6,500円×履修単位数
補助教材費	6,000円
合 計	上記「入学時納入金早見表」を参照してください。

① **理科の実験科目の単位修得を必要とする出願者は10,000円の入学選考料のみ振り込んでください。** 008・009ページ参照
入学選考試験合格後に入学選考料を除く入学時納入金を改めて振り込んでいただきます。

② 「S科目」「SR科目」を登録する場合、授業料の他にスクーリング受講費が入学後別途必要です。

③ ２年目以降、継続される場合は、継続費として60,000円が必要です。

④ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の学費等はその額を改定する場合があります。

教育職員免許法第５条「別表第１」に基づく教員免許状の取得方法について

教職課程を有する大学・短期大学にて教員免許状に関する単位を修得し、教員免許状取得要件を満たせないまま卒業・退学し、本学にて不足単位を修得する場合が第５条別表第１での取得方法となります。不足単位を出身大学等にて確認し、**061～069**ページの開講科目一覧表から該当する教員免許状・教科の表を参照し、履修科目を選択してください。
なお、教育実習、教職実践演習の単位修得や介護等体験が必要となる方は、正科生または正科・課程履修生として入学してください。

※「Ⅰ科目等履修生・認定通信生 登録用紙」の「履修誓約」箇所には出身大学等を記入してください。
061～069ページまでの開講科目一覧に「受講不可」と書かれた科目を必要とする場合には、入学コースが正科生または正科・課程履修生となります。
※ 受講方法「ＲＴ」「ＳＲ」「Ｓ」の詳細は**012**ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。
※ 受講方法「ＳＲ」「Ｓ」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

免許法第５条別表第１に基づく開講科目一覧

幼稚園教諭免許状

▶▶ 教科に関する科目（幼稚園）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
国　語	PB1010	国語（書写を含む。）	2	RTorSR	(¥8,000)
算　数	PB2010	算数	2	RTorSR	(¥8,000)
生　活	PB1030	生活科	2	RT	
音　楽	PB2030	音楽	2	RTorSR	(¥8,000)
図画工作	PB2060	図画工作	2	RTorSR	(¥8,000)
体　育	PB2080	体育	2	RTorSR	(¥8,000)
これら科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目 その他これら科目に準ずる内容の科目	PB1020	社会	2	RTorSR	(¥8,000)
	PB2020	理科	2	RT	

▶▶ 教職に関する科目（幼稚園）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	科目	各科目に含めることが必要な事項					
第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	PA1040	教職入門	2	RT	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	PA1020	教育原理	2	RTorSR	(¥8,000)
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	PA2030	教育心理学	2	RT	
			PB2090	児童心理学	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB3010	保育学1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB3020	保育学2	2	RTorSR	(¥8,000)
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
			PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	(¥8,000)
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	PB2100	初等教育課程論	2	RT	
		・保育内容の指導法	PB3120	保育内容総論	2	SR	¥8,000
			PB2170	保育内容A･健康	2	SR	¥10,000
			PB3130	保育内容B･人間関係	2	SR	¥10,000
			PB3140	保育内容C･環境	2	SR	¥10,000
			PB3150	保育内容D･言葉	2	SR	¥10,000
			PB2180	保育内容E･表現1※	2	SR	¥10,000
			PB2190	保育内容F･表現2※	2	SR	¥10,000
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	PB2160	初等教育方法学	2	RTorSR	(¥8,000)
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	PB3110	幼児理解の理論と方法	2	RT	
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	PB3100	初等教育相談の基礎と方法	2	RT	
第5欄	教育実習			初等教育実習指導		受講不可	
				初等教育実習		受講不可	
第6欄	教職実践演習			教職実践演習（教諭）		受講不可	

※「保育内容Ｅ・表現１」「保育内容Ｆ・表現２」の内容に関しては、本学通信教育部ホームページの「科目概要」にて確認することができます。
▶ ホームページのURLは**157**ページ参照

教育職員免許法第５条「別表第１」に基づく教員免許状の取得方法について

小学校教諭免許状

▶▶ 教科に関する科目（小学校）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
国語（書写を含む。）	PB1010	国語（書写を含む。）	2	RTorSR	（¥8,000）
社会	PB1020	社会	2	RTorSR	（¥8,000）
算数	PB2010	算数	2	RTorSR	（¥8,000）
理科	PB2020	理科	2	RT	
生活	PB1030	生活科	2	RT	
音楽	PB2030	音楽	2	RTorSR	（¥8,000）
図画工作	PB2060	図画工作	2	RTorSR	（¥8,000）
家庭	PB2070	家庭科	2	RT	
体育	PB2080	体育	2	RTorSR	（¥8,000）

▶▶ 教職に関する科目・教科又は教職に関する科目（小学校）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	科目	各科目に含めることが必要な事項					
第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	PA1040	教職入門	2	RT	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	PA1020	教育原理	2	RTorSR	（¥8,000）
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	PA2030	教育心理学	2	RT	
			PB2090	児童心理学	2	RTorSR	（¥8,000）
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
			PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	（¥8,000）
			PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	（¥8,000）
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	PB2100	初等教育課程論	2	RT	
		・各教科の指導法	PB2110	初等国語科教育法（書写を含む。）	2	RTorSR	（¥8,000）
			PB2120	初等社会科教育法	2	RTorSR	（¥8,000）
			PB2130	初等算数科教育法	2	RTorSR	（¥8,000）
			PB2140	初等理科教育法	2	RT	
			PB2150	初等生活科教育法	2	RT	
			PB3030	初等音楽科教育法	2	RTorSR	（¥8,000）
			PB3040	初等図画工作科教育法	2	RTorSR	（¥8,000）
			PB3050	初等家庭科教育法	2	RT	
			PB3060	初等体育科教育法	2	RTorSR	（¥8,000）
		・道徳の指導法	PB3070	道徳教育の指導法（小学校）	2	RTorSR	（¥8,000）
		・特別活動の指導法	PB3080	特別活動の指導法（小学校）	2	RT	
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	PB2160	初等教育方法学	2	RTorSR	（¥8,000）
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	PB3090	児童・進路指導論	2	RT	
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	PB3100	初等教育相談の基礎と方法	2	RT	
第5欄	教育実習			初等教育実習指導		受講不可	
				初等教育実習		受講不可	
第6欄	教職実践演習			教職実践演習（教諭）		受講不可	
教科又は教職に関する科目			PA1060	教育の最新事情	2	S	¥16,000
			PA2200	教育法規1	2	RTorSR	（¥8,000）
			PA2210	教育法規2	2	RTorSR	（¥8,000）
			PA3060	情報教育1	2	RT	
			PA3070	情報教育2	2	RT	
			PA3080	授業研究1	2	RT	
			PA3090	授業研究2	2	RT	

中学校・高等学校教諭免許状

▶▶ 教職に関する科目・教科又は教職に関する科目（中学校）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分等				科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	科目	各科目に含めることが必要な事項						
第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等		PA1040	教職入門	2	RT	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		PA1020	教育原理	2	RTorSR	(¥8,000)
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		PA2030	教育心理学	2	RT	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
				PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	(¥8,000)
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法		PC3010	中等教育課程論	2	RTorSR	(¥8,000)
		・各教科の指導法	国語	PD2080	国語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3060	国語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3070	国語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3080	国語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			社会	PE2130	社会・地理歴史科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3100	社会・地理歴史科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3110	社会・公民科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3120	社会・公民科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			数学	PF2090	数学科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3050	数学科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3060	数学科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3070	数学科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			理科	PG2090	理科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3050	理科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3060	理科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3070	理科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			美術	PJ2120	美術科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3130	美術科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3140	美術科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3150	美術科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			英語	PK2080	英語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3040	英語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3050	英語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3060	英語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
		・道徳の指導法		PC3020	道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR	(¥8,000)
		・特別活動の指導法		PC3030	特別活動の指導法（中高）	2	RT	
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		PC3040	中等教育方法学	2	RT	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法		PC3050	生徒・進路指導論	2	RTorSR	(¥8,000)
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		PC3060	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	
第5欄	教育実習				中等教育実習指導	受講不可		
					中等教育実習A	受講不可		
					中等教育実習B	受講不可		
第6欄	教職実践演習				教職実践演習（教諭）	受講不可		
教科又は教職に関する科目				PA1060	教育の最新事情	2	S	¥16,000
				PA2200	教育法規1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA2210	教育法規2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA3060	情報教育1	2	RT	
				PA3070	情報教育2	2	RT	
				PA3080	授業研究1	2	RT	
				PA3090	授業研究2	2	RT	

「教科に関する科目」については065ページ以降を参照してください。

教育職員免許法第５条「別表第１」に基づく教員免許状の取得方法について

▶▶ 教職に関する科目・教科又は教職に関する科目（高等学校）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等 科目	各科目に含めることが必要な事項		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等		PA1040	教職入門	2	RT	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		PA1020	教育原理	2	RTorSR	(¥8,000)
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		PA2030	教育心理学	2	RT	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
				PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	(¥8,000)
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法		PC3010	中等教育課程論	2	RTorSR	(¥8,000)
		・各教科の指導法	国語	PD2080	国語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3060	国語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3070	国語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3080	国語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			地理歴史	PE2130	社会・地理歴史科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3100	社会・地理歴史科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			公民	PE3110	社会・公民科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3120	社会・公民科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			数学	PF2090	数学科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3050	数学科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3060	数学科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3070	数学科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			理科	PG2090	理科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3050	理科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3060	理科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3070	理科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			美術	PJ2120	美術科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3130	美術科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3140	美術科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3150	美術科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			英語	PK2080	英語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3040	英語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3050	英語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3060	英語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
		・特別活動の指導法		PC3030	特別活動の指導法（中高）	2	RT	
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		PC3040	中等教育方法学	2	RT	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法		PC3050	生徒・進路指導論	2	RTorSR	(¥8,000)
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		PC3060	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	
第5欄	教育実習				中等教育実習指導	受講不可		
					中等教育実習A	受講不可		
第6欄	教職実践演習				教職実践演習（教諭）	受講不可		
教科又は教職に関する科目				PA1060	教育の最新事情	2	S	¥16,000
				PA2200	教育法規1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA2210	教育法規2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA3060	情報教育1	2	RT	
				PA3070	情報教育2	2	RT	
				PA3080	授業研究1	2	RT	
				PA3090	授業研究2	2	RT	
				PC3020	道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR	(¥8,000)

「教科に関する科目」については065ページ以降を参照してください。

▶▶ 教科に関する科目（中学校）国語

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
国語	国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	PD2010	●国語学概論	2	RT	
		PD2020	日本文法1	2	RT	
		PD2030	日本文法2	2	RT	
		PD2040	日本語表現法	2	RT	
	国文学 （国文学史を含む。）	PD2050	●国文学※1	2	RT	
		PD2060	●国文学史※1	2	RT	
		PD2070	日本文学概論	2	RT	
		PD3010	古典文学	2	RT	
		PD3020	近代文学	2	RT	
	漢文学	PD3030	●漢文学	2	RT	
	書道（書写を中心とする。）	PD3040	●書道1	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『国文学（国文学史を含む。）』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●国文学」と「●国文学史」両方の単位修得が必要になります。

▶▶ 教科に関する科目（高等学校）国語

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
国語	国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	PD2010	●国語学概論	2	RT	
		PD2020	日本文法1	2	RT	
		PD2030	日本文法2	2	RT	
		PD2040	日本語表現法	2	RT	
	国文学 （国文学史を含む。）	PD2050	●国文学※1	2	RT	
		PD2060	●国文学史※1	2	RT	
		PD2070	日本文学概論	2	RT	
		PD3010	古典文学	2	RT	
		PD3020	近代文学	2	RT	
	漢文学	PD3030	●漢文学	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『国文学（国文学史を含む。）』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●国文学」と「●国文学史」両方の単位修得が必要になります。

▶▶ 教科に関する科目（中学校）社会

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
社会	日本史及び外国史	PE2010	●日本史概説※1	2	RT	
		PE2020	日本史各論1	2	RT	
		PE2030	日本史各論2	2	RT	
		PE2040	●外国史概説※1	2	RT	
		PE3010	外国史各論1（東洋史）	2	RT	
		PE3020	外国史各論2（西洋史）	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学（地誌を含む。）	PE3030	人文地理学	2	RT	
		PE3040	自然地理学	2	RT	
		PE2050	●地理学入門（地誌を含む。）	2	RT	
		PE3050	地誌学概説	2	RT	
	「法律学、政治学」	PE2060	●法律学概論1（国際法を含む。）※2	2	RT	
		PE2070	法律学概論2（国際法を含む。）	2	RT	
		PE3070	●政治学概論1（国際政治を含む。）※2	2	RT	
		PE3080	政治学概論2（国際政治を含む。）	2	RT	
	「社会学、経済学」	PE2080	●社会学概論※2	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2090	●経済学概論1（国際経済を含む。）※2	2	RT	
		PE2100	経済学概論2（国際経済を含む。）	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史及び外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「」（カギカッコ）で囲まれた科目については選択制となるため、対照となる本学開講授業科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

教育職員免許法第５条「別表第１」に基づく教員免許状の取得方法について

▶▶ 教科に関する科目（高等学校）地理歴史

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
地理歴史	日本史	PE2010	●日本史概説	2	RT	
		PE2020	日本史各論1	2	RT	
		PE2030	日本史各論2	2	RT	
	外国史	PE2040	●外国史概説	2	RT	
		PE3010	外国史各論1（東洋史）	2	RT	
		PE3020	外国史各論2（西洋史）	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	人文地理学及び自然地理学	PE3030	●人文地理学※1	2	RT	
		PE3040	●自然地理学※1	2	RT	
	地誌	PE2050	地理学入門（地誌を含む。）	2	RT	
		PE3050	●地誌学概説	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学及び自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「●人文地理学」と「●自然地理学」両方の単位修得が必要になります。

▶▶ 教科に関する科目（高等学校）公民

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	PE2060	●法律学概論1（国際法を含む。）※1	2	RT	
		PE2070	法律学概論2（国際法を含む。）	2	RT	
		PE3070	●政治学概論1（国際政治を含む。）※1	2	RT	
		PE3080	政治学概論2（国際政治を含む。）	2	RT	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	PE2080	●社会学概論※1	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2090	●経済学概論1（国際経済を含む。）※1	2	RT	
		PE2100	経済学概論2（国際経済を含む。）	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE3090	心理学概論	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分が「」（カギカッコ）で囲まれた科目については選択制となるため、対照となる本学開講授業科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

▶▶ 教科に関する科目（中学校・高等学校）数学

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
数学	代数学	PF2010	●代数学1	2	RT	
		PF2020	代数学2	2	RT	
		PF2022	代数学3※1 ※2	2	RT	
	幾何学	PF2030	●幾何学1	2	RT	
		PF2040	幾何学2	2	RT	
		PF2042	幾何学3※1 ※2	2	RT	
	解析学	PF2050	●解析学1	2	RT	
		PF2060	解析学2	2	RT	
		PF2062	解析学3※1 ※2	2	RT	
	「確率論、統計学」	PF3010	●確率論	2	RT	
		PF3020	統計学	2	RT	
	コンピュータ	PF2064	コンピュータ概論※1 ※2	2	RT	
		PF2070	●コンピュータ演習1	1	S	¥20,000
		PF2080	コンピュータ演習2	1	S	¥20,000
		PF3030	コンピュータ演習3	1	S	¥20,000
		PF3040	コンピュータ演習4※3	1	S	¥20,000

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 入学後に追加履修ができない科目です。

※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります（科目等履修生では単位修得できませんので注意してください）。 ▶088・089ページ参照

※3 「コンピュータ演習4」を履修する場合は「コンピュータ演習2」を履修する必要があります。

▶▶ 教科に関する科目（中学校）理科

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
理科	物理学	PG2010	●物理学概論1	2	RT	
		PG2020	物理学概論2	2	RT	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	PG3010	●物理学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
	化学	PG3020	●化学概論1	2	RT	
		PG3030	化学概論2	2	RT	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	PG3040	●化学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
	生物学	PG2030	●生物学概論1	2	RT	
		PG2040	生物学概論2	2	RT	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	PG2050	●生物学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
	地学	PG2060	●地学概論1	2	RT	
		PG2070	地学概論2	2	RT	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	PG2080	●地学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。

▶▶ 教科に関する科目（高等学校）理科

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
理科	物理学	PG2010	●物理学概論1	2	RT	
		PG2020	物理学概論2	2	RT	
	化学	PG3020	●化学概論1	2	RT	
		PG3030	化学概論2	2	RT	
	生物学	PG2030	●生物学概論1	2	RT	
		PG2040	生物学概論2	2	RT	
	地学	PG2060	●地学概論1	2	RT	
		PG2070	地学概論2	2	RT	
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	PG3010	●物理学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		PG3040	●化学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		PG2050	●生物学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		PG2080	●地学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。

教育職員免許法第5条「別表第1」に基づく教員免許状の取得方法について

▶▶ 教科に関する科目（中学校）美術

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	PJ2010	デッサン1	1	S	¥90,000
		PJ2020	デッサン2	1	S	¥90,000
		PJ2030	●絵画1※1	1	S	¥90,000
		PJ2040	絵画2	1	S	¥90,000
		PJ3010	●映像メディア表現1※1	1	S	¥90,000
		PJ3020	映像メディア表現2	1	S	¥90,000
	彫刻	PJ2050	●彫塑1	1	S	¥90,000
		PJ2060	彫塑2	1	S	¥90,000
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	PJ3030	●デザインA※2	1	S	¥90,000
		PJ3040	デザインB	1	S	¥90,000
		PJ3050	平面構成基礎	1	S	¥90,000
		PJ3060	立体構成基礎	1	S	¥90,000
		PJ3070	●映像メディア表現3※2	1	S	¥90,000
		PJ3080	映像メディア表現4	1	S	¥90,000
	工芸	PJ3090	●工芸基礎A	1	S	¥90,000
		PJ3100	工芸基礎B	1	S	¥90,000
		PJ3110	工芸A	1	S	¥90,000
		PJ3120	工芸B	1	S	¥90,000
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	PJ2070	●教職美術入門（鑑賞）※3	2	S	¥16,000
		PJ2080	●美術理論1※3	2	RT	
		PJ2090	美術理論2	2	RT	
		PJ2100	●美術史概論※3	2	RT	
		PJ2110	●日本・東洋美術史※3	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『絵画（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●絵画1」、「●映像メディア表現1」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分の『デザイン（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●デザインA」、「●映像メディア表現3」両方の単位修得が必要になります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●教職美術入門（鑑賞）」、「●美術理論1」、「●美術史概論」、「●日本・東洋美術史」すべての単位修得が必要になります。

▶▶ 教科に関する科目（高等学校）美術

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）	PJ2010	デッサン1	1	S	¥90,000
		PJ2020	デッサン2	1	S	¥90,000
		PJ2030	●絵画1※1	1	S	¥90,000
		PJ2040	絵画2	1	S	¥90,000
		PJ3010	●映像メディア表現1※1	1	S	¥90,000
		PJ3020	映像メディア表現2	1	S	¥90,000
	彫刻	PJ2050	●彫塑1	1	S	¥90,000
		PJ2060	彫塑2	1	S	¥90,000
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	PJ3030	●デザインA※2	1	S	¥90,000
		PJ3040	デザインB	1	S	¥90,000
		PJ3050	平面構成基礎	1	S	¥90,000
		PJ3060	立体構成基礎	1	S	¥90,000
		PJ3070	●映像メディア表現3※2	1	S	¥90,000
		PJ3080	映像メディア表現4	1	S	¥90,000
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	PJ2070	●教職美術入門（鑑賞）※3	2	S	¥16,000
		PJ2080	●美術理論1※3	2	RT	
		PJ2090	美術理論2	2	RT	
		PJ2100	●美術史概論※3	2	RT	
		PJ2110	●日本・東洋美術史※3	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『絵画（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●絵画1」、「●映像メディア表現1」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分の『デザイン（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●デザインA」、「●映像メディア表現3」両方の単位修得が必要になります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●教職美術入門（鑑賞）」、「●美術理論1」、「●美術史概論」、「●日本・東洋美術史」すべての単位修得が必要になります。

▶▶ 教科に関する科目（中学校・高等学校）英語

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
英語	英語学	PK2010	●英語学概論	2	RT	
		PK2020	英文法	2	RT	
	英米文学	PK2030	●英米文学1※3	2	RT	
		PK2040	●英米文学2※3	2	RT	
		PK2042	英米文学3※1 ※2	2	RT	
	英語コミュニケーション	PK2050	●英語コミュニケーション1	2	S	¥16,000
		PK2060	英語コミュニケーション2	2	S	¥16,000
		PK3010	英語コミュニケーション3	2	S	¥16,000
		PK3020	英語コミュニケーション4	2	S	¥16,000
	異文化理解	PK2070	●異文化理解1	2	RT	
		PK3030	異文化理解2	2	RT	
		PK3032	異文化理解3※1 ※2	2	RT	
		PK3034	異文化理解4※1 ※2	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。
※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります（科目等履修生では単位修得できませんので注意してください）。▶088・089ページ参照
※3 免許法施行規則に定める科目区分の『英米文学』の一般的包括的内容を含む科目を満たすためには、「●英米文学1」と「●英米文学2」両方の単位修得が必要になります。

特別支援学校教諭免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）に関する開講科目一覧

▶▶ 特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分			科目コード	本学開講授業科目名	中心となる領域	含む領域	単位	受講方法	スクーリング費用
特別支援教育に関する科目	特別支援教育の基礎理論に関する科目		PA2120	障害者教育総論			2	RT	
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	PA2130	発達障害論	知的障害者		2	RT	
			PL2010	知的障害者の心理	知的障害者		2	RT	
			PL2020	知的障害者の生理･病理	知的障害者	視覚障害者 聴覚障害者	2	RT	
			PL2030	肢体不自由者の心理･生理･病理	肢体不自由者		2	RT	
			PL2040	病弱者の心理･生理･病理	病弱者		2	RT	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	PL2050	特別支援学校教育課程論	知的障害者	肢体不自由者 病弱者	2	RT	
			PL3010	知的障害者の指導法1	知的障害者		2	SR	¥8,000
			PL3020	知的障害者の指導法2	知的障害者		2	SR	¥8,000
			PL3030	肢体不自由者の指導法	肢体不自由者		2	SR	¥8,000
			PL3040	病弱者の指導法	病弱者		2	SR	¥8,000
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	PL3050	視覚障害者の心理･生理･病理	視覚障害者		1	RT	
			PL3060	聴覚障害者の心理･生理･病理	聴覚障害者		1	RT	
			PL3070	重複障害･LD等の心理･生理･病理	重複･LD等領域		2	RT	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	PL4010	視覚障害者の指導法	視覚障害者		1	RT	
			PL4020	聴覚障害者の指導法	聴覚障害者		1	RT	
			PL4030	重複障害･LD等教育の理論と実際	重複･LD等領域		2	RT	
	心身に障害のある幼児､児童又は生徒についての教育実習			特別支援教育実習			受講不可		

「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の開講科目一覧

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
日本国憲法	WE1020	法学2（日本国憲法）	2	RTorSR	(¥8,000)
体育	WB1010	健康･スポーツ科学論	2	RT	
	WB1020	健康･スポーツ演習1	1	S	¥20,000
外国語コミュニケーション	WC1010	外国語（英語）1A	1	SR	¥10,000
	WC1020	外国語（英語）1B	1	SR	¥10,000
情報機器の操作	WC1050	情報リテラシーa	2	SR	¥10,000
	WC1060	情報リテラシーb	2	SR	¥10,000

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

免許法第６条「別表第3」による取得方法

基礎となる教員免許状を所持し、それ以後、勤務年数が5年（2種→１種）、6年（臨免→2種）以上あれば、上級免許状取得に必要な基礎資格を有することになり、当該の勤務年数に加え必要修得単位数を修得することによって、上級の教員免許状が取得できます。修得単位数は勤務年数が増すと年数に応じ減少します。履修登録にあたっては、勤務地の都道府県教育委員会の規則を確認のうえ、間違いのないように科目を登録してください。また、単位の内訳等詳細についても勤務地の各都道府県教育委員会で履修相談・確認をしてください。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育部の開講科目の対照については、第5条別表第１の開講科目一覧（061～069ページ）を参照してください（なお、教育職員検定による取得のため本学通信教育部では科目登録に関する確認・説明は行えません）。

※ 受講方法「RT」「SR」「S」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。

※ 受講方法「SR」「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

別表第3

第1欄		第2欄	第3欄	第4欄
所要資格 / 受けようとする免許状の種類		有することを必要とする第１欄に掲げる教員（当該学校の助教諭を含む。第３欄において同じ。）の免許状の種類	第２欄に定める各免許状を取得した後、第１欄に掲げる教員又は当該学校の主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭若しくは講師（これらに相当する中等教育学校の前期課程又は後期課程及び特別支援学校の各部の教員を含む。）として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数	第２欄に定める各免許状を取得した後、大学において修得することを必要とする最低単位数
幼稚園教諭	1種免許状	2種免許状※	5	45
	2種免許状	臨時免許状	6	45
小学校教諭	1種免許状	2種免許状※	5	45
	2種免許状	臨時免許状	6	45
中学校教諭	1種免許状	2種免許状※	5	45
	2種免許状	臨時免許状	6	45
高等学校教諭	1種免許状	臨時免許状	5	45

※ 大卒者等で教育職員免許法施行規則第11条表備考3に該当する方は勤務年数3年で修得単位数が25単位になります（2種→1種の場合のみ）。

免許法施行規則第10条の６による取得方法

２種免許状を取得した学士の学位を有する方が教育職員免許法第５条別表第１の規定により１種免許状の授与を受けようとするときは、１種免許状にかかわる単位数のうち２種免許状にかかわる単位数を既に修得したものとみなし、不足する単位数を修得することにより１種免許状が取得できます。修得すべき科目および単位数については、教員免許状を申請する各都道府県教育委員会で履修相談・確認をしてください。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育部の開講科目の対照については、第5条別表第１の開講科目一覧（061～069ページ）を参照してください（なお、本学通信教育部では履修すべき科目に関する相談・確認は行えません）。

※ 受講方法「RT」「SR」「S」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。

※ 受講方法「SR」「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

免許法第６条「別表第４」による取得方法

中学校もしくは高等学校教諭の教員免許状を所持する方が、教育職員免許法第６条「別表第４」の定めにより必要単位を修得した場合、同校種の他教科の教員免許状が取得できます。履修登録にあたっては、都道府県教育委員会の規則を確認のうえ、間違いのないように科目を登録してください。また、単位の内訳等詳細についても各都道府県教育委員会で履修相談・確認をしてください。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育部の開講科目の対照については、071～075ページの開講科目一覧を参照してください（なお、教育職員検定による取得のため本学通信教育部では科目登録に関する確認・説明は行えません）。

※ 受講方法「RT」「SR」「S」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。
※ 受講方法「SR」「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

別表第4

第１欄	第２欄	第３欄		
所要資格／受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする第１欄に掲げる教員の１以上の教科についての免許状の種類	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭1種免許状	中学校教諭専修免許状または中学校教諭1種免許状	20	8	
中学校教諭2種免許状	中学校教諭専修免許状、中学校教諭1種免許状または中学校教諭2種免許状	10	3	
高等学校教諭1種免許状	高等学校教諭専修免許状または高等学校教諭1種免許状	20	4	

免許法第６条別表第４に基づく開講科目一覧

中学校・高等学校教諭免許状

別表第4 ▶▶ **教科に関する科目・教職に関する科目（国語）**

（¥）:受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分 中学校	高等学校	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
国語	教科に関する科目	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）		PD2010	●国語学概論	2	RT	
				PD2020	日本文法1	2	RT	
				PD2030	日本文法2	2	RT	
				PD2040	日本語表現法	2	RT	
		国文学（国文学史を含む。）		PD2050	●国文学※1	2	RT	
				PD2060	●国文学史※1	2	RT	
				PD2070	日本文学概論	2	RT	
				PD3010	古典文学	2	RT	
				PD3020	近代文学	2	RT	
		漢文学		PD3030	●漢文学	2	RT	
		書道（書写を中心とする。）	—	PD3040	●書道1※2	2	RT	
					計	22		
	教職に関する科目	各教科の指導法		PD2080	国語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3060	国語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3070	国語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3080	国語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
					計	8		

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 免許法施行規則に定める科目区分の『国文学（国文学史を含む。）』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●国文学」と「●国文学史」両方の単位修得が必要になります。
※2 高等学校（国語）の教員免許状取得の場合、「●書道1」の単位修得は必要ありません。

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目(社会)

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
社会	教科に関する科目	日本史及び外国史	PE2010	●日本史概説※1	2	RT	
			PE2020	日本史各論1	2	RT	
			PE2030	日本史各論2	2	RT	
			PE2040	●外国史概説※1	2	RT	
			PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
			PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
		地理学(地誌を含む。)	PE3030	人文地理学	2	RT	
			PE3040	自然地理学	2	RT	
			PE2050	●地理学入門(地誌を含む。)	2	RT	
			PE3050	地誌学概説	2	RT	
		「法律学、政治学」	PE2060	●法律学概論1(国際法を含む。)※2	2	RT	
			PE2070	法律学概論2(国際法を含む。)	2	RT	
			PE3070	●政治学概論1(国際政治を含む。)※2	2	RT	
			PE3080	政治学概論2(国際政治を含む。)	2	RT	
		「社会学、経済学」	PE2080	●社会学概論※2	2	RT	
			PA2050	教育社会学	2	RT	
			PE2090	●経済学概論1(国際経済を含む。)※2	2	RT	
			PE2100	経済学概論2(国際経済を含む。)	2	RT	
		「哲学、倫理学、宗教学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
			PA2040	教育哲学	2	RT	
			PE2110	倫理学概論	2	RT	
			PE2120	宗教学概論	2	RT	
				計	46		
	教職に関する科目	各教科の指導法	PE2130	社会・地理歴史科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PE3100	社会・地理歴史科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			PE3110	社会・公民科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PE3120	社会・公民科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				計	8		

●印:一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史及び外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「」(カギカッコ)で囲まれた科目については選択制となるため、対照となる本学開講授業科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目(地理歴史)

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
地理歴史	教科に関する科目	日本史	PE2010	●日本史概説	2	RT	
			PE2020	日本史各論1	2	RT	
			PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	PE2040	●外国史概説	2	RT	
			PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
			PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
		人文地理学及び自然地理学	PE3030	●人文地理学※1	2	RT	
			PE3040	●自然地理学※1	2	RT	
		地誌	PE2050	地理学入門(地誌を含む。)	2	RT	
			PE3050	●地誌学概説	2	RT	
				計	22		
	教職に関する科目	各教科の指導法	PE2130	社会・地理歴史科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PE3100	社会・地理歴史科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				計	4		

●印:一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学及び自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「●人文地理学」と「●自然地理学」両方の単位修得が必要になります。

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目（公民）

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
公民	教科に関する科目	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	PE2060	●法律学概論1（国際法を含む。）※1	2	RT	
			PE2070	法律学概論2（国際法を含む。）	2	RT	
			PE3070	●政治学概論1（国際政治を含む。）※1	2	RT	
			PE3080	政治学概論2（国際政治を含む。）	2	RT	
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	PE2080	●社会学概論※1	2	RT	
			PA2050	教育社会学	2	RT	
			PE2090	●経済学概論1（国際経済を含む。）※1	2	RT	
			PE2100	経済学概論2（国際経済を含む。）	2	RT	
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
			PA2040	教育哲学	2	RT	
			PE2110	倫理学概論	2	RT	
			PE2120	宗教学概論	2	RT	
			PE3090	心理学概論	2	RT	
				計	26		
	教職に関する科目	各教科の指導法	PE3110	社会・公民科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PE3120	社会・公民科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				計	4		

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 免許法施行規則に定める科目区分が「」（カギカッコ）で囲まれた科目については選択制となるため、対照となる本学開講授業科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目（数学）

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
数学	教科に関する科目	代数学	PF2010	●代数学1	2	RT	
			PF2020	代数学2	2	RT	
			PF2022	代数学3※1 ※2	2	RT	
		幾何学	PF2030	●幾何学1	2	RT	
			PF2040	幾何学2	2	RT	
			PF2042	幾何学3※1 ※2	2	RT	
		解析学	PF2050	●解析学1	2	RT	
			PF2060	解析学2	2	RT	
			PF2062	解析学3※1 ※2	2	RT	
		「確率論、統計学」	PF3010	●確率論	2	RT	
			PF3020	統計学	2	RT	
		コンピュータ	PF2064	コンピュータ概論※1 ※2	2	RT	
			PF2070	●コンピュータ演習1	1	S	¥20,000
			PF2080	コンピュータ演習2	1	S	¥20,000
			PF3030	コンピュータ演習3	1	S	¥20,000
			PF3040	コンピュータ演習4※3	1	S	¥20,000
				計	28		
	教職に関する科目	各教科の指導法	PF2090	数学科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PF3050	数学科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			PF3060	数学科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
			PF3070	数学科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
				計	8		

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。
※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。
当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります（科目等履修生では単位修得できませんので注意してください）。▶088·089ページ参照
※3 「コンピュータ演習4」を履修する場合は「コンピュータ演習2」を履修する必要があります。

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目（理科）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
		中学校	高等学校					
理科	教科に関する科目	物理学		PG2010	●物理学概論1	2	RT	
				PG2020	物理学概論2	2	RT	
		化学		PG3020	●化学概論1	2	RT	
				PG3030	化学概論2	2	RT	
		生物学		PG2030	●生物学概論1	2	RT	
				PG2040	生物学概論2	2	RT	
		地学		PG2060	●地学概論1	2	RT	
				PG2070	地学概論2	2	RT	
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	PG3010	●物理学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		化学実験（コンピュータ活用を含む。）		PG3040	●化学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		PG2050	●生物学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
		地学実験（コンピュータ活用を含む。）		PG2080	●地学実験（コンピュータ活用を含む。）※1	1	S	¥35,000
					計	20		
	教職に関する科目	各教科の指導法		PG2090	理科教育法1	2	RTorSR	（¥8,000）
				PG3050	理科教育法2	2	RTorSR	（¥8,000）
				PG3060	理科教育法3	2	RTorSR	（¥8,000）
				PG3070	理科教育法4	2	RTorSR	（¥8,000）
					計	8		

●印：一般的包括的内容を含む科目 ▶142ページ Q&A 30･31を参照
※1 入学後に追加履修ができない科目です。

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目（美術）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
		中学校	高等学校					
美術	教科に関する科目	絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画（映像メディア表現を含む。）	PJ2010	デッサン1	1	S	¥90,000
				PJ2020	デッサン2	1	S	¥90,000
				PJ2030	●絵画1※1	1	S	¥90,000
				PJ2040	絵画2	1	S	¥90,000
				PJ3010	●映像メディア表現1※1	1	S	¥90,000
				PJ3020	映像メディア表現2	1	S	¥90,000
		彫刻	彫刻	PJ2050	●彫塑1	1	S	¥90,000
				PJ2060	彫塑2	1	S	¥90,000
		デザイン（映像メディア表現を含む。）	デザイン（映像メディア表現を含む。）	PJ3030	●デザインA※2	1	S	¥90,000
				PJ3040	デザインB	1	S	¥90,000
				PJ3050	平面構成基礎	1	S	¥90,000
				PJ3060	立体構成基礎	1	S	¥90,000
				PJ3070	●映像メディア表現3※2	1	S	¥90,000
				PJ3080	映像メディア表現4	1	S	¥90,000
		工芸	—	PJ3090	●工芸基礎A※4	1	S	¥90,000
				PJ3100	工芸基礎B	1	S	¥90,000
				PJ3110	工芸A	1	S	¥90,000
				PJ3120	工芸B	1	S	¥90,000
		美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	PJ2070	●教職美術入門（鑑賞）※3	2	S	¥16,000
				PJ2080	●美術理論1※3	2	RT	
				PJ2090	美術理論2	2	RT	
				PJ2100	●美術史概論※3	2	RT	
				PJ2110	●日本･東洋美術史※3	2	RT	
					計	28		
	教職に関する科目	各教科の指導法		PJ2120	美術科教育法1	2	RTorSR	（¥8,000）
				PJ3130	美術科教育法2	2	RTorSR	（¥8,000）
				PJ3140	美術科教育法3	2	RTorSR	（¥8,000）
				PJ3150	美術科教育法4	2	RTorSR	（¥8,000）
					計	8		

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『絵画（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●絵画1」、「●映像メディア表現1」両方の単位修得が必要になります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分の『デザイン（映像メディア表現を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●デザインA」、「●映像メディア表現3」両方の単位修得が必要になります。
※3 免許法施行規則に定める科目区分の『美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）』の一般的包括的内容を満たすには、「●教職美術入門（鑑賞）」、「●美術理論1」、「●美術史概論」、「●日本・東洋美術史」すべての単位修得が必要になります。
※4 高等学校（美術）の教員免許状取得の場合、「●工芸基礎A」の単位修得は必要ありません。

別表第4 ▶▶ 教科に関する科目・教職に関する科目(英語)

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教科		免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
英語	教科に関する科目	英語学	PK2010	●英語学概論	2	RT	
			PK2020	英文法	2	RT	
		英米文学	PK2030	●英米文学1※3	2	RT	
			PK2040	●英米文学2※3	2	RT	
			PK2042	英米文学3※1 ※2	2	RT	
		英語コミュニケーション	PK2050	●英語コミュニケーション1	2	S	¥16,000
			PK2060	英語コミュニケーション2	2	S	¥16,000
			PK3010	英語コミュニケーション3	2	S	¥16,000
			PK3020	英語コミュニケーション4	2	S	¥16,000
		異文化理解	PK2070	●異文化理解1	2	RT	
			PK3030	異文化理解2	2	RT	
			PK3032	異文化理解3※1 ※2	2	RT	
			PK3034	異文化理解4※1 ※2	2	RT	
				計	26		
	教職に関する科目	各教科の指導法	PK2080	英語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
			PK3040	英語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			PK3050	英語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
			PK3060	英語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
				計	8		

●印:一般的包括的内容を含む科目

※1 入学後に追加履修ができない科目です。

※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります(科目等履修生では単位修得できませんので注意してください)。▶088・089ページ参照

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『英米文学』の一般的包括的内容を含む科目を満たすためには、「●英米文学1」と「●英米文学2」両方の単位修得が必要になります。

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

免許法第6条「別表第7」による取得方法

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の普通免許状、もしくは特別支援学校教諭2種免許状を所持し、第3欄に定める学校において3年以上教員として良好な勤務成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する方が必要な単位を修得することで、特別支援学校の教員免許状が取得できます。履修登録にあたっては、勤務地の都道府県教育委員会の規則を確認のうえ、間違いのないように科目を登録してください。また、単位の内訳等詳細についても勤務地の各都道府県教育委員会で履修相談・確認をしてください。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育部の開講科目の対照については、下表を参照してください（なお、教育職員検定による取得のため本学通信教育部では科目登録に関する確認・説明は行えません）。

※ 受講方法「RT」「SR」「S」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。

※ 受講方法「SR」「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリングを受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

別表第7

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄
所要資格 ／ 受けようとする免許状の種類	有することを必要とする特別支援学校の教員（2種免許状の授与を受けようとする場合にあっては、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教員）の免許状の種類	第2欄に定める各免許状を取得した後、特別支援学校の教員（2種免許状の授与を受けようとする場合にあっては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教員を含む。）として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数	第2欄に定める各免許状を取得した後、大学において修得することを要する最低単位数
特別支援学校教諭1種免許状	特別支援学校教諭2種免許状	3	6
特別支援学校教諭2種免許状	幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状	3	6

免許法第6条別表第7に基づく開講科目一覧

特別支援学校教諭免許状

免許法施行規則に定める科目区分			科目コード	本学開講授業科目名	中心となる領域	単位	受講方法
特別支援教育に関する科目	第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	PA2120	障害者教育総論		2	RT
	第二欄 特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目／心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	PL2042	知的障害教育総論※1 ※2	知的障害者	2	RT
			PL2044	肢体不自由教育総論※1 ※2	肢体不自由者	2	RT
			PL2046	病弱教育総論※1 ※2	病弱者	2	RT
	第三欄 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目／心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	PL4032	視覚障害教育総論※1 ※2	視覚障害者	1	RT
			PL4034	聴覚障害教育総論※1 ※2	聴覚障害者	1	RT
			PL4036	重複・LD等教育総論※1 ※2	重複・LD等	2	RT

※1 入学後に追加履修ができない科目です。
※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第7を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります（科目等履修生では単位修得できませんので注意してください）。088・089ページ参照

法令上の最低単位数は6単位ですが、上記12単位を満たさない場合は、必要事項を満たしたことになりません。本学での開講科目に照らし合わせた場合、7科目（12単位）必要となります。

免許法第６条「別表第８」による取得方法

普通免許状を所持し、3年以上教員として良好な勤務成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する方が必要な単位を修得することで、隣接校種（幼稚園⇔小学校⇔中学校⇔高等学校）の教員免許状が取得できます。履修登録にあたっては、勤務地の都道府県教育委員会の規則を確認のうえ、間違いのないように科目を登録してください。また、単位の内訳等詳細についても勤務地の各都道府県教育委員会で履修相談･確認をしてください。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育部の開講科目の対照については、078~082ページの開講科目一覧を参照してください（なお、教育職員検定による取得のため本学通信教育部では科目登録の相談･確認は行えません）。

※　受講方法「ＲＴ」「ＳＲ」「Ｓ」の詳細は012ページを参照してください。「ＲＴorＳＲ」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。

※　受講方法「ＳＲ」「Ｓ」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

別表第8

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄
所要資格 ／ 受けようとする免許状の種類	有することを必要とする学校の免許状	第２欄に定める各免許状を取得した後、当該学校における主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭、教諭又は講師（これらに相当する中等教育学校の前期課程又は後期課程及び特別支援学校の各部の主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭、教諭又は講師を含む。）として良好な勤務成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数	第２欄に定める免許状を取得した後、大学において修得することを要する単位数
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3	6
小学校教諭2種免許状	幼稚園教諭普通免許状	3	13
	中学校教諭普通免許状	3	12
中学校教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3	14
	高等学校教諭普通免許状	3	9
高等学校教諭1種免許状	中学校教諭普通免許状（2種免許状を除く。）	3	12

[教育職員免許法施行規則第18条の2]

教育職員免許法第6条別表第8に規定する単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

受けようとする免許状の種類	有することを必要とする学校の免許状	最低修得単位数※1					
		教科に関する科目	教職に関する科目				教科又は教職に関する科目
			教育課程及び指導法に関する科目			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目※2	
			各教科の指導法	道徳の指導法	保育内容の指導法		
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状				6※3		
小学校教諭2種免許状	幼稚園教諭普通免許状		10	1		2	
	中学校教諭普通免許状		10			2	
中学校教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	10	2			2	
	高等学校教諭普通免許状		2	1		2	4
高等学校教諭1種免許状	中学校教諭普通免許状（2種免許状を除く。）		2			2	8

【備　考】

① 教科に関する科目の単位の修得方法は、第4条に定める修得方法の例にならうものとする。

② 各教科の指導法の単位の修得方法は、小学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合にあっては、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育のうち5以上の教科の指導法（幼稚園教諭の普通免許状を有する場合にあっては生活、中学校教諭の普通免許状を有する場合にあってはその免許教科に相当する教科を除く。）についてそれぞれ2単位以上を、中学校教諭の2種免許状又は高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合にあっては、それぞれ受けようとする免許教科ごとに修得するものとする。

③ 教科又は教職に関する科目の単位の修得方法は、第6条の2に定める修得方法の例にならうものとし、高等学校教諭の普通免許状を有する者が中学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の修得方法は、国語の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては書道（書写を中心とする。）について1単位以上を、地理歴史の教科についての免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては「法律学、政治学」、「社会学、経済学」及び「哲学、倫理学、宗教学」についてそれぞれ1単位以上を、公民の教科についての免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては日本史及び外国史並びに地理学（地誌を含む。）についてそれぞれ1単位以上を、理科の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）及び地学実験（コンピュータ活用を含む。）のうち3以上の科目についてそれぞれ1単位以上を、美術の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては工芸について1単位以上を（中略）修得するものとし、中学校教諭の普通免許状（2種免許状を除く。）を有する者が高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の修得方法は、地理歴史の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては第5条の表第2欄に掲げる地理歴史の教科に関する科目のうち1以上の科目について1単位以上を、公民の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては同表第2欄に掲げる公民の教科に関する科目のうち1以上の科目について1単位以上を（中略）修得するものとする。

注意！

※1　履修単位数は各都道府県教育委員会の指導によっては、上記に定める最低履修単位数より多く履修する可能性があります。

※2　「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」は、本学において2科目にまたがって開講しており、2科目とも取得しない限り内容を網羅したことになりません。セットで履修してください。
幼稚園、小学校教諭免許状の場合…「児童・進路指導論」、「初等教育相談の基礎と方法」
中学校、高等学校教諭免許状の場合…「生徒・進路指導論」、「中等教育相談の基礎と方法」

※3　5領域をすべて満たすよう教育委員会より指示があった場合は、保育内容A～保育内容Fまでの6科目12単位を修得する必要があります。（例：東京都）

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

[教育職員免許法施行規則第18条の3]

【1】教育職員免許法第6条別表第8備考に規定する中学校教諭普通免許状(2種免許状を除く。)を有する方が高等学校教諭1種免許状の授与を受けようとする場合の教員免許状にかかわる教科については、次の表の定めるところによる。

有している中学校教諭の普通免許状(2種免許状を除く。)の教科の種類	国語	社会	数学	理科	英語
受けようとする高等学校教諭1種免許状の教科の種類	国語	地理歴史又は公民	数学	理科	英語

【2】教育職員免許法第6条別表第8備考に規定する高等学校教諭普通免許状を有する方が中学校教諭2種免許状の授与を受けようとする場合の教員免許状にかかわる教科については、次の表の定めるところによる。

有している高等学校教諭の普通免許状の教科の種類	国語	地理歴史又は公民	数学	理科	英語
受けようとする中学校教諭2種免許状の教科の種類	国語	社会	数学	理科	英語

免許法第6条別表第8に基づく開講科目一覧

幼稚園教諭免許状

別表第8 ▶▶ 教職に関する科目

	免許法施行規則に定める科目区分等 科目	各科目に含める必要事項	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	保育内容の指導法	PB3120	保育内容総論	2	SR	¥8,000
			PB2170	保育内容A･健康	2	SR	¥10,000
			PB3130	保育内容B･人間関係	2	SR	¥10,000
			PB3140	保育内容C･環境	2	SR	¥10,000
			PB3150	保育内容D･言葉	2	SR	¥10,000
			PB2180	保育内容E･表現1	2	SR	¥10,000
			PB2190	保育内容F･表現2	2	SR	¥10,000

※ 教育委員会へは単位数の確認だけでなく、領域の確認も行ってください。077ページの注意 ※3参照

小学校教諭免許状

別表第8 ▶▶ 教職に関する科目

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等 科目	各科目に含める必要事項	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	PB2110	初等国語科教育法(書写を含む。)	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB2120	初等社会科教育法	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB2130	初等算数科教育法	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB2140	初等理科教育法	2	RT	
			PB2150	初等生活科教育法	2	RT	
			PB3030	初等音楽科教育法	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB3040	初等図画工作科教育法	2	RTorSR	(¥8,000)
			PB3050	初等家庭科教育法	2	RT	
			PB3060	初等体育科教育法	2	RTorSR	(¥8,000)
		道徳の指導法	PB3070	道徳教育の指導法(小学校)※1	2	RTorSR	(¥8,000)
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	PB3090	児童･進路指導論	2	RT	原則セットで履修 077ページの注意※1※2を参照
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	PB3100	初等教育相談の基礎と方法	2	RT	

※1 幼稚園教諭免許状所持者が小学校教諭免許状を取得する場合に必要です。

中学校・高等学校教諭免許状

別表第8 ▶▶ 教職に関する科目

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	科目	各科目に含める必要事項						
第2欄	教職の意義等に関する科目	·教職の意義及び教員の役割 ·教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ·進路選択に資する各種の機会の提供等		PA1040	教職入門	2	RT	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	·教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		PA1020	教育原理	2	RTorSR	(¥8,000)
		·幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		PA2030	教育心理学	2	RT	
		·教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
				PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	(¥8,000)
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	·教育課程の意義及び編成の方法		PC3010	中等教育課程論	2	RTorSR	(¥8,000)
		·各教科の指導法	国語	PD2080	国語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3060	国語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3070	国語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PD3080	国語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			社会／地理歴史／公民	PE2130	社会·地理歴史科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3100	社会·地理歴史科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3110	社会·公民科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PE3120	社会·公民科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
			数学	PF2090	数学科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3050	数学科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3060	数学科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PF3070	数学科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			理科	PG2090	理科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3050	理科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3060	理科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PG3070	理科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			美術	PJ2120	美術科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3130	美術科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3140	美術科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PJ3150	美術科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
			英語	PK2080	英語科教育法1	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3040	英語科教育法2	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3050	英語科教育法3	2	RTorSR	(¥8,000)
				PK3060	英語科教育法4	2	RTorSR	(¥8,000)
		·道徳の指導法		PC3020	道徳教育の指導法（中学校）	2	RTorSR	(¥8,000)
		·特別活動の指導法		PC3030	特別活動の指導法（中高）	2	RT	
		·教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用含む。）		PC3040	中等教育方法学	2	RT	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	·生徒指導の理論及び方法 ·進路指導の理論及び方法		PC3050	生徒·進路指導論	2	RTorSR	(¥8,000) 原則セットで履修 077ページの注意※1※2を参照
		·教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		PC3060	中等教育相談の基礎と方法	2	RT	

上表は免許状の各教科に対応しています。「各教科の指導法」については、取得希望の免許教科から選択してください。

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(国語)

教科	免許法施行規則に定める科目区分		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	中学校	高等学校					
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		PD2010	●国語学概論	2	RT	
			PD2020	日本文法1	2	RT	
			PD2030	日本文法2	2	RT	
			PD2040	日本語表現法	2	RT	
	国文学(国文学史を含む。)		PD2050	●国文学※1	2	RT	
			PD2060	●国文学史※1	2	RT	
			PD2070	日本文学概論	2	RT	
			PD3010	古典文学	2	RT	
			PD3020	近代文学	2	RT	
	漢文学		PD3030	●漢文学	2	RT	
	書道(書写を中心とする。)	—	PD3040	●書道1	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『国文学(国文学史を含む。)』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●国文学」と「●国文学史」両方の単位修得が必要になります。

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(社会)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
社会	日本史及び外国史	PE2010	●日本史概説※1	2	RT	
		PE2020	日本史各論1	2	RT	
		PE2030	日本史各論2	2	RT	
		PE2040	●外国史概説※1	2	RT	
		PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
		PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学(地誌を含む。)	PE3030	人文地理学	2	RT	
		PE3040	自然地理学	2	RT	
		PE2050	●地理学入門(地誌を含む。)	2	RT	
		PE3050	地誌学概説	2	RT	
	「法律学、政治学」	PE2060	●法律学概論1(国際法を含む。)※2	2	RT	
		PE2070	法律学概論2(国際法を含む。)	2	RT	
		PE3070	●政治学概論1(国際政治を含む。)※2	2	RT	
		PE3080	政治学概論2(国際政治を含む。)	2	RT	
	「社会学、経済学」	PE2080	●社会学概論※2	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2090	●経済学概論1(国際経済を含む。)※2	2	RT	
		PE2100	経済学概論2(国際経済を含む。)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史及び外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「」(カギカッコ)で囲まれた科目については選択制となるため、対照となる本学開講授業科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(地理歴史)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
地理歴史	日本史	PE2010	●日本史概説	2	RT	
		PE2020	日本史各論1	2	RT	
		PE2030	日本史各論2	2	RT	
	外国史	PE2040	●外国史概説	2	RT	
		PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
		PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	人文地理学及び自然地理学	PE3030	●人文地理学	2	RT	
		PE3040	●自然地理学	2	RT	
	地誌	PE2050	地理学入門(地誌を含む。)	2	RT	
		PE3050	●地誌学概説	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(公民)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
公民	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	PE2060	●法律学概論1(国際法を含む。)	2	RT	
		PE2070	法律学概論2(国際法を含む。)	2	RT	
		PE3070	●政治学概論1(国際政治を含む。)	2	RT	
		PE3080	政治学概論2(国際政治を含む。)	2	RT	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	PE2080	●社会学概論	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2090	●経済学概論1(国際経済を含む。)	2	RT	
		PE2100	経済学概論2(国際経済を含む。)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE3090	心理学概論	2	RT	

●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(数学)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
数学	代数学	PF2010	●代数学1	2	RT	
		PF2020	代数学2	2	RT	
		PF2022	代数学3※1 ※2	2	RT	
	幾何学	PF2030	●幾何学1	2	RT	
		PF2040	幾何学2	2	RT	
		PF2042	幾何学3※1 ※2	2	RT	
	解析学	PF2050	●解析学1	2	RT	
		PF2060	解析学2	2	RT	
		PF2062	解析学3※1 ※2	2	RT	
	「確率論、統計学」	PF3010	●確率論	2	RT	
		PF3020	統計学	2	RT	
	コンピュータ	PF2064	コンピュータ概論※1 ※2	2	RT	
		PF2070	●コンピュータ演習1	1	S	¥20,000
		PF2080	コンピュータ演習2	1	S	¥20,000
		PF3030	コンピュータ演習3	1	S	¥20,000
		PF3040	コンピュータ演習4※3	1	S	¥20,000

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。
※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります(科目等履修生では単位修得できませんので注意してください)。 ▶088・089ページ参照
※3「コンピュータ演習4」を履修する場合は「コンピュータ演習2」を履修する必要があります。

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(理科)

教科	免許法施行規則に定める科目区分		科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	中学校	高等学校					
理科	物理学		PG2010	●物理学概論1	2	RT	
			PG2020	物理学概論2	2	RT	
	化学		PG3020	●化学概論1	2	RT	
			PG3030	化学概論2	2	RT	
	生物学		PG2030	●生物学概論1	2	RT	
			PG2040	生物学概論2	2	RT	
	地学		PG2060	●地学概論1	2	RT	
			PG2070	地学概論2	2	RT	
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	PG3010	●物理学実験(コンピュータ活用を含む。)※1	1	S	¥35,000
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)		PG3040	●化学実験(コンピュータ活用を含む。)※1	1	S	¥35,000
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		PG2050	●生物学実験(コンピュータ活用を含む。)※1	1	S	¥35,000
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)		PG2080	●地学実験(コンピュータ活用を含む。)※1	1	S	¥35,000

●印：一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。

教育職員免許法第6条等に基づく教員免許状の取得方法について

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(美術)

教科	免許法施行規則に定める科目区分 中学校	免許法施行規則に定める科目区分 高等学校	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
美術	絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画(映像メディア表現を含む。)	PJ2010	デッサン1	1	S	¥90,000
			PJ2020	デッサン2	1	S	¥90,000
			PJ2030	●絵画1※1	1	S	¥90,000
			PJ2040	絵画2	1	S	¥90,000
			PJ3010	●映像メディア表現1※1	1	S	¥90,000
			PJ3020	映像メディア表現2	1	S	¥90,000
	彫刻	彫刻	PJ2050	●彫塑1	1	S	¥90,000
			PJ2060	彫塑2	1	S	¥90,000
	デザイン(映像メディア表現を含む。)	デザイン(映像メディア表現を含む。)	PJ3030	●デザインA※2	1	S	¥90,000
			PJ3040	デザインB	1	S	¥90,000
			PJ3050	平面構成基礎	1	S	¥90,000
			PJ3060	立体構成基礎	1	S	¥90,000
			PJ3070	●映像メディア表現3※2	1	S	¥90,000
			PJ3080	映像メディア表現4	1	S	¥90,000
	工芸	—	PJ3090	●工芸基礎A	1	S	¥90,000
			PJ3100	工芸基礎B	1	S	¥90,000
			PJ3110	工芸A	1	S	¥90,000
			PJ3120	工芸B	1	S	¥90,000
	美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	PJ2070	●教職美術入門(鑑賞)※3	2	S	¥16,000
			PJ2080	●美術理論1※3	2	RT	
			PJ2090	美術理論2	2	RT	
			PJ2100	●美術史概論※3	2	RT	
			PJ2110	●日本·東洋美術史※3	2	RT	

●印:一般的包括的内容を含む科目
※1 免許法施行規則に定める科目区分の『絵画(映像メディア表現を含む。)』の一般的包括的内容を満たすには、「●絵画1」、「●映像メディア表現1」両方の単位修得が必要になります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分の『デザイン(映像メディア表現を含む。)』の一般的包括的内容を満たすには、「●デザインA」、「●映像メディア表現3」両方の単位修得が必要になります。
※3 免許法施行規則に定める科目区分の『美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)』の一般的包括的内容を満たすには、「●教職美術入門(鑑賞)」、「●美術理論1」、「●美術史概論」、「●日本·東洋美術史」すべての単位修得が必要になります。

別表第8 ▶▶ 教科に関する科目(英語)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
英語	英語学	PK2010	●英語学概論	2	RT	
		PK2020	英文法	2	RT	
	英米文学	PK2030	●英米文学1※3	2	RT	
		PK2040	●英米文学2※3	2	RT	
		PK2042	英米文学3※1 ※2	2	RT	
	英語コミュニケーション	PK2050	●英語コミュニケーション1	2	S	¥16,000
		PK2060	英語コミュニケーション2	2	S	¥16,000
		PK3010	英語コミュニケーション3	2	S	¥16,000
		PK3020	英語コミュニケーション4	2	S	¥16,000
	異文化理解	PK2070	●異文化理解1	2	RT	
		PK3030	異文化理解2	2	RT	
		PK3032	異文化理解3※1 ※2	2	RT	
		PK3034	異文化理解4※1 ※2	2	RT	

●印:一般的包括的内容を含む科目
※1 入学後に追加履修ができない科目です。
※2 免許法認定通信教育の科目です。免許法第6条別表第3、第4、第8を根拠に取得する場合のみ有効な科目です。当該科目を履修する場合、認定通信生として入学となります(科目等履修生では単位修得できませんので注意してください)。 ▶088・089ページ参照
※3 免許法施行規則に定める科目区分の『英米文学』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●英米文学1」と「●英米文学2」両方の単位修得が必要になります。

別表第8 ▶▶ 教科又は教職に関する科目(中学校·高等学校)

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

免許法施行規則に定める科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科又は教職に関する科目	PA1060	教育の最新事情	2	S	¥16,000
	PA2200	教育法規1	2	RTorSR	(¥8,000)
	PA2210	教育法規2	2	RTorSR	(¥8,000)
	PA3060	情報教育1	2	RT	
	PA3070	情報教育2	2	RT	
	PA3080	授業研究1	2	RT	
	PA3090	授業研究2	2	RT	
教科又は教職に関する科目(高等学校のみ)	PC3020	道徳教育の指導法(中学校)	2	RTorSR	(¥8,000)

保育士資格

■ 保育士試験科目を免除するためには

幼稚園教諭普通免許状を所持されている方が保育士試験を受験する場合、指定保育士養成施設(本学の科目等履修生も該当します)において筆記試験科目に対応する本学開講科目を単位修得すれば、当該科目の筆記試験免除申請ができます。免除申請のためには、指定保育士養成施設が発行する「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書」(幼教専修証明書)の提出が必要となります。免除対象科目は下表のとおりです。

※ 認定こども園法の特例により保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

■ 入学条件

幼稚園教諭普通免許状所持者

■ 関連科目

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

筆記試験科目	指定保育士養成施設で修得した教科目	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
社会福祉	社会福祉	PM1010	社会福祉論	2	RT	
	相談援助	PM2010	相談援助	2	SR	¥10,000
児童家庭福祉	児童家庭福祉	PM1020	子ども福祉論	2	RT	
	家庭支援論	PM3050	子育て支援論	2	RT	
子どもの保健	子どもの保健Ⅰ	PM2060	子どもの保健1	2	RT	
		PM2070	子どもの保健2	2	RT	
	子どもの保健Ⅱ	PM2080	子どもの保健(演習)	1	SR	¥10,000
子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	PM3030	子どもの食と栄養	2	SR	¥20,000
保育原理	保育原理	PB3010	保育学1	2	RTorSR	(¥8,000)
		PB3020	保育学2	2	RTorSR	(¥8,000)
	乳児保育	PM2090	乳児保育1	1	SR	¥10,000
		PM2100	乳児保育2	1	SR	¥10,000
	保育相談支援	PM3110	保育相談支援	2	SR	¥10,000
	障害児保育	PM3190	障害児保育	2	SR	¥10,000
社会的養護	社会的養護	PM2020	社会的養護	2	RT	
	社会的養護内容	PM2110	社会的養護内容	2	SR	¥10,000
保育実習理論	保育内容総論	PB3120	保育内容総論	2	SR	¥8,000
	保育内容演習	PB2170	保育内容A・健康	2	SR	¥10,000
		PB3130	保育内容B・人間関係	2	SR	¥10,000
		PB3140	保育内容C・環境	2	SR	¥10,000
		PB3150	保育内容D・言葉	2	SR	¥10,000
		PB2180	保育内容E・表現1	2	SR	¥10,000
		PB2190	保育内容F・表現2	2	SR	¥10,000
	保育の表現技術	PB2040	音楽実技1	1	S	¥20,000
		PB2050	音楽実技2	1	S	¥20,000
		PM2160	幼児の造形	2	SR	¥20,000
		PM3140	幼児の体育	2	SR	¥20,000

① 筆記試験科目に対応する本学開講科目が2科目以上ある場合、そのすべてを単位修得しなければなりません。また開講科目が複数ある場合、同一の指定保育士養成施設で単位修得する必要があります。
(例 試験科目「社会福祉」の筆記試験免除を希望する場合は、本学開講科目「社会福祉論」と「相談援助」の単位修得が必要となります。)
② すべての科目を修得しようとした場合、49単位の単位修得が必要となるため、1年間での単位修得はできません。(科目等履修生の年間履修単位の上限は30単位となります。)

資格関連

社会教育主事任用資格

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

「社会教育主事講習等規定」に定める科目	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
生涯学習概論	WK1150	生涯学習論1	2	RT	
	WK1160	生涯学習論2	2	RT	
社会教育計画	PN5010	社会教育計画1	2	RT	
	PN5020	社会教育計画2	2	RT	
社会教育演習	PN5030	社会教育課題研究1	2	SR	¥8,000
社会教育実習 社会教育課題研究	PN5040	社会教育課題研究2	2	SR	¥8,000
社会教育特講I（現代社会と社会教育）	PN5050	現代社会論特講（現代社会と社会教育1）	2	RT	
	PN5060	現代社会論特講（現代社会と社会教育2）	2	RT	
社会教育特講II（社会教育活動・事業・施設）	PA3040	教育行財政1	2	RTorSR	（¥8,000）
	PA3050	教育行財政2	2	RTorSR	（¥8,000）
	WK1170	図書館の基礎と展望	2	RT	
	PN5070	職業指導I	2	RT	
	PN5080	職業指導II	2	RT	
社会教育特講III（その他必要な科目）	PA1020	教育原理	2	RTorSR	（¥8,000）
	PA1030	教育の制度と経営	2	RT	
	WK1070	国際関係論1	2	RT	
	WK1080	国際関係論2	2	RT	
		計	34		

※ 受講方法「RT」「SR」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。

※「社会教育課題研究1」「社会教育課題研究2」はSR科目ですので、スクーリングの受講が必要です。開講時期は夏期スクーリングのみとなります。

図書館司書資格

「図書館法施行規則」に定める科目	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
生涯学習概論	WK1150	生涯学習論1	2	RT	
図書館制度・経営論	PN5310	図書館制度・経営論	2	RT	
図書館概論	WK1170	図書館の基礎と展望	2	RT	
図書館情報技術論	PN5320	図書館情報技術論	2	RT	
図書館サービス概論	PN5330	図書館サービス概論	2	RT	
情報サービス論	PN5340	情報サービス論	2	RT	
情報サービス演習	PN5350	情報サービス演習1	1	S	¥20,000
	PN5360	情報サービス演習2	1	S	¥20,000
図書館情報資源概論	PN5370	図書館情報資源概論	2	RT	
情報資源組織論	PN5390	情報資源組織論	2	RT	
情報資源組織演習	PN5400	情報資源組織演習1	1	S	¥20,000
	PN5410	情報資源組織演習2	1	S	¥20,000
児童サービス論	PN5380	児童サービス論	2	RT	
図書・図書館史	PN5420	図書・図書館史	2	RT	
図書館施設論	PN5430	図書館施設論	2	RT	
		計	26		

※ 受講方法「RT」「S」の詳細は012ページを参照してください。

※ 受講方法「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

受講上の注意！

・「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は、コンピュータを扱う授業となりますので、スクーリング受講時までにキーボード操作に慣れていることが必要です。

・文部科学省委嘱による図書館司書講習にて修得した単位は一切使えません。本学通信教育部にてすべての単位を修得してください。

学校図書館司書教諭資格

学校図書館司書教諭資格を取得するためには、次の本学通信教育部開講科目を履修します。

「学校図書館司書教諭講習規定」に定める科目	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
学校経営と学校図書館	PN5210	学校経営と学校図書館	2	RT	
学校図書館メディアの構成	PN5240	学校図書館の情報アプローチI※1	2	SR	¥10,000
学習指導と学校図書館	PN5220	学習指導と学校図書館	2	RT	
読書と豊かな人間性	PN5230	読書と豊かな人間性	2	RT	
情報メディアの活用	PN5250	学校図書館の情報アプローチII※1	2	SR	¥10,000
		計	10		

※ 受講方法「RT」「SR」の詳細は012ページを参照してください。
※ 受講方法「SR」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。
※1「学校図書館の情報アプローチI」「学校図書館の情報アプローチII」はセットで履修が必要です。

■受講資格

教育職員免許法に定める小学校・中学校・高等学校・特別支援学校（盲・ろう・養護学校）のいずれかの普通免許状を所持する方。

■資格の取得時期

学校図書館司書教諭資格は単位修得後文部科学省へ「学校図書館司書教諭講習修了証書」の申請をします。「修了証書」は本学通信教育部を経由して文部科学省へ申請し、その翌年の3月上旬以降文部科学大臣より交付されます。なお、スクーリング科目（「学校図書館の情報アプローチI」、「学校図書館の情報アプローチII」）は夏期スクーリングと12月（冬期）スクーリングで開講を予定しています。

「学校図書館の情報アプローチI」および「学校図書館の情報アプローチII」の受講

4月生▶2015（平成27）年　夏期または12月（冬期）スクーリング
10月生▶2015（平成27）年　12月（冬期）スクーリング

▼

全必要単位修得

↓

2016（平成28）年5月までに修得 あわせて本学通信教育部へ申込み（講習への書類参加）

▼

2017（平成29）年3月上旬以降 修了証書交付

講習への書類参加について

講習科目の全単位修得者は、文部科学大臣委嘱の学校図書館司書教諭講習に出席することなく、所定書類の提出をもって修了証書が授与されます（書類参加と言います）。
対象者は、教育職員免許法に定める小・中・高・特別支援学校（盲・ろう・養護学校）の教諭のいずれかの普通免許状の取得者となります。
したがって、上記に定める学校の普通免許状を何ら有さない場合は講習科目の単位を修得されても講習への書類参加ができません。

注意！

① 学校図書館法第5条第3項に定める学校図書館司書教諭の講習における修得単位を有する場合でも、一部の単位のみ本学で履修する場合は、本学で講習の書類参加ができない場合があります。
② 修了証書の効力はその者が学校の教諭の普通免許状を取得した時点から生じます。

全学共通科目

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

科目区分	科目コード	本学開講授業科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
心と体の健康管理の教育	WG1030	倫理学1	2	RT	
	WG1040	倫理学2	2	RT	
	WG1070	宗教学1	2	RT	
	WG1080	宗教学2	2	RT	
	WG1110	心理学1	2	RTorSR	（¥8,000）
	WG1120	心理学2	2	RTorSR	（¥8,000）
	WG1130	教育学1	2	RT	
	WG1140	教育学2	2	RT	
幅広い教養を身につけた自立する市民の育成	WJ1030	外国事情1	2	RT	
	WJ1040	外国事情2	2	RT	
	WJ1090	文化人類学1	2	RT	
	WJ1100	文化人類学2	2	RT	
	WJ1130	日本史1	2	RT	
	WJ1140	日本史2	2	RT	
	WJ1150	西洋の歴史と文化1	2	RT	
	WJ1160	西洋の歴史と文化2	2	RT	
	WK1030	現代政治を読み解く1	2	RT	
	WK1040	現代政治を読み解く2	2	RT	
	WL1050	統計学1	2	RTorSR	（¥8,000）
	WL1060	統計学2	2	RTorSR	（¥8,000）
	WL1070	基礎数学1	2	RT	
	WL1080	基礎数学2	2	RT	
	WL1090	生物学1	2	SR	¥8,000
	WL1100	生物学2	2	SR	¥8,000

※ 受講方法「RT」「SR」の詳細は012ページを参照してください。「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申し込む際に受講方法を選択することができます。
※ 受講方法「SR」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリング受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとに申込みおよび受講費の納入が必要となります。

認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状および保育士資格取得の特例について

認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状または保育士資格を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

入学コース

認定通信生

▶入学資格・出願書類については、110～112ページ参照 を確認してください。

認定通信生について

認定通信生とは、免許法認定通信教育として1年ごとに文部科学省から認定を受けた科目を履修するための入学コースです。
本入学コースで受講可能な科目は、教職課程の課程認定を受けておりません。その代わりに、「免許法認定通信教育として文部科学省の認定を受け、教育職員検定で教員免許状を取得する際に使用できる」ように平成27年度適用の申請中(平成26年10月末現在)です。
本入学コースの設置目的は、

① 教育職員検定(免許法第6条別表第3、第4、第8)で中学校・高等学校(数学)の教員免許状を取得しようとした場合には、SR科目を一切履修せずRT科目のみで単位の修得をめざせるようにすることであり、科目等履修生で履修するSR科目を免許法認定通信教育のRT科目の単位修得で済ませることができるように科目の設置を行っています。

② 教育職員検定(免許法第6条別表第3、第4、第8)で中学校・高等学校(英語)の教員免許状を取得しようとした場合には、SR科目の履修を軽減するように科目の設置を行っています。

③ 教育職員検定(免許法第6条別表第7)で特別支援学校教諭の教員免許状を取得しようとした場合には、SR科目を一切履修せずRT科目のみで単位の修得をめざせるようにしているほか、少ない単位数で教員免許状を取得できるようにしています。

免許法認定通信教育とは…教育職員検定で教員免許状を取得する際に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために利用できる通信教育として文部科学省が認定しているものです。(教育職員免許法施行規則第44～49条)

入学に関する考え方

【1】免許法認定通信教育の科目のみの単位修得をめざす場合… 「認定通信生」への入学
【2】免許法認定通信教育の科目の単位修得は不要で、課程認定を受けた科目のみの単位修得をめざす場合… 「科目等履修生」への入学
【3】免許法認定通信教育の科目の単位修得と課程認定を受けた科目の単位修得の両方を必要とする場合… 「科目等履修生」と「認定通信生」の両方への入学(以下「科目等履修生かつ認定通信生」という。)

在籍可能期間

1年間

注意事項

【1】「認定通信生」「科目等履修生かつ認定通信生」には定員（若干名）があるため、先着順となります。
【2】履修をする科目については、110ページの入学資格を確認のうえ、該当ページを参照してください。
【3】「認定通信生」は入学時に登録した科目以外は追加履修できません。
【4】「科目等履修生かつ認定通信生」は、入学時に登録した科目以外は、受講制限のある科目の追加履修はできません。
※「科目等履修生」としての開講科目については、追加履修ができます。（理科の実験科目を除く）
【5】「科目等履修生かつ認定通信生」は、それぞれの学籍番号と受講番号が付与され、それぞれの受講証が配付されます。
※ 同時期の出願の場合のみ、「科目等履修生」と「認定通信生」は、同時に在籍が可能です。
【6】文部科学省からの認定のタイミングにより、入学許可までの期間が、007ページに記載している期間よりも長くなる可能性があります。

入学時納入金および学費

必要単位数によって異なります。
学費は科目等履修生と同様です。【科目等履修生　入学時納入金早見表】で確認してください。
▶060ページ参照

※「科目等履修生かつ認定通信生」として同時に出願する場合は、入学選考料、履修登録費、補助教材費は二重で納入をする必要はありません。科目等履修生と認定通信生の履修単位数を合計のうえ、【科目等履修生　入学時納入金早見表】で、入学時納入金合計額を確認してください。▶060ページ参照
※ 1年間ですべての単位を修得できず、次年度以降も学習を継続する場合は、別途手続きが必要です。

出願にあたって

出願をする前に、教員免許状申請をする都道府県教育委員会に以下を確認する必要があります。
※ 東京都教育委員会においては、下記①②について利用可能であることの確認がとれています。
① 免許法認定通信教育で履修する科目について、教員免許状申請への利用可否を確認してください。
②「コンピュータ概論」は「一般的包括的内容を含む科目」として本学では位置づけ、開講しています。ただし、「一般的包括的内容を含む科目」として該当するかについては、各都道府県教育委員会による判断になります。したがって、中学校・高等学校（数学）の教員免許状を取得希望で、「コンピュータ概論」を履修する場合、とくに注意して教員免許状申請への利用可否を確認してください。
※ 必要に応じて、科目概要を提示してください。科目概要は、本学通信教育部ホームページの「科目概要」にて確認することができます。▶ ホームページのURLは157ページ参照

入学コース

特修生

入学資格

中学校を卒業した方で、2015（平成27）年4月1日現在満18歳以上の方。

受講コース

■ **本学（通信教育課程）入学資格取得コース**

高等学校中退者等大学入学資格のない方が、本学の教育学部教育学科（通信教育課程）の正科生として入学する資格を得るためのコースです。特修生は、全学共通科目の中から「教育学1」、「教育学2」、「心理学1」、「心理学2」、「法学1」、「法学2（日本国憲法）」、「外国語（英語）1A」、「外国語（英語）1B」、「日本史1」、「日本史2」の10科目について単位を修得します。この10科目に合格すると正科生1年次への入学資格が得られます（改めて正科生1年次への入学手続きが必要です）。

在学可能年数

3年間（休学はできません。）

履修科目および受講方法

（￥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
全学共通科目	教育学1	2	RT	
	教育学2	2	RT	
	心理学1	2	RTorSR※	（￥8,000）
	心理学2	2	RTorSR※	（￥8,000）
	法学1	2	RTorSR※	（￥8,000）
	法学2（日本国憲法）	2	RTorSR※	（￥8,000）
	外国語（英語）1A	1	SR	￥10,000
	外国語（英語）1B	1	SR	￥10,000
	日本史1	2	RT	
	日本史2	2	RT	

① ※印の科目はスクーリングでも受講ができます。受講方法でSRを選択する場合は1科目につき8,000円が必要です。
② 特修生として修得した単位は１年次入学時に単位認定されます。ただし修業年限は加算されません。
③ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）で一部の科目が合格済みであっても本学通信教育部で必要とする10科目すべての単位を修得してください。

入学時納入金および学費

入学時納入金は出願時に、154,000円を一括で振り込んでください。

▶▶ **入学時納入金内訳**

内訳	金額
入学選考料	10,000円
入学金	30,000円
授業料（年額）	108,000円
補助教材費	6,000円
合計	**154,000円**

① スクーリング受講費は入学後別途必要です。
② 「履修科目および受講方法」表の全科目を1年間で修得できない場合は、2年目の学費（継続費54,000円、補助教材費6,000円、合計60,000円）が必要です。
③ 明星大学通信教育部学則の変更に伴い、次年度以降の入学金・学費等はその額を改定する場合があります。

▶ 入学時納入金に関する注意事項、辞退については 010ページ参照してください。

出願書類

■ **大学入学資格取得コース**

A 入学志願書兼学籍簿（写真貼付・注意①参照）
C 志願者登録票
D 出願書類受付通知ハガキ（52円切手貼付）
E 入学選考結果通知送付用封筒（300円切手貼付）
F 入学時納入金銀行振込用紙
G 人物に関する調査書（注意②参照）

注意！

① 「A 入学志願書」貼付のカラー写真は受講証に使用します。上半身脱帽正面向、無背景、縦４cm×横３cm、最近６ヵ月以内に撮影のもので、写真裏面に氏名を記入してください。スナップ写真、プリクラは受付できません。
② 「G 人物に関する調査書」はすべての出願者が、提出の必要があります。 ▶122・123ページ参照
調査書は６ヵ月以内（証明日～本学到着日）に記載を受けたものを提出してください。

教員免許状・資格取得について

教員免許状・資格の概要

教員免許状

本学では幼稚園教諭1種・2種免許状、小学校教諭1種・2種免許状、中学校教諭1種・2種免許状（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・英語）、高等学校教諭1種免許状（国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・英語）、特別支援学校教諭1種・2種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）の各教員免許状を取得することができます。

特別支援学校の教員免許状を取得するには、教育職員免許法に定める幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれかの教員免許状を有していなければなりません。

学校図書館司書教諭資格

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に設置される学校図書館で図書や資料の選択、分類、目録作成、貸出業務、児童・生徒からの読書相談に応じるなど学校図書館の担当者として職制上配置される教諭のことをいいます。

この資格は教育職員免許法に定める小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの教員免許状を有する必要があります。

保育士資格

保育所、母子生活支援施設、児童養護施設などの児童福祉施設において、児童（幼児から18歳まで）の保育および児童の保護者へ保育に関する指導や助言を行います。卒業後、都道府県に保育士登録を行い、都道府県知事から保育士証が交付されてから職務に就くことが可能となります。

図書館司書資格

図書館法に基づいて、地方公共団体（都道府県や市町村）が設置する公立図書館および法人が設置する私立図書館で図書や資料の選択、分類、目録作成、貸出業務、利用者からの読書相談に応じるなど専門的職務に従事します。

社会教育主事任用資格

都道府県および市町村の教育委員会の事務局に勤務し、公民館、児童館、PTA、婦人会などの代表者に団体の運営方法や活動方法などについて助言・指導を行う社会教育主事となるための任用資格です。社会教育主事になるには、資格取得後、教育委員会の事務局などで1年以上、社会教育主事補として勤務する必要があります。

教員免許状

教員免許状の取得希望者へ（正科生、正科・課程履修生）

【1】正科生、正科・課程履修生で教員免許状を取得する際の根拠法令は、教育職員免許法「第５条別表第１」となります。
【2】本学通信教育部では、これを基に教育課程を組み、課程認定を得ているため、本学通信教育課程カリキュラムに沿って単位を修得することになります。
【3】卒業（退学）した大学の「学科」が取得希望免許校種の課程認定を受けている場合のみ、その大学が発行した「学力に関する証明書」に基づき修得免除科目を検討します。
【4】教育職員免許法施行規則「第６条備考12・備考13」による単位の流用について、教育実習および教職実践演習以外の単位を流用することは本学通信教育部では認めておりません。

教員免許状取得にあたって

教員免許状は、所定の単位を修得後、個人で各都道府県教育委員会へ申請します。ただし教育職員免許法により、次の条項の該当者は教員免許状の取得ができません。したがって教員免許状取得を目的として入学することはできません。

教育職員免許法第５条第１項第３号～第７号までの規定の該当者

第３号 成年被後見人又は被保佐人
第４号 禁錮以上の刑に処せられた者
第５号 第10条第１項第２号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から３年を経過しない者
第６号 第11条第１項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から３年を経過しない者
第７号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2種免許状の取得にあたって

本学では、１種免許状を取得するための教職課程の認定を文部科学省から受けていますが、所要資格を満たすことで途中段階である2種免許状（幼・小・中）の申請が可能になります。

▶▶ 2種免許状取得までに必要な期間

入学コース	「教職実践演習（教諭）」※1	「介護等体験」※2	所要年数
正科生3年次編入学（短期大学卒業者）	必要	必要	2年
	不要	不要	1年※3
正科生3年次編入学（短期大学卒業者以外）	必要	必要	2年
	不要	不要	2年
正科・課程履修生	必要	必要	2年
	不要	不要	1年※3

※「教職実践演習（教諭）」「介護等体験」の要・不要については、入学時にご案内します。
※1「教職実践演習（教諭）」については、096ページを参照してください。
※2「介護等体験」については、101・102ページを参照してください。
※3 教科専門（美術）コースの場合、スクーリング必修科目が多いため、所要年数が２年かかる場合があります。

2種免許状取得にあたっての詳細は、入学後に『履修の手引』で案内します。

教員免許状／教職実践演習について

教員免許状取得希望者の「教職実践演習」について

2010（平成22）年度から、改正教育職員免許法施行規則が施行され、教職課程に「教職実践演習」という科目が新設されました。「教職実践演習」は、中央教育審議会「今後の教員養成・免許制度の在り方について（答申）」において、「教職実践演習（仮称）は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、課程認定大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた学びの軌跡の集大成として位置付けられるものである」と記載されています。したがって、この科目の履修を通じて、将来、教員になるうえで、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。

【本学開講授業科目名】

「教職実践演習（教諭）」

【教職実践演習（教諭）　受講方法】

「教職実践演習（教諭）」はＳＲ科目として開講します。受講にあたっては受講資格がありますので、注意してください。

【教職実践演習（教諭）　受講資格】

「教職実践演習（教諭）」受講にあたっては、スクーリング申込時点で、以下の受講資格をすべて満たすことが必要です。１つでも受講資格を満たしていない場合は、受講許可とはなりません。

① ４年次に進級していること。

② 取得希望教員免許状の取得に係る必修科目（教育実習、教育実習指導および「教育職員免許法施行規則第６６条の６」に定める科目を除く）のうち26単位以上を本学通信教育部において単位修得済みであること（認定単位を除く）。

※ 入学時に本学通信教育部で「教科に関する科目」「教職に関する科目」について6単位以上個別認定を受けた者は、取得希望教員免許状の取得に係る必修科目（教育実習、教育実習指導および「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目を除く）のうち18単位以上を本学通信教育部において単位修得済みであること。

※ レポートが添削中の場合、科目終了試験やスクーリングで合格していれば受講資格として含めることができる。

③ 介護等体験が必要な場合、実施済みであること。もしくは、当該年度に実施予定であること。

④ 教育実習の修得を必要とする場合、教育実習が合格していること。ただし、教育実習が終了していて、事後提出物が出されている場合（評価判定待ち）には申し込むことができる。

※ 教育実習が不合格の場合は、「教職実践演習（教諭）」を受講することはできない。

⑤「教職実践演習（教諭）」のレポートが提出済みであること。

⑥「教職履修カルテ」が提出済みであること。

※「教職履修カルテ」には日頃から学習状況など必要事項を記入して、スクーリング申込時に一緒に提出すること。

【その他注意事項】

①「教職実践演習（教諭）」については、本学通信教育部の場合、すべての免許種において共通開講となります。よって本学通信教育部で複数校種の教員免許状取得を希望する場合でも、複数回受講する必要はありません。

②「教職実践演習（教諭）」が不合格となった場合は、科目の趣旨にもあるように、現時点では教員として最小限必要な資質能力が身に付いていないと判断されたことになります。
再受講することは可能ですが、成績通知後面接指導を行い、課題を提出していただくことになります。これが終了しない限り、次の「教職実践演習（教諭）」の申込みはできません。

③「教職実践演習（教諭）」を単位修得して、年度内に教員免許状の申請を考えている場合、教育実習は目安として教員免許状を申請する年度の11月までには終了してください。

【「教職実践演習（教諭）」が不要に該当する方】

① 教育職員免許法施行規則第６条備考12号
出身の短期大学または大学において、本学で取得希望の教員免許状と他校種の教員免許状を平成10年改正法以降で取得している場合（第５条別表第１による取得のみ）。

② 教育職員免許法施行規則附則第３条
出身の短期大学または大学において、本学で取得希望の教員免許状と同校種の「総合演習」を平成25年3月31日までに修得している場合、または同校種の「教職実践演習」を修得している場合（第５条別表第１による取得のみ）。

上記①・②に該当しない場合は、「教職実践演習（教諭）」が必要になります。「教職実践演習（教諭）」の履修が必要か不要かは入学時にご案内します。

教員免許状／教育実習について

教育実習について

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法施行規則第６条および第7条の規定により、幼稚園および小学校では「初等教育実習」を、中学校および高等学校では「中等教育実習」を、特別支援学校では「特別支援教育実習」を行わなければなりません。教育実習は通信授業（RT科目）や面接授業（S科目・SR科目）での単位修得はできません。通学課程（一般の大学生）と同様の内容が求められます。
なお、不慮の事故や不測の事態に鑑み、妊娠している方の教育実習はできません。

教育実習期間および単位

幼稚園での教育実習
4週間（18日以上）＝4単位および「初等教育実習指導」１単位を合わせて5単位です。

小学校での教育実習
4週間（18日以上）＝4単位および「初等教育実習指導」１単位を合わせて5単位です。

中学校での教育実習
3週間（15日以上）＝4単位および「中等教育実習指導」１単位を合わせて5単位です。

高等学校での教育実習
2週間（9日以上）＝2単位および「中等教育実習指導」１単位を合わせて3単位です。

特別支援学校での教育実習（特別支援学校教諭免許状取得希望者）
2週間（9日以上）＝事前事後指導（特別支援学校教育実習事前オリエンテーション含む）を含めて3単位です。

※ 他校種の教員免許状の取得者は、教育実習期間を軽減できる場合があります。詳細は入学後に配付する補助教材にて確認するか、事務局教育実習担当へ問い合わせてください。
※ 正科生で本学通信教育部において小学校・中学校・高等学校教員免許状を組みあわせて複数の教員免許状を取得する場合は、教育実習単位の一部流用による教育実習期間の軽減ができます。詳細は入学後に配付する補助教材にて確認するか、事務局教育実習担当へ問い合わせてください。
※ 特別支援学校での教育実習は、学校数も少ないため、教育実習先の確保が困難になる場合もあります。
※ 連続した2週間（9日以上）の教育実習期間が必要です。9日未満での教育実習は認めておりません。
※ 特別支援教員コースで、小学校・特別支援学校の両方の教員免許状取得希望者は、小学校での教育実習を先に行うほうが望ましいです。

教育実習指導費

35,000円（教育実習ごとに必要です。）

教育実習を依頼する学校・幼稚園

原則として、各自で交渉し、内諾を得ることとなります。教育実習校（園）が小規模で教育実習受け入れ態勢がとれない場合や現住所と離れていて通学不可能な場合は、現住所の学区内学校・幼稚園や、採用試験を受験する（した）地域の学校（園）に依頼するのが一般的です。日本国内に所在し、学校教育法で定められた学校（園）での教育実習となります。ただし、市区町村等により各教育委員会が教育実習時期や教育実習受け入れ校（園）を指定する場合があります。

〈教育実習できない学校（園）〉

（1）勤務校（園）
教員・講師だけでなく、職員・介助員・相談員・学童保育指導員・支援員・栄養士職など、いかなる雇用形態であっても教育実習を行う学校（園）内で勤務している場合は認めません。

（2）親族が勤務・在籍している学校（園）（親族とは６親等まで）

※ 詳細は入学後に配付する補助教材にて確認してください。

教員免許状／教育実習について

独自の受け入れ態勢をとっている地域（2014年度現在本学が把握している自治体）

地　域	注意事項
東京都内の公立学校（園） （個人での交渉、申請はできません。）	教育実習実施の前年度に大学を通して東京都教育委員会に申請する必要があります。教育実習実施年度の4月1日で4年次であることが条件です。詳細は入学後に配付する補助教材にてお知らせします。 教育実習期間は幼稚園・小学校は4週間、中学校は3週間、高等学校は2週間、特別支援学校は2週間です。単位の流用を前提とした実習期間の設定はできません。
北海道全域の特別支援学校、神奈川県全域の特別支援学校、横浜市立の小・中学校、江別市、小樽市、名古屋市、津市、京都市、豊中市、神戸市、姫路市、下関市、高松市、北九州市の各公立学校（個人での交渉、申請はできません。）	教育実習実施の前年度に大学を通して各教育委員会または関係機関に申請する必要があります。 詳細は入学後に配付する補助教材にてお知らせします。
伊勢崎市、桐生市、八千代市、上田市、岐阜市、呉市、愛知県全域（名古屋市以外）、滋賀県全域の各公立学校	教育実習実施の前年度の各教育委員会または学校（園）が定める期日までに教育実習関連の手続きを行う必要があります。
秋田県、埼玉県、岐阜県、滋賀県、島根県、福岡県、大分県の各県立学校	教育実習実施の前年度までに手続きが必要です。
入間市、東松山市、市原市、千葉市、船橋市、塩尻市、長野市、各務原市、浜松市、尼崎市、東広島市、福岡市の各公立学校	できるだけ早い時期に教育実習を希望している地域の教育委員会または学校（園）へ手続きに関する詳細を確認してください。
さいたま市、広島市の各公立学校	教育実習実施の前年度中に教育実習校（園）の内諾と各市教育委員会の承認を得ることが原則です。

注意！

① 教育実習を実施する地域によって、所要年数以内で教員免許状を取得できない場合があります。
② 独自の受け入れ態勢をとっている地域は、今後変更になる可能性があります。
③ 東京都内の公立学校の高等学校で教育実習を希望する場合は、教育実習実施希望前年度の4月初旬までに事務局教育実習担当へ問い合わせてください。

特別支援教員コース

特別支援学校教員免許状取得にあたっての特別支援教育実習校の確保について

「基礎免許状を所持し、すべての必要単位を修得できれば、1年間で特別支援学校の教員免許状の取得が可能」と案内しておりますが、実際に特別支援教育実習校（以下、「教育実習校」という。）を確保するにあたっては、希望者に対して学校数が少ないこともあり、教育実習校確保が困難な現状があるのも事実です。また、特別支援学校を管轄する教育委員会や特別支援学校が、以下のような独自に教育実習の受入基準を設けている場合や、教育実習の申込時期が決まっている場合もあります。

事 例

- 教育実習の受入れは、特別支援学校の所在地区に在住の学生のみ
- 教育実習の受入れは、特別支援学校の所在地区にある大学の学生のみ
- 教育実習の受入れは、特別支援学校の所在地区によっては、教育実習前年度の5 ～ 6月ごろに手続きをした学生のみ　など

また、特別支援学校の教員免許状取得を1年間で計画している方に限らず、特別支援学校での教育実習を予定している方は、入学後早い段階で受講資格を確認し、学習計画を立て、教育委員会や学校へ手続き等を確認したうえで教育実習の内諾依頼を行ってください。
以上の状況から、教員免許状取得までに当初ご自身で立てられた計画より時間を要する可能性も十分考えられますので、この状況を考慮したうえで改めて学習計画を立ててください。詳細は、入学後に配付する補助教材にて確認してください。

教育実習申込手続き

教育実習開始予定日の1ヵ月前までに受講資格を満たし、あわせて申込書類を本学通信教育部に送付（必着）します。ただし、「独自の受け入れ態勢をとっている地域」など、教育実習実施地域によって手続き方法が異なります。詳細は、入学後に配付する補助教材にて確認してください。

教育実習時期

教育実習は、大学で学んだ知識・理論をふまえて教育現場で実践的な知識・技術・態度を培うため本学の授業科目として実施するものであり、本学通信教育部で定める教育実習受講資格を満たしてから許可されます。また、独自の受け入れ態勢をとっている地域を除き、各自で教育実習を行う日程を決めなければなりません。
教育実習時期は、年間の教育活動の中で比較的安定した5～6月、10～11月が理想的ですが、教育実習校（園）の承認があれば本学はとくに教育実習時期を指定しません。ただし、教育実習校（園）の休暇中および3～4月の教育実習は許可しません。また教育実習を受講するには、099・100ページの教育実習受講資格を得なければなりません。したがって教育実習の日程は、教育実習受講資格を揃えることのできる時期と、教育実習校（園）の受け入れ可能な時期や都合により決まります。

入学コース別 教育実習受講資格

正科生１年次入学

① 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員免許状取得希望者

・３年次以上に進級していること。
・本学通信教育部において62単位以上修得していること。ただし、そのうち教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」について18単位以上修得していること。
・スクーリング単位を15単位以上修得していること。
・教育実習の申込手続き時に、取得希望免許種の「教育実習指導」のスクーリングが合格しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

② 特別支援学校の教員免許状取得希望者

・３年次以上に進級していること。
・本学通信教育部において62単位以上修得していること。ただし、そのうち特別支援教育に関する科目について16単位以上修得していること。
・スクーリング単位を15単位以上修得していること。
・教育実習の申込手続き時に「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」に出席しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

正科生２年次編入学

① 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員免許状取得希望者

・３年次以上に進級していること。
・62単位以上修得していること（一括認定25単位を含む）。ただし、そのうち教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」について本学通信教育部において18単位以上修得していること。
・スクーリング単位を８単位以上修得していること。
・教育実習の申込手続き時に、取得希望免許種の「教育実習指導」のスクーリングが合格しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

② 特別支援学校の教員免許状取得希望者

・３年次以上に進級していること。
・62単位以上修得していること（一括認定25単位を含む）。ただし、そのうち特別支援教育に関する科目について本学通信教育部において16単位以上修得していること。
・スクーリング単位を８単位以上修得していること。
・教育実習の申込手続き時に「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」に出席しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

正科生３年次編入学

① 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員免許状取得希望者

・教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」について本学通信教育部において26単位以上を修得していること（一括認定50単位を含まない）。
・入学時に本学通信教育部で「教科に関する科目」、「教職に関する科目」について６単位以上個別認定を受けた者は、教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」のうち18単位以上は本学通信教育部で単位修得していること。
・教育実習の申込手続き時に、取得希望免許種の「教育実習指導」のスクーリングが合格しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。
※受講資格に「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目（「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「情報リテラシーａ」「情報リテラシーｂ」「外国語（英語）１Ａ」「外国語（英語）１Ｂ」「法学2（日本国憲法）」を含めることはできません。

② 特別支援学校の教員免許状取得希望者

・特別支援教育に関する科目について本学通信教育部において16単位以上修得していること（入学時の個別認定単位を含まない）。
・教育実習の申込手続き時に「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」に出席しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

教員免許状／教育実習について

入学コース別教育実習受講資格

正科・課程履修生

① **幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員免許状取得希望者**

・教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」について本学通信教育部において26単位以上を修得していること（入学時の個別認定単位を含む）。

・入学時に本学通信教育部で「教科に関する科目」、「教職に関する科目」について６単位以上個別認定を受けた者は、教育実習を行う校種・教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」のうち18単位以上は本学通信教育部で単位修得していること。

・教育実習の申込手続き時に、取得希望免許種の「教育実習指導」のスクーリングが合格しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

※ 受講資格に「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目（「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「情報リテラシーａ」「情報リテラシーｂ」「外国語（英語）１Ａ」「外国語（英語）１Ｂ」「法学2（日本国憲法）」を含めることはできません。

② **特別支援学校の教員免許状取得希望者**

・特別支援教育に関する科目について16単位以上修得していること（入学時の個別認定単位を含まない）。

・教育実習の申込手続き時に「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」に出席しており、当該科目のレポートが合格または不備なく受付されていること。

教育実習受講資格が揃う時期と教育実習開始可能時期の目安

教育実習受講資格が揃う時期	教育実習開始可能時期（目安）
4月科目終了試験	6月以降
5月科目終了試験	7月以降
5月スクーリング	8月下旬以降
6月科目終了試験	
6月スクーリング	9月以降
7月スクーリング	10月以降
8月科目終了試験	
夏期スクーリング	11月中旬以降
9月スクーリング	12月以降
10月科目終了試験	
10月（秋期）スクーリング	翌年1月以降
11月科目終了試験	
11月スクーリング	翌年2月中旬以降
12月科目終了試験	
12月（冬期）スクーリング	翌年2月下旬以降
1月スクーリング	次年度5月以降
2月科目終了試験	
2月スクーリング	
3月（春期）スクーリング	

※ 2月以降の教育実習は、実習校（園）の確保が他の時期に比べて困難な場合がありますので、ご注意ください。上記以外の時期で教育実習受講資格を満たす場合はこの限りではありません。

※ 年度ごとに開講時期を決定するため、年度により開講のないスクーリング·科目終了試験がある場合があります。詳細は入学後に配付する補助教材にて確認してください。

教員免許状／介護等体験について

介護等体験の趣旨

1998（平成10）年４月１日から「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（いわゆる介護等体験特例法）の施行に伴い、小学校及び中学校の普通教員免許状の授与を受けるためには、特別支援学校（盲・ろう・養護学校）で２日間、社会福祉施設で5日間の2ヵ所で計7日間の介護等体験が義務付けられています。ただし下記（介護等体験が不要に該当する方）の場合、介護等体験は不要となります。
なお、不慮の事故や不測の事態に鑑み、妊娠している方の介護等体験はできません。

体験期間・日数

計７日間（原則、特別支援学校（盲・ろう・養護学校）で２日間、社会福祉施設で５日間）

介護等体験費

10,000円

介護等体験の内容

「特例法第2条第1項」において「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」として定められており、介護、介助のほか、障がい者・高齢者の話し相手、散歩の付き添い等の交流体験、あるいは掃除や洗濯といった受け入れ施設の職員に必要とされる業務の補助等も含む幅広い体験となります。

介護等体験が不要に該当する方

① 小学校または中学校の普通免許状を既に取得している方（授与条件に免許法第５条別表第１と記載がある場合に限る）
② 特別支援学校（盲・ろう・養護学校）の普通免許状を既に所持している方（授与条件に免許法第５条別表第１と記載がある場合に限る）
③ 保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士の免許・資格を既に取得している方
④ 身体障害者福祉法第４条に規定する身体障害者のうち、同法第15条第４項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に障害の程度が１級から６級である者として記載されている方
⑤ 1998（平成10）年３月31日以前から現在にいたるまで本学（通学課程または通信教育課程）もしくは他大学・短期大学で継続して学籍を有している方
⑥ 既に介護等体験を実施済みで、介護等体験の体験証明書の原本を所持している方

上記①～⑥に該当しない場合は、介護等体験が必要となります。なお、特別支援教員コースで、小学校と特別支援学校の両方の教員免許状希望者は、上記①～⑥に該当しない限り介護等体験が必要になります。

申込み条件

12月上旬に大学へ介護等体験の申込みをする際、以下の申込み条件があります。

本学通信教育部において、介護等体験申込み締切までに10単位以上のレポートが不備なく提出・受付されていること。

※ 正科生、正科・課程履修生対象（科目等履修生、認定通信生は申込みできません。）

教員免許状／介護等体験について

介護等体験の実施スケジュール

① 介護等体験実施にあたっては、本学通信教育部が一括して各都道府県の教育委員会および社会福祉協議会へ申請します。したがって学生個人が直接交渉することや申し込むことはできません。
② 介護等体験の体験時期は、各都道府県の教育委員会および社会福祉協議会から指定されるため、学生都合による体験時期の指定はできません。
③ 体験希望者は、大学が行う「介護等体験事前オリエンテーション」に出席し、各都道府県の教育委員会および社会福祉協議会が指定する期間に介護等体験を実施します。
④ 介護等体験が終了した際、体験先より体験証明書の交付を受け、大学へ体験日誌とともに提出した後、終了となります。

※ スケジュールはおおよそ以下のようになります。

（体験実施前年度）
12月上旬

本学通信教育部へ介護等体験実施希望の申込み

本学通信教育部へ介護等体験実施を希望する旨の申込みを行います。申込み方法等の詳細は補助教材でお知らせします。前ページの申込み条件を満たすことが必要となります。

（体験実施前年度）
12月～随時

本学通信教育部から各都道府県の教育委員会および社会福祉協議会への申請および各種依頼手続き

（体験実施年度）
4～5月予定

本学通信教育部主催の「介護等体験事前オリエンテーション」への出席

体験を実施する年度の「介護等体験事前オリエンテーション」に出席する必要があります。
このオリエンテーションに出席できない場合は、介護等体験を行うことができません。

（体験実施年度）
7～2月
（上記期間から外れる場合もあります）

特別支援学校および社会福祉施設の2ヵ所で介護等体験実施

指定された学校および施設にて、決定された日程で介護等体験を行います。

保育士資格

保育実習について

保育士資格を取得するためには、児童福祉法施行規則第６条の２第１項第３号の規定により、保育所および児童福祉施設において保育実習を行わなければなりません。保育実習は通信授業（ＲＴ科目）や面接授業（Ｓ科目・ＳＲ科目）での単位修得はできません。通学課程（一般の大学生）と同様の内容が求められます。保育実習の実施にあたっては、入学初年次に明星大学日野校において開催する「保育実習ガイダンス」への出席が必要です。

保育実習期間

保育実習１（必修）　保育所において90時間以上（最低11日間）程度および保育所を除く児童福祉施設等において90時間以上（最低11日間）程度の合計２４日程度
保育実習２※　保育所において90時間以上（最低11日間）程度
保育実習３※　保育所を除く児童福祉施設等において90時間以上（最低11日間）程度
※保育実習２または保育実習３のいずれか１科目必修

保育実習指導費

保育実習1　60,000円
保育実習2　30,000円
保育実習3　30,000円

保育実習を依頼する保育所・児童福祉施設等

原則として、各自で交渉し、内諾を得ることとなります。実習を依頼する保育所および児童福祉施設等には諸条件がありますので、詳細は入学後に配付される補助教材を参照してください。

保育実習申込手続き

入学後に配付される補助教材を参照してください。

保育実習時期

保育実習は、大学で学んだ知識・理論をふまえて保育現場で実践的な知識・技術・態度を培うため実施するものであり、本学通信教育部で定める保育実習受講資格を満たしてから許可されますが、各自で実習する日程を決めなければなりません。ただし、実習先が実習時期を指定する場合があります。

受講資格

実習科目名	受講学年	修得単位	スクーリング単位	備考
保育実習1	2年次以上	30単位以上	8単位以上	「社会福祉論」、「子ども福祉論」、「社会的養護」、「社会的養護内容」、「相談援助」、「保育者論」、「乳児保育1」、「乳児保育2」、「保育実習指導1」を含む。
保育実習2	3年次以上	62単位以上	15単位以上	「発達心理学」、「保育実習1」、「保育実習指導2」を含む。
保育実習3	3年次以上	62単位以上	15単位以上	「発達心理学」、「保育実習1」、「保育実習指導3」を含む。

告示による教科目と本学開講科目対照表

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

告示による教科目 系列	告示による教科目 教科目	本学開講授業科目名	受講方法	単位数 必修	単位数 選択	スクーリング費用	備考
教養科目	外国語、体育以外の科目	法学1	ＲＴorＳＲ		2	(¥8,000)	左記から6単位以上選択
		法学2（日本国憲法）	ＲＴorＳＲ		2	(¥8,000)	
		文化人類学1	ＲＴ		2		
		文化人類学2	ＲＴ		2		
		統計学1	ＲＴorＳＲ		2	(¥8,000)	
		統計学2	ＲＴorＳＲ		2	(¥8,000)	
		国際関係論1	ＲＴ		2		
		国際関係論2	ＲＴ		2		
	外国語	外国語（英語）1Ａ	ＳＲ	1		¥10,000	
		外国語（英語）1Ｂ	ＳＲ	1		¥10,000	
	体育	健康・スポーツ科学論	ＲＴ	2			
		健康・スポーツ演習1	Ｓ	1		¥20,000	
開設単位数合計				**5**	**16**		

保育士資格

(¥):受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

告示による教科目		本学開講授業科目名	受講方法	単位数		スクーリング費用	備考
系列	教科目			必修	選択		
保育の本質･目的に関する科目	保育原理	保育学1	RTorSR	2		(¥8,000)	
		保育学2	RTorSR	2		(¥8,000)	
	教育原理	教育原理	RTorSR	2		(¥8,000)	
	児童家庭福祉	子ども福祉論	RT	2			
	社会福祉	社会福祉論	RT	2			
	相談援助	相談援助	SR	2		¥10,000	
	社会的養護	社会的養護	RT	2			
	保育者論	保育者論	RT	2			
		幼児教育思想史	RT		2		選択科目 左記から16単位以上 選択必修
		教育の制度と経営	RT		2		
		学童保育論	RT		2		
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	発達心理学	RTorSR	2		(¥8,000)	
	保育の心理学Ⅱ	子どもの発達臨床	SR	2		¥8,000	
	子どもの保健Ⅰ	子どもの保健1	RT	2			
		子どもの保健2	RT	2			
	子どもの保健Ⅱ	子どもの保健(演習)	SR	1		¥10,000	
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	SR	2		¥20,000	
	家庭支援論	子育て支援論	RT	2			
		幼児理解の理論と方法	RT		2		
		教育心理学	RT		2		
		臨床心理学	RTorSR		2	(¥8,000)	
		家庭教育論	RT		2		
		保育者･教師のメンタルヘルス	RT		2		
		子どものメンタルヘルス	RT		2		
		児童心理学	RTorSR		2	(¥8,000)	
保育の内容･方法に関する科目	保育課程論	保育課程論	RT	2			
	保育内容総論	保育内容総論	SR	2		¥8,000	
	保育内容演習	保育内容A･健康	SR	2		¥10,000	
		保育内容B･人間関係	SR	2		¥10,000	
		保育内容C･環境	SR	2		¥10,000	
		保育内容D･言葉	SR	2		¥10,000	
		保育内容E･表現1	SR	2		¥10,000	
		保育内容F･表現2	SR	2		¥10,000	
	乳児保育	乳児保育1	SR	1		¥10,000	
		乳児保育2	SR	1		¥10,000	
	障害児保育	障害児保育	SR	2		¥10,000	
	社会的養護内容	社会的養護内容	SR	2		¥10,000	
	保育相談支援	保育相談支援	SR	2		¥10,000	
		乳児保育実践論	RT		2		
		初等教育相談の基礎と方法	RT		2		
		初等教育方法学	RTorSR		2	(¥8,000)	
		養護方法論	RT		2		
保育の表現技術	保育の表現技術	音楽実技1	S	1		¥20,000	
		音楽実技2	S	1		¥20,000	
		幼児の造形	SR	2		¥20,000	
		幼児の体育	SR	2		¥20,000	
		幼児の音楽	SR		2	¥20,000	
保育実習	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導1	SR	2		※3	
	保育実習Ⅰ	保育実習1		4			
	保育実習指導Ⅱ	保育実習指導2 ※1	SR		1	※3	※1または※2の いずれかで3単位 選択必修
	保育実習Ⅱ	保育実習2 ※1			2		
	保育実習指導Ⅲ	保育実習指導3 ※2	SR		1	※3	
	保育実習Ⅲ	保育実習3 ※2			2		
総合演習	保育実践演習	教職実践演習(教諭)	SR	2		¥20,000	
開設単位数合計				**67**	**36**		

※3 保育実習指導費に含まれるためスクーリング費用はかかりません。

出願について

各コースの入学資格・出願書類について

正科生1年次入学 ※ 通学課程と同様、卒業すると学士(教育学)の学位が取得できます。

入学資格

【1】高等学校(中等教育学校後期課程を含む)の卒業者
【2】通常の課程により12年の学校教育を修了した方(通常の課程以外の課程〈通信教育〉により、これに相当する学校教育を修了した方も含む)
【3】満18歳以上の年齢に達し、本学通信教育部において、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた方(特修生として入学し、規定のすべての単位を修得した方)
【4】文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験(旧大検)の合格者
【5】専修学校(高等課程)の修業年限3年以上の課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に卒業した方(大学入学資格付与校卒業者)

① 高等学校(中等教育学校後期課程を含む)卒業後、文部科学省指定の教員養成所(各種学校の場合)・監督庁の定める大学校の卒業者も正科生1年次に入学してください。
② 上記の入学資格に当てはまらない場合は、特修生のページを参照してください。 ▶092ページ参照

出願書類

▶「出願書類上の注意」については 116〜123 ページを参照してください。

○印が提出書類です。選考上の必要に応じて下表に記載されていない書類を請求する場合もあります。なお、提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
各種証明書はすべて6ヵ月以内(発行日～本学到着日)に発行された原本を用意してください。

	高校卒業	高認(旧大検)合格	大学・短大中退
A　入学志願書兼学籍簿(写真貼付)	○	○	○
C　志願者登録票	○	○	○
D　出願書類受付通知ハガキ(52円切手貼付)	○	○	○
E　入学選考結果通知送付用封筒(300円切手貼付)	○	○	○
F　入学時納入金銀行振込用紙	○	○	○
G　人物に関する調査書	○	○	○
H　健康診断書	○	○	○
高等学校卒業(見込)証明書※1(卒業見込み出願者は113ページ参照)	○		
高等学校成績証明書(調査書でも可)※1(卒業見込み出願者は113ページ参照)	○		
高等学校卒業程度認定試験(旧大検)合格証明書※1		○	
大学または短期大学の退学証明書または在籍期間証明書※1			○
大学または短期大学の成績証明書※1			○
新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類(戸籍抄本等)	※2	※2	※2

※1 再入学者は提出不要です。 ▶114ページ参照
※2 証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

正科生2年次編入学 ※ 通学課程と同様、卒業すると学士（教育学）の学位が取得できます。

入学資格

【1】大学・短期大学に1年以上在学し、30単位以上を修得して退学した方
【2】高等専門学校（工業高等専門学校等）で4年次を修了した方
【3】旧制高等学校、旧制専門学校等で2年以上を修了した方

出願書類

▶「出願書類上の注意」については 116～123 ページを参照してください。

○印が提出書類です。選考上の必要に応じて下表に記載されていない書類を請求する場合もあります。
なお、提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
各種証明書はすべて6ヵ月以内（発行日～本学到着日）に発行された原本を用意してください。

書類	
A　入学志願書兼学籍簿（写真貼付）	○
C　志願者登録票	○
D　出願書類受付通知ハガキ（52円切手貼付）	○
E　入学選考結果通知送付用封筒（300円切手貼付）	○
F　入学時納入金銀行振込用紙	○
G　人物に関する調査書	○
H　健康診断書	○
大学または短期大学の退学証明書または在籍期間証明書※1	○
大学または短期大学の成績証明書※1	○
学力に関する証明書（教員免許状申請用単位修得証明書）	○
新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）	※2

※1　再入学者は提出不要です。▶ 114ページ参照
※2　証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

Point !
「学力に関する証明書」は「成績証明書」とは異なります。▶ 117ページ参照

募集にあたって
正科生1年次入学
2年次編入学・3年次編入学
正科・課程履修生
科目等履修生
認定通信生
特修生
教員免許状・資格取得について
出願について
その他

各コースの入学資格･出願書類について

正科生3年次編入学 ※ 通学課程と同様、卒業すると学士（教育学）の学位が取得できます。

入学資格

【1】短期大学士の学位または準学士の称号を有する方（短期大学卒業者）
【2】大学に2年以上在学し、62単位以上を修得して退学した方
【3】専修学校専門課程（専門学校）の修了者（本学通信教育部が定める3年次編入学資格を有する方）
▶ 115ページ参照
【4】高等専門学校（工業高等専門学校等）の卒業者
【5】国立養護教諭養成所（３年課程）の修了者
【6】旧制大学予科、旧制高等学校、旧制専門学校、師範専門学校、青年師範学校の卒業者
【7】学士の学位を有する方（４年制大学卒業者）※1

※1 学士の学位を有する方（４年制大学卒業者）が、教員免許状、社会教育主事任用資格、図書館司書資格のみを取得する場合は、「正科・課程履修生」として入学してください。▶ 042ページ参照

出願書類

▶「出願書類上の注意」については 116〜123 ページを参照してください。

〇印が提出書類です。選考上の必要に応じて下表に記載されていない書類を請求する場合もあります。なお、提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
各種証明書はすべて6ヵ月以内（発行日～本学到着日）に発行された原本を用意してください。

	大学･短大卒	大学中退	専門学校卒業
A　入学志願書兼学籍簿(写真貼付)	○	○	○
C　志願者登録票	○	○	○
D　出願書類受付通知ハガキ(52円切手貼付)	○	○	○
E　入学選考結果通知送付用封筒(300円切手貼付)	○	○	○
F　入学時納入金銀行振込用紙	○	○	○
G　人物に関する調査書	○	○	○
H　健康診断書	○	○	○
大学または短期大学の退学証明書または在籍期間証明書※1		○	
大学または短期大学の卒業(見込)証明書※1（卒業見込み出願者は113ページ参照）	○		
大学または短期大学の成績証明書※1（卒業見込み出願者は113ページ参照）	○	○	
学力に関する証明書(教員免許状申請用単位修得証明書)	○	○	
所持するすべての教員免許状のコピー	○		
介護等体験が不要であることを証明する書類のコピー	○	○	○
専門士の称号を有することの証明書※1			○
専門学校の卒業(修了)証明書※1			○
専門学校の学業成績･単位修得証明書※1			○
新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類(戸籍抄本等)	※2	※2	※2

※1 再入学者は提出不要です。▶ 114ページ参照
※2 証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

Point !
「学力に関する証明書」は「成績証明書」とは異なります。▶ 117ページ参照

正科・課程履修生

入学資格

学士の学位を有する方（４年制大学卒業者）<卒業した学部･学科は問いません>

海外の大学卒業者は、正科･課程履修生に入学することはできません。正科生3年次編入学が可能となる場合がありますので事前に事務局入学担当へ問い合わせてください。

出願書類

▶「出願書類上の注意」については 116～123 ページを参照してください。

○印が提出書類です。選考上の必要に応じて下表に記載されていない書類を請求する場合もあります。なお、提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
各種証明書はすべて6ヵ月以内（発行日～本学到着日）に発行された原本を用意してください。

	小学校教員コース		教科専門コース	特別支援教員コース		教育学コース	
	幼稚園教諭	小学校教諭		特別支援学校のみ	特別支援学校＋小学校	社会教育主事任用資格	図書館司書資格
A　入学志願書兼学籍簿（写真貼付）	○	○	○	○	○	○	○
C　志願者登録票	○	○	○	○	○	○	○
D　出願書類受付通知ハガキ（52円切手貼付）	○	○	○	○	○	○	○
E　入学選考結果通知送付用封筒（300円切手貼付）	○	○	○	○	○	○	○
F　入学時納入金銀行振込用紙	○	○	○	○	○	○	○
G　人物に関する調査書	○	○	○	○	○	○	○
H　健康診断書	○	○	○	○	○	○	○
大学の卒業（見込）証明書※1（卒業見込み出願者は113 ページ参照）	○	○	○	○	○	○	○
大学の成績証明書※1（卒業見込み出願者は113 ページ参照）	○	○	○	○	○	○	○
学力に関する証明書（教員免許状申請用単位修得証明書）	○	○	○		○		
所持するすべての教員免許状のコピー	○	○	○	○	○		
介護等体験が不要であることを証明する書類のコピー		○	○		○		
社会教育主事任用資格に関する単位修得証明書（出身大学等で社会教育主事任用資格の科目を一部修得している場合）						○	
図書館司書資格に関する単位修得証明書（出身大学等で図書館司書資格の科目を一部修得している場合）							○
新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）	※2	※2	※2	※2	※2	※2	※2

※１　再入学者は提出不要です。▶ 114ページ参照
※２　証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

Point !
「学力に関する証明書」は「成績証明書」とは異なります。 ▶ 117ページ参照

各コースの入学資格･出願書類について

科目等履修生、認定通信生

入学資格 科目等履修生

【1】 教員免許状の取得希望者

（1）教育職員免許法 **第5条別表第1** により一部不足単位の修得により教員免許状を取得する方 ▶061～069ページ参照

（2）教育職員免許法 **第6条別表第3** により上級免許状を取得する方 ▶070ページ参照

①小学校教諭１種免許状、幼稚園教諭１種免許状の取得希望者
小学校教諭２種免許状、幼稚園教諭2種免許状をそれぞれ所持しており、原則として当該校に在職している方

②小学校教諭2種免許状、幼稚園教諭２種免許状の取得希望者
小学校教諭臨時免許状、幼稚園教諭臨時免許状をそれぞれ所持しており、原則として当該校に在職している方

③中学校教諭１種免許状、高等学校教諭１種免許状の取得希望者
中学校教諭２種免許状、高等学校教諭臨時免許状をそれぞれ所持しており、原則として当該校に在職している方

④中学校教諭２種免許状の取得希望者
中学校教諭臨時免許状を所持しており、原則として当該校に在職している方

（3）教育職員免許法 **第6条別表第4** により他教科の教員免許状を取得する方 ▶071～075ページ参照

（4）教育職員免許法 **第6条別表第7** により特別支援学校教諭２種免許状もしくは特別支援学校教諭１種免許状を取得する方 ▶076ページ参照

（5）教育職員免許法 **第6条別表第8** により隣接校種の教員免許状を取得する方 ▶077～082ページ参照

（6）教育職員免許法施行規則 **第10条の6** により１種免許状を取得する方 ▶070ページ参照
（介護等体験が必要な方を除く）

【2】 保育士資格の取得希望者 ▶083ページ参照
保育士試験を免除するために、単位修得を希望する方
※ 改正認定こども園法の特例により保育士資格の取得を希望する場合は、専用の募集要項を送付します。事務局入学担当へ請求してください。

【3】 学校図書館司書教諭資格の取得希望者 ▶085ページ参照
教育職員免許法に定める小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（盲・ろう・養護学校）の普通免許状のいずれかを所有している方

【4】 社会教育主事任用資格に必要な一部の科目の受講を希望する方 ▶084ページ参照

【5】 図書館司書資格に必要な一部の科目の受講を希望する方 ▶084ページ参照

【6】 短期大学卒業者等で学位授与機構にて学士の学位を取得する方

【7】 その他一部の科目の受講を希望する方（大学入学資格を有する方）

入学資格 認定通信生

下記【1】～【4】のうち、免許法認定通信教育の科目の単位修得を希望する方
※ 免許法認定通信教育の科目以外の科目を教育職員免許法第6条によって取得する方は、科目等履修生となります。 ▶060ページ参照

【1】 教育職員免許法 **第6条別表第3** により中学校･高等学校教諭（数学･英語）の教員免許状を取得する方 ▶070ページ参照

【2】 教育職員免許法 **第6条別表第4** により中学校･高等学校教諭（数学･英語）の教員免許状を取得する方 ▶071～075ページ参照

【3】 教育職員免許法 **第6条別表第7** により特別支援学校教諭の教員免許状を取得する方 ▶076ページ参照

【4】 教育職員免許法 **第6条別表第8** により中学校･高等学校（数学･英語）の教員免許状を取得する方 ▶077～082ページ参照

出願書類（共通）

▶「出願書類上の注意」については 116～125 ページを参照してください。

○印が提出書類です。選考上の必要に応じて下表に記載されていない書類を請求する場合もあります。
なお、提出された書類の複写もしくは返却には応じられませんのでご了承ください。
各種証明書はすべて6ヵ月以内（発行日～本学到着日）に発行された原本を用意してください。

	教員免許状			保育士	社会教育主事	図書館司書	学校図書館司書教諭	その他
	法第５条別表第１	法第6条別表第3 別表第4 別表第7 別表第8	法施行規則第10条06					
A 入学志願書兼学籍簿（写真貼付）	○	○	○	○	○	○	○	○
C 志願者登録票	○	○	○	○	○	○	○	○
D 出願書類受付通知ハガキ（52円切手貼付）	○	○	○	○	○	○	○	○
E 入学選考結果通知送付用封筒（300円切手貼付）	○	○	○	○	○	○	○	○
F 入学時納入金銀行振込用紙	○	○	○	○	○	○	○	○
I 科目等履修生・認定通信生 登録用紙	○	○	○	○	○	○	○	○
大学または短期大学の卒業（見込）証明書※1	○		○	○※2	○	○	○	○※2
大学または短期大学の成績証明書※1	○							○※2
学力に関する証明書（教員免許状申請用単位修得証明書）	○							
教員免許状、資格の取得根拠となる教員免許状のコピー（記載事項すべて）	○	○	○	○			○	
介護等体験が不要であることを証明する書類のコピー	○							
社会教育主事任用資格に関する単位修得証明書					○			
図書館司書資格に関する単位修得証明書						○		
新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3

※1　再入学者は提出不要です。 ▶114ページ参照
※2　最終学歴が高等学校卒業者は、高等学校の卒業証明書、成績証明書を提出してください。
※3　証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改姓、改名を証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

Point！
「学力に関する証明書」は「成績証明書」とは異なります。▶117ページ参照

各コースの入学資格・出願書類について

出願時に提出が必要となる教員免許状のコピー

※ 裏面にも記載がある場合は、記載事項すべてをコピーしてください。

▶▶ 免許法第6条別表第3

希望する教員免許状	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
幼稚園教諭1種免許状	幼稚園教諭2種免許状
幼稚園教諭2種免許状	幼稚園教諭臨時免許状
小学校教諭1種免許状	小学校教諭2種免許状
小学校教諭2種免許状	小学校教諭臨時免許状
中学校教諭1種免許状	中学校教諭2種免許状
中学校教諭2種免許状	中学校教諭臨時免許状
高等学校教諭1種免許状	高等学校教諭臨時免許状

▶▶ 免許法第6条別表第4

希望する教員免許状	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
中学校教諭1種免許状	中学校教諭専修免許状または中学校教諭1種免許状
中学校教諭2種免許状	中学校教諭専修免許状、中学校教諭1種免許状 または中学校教諭2種免許状
高等学校教諭1種免許状	高等学校教諭専修免許状または高等学校教諭1種免許状

▶▶ 免許法第6条別表第7

希望する教員免許状	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
特別支援学校教諭1種免許状	特別支援学校教諭2種免許状
特別支援学校教諭2種免許状	幼稚園教諭(2種・1種・専修)免許状
	小学校教諭(2種・1種・専修)免許状
	中学校教諭(2種・1種・専修)免許状
	高等学校教諭(1種・専修)免許状

▶▶ 免許法第6条別表第8

希望する教員免許状	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭(2種・1種・専修)免許状
小学校教諭2種免許状	中学校教諭(2種・1種・専修)免許状 または幼稚園教諭(2種・1種・専修)免許状
中学校教諭2種免許状	高等学校教諭(1種・専修)免許状
	小学校教諭(2種・1種・専修)免許状
高等学校教諭1種免許状	中学校教諭(1種・専修)免許状

▶▶ 免許法施行規則第10条の6

希望する教員免許状	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
幼稚園教諭1種免許状	幼稚園教諭2種免許状
小学校教諭1種免許状	小学校教諭2種免許状
中学校教諭1種免許状	中学校教諭2種免許状
特別支援学校教諭1種免許状	特別支援学校教諭2種免許状

▶▶ 保育士

希望する資格	提出が必要な教員免許状のコピー(記載事項すべて)
保育士資格	幼稚園教諭(2種・1種・専修)免許状

特修生

▶ 詳細については 092 ページを参照してください。

卒業見込みの方、他大学在学中の方の出願について

卒業見込みの方の出願について

2015（平成27）年3月卒業（修了）見込みの4月生出願は、**3月19日（木）消印有効**まで、同年9月卒業（修了）見込みの10月生出願は**9月19日（土）消印有効**までは「卒業見込証明書」「成績証明書」による出願ができます。その他の書類については、**106～112**ページの該当するコースのページを確認してください。

▶ **教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方の卒業見込み出願期間は008ページを確認してください。**

ただし、以下に該当する方は「卒業見込み」での出願はできません（教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は除く）。

【1】出身短期大学または大学にて、本学で希望する教員免許状にかかわる単位を修得している方
【2】専修学校専門課程を修了見込みの方

なお、卒業（修了）見込みでの出願者は、**卒業後に改めて「卒業証明書」「成績証明書」「学力に関する証明書」を本学通信教育部へ提出**していただきます。また、卒業する大学で教員免許状取得見込みの方は、教員免許状取得後に教員免許状のコピーを提出してください。

※ 現在、中学校または高等学校の教員免許状にかかわる単位を修得している場合は、取得を希望する教科にかかわらず中学校または高等学校の教員免許状取得を希望した卒業見込みによる出願はできません。また、小学校の教員免許状にかかわる単位を修得している場合は小学校の教員免許状取得を希望した卒業見込みでの出願はできません。
※ 卒業後、転居予定者はあらかじめ本学通信教育部からの郵便物が確実に受取可能な住所で出願書類を作成してください。
※ 何らかの理由により卒業が延期になった場合は、速やかに本学事務局入学担当へ連絡してください。

他大学在学中の方の出願について

他の短期大学・大学・大学院に正規の学生で在学中の方が、本学通信教育部の科目等履修生、認定通信生として出願することは可能です。なお、在学中の大学等の学則に抵触するかは、必ず確認をしてください。出願書類については、**110 ～ 112**ページを参照してください。あわせて、「在学証明書」の提出も必要となります。

再入学について

再入学について

再入学とは、以前、本学通信教育部にて学籍を有していた方が、再度本学通信教育部へ入学することをいいます。また、2010年の改組改編に伴い2012年４月生の学生募集よりすべての受講コースにおいて教育学部への再入学となり、人文学部で開設されていた各受講コースにつきましては、コースの変更が生じます。再入学後の各受講コースの相応関係については以下のとおりとなります。

人文学部における受講コース	教育学部における受講コース
教育学専修Ａ（教育学）コース	教育学コース
教育学専修Ｂ（心理学）コース	教育学部では開設されないため受講コースを再検討してください。
小学校教員コース	小学校教員コース
幼稚園教員コース	小学校教員コース
社会教育主事コース	教育学コース
図書館司書コース	教育学コース

再入学以前の学習の引き継ぎ・読み替えについて

【1】 再入学以前の学籍で修得した単位は、修得済単位として学習状況を引き継ぐことが可能です。ただし、教育学部への再入学によるカリキュラム変更および教育職員免許法等の法令の改正に伴い再履修を要する場合があります。

【2】 再入学以前の学籍において、レポート学習のみを完了している科目は、再入学後に、改めてレポート学習から開始する必要があります。

※ 具体的な履修科目を入学前に確認したい場合、出願前に事務局入学担当まで文章で問い合わせてください（回答までに2週間程度を要します）。

※ 過去に教育業務提携により単位修得をした科目がある方で再入学を希望している場合は、出願前に事務局入学担当へ連絡してください。

在学生の出願について

現在のコースを終えて新しいコースへ出願したい場合は、現学籍の退学願・学生証または受講証を添えて出願してください。教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方が、入学選考試験の結果をもって現在の学籍を継続するか決めたい場合は、その旨をメモ用紙に記入し、出願書類に同封してください。

出願書類について

出身学校の「卒業証明書」・「成績証明書」の提出は必要ありませんが、その他の出願書類は各入学コースに記載されている必要書類を確認のうえ、指定する書類をすべて揃えて出願期間内に出願してください。また、再入学以前の学籍において科目終了試験（またはスクーリング）が合格していて既提出レポート結果が不合格状態のままである科目がある場合は、当該科目のレポートをすべて再提出（出願書類に同封も可）のうえ、出願してください（再提出が確認できない場合、出願受付はいたしません）。

※ 教員免許状を取得するコースに再入学を希望の場合は、出身大学等が発行する教員免許状申請用の「学力に関する証明書」を必ず提出してください。明星大学通信教育部で修得した単位の証明書は不要です。

心理学実験の開講について

これまで、人文学部の教育学専修Ｂ（心理学）コースにおいて認定心理士の資格取得に必要な科目として「心理学実験」がありましたが、現在も継続して教育学専修Ｂ（心理学）卒業生も対象に開講しております。土曜スクーリングとして通年開講となります。

2015年度「心理学実験」受講希望者は、2015年1月31日（土）までに事務局スクーリング担当へ出願前に問い合わせてください。なお、「心理学実験」の開講期限は2015年度までとなります。「心理学実験」を希望する方は受講資格を満たし、必ず2015年度までに受講してください。

専修学校専門課程（以下、専門学校）修了者の編入学について

編入学資格について

本学通信教育部では、専門学校の修了者に対して、「正科生３年次編入学」への道を開いています。
専門学校の修了者で、下記の該当者は編入学が可能です。

【1】「専門士」の称号を有する方（修了した学科等は問いません。）※1

【2】「専門士」の称号を有しないが、1976年1月11日の専修学校制度発足以降の、専門学校を修了した方で、一定の基準※2を満たし、大学入学資格を有する方（修了した学科等は問いません。）※1

※1【1】の該当者は、024ページ以降をご参照のうえ、書類を揃えて出願してください。
【2】の該当者は、下記「編入学資格審査」が必要となります。

※2 一定の基準とは、修業年限が２年以上あり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上ある課程で、かつ、試験等により成績評価を行っていることを示します。また、本学通信教育部では、在籍期間のすべてが専門学校として認可を受けている方を対象としています。

「編入学資格審査」について

上記【2】の該当者で「専門士」の称号を有さない編入学の希望者には、編入学資格があるかどうかの「編入学資格審査」をお願いしています。下記❶～❹の書類を揃え、出願締切日の2週間前までにご提出のうえ、審査を受けるようにしてください。

❶ 編入学資格審査用紙（本人が記入してください。）
❷ 専修学校専門課程修了基礎資格証明書（出身の専門学校に作成を依頼してください。）
❸ 学業成績・単位修得証明書（出身の専門学校に作成を依頼してください。）
❹ 大学入学資格を証明する書類（該当する書類を用意してください。）
　高等学校卒業者 ……………………………「卒業証明書」
　高等学校卒業程度認定試験（旧大検）……「合格証明書」
　専修学校高等課程卒業者 …………………「卒業証明書」「学業成績・単位修得証明書」

また、上記❶～❸の書類につきましては、本学通信教育部ホームページから様式をダウンロードしてください。ホームページをご覧になれない場合は、事務局入学担当へ連絡してください。なお、「編入学資格審査」の結果につきましては、書類ご提出後、1週間以内をめどに通知いたしますので、結果到着後に出願してください。 ▶ 本学HPの「資料請求」に様式がアップされています

注意事項

【1】 修了見込みの方の出願手続きは受付できません。修了後、出願手続きを行ってください。
【2】 専門学校を中途退学した方は、編入学の対象になりません。
【3】 下記の事項に該当する方は、事前に事務局入学担当へ連絡してください。
　① 大学・短期大学を中退し、さらに専門学校を修了した方
　② 専門学校に複数校通学し、修了した方
　③ 修了した専門学校が廃校になっている方

記入のしかた

編入学資格審査用紙

編入学資格審査用紙（専修学校専門課程修了者用）

明星大学通信教育部

（本人がすべて記入してください。）　記入日　平成 27年 3月 1日

フリガナ	メイセイ　ジロウ	前学籍番号（再入学の場合のみ）
氏　名	明星　二郎　（旧姓　　　）	
生年月日（西暦）	1985年 9月 15日 生 （ 29歳）	
住　所	（〒191－1920）東京都八王子市土田町420-1	
連絡先	自宅電話番号（042 － △△△ －××××）携帯電話番号（090 －△△△△－××××）	

学歴（西暦）		
	自 1998年 4月 入学 ～至 2001年 3月 卒業	八王子市立土田中学校
	自 2001年 4月（入学・編入学）～至 2004年 3月（卒業・修了・退学）	都立花木田高等学校
	自 2004年 4月（入学・編入学）～至 2006年 3月（卒業・修了・退学）	明星歯科医療専門学校
	自 年 月（入学・編入学）～至 年 月（卒業・修了・退学）	
	自 年 月（入学・編入学）～至 年 月（卒業・修了・退学）	
	年 月 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格	

本学入学希望コース ※☑マークで選択してください。	☑小学校教員　□教科専門（国語）　□教科専門（社会）　□教科専門（数学）　□教科専門（理科）　□教科専門（美術）　□教科専門（英語）　□特別支援教員　□教育学
入学希望時期	☑4月生　□10月生
所持する教員免許状・資格があれば記入してください。	歯科技工士

本学使用欄	受付日		審査番号	

出願書類上の注意

証明書の提出についての注意

各種証明書は、すべて6ヵ月以内（発行日～本学到着日）に発行された原本を用意してください。

①「卒業・成績証明書」等と表記された証明書を提出する場合、「卒業証明書」の提出は不要です。

② 大学の「卒業証書」のコピーは「卒業証明書」として認められません。必ず「卒業証明書」を提出してください（正科生3年次編入学の専門学校卒業の方を除く※）

※ 出身学校で「卒業証明書」を発行できない場合は、専門士の称号を有する旨の記載がある場合のみ「卒業証書」のコピーを提出してください。なお、編入学資格審査が必要な場合があります。 ▶115ページ参照

③ 大学評価・学位授与機構における学位取得者は、「卒業証明書」の代わりに「学位授与証明書」を提出してください。

④ 外国の大学卒業者は、その大学の「卒業証明書」および「成績証明書」が必要です（和文または英文以外の証明書を提出する場合は、大使館、領事館等公的機関が証明する和文または英文の翻訳付きのものを提出してください）。

⑤ 科目等履修生で「保育士」、「その他」を希望する場合、最終学歴が高等学校卒業の方は高等学校の「卒業証明書」、「成績証明書」を提出してください。

⑥「学力に関する証明書」は「成績証明書」とは異なります。必ずどちらも提出してください。

▶「学力に関する証明書」については 117ページ参照

複数の学校に在籍していた方の証明書提出について

全コース共通

複数の大学や短期大学に在籍していた方は、在籍していたすべての学校の「学力に関する証明書」を提出してください。ただし、専修免許状のみに関する単位の証明は必要ありません。

▶「学力に関する証明書」については 117ページ参照

正科生/正科・課程履修生

① 大学または短期大学卒業以降に、大学や専門学校などの学歴がある場合、卒業した大学または短期大学の証明書類のほか「退学証明書」または「在学期間証明書」もあわせて提出してください。

② 大学院修了または退学者は出身大学の証明書類のほか、「修了証明書」、「退学証明書」または「在籍期間証明書」もあわせて提出してください。

介護等体験が不要であることを証明する書類提出について

小学校・中学校・特別支援学校の教員免許状（5条別表第1で取得していること）のコピー、介護等体験終了証明書のコピー、不要に該当する資格のコピーのいずれかを提出してください。

▶101ページ参照

介護等体験を実施したことがない場合は提出不要です。
介護等体験の終了証明書の原本は、小学校と中学校の教員免許状申請の際に必要となります。紛失した場合は、改めて介護等体験をおこなっていただくことがあります。

教員免許状のコピーの提出について

所持するすべての教員免許状のコピーを提出してください（裏面にも記載がある場合は、記載事項すべてをコピーしてください）。教員免許状紛失等の理由でコピーが提出できない場合は、「教育職員免許状授与証明書」（発行から6ヵ月以内の原本）で代用可能です。取得見込みの場合は、提出不要です。

① 学校図書館司書教諭資格を希望する場合、小学校･中学校･高等学校･特別支援学校のいずれかの教員免許状のコピーを提出してください。

② 教員免許状取得見込みの方は、教員免許状取得後に教員免許状のコピーを提出してください。

学力に関する証明書について

「学力に関する証明書」は、平成 10 年改正以降の教育職員免許法施行規則に則した教育職員免許状申請様式で、出身大学または短期大学で発行を受けてください（「成績証明書」とは異なります）。

「学力に関する証明書」で何を確認するのか

1「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目を本学で修得免除の扱いとするため。

「教育職員免許法施行規則第66条の6」（以下、「第66条の6」という。）に定める科目は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員免許状取得にあたり必要となります。当該科目は4科目あり、どの校種の教員免許状にも共通しています。なお、教職課程を有さない大学・学部においても、出身大学が認定した場合「第66条の6」に定める科目として証明することができますので、出身大学（短期大学）へ「学力に関する証明書」の発行依頼をしてください。なお、当該4科目は「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」であり、各2単位が法定上必要な単位となります。
本学で取得希望の学校種・免許教科の「学力に関する証明書」を提出してください。出身大学に取得希望の課程認定がない場合は、学校種・免許教科を問わずどの免許種の「学力に関する証明書」の提出でもかまいません。
ただし、教職課程を有さない大学等の場合、「学力に関する証明書」の発行自体おこなわないことがあります。その際は「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位修得を確認する」と目的を伝えて発行依頼をしてください。
「学力に関する証明書」が発行されないかわりに「基礎資格科目および単位修得証明書」や「66条の6に定める科目」などの記載がある場合、代用可能です。
また、「66条の6」に定める科目の単位が確認できる証明書の発行が不可能である場合、証明書が取得できなかった旨を任意形式の用紙に記入し、出願書類に同封してください。入学後に本学で「66条の6」に定める科目の履修手続き（正科生3年次編入学、正科・課程履修生は別途費用が発生します。 ▶056ページ参照）が必要となります。正しい証明書の発行がなされない場合も同様です。

2「教職実践演習」の履修の要・不要の確認のため。

出身大学または短期大学において、本学で取得希望の教員免許状と同校種の「総合演習」を平成25年3月31日までに修得している場合、または同校種の「教職実践演習」を修得している場合（第5条別表第1による取得のみ）は本学で「教職実践演習」の履修は不要となります。
▶096ページ参照

3出身大学または短期大学で一部修得した単位を、本学で修得免除の扱いとするため。（原則、正科･課程履修生のみ）

出身大学または短期大学において本学で取得をめざす教員免許状に関する科目（教科に関する科目、教職に関する科目）の一部を修得し、本学で残りの単位を補完し教員免許状取得をする場合に、出身大学で修得した科目を用いて、教育職員免許法施行規則上同じ項目にあたる本学開講授業科目を修得免除できることがあります。免除可能科目の審査にあたり、取得を希望する免許種の「学力に関する証明書」の提出が必要となります。▶044・045ページ参照

出願書類上の注意

※ 出願書類は黒のボールペンで記入してください。（C 2015年度志願者登録票のみ鉛筆で記入してください。）
※ 書き損じた場合は訂正印で訂正してください。

A 2015年度入学志願書兼学籍簿（黒のボールペンで記入してください。）

下記の記入例を参考にして記入してください。

A 2015年度入学志願書兼学籍簿（記入例）

A 2015年度 入学志願書 兼 学籍簿　明星大学　通信教育部

*本学使用欄

学籍番号	
受験番号	
前学籍番号（再入学の場合のみ）	

記入日 2014 年　12 月　20日

フリガナ	メイセイ　タロウ	性別
氏名	明星　太郎	㊚ 女
生年月日	西暦1989年　5 月　20 日生	年齢 25歳

住所	（〒 191 － 0099 ） 東京 ㊢ 道 府 県 日野市日野山5-5-5		
自宅電話番号	042－□□□□－××××	携帯電話番号	090－▲▲▲▲－××××
PC E-mail		携帯 E-mail	
勤務先名	日野市立教山小学校	勤務先電話番号	042-××××-△△△△　勤務先への連絡　可・（不可）

教員としての勤続年数	幼稚園 0年 カ月	小学校 1 年 8 カ月	中学校 0 年 カ月	高等学校 0 年 カ月
所持する教員免許状（取得見込含む）		希望する教員免許状		
小・中学校免許状取得希望者（必須）	介護等体験　1. 未実施　2. 免除該当資格所有 p.101参照（資格名:　　）　（3.）実施済（□証明書有　所持する免許状 □小学校 ☑中学校 □特別支援学校（5条別表別1））			障害者手帳の所有（有・無）

学歴		
	西暦2002年　4月 入学　～ 2005年　3 月 卒業	日野南　中学校
	西暦2005年　4月（入学・編入学）～ 2008年　3 月 （卒業）・卒業見込・退学・退学見込	日野東高等学校
	西暦2008年　4月（入学・編入学）～ 2012年　3 月 （卒業）・卒業見込・修了・修了見込・退学・退学見込・在学中	明星大学理工学部
	西暦　年　月（入学・編入学）～　年　月 卒業・卒業見込・修了・修了見込・退学・退学見込・在学中	
	西暦　年　月（入学・編入学）～　年　月 卒業・卒業見込・修了・修了見込・退学・退学見込・在学中	
	西暦　年　月 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格	

教育学部

入学コース	希望の受講コース（P.126を参照）コード記入 ①	②	③	④	希望の免許状・資格（P.126コード③に伴う希望免許状・資格を記入してください。）
□正科生1年次入学		Bのみ			
□正科生2年次編入学		Bのみ			
□正科生3年次編入学				Bのみ	
☑正科・課程履修生	A	2	a		小学校教員コース　小学校教諭1種免許状
□科目等履修生・認定通信生（複数記入可）		□1種 □2種		□1種 □2種	
□特修生					

誓約書（本人）
この度、入学を許可されましたうえは、在学中、下記の事項を堅く守り、学生の本分に違反しないことを誓約いたします。誓約に違反した場合は、いかなる処分を受けても意義申し立てをしないことを併せて誓約します。
記
1.学則、その他諸規則、貴学の決定事項を守ること
2.貴学通信教育部における個人情報の取り扱いを了承すること
3.入学志願書等出願書類および記載事項に虚偽のないこと
以上
平成 26年 12月 20日
氏名（自筆）　明星　太郎　印

保証人（「C 2015年度志願者登録票」の保証人と同一であること）
左記志願者の入学後は、在学中の一切の責任を負います。
平成 26年 12月 20日
住所　〒　日野市日野山5-5-5
電話番号　042-□□□□-××××
氏名（保証人自筆）　明星　四十五　印
本人との関係　父　本人と（同居）・別居　←○で囲んでください

記入しないでください。

過去に本学通信教育部に在学・在籍していた場合必ず記入してください。今回の履修コースと過去の履修コースに関連性がなくても記入してください。不明となった場合は事務局に問い合わせてください。

勤務先は学校関係以外であったとしても記入してください。アルバイトも記入してください。

126ページの入学コード表に従い正しいコードを記入してください。②④「Bのみ」と記入のある欄については教科専門コースの希望者のみ記入してください。教科専門コースを希望しない場合は空欄のままで結構です。

戸籍上の文字で記入してください。ただし、学生証または受講証に記載される氏名の漢字は、JIS第一・第二水準により登録と運用をしております。したがってJIS第一・第二水準以外の漢字は、JIS第一・第二水準の漢字に置き換えて登録しますのでご了承ください。

学生証または受講証に使用します。
1. 縦4cm×横3cm
2. 上半身、脱帽、正面向、無背景
3. 最近6ヵ月以内に撮影のもの
※スナップ写真、プリクラ不可
4. 裏面に氏名を記入してから貼付

「F 入学時納入金銀行振込用紙」（3ヵ所）には、ここで記入したいずれかの電話番号を記入してください。

複数の学校を卒業または退学した場合、すべて記入してください（高等学校は除く）。

ご本人との関係を必ず記入してください。
「保証人」は本人の在学中の一切の責任を引き受けてくれる成人（親族が望ましい）にお願いし、保証人直筆で捺印（本人の印とは別のもの）を忘れないでください。
また、本人と同居、別居については該当する項目を○で囲んでください。在学中に不測の事態が生じた場合の緊急連絡先になるので、ご本人が成人であっても必ず記入してください。

該当する入学コースに☑マークをつけてください。

● **正科生、正科・課程履修生**

「入学コース」に☑マークをつけ、「受講コース」については 126ページのコード表から正しい記号を選択し、記入してください。記号の記入のみでなく、「希望の免許状・資格」についても記入例にならって記入してください。ここで選択された受講コース・免許状については、既修得科目の認定審査の判断材料になるほか、入学後の学習指導の際に参考となります。間違いのないようにしてください。

● **科目等履修生・認定通信生**

（記入例）

7ab	☑1種 □2種	□1種 □2種	中免・高免（数学）

126ページの「科目等履修生・認定通信生コード」より、取得希望の免許種および資格を選択し、記入してください。教員免許状の場合は1種または2種のチェックボックスに☑マークをつけてください。教員免許状以外の資格の場合はチェックボックスは空欄のままにしてください。

※ 2免許種まで記入ができます。
※ 初年度の履修可能上限単位は30単位です。

C 2015年度志願者登録票（鉛筆で記入してください。）

入学後の学籍はすべてコンピュータ処理によって登録されます。「C 2015年度志願者登録票」記入用コード表を参照のうえ、記入例を参考にして記入してください。 ▶127〜135ページ参照
すべて枠からはみ出さないように記入してください。

C 2015年度志願者登録票（記入例）

出願書類上の注意

D 出願書類受付通知ハガキ

（黒のボールペンで記入してください。）

E 入学選考結果通知送付用封筒

（黒のボールペンで記入してください。）

F 入学時納入金銀行振込用紙

（黒のボールペンで記入してください。）

2007（平成19）年1月4日から、本人確認手続きに関する法令が改正になりました。10万円を超える現金による振込みを行う場合、本人確認書類が必要となります。詳しくは、振込みを依頼する金融機関に問い合わせてください。

D 出願書類受付通知ハガキ（記入例）

52円分の切手を忘れずに貼付してください。
※消費税の税率変更により切手の料金は変更になる可能性があります。変更になった場合は、変更された料金の切手を貼付してください。

191-0099
東京都日野市日野山五ー五ー五
明星 太郎 様

送付先の住所・氏名を記載してください。

敬称は変えないでください。

E 入学選考結果通知送付用封筒（記入例）

300円分の切手を忘れずに貼付してください。

学生証を含む入学許可通知を送付する封筒です。

F 入学時納入金銀行振込用紙（記入例）

△はコース別の入学時学納金額を表します。

入学諸費振込み後は「入学時納入金銀行振込受付証明書①」のみを出願書類として送付してください。

「F 入学時納入金銀行振込用紙」は、切り離さずに銀行へ持参してください。

F 入学時納入金銀行振込用紙 明星大学通信教育部

氏名（フリガナ）	メイセイ タロウ 明星 太郎 様	電話番号 ※注意	90▲▲▲▲××××
住所	（〒 191－0099） 東京都日野市日野山5-5-5		

↑ボールペンで記入してください。

入学時納入金銀行振込受付証明書 ①

入学時納入金振込額

	百	十	万	千	百	十	円
金額	￥	△	△	△	△	△	△

●銀行にて収納する場合は、必ず取扱銀行の出納印を受けてください。

取扱店→依頼人→ 明星大学通信教育部（本学返送分）

※注意
志願者へのお願い
※電話番号は「A 2015年度入学志願書兼学籍簿」に記入した電話番号（自宅・携帯）のいずれかを記入してください。
当用紙の②入学時納入金銀行振込依頼書、③入学時納入金（兼手数料）銀行振込領収書にも同じ電話番号を記入してください。
携帯電話番号を記入する場合は、最初の"0"を取り、下10桁を記入してください。

例 090-XXXX-△△△△
↓
90XXXX△△△△

取扱銀行および志願者へのお願い
◎ 本用紙の使用期限 ＝ 平成27年10月28日（水）
期限日以降は使用できません。
◎ ATMは使用できません。
◎ ゆうちょ銀行では使用できません。
◎ 振込手数料は依頼人負担となります。
◎ 金額欄および出納印欄3ヵ所のご確認をお願いいたします。

※コンビニエンスストア等で納入の場合は「取扱説明書」、もしくは「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取って貼付」してください（『学生募集要項』121ページ参照）。

コンビニエンスストア等収納証明書貼付欄

電信扱 明星大学通信教育部入学時納入金銀行振込依頼書 ② 取扱銀行保管

振込日	平成26年12月25日
振込先	三菱東京UFJ銀行府中支店
受取人 口座名	（ガク）メイセイガクエン 学校法人明星学苑
受取人 口座番号	普通 0140097
受取人	〒191-8506 Tel 042-591-5115 東京都日野市程久保2-1-1
ご依頼人 依頼人電話番号 ※注意	90▲▲▲▲××××
ご依頼人 氏名(フリガナ)	メイセイ タロウ
ご依頼人 氏名(漢字)	明星 太郎
ご依頼人 住所	〒191-0099 東京都日野市日野山5-5-5

	百	十	万	千	百	十	円
金額	￥	△	△	△	△	△	△
手数料							
現金							
当手 枚							

志願者へ
1.ATMは使用できません。
2. ゆうちょ銀行では使用できません。
3. 左記「F 入学時納入金銀行振込用紙」の「志願者へのお願い」を参照し、記入する電話番号を一致させてください。

取扱銀行へお願い
1. 太枠内を必ず打電してください。
2. 依頼人電話番号、氏名（フリガナ）の順に打電してください。
3. 振込手数料は依頼人負担です。

取扱銀行出納印 2

明星大学通信教育部入学時納入金（兼手数料）銀行振込領収書 ③ 取扱銀行→依頼人（本人控え）

振込日	平成26年12月25日
振込先	三菱東京UFJ銀行府中支店
受取人 口座名	（ガク）メイセイガクエン 学校法人明星学苑
受取人 口座番号	普通 0140097
ご依頼人 依頼人電話番号 ※注意	90▲▲▲▲××××
ご依頼人 氏名(フリガナ)	メイセイ タロウ
ご依頼人 氏名(漢字)	明星 太郎

	百	十	万	千	百	十	円
金額	￥	△	△	△	△	△	△
手数料							

取扱銀行出納印 3

志願者へ
1. 本領収書をもって正規の領収書とさせていただきます。
2. 振込手数料は依頼人負担です。
3. ATMは使用できません。
4. ゆうちょ銀行では使用できません。
5. 左記「F 入学時納入金銀行振込用紙」の「志願者へのお願い」を参照し、記入する電話番号を一致させてください。

コンビニエンスストア等で支払う場合は121ページを参照のうえ、収納証明書を貼付してください（この場合は②③は不要となります）。

納入後銀行より渡される「入学時納入金（兼手数料）銀行振込領収書③」は、志願者控用の領収書となりますので大切に保管してください（再発行できません）。

F コンビニエンスストア等での入学時納入金支払い方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください(セブンイレブンは対象外となります)

明星大学通信教育部　入学 をタッチし、申込情報を入力して「**申込券**/**受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

銀行・ゆうちょATM、インターネットバンキングでのお申込みの場合

<パソコン・ケータイ>

*支払期間最終日のインターネットからのお申込みは23時までとなります。余裕を持ってご利用ください。

＊PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス

http://e-apply.jp/e/meisei-dce

画面に従って必要項目を入力し、支払方法の選択後に表示される「**各種支払番号**」を控えたうえ、お支払いください。

ペイジー対応銀行ATMでお支払い(ゆうちょ銀行も可)

ペイジー対応ATMにて、「税金・料金払込」より「**収納機関番号(5桁)**」、「**お客様番号(11桁)**」、「**確認番号(6桁)**」を入力し、画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

ネットバンキングでお支払い

注意:決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

本システムを利用せずに上記からの直接のお振込はできません

コンビニのレジでお支払いください。

(支払期限の最終日はコンビニ端末での登録は23:29まで、お支払いは23:59までとなります。)

- **端末より「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。**
- **お支払い後は「取扱明細書」(カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)を受け取ってください。**

払込手数料	3万円未満	432円
	3万円以上〜8万円未満	648円
	8万円以上〜16万円未満	853円
	16万円以上〜24万円未満	1,059円
	24万円以上〜30万円	1,265円

*お支払い済みの入学時納入金はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学時納入金のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

「取扱明細書」をダウンロードし、印刷してください。

お支払い後に下記「お申込内容確認URL」または支払い完了メールに記載されたURLへアクセス(※)し、PDFファイルをダウンロードの上、**印刷**してください。

※お申込の際に発行された「**受付番号(12桁)**」が必要です。

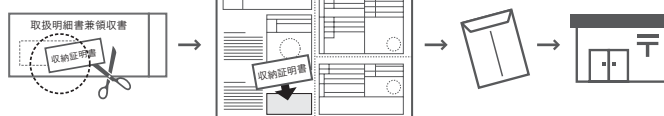
お申込内容確認URL

http://e-apply.jp/check/s/

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「F 入学時納入金銀行振込用紙」の所定欄に貼り、出願書類と合わせて出願してください。

→

→

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター　http://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

出願書類上の注意

「G　人物に関する調査書」について（科目等履修生・認定通信生を除く）

証明者について

証明者は次の方に限ります。

【1】勤務先または元勤務先の上司。志願者本人の勤務先における雇用形態（常勤・非常勤・パート・アルバイト等）は問いません。

【2】出身中学校や高等学校・専門学校のクラス担任またはクラブ顧問、出身大学・短期大学のゼミ担当教員や卒業論文指導者、クラブ・サークル顧問等。

親族・同僚・友人・知人は証明者として認められませんので注意してください。証明書類は必ず本学通信教育部指定様式を使用してください（証明者に厳封を依頼し、あわせて提出用封筒を渡してください）。また、証明者には証明項目をもれなくご記入いただけるようご依頼願います。提出書類に記入もれがある場合、入学選考書類の受付はできませんので注意してください。

「G 人物に関する調査書」は出願時に用意する、他の証明書類とは性質が異なるものです。教育機関等が証明する公文書ではなく、証明者個人が評価・判定することになります。よって、志願者から証明者個人への直接依頼を原則とします。しかしながら、証明者へ直接依頼することが困難な場合、出身の教育機関等のご担当者経由で証明を依頼することになります。その場合は各機関における所定の手続きのうえ、本学通信教育部所定様式に証明を受けてください。なお証明に際しての手数料等については、担当機関の規定に従ってください。

記載事項に不備等がある場合は、本学通信教育部により証明者に照会を行うことがありますのであらかじめご了承ください。

「G　人物に関する調査書」を用意できない場合

書類選考にあたり、上記に該当する証明者がおらず「G 人物に関する調査書」による証明が受けられない場合は小論文試験および面接試問が必要になります。なお小論文試験および面接試問を希望する場合は、以下の条件で実施いたしますので、あらかじめご了承ください。

【1】小論文試験および面接試問は、明星大学日野校にて本学通信教育部の指定する日時に行います。原則として平日の9：00～16：00の間で本学通信教育部が指定する日時になります。

【2】選考結果は面接実施日より4週間後の通知となり、書類のみによる選考よりも入学許可までの日数を要します。学習開始時期（教材配付等）もこれに準じます。

【3】小論文試験および面接試問による選考希望の場合は、出願締切日が以下の日程に繰り上がります。

該当条件	4月生	10月生
教科専門（理科）コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方	2014年12月19日（金） ～ 2015年 1月24日（土） 消印有効	―
上記に該当しない場合	2014年12月19日（金） ～ 2015年 4月 7日（火） 消印有効	2015年 6月23日（火） ～ 2015年10月 3日（土） 消印有効

面接試問希望による出願手続きは、「G 人物に関する調査書」様式裏面左下の備考欄にある「面接試問希望」のチェックボックスに☑し、都合のつく曜日･時間帯を記入のうえ、他の出願書類とともに送付してください（様式表面本人記入欄には氏名、住所等を記入してください）。▶次ページの見本参照

なお、「理科の実験科目の単位修得を必要とする方」の場合は、本選考とは別に入学選考試験があります。▶008・009ページ参照

G「G 人物に関する調査書」を用意できない場合の記入例

「G 人物に関する調査書」を用意できる場合の記入例は様式裏面を参照してください。

取得を希望する免許・資格等に☑を付けてください。

G 人物に関する調査書

（科目等履修生・認定通信生は不要）

本人記入欄

フリガナ	メイセイ　タロウ	性別	㊚・女
氏名	明星　太郎	生年月日	西暦 1989 年 5 月 20 日 生（ 25 歳）
勤務先	日野市立 教山小学校		
住所	（〒 191 ― 0099 ） 東京都日野市日野山5-5-5		

希望する入学コース、免許種・資格の該当する項目に☑マークをつけてください。

入学コース：☐ 正科生1年次入学　☐ 正科生2年次編入学　☐ 正科生3年次編入学　☑ 正科・課程履修生　☐ 特修生

教員免許状	資格	学士・教養
☐ 幼稚園教諭	☐ 保育士資格	☐ 学士
☑ 小学校教諭	☐ 学校図書館司書教諭	
☐ 国語中学校・高等学校教諭	☐ 図書館司書資格	
☐ 社会・地理歴史・公民中学校・高等学校教諭	☐ 社会教育主事任用資格	
☐ 数学中学校・高等学校教諭		
☐ 理科中学校・高等学校教諭		
☐ 英語中学校・高等学校教諭		
☐ 音楽中学校・高等学校教諭		
☐ 美術中学校・高等学校教諭		
☐ 特別支援学校教諭		

証明者記入欄（捺印のうえ厳封してください。）

評価事項	評価（該当欄に○印）					評価事項	評価（該当欄に○印）				
	優秀	良好	普通	やや不十分	不十分		優秀	良好	普通	やや不十分	不十分
理解力						研究心					
判断力						協調性					
表現力						道義性					
共感力						持続性					
計画力						積極性					
指導力						明朗性					
実行力						責任感					

就学または教職員としての適格性について	（必ず記入してください）

上記の通り証明します。
当該の者は、明星大学通信教育部への就学にふさわしい能力と姿勢があると判断します。

証明者 ― 勤務先名※必須（所属機関名等）
役職名（担当職位名等、役職がない場合は未記入可）

本人との関係※必須（　　　　）
※親族・同僚・友人は不可

平成　　年　　月　　日　　　氏名　　　　印

「G 人物に関する調査書」の留意事項について

明星大学通信教育部

本学通信教育部では、すべての入学志願者に「人物に関する調査書」を提出していただいております。
調査書の依頼や証明に際しての留意事項は以下のようになっております。右記の記入例も確認のうえご記入願います。

■ 入学志願者の皆様へ

○本人記入欄は証明者へ依頼をされる前に入学志願者本人がすべてに記入してください。
　また、証明者へ依頼される際には提出用封筒を合わせてお渡しください。

○証明者記入欄の証明者は次の方に限ります。
1. 勤務先または元勤務先の上司。志願者本人の勤務先における雇用形態（常勤・非常勤・パート・アルバイト等）は問いません。
2. 出身中学校や高等学校・専門学校のクラス担任またはクラブ顧問、出身大学・短期大学のゼミ担当教員や卒業論文指導者、クラブ・サークル顧問等。親族・同僚・友人・知人は証明者として認められません。

○本調査書は教育機関等が証明する公文書ではなく、証明者個人が評価・判定することになります。よって、志願者から証明者個人への直接依頼を原則とします。しかしながら、証明者へ直接依頼することが困難な場合、出身の教育機関等のご担当者経由で証明を依頼することになります。その場合は各機関における所定の手続きのうえ、本学通信教育部所定様式に証明を受けてください。なお証明に際しての手数料等については、担当機関の規定に従ってください。

■ 証明者の皆様へ

○「評価（該当欄に○印）」と「就学または教職員としての適格性について」は必ずご記入ください。記入のない場合、調査書は無効となります。

○「就学または教職員としての適格性について」は志願者の入学コースや目的に応じてご記入願います。
1. 教員免許状や学校図書館司書教諭資格の取得希望者
　→教職員として学校教育現場での現在、または将来における適格性をご記入ください。
2. 保育士資格・図書館司書資格・社会教育主事任用資格の取得希望者
　→専門職としての現在、または将来における適格性をご記入ください。
3. 特修生として本学入学資格取得や教養のために学習することを入学目的とする者
　→本学における就学にあたり、学習活動を進めていくうえでの適格性をご記入ください。
4. 学士取得希望者や教養を身に付ける目的の者
　→本学における就学にあたり、学習活動を進めていくうえでの適格性をご記入ください。

○証明後、証明者氏名等をご記入ください。証明項目の本人との関係はくわしくご記入願います。すべてご記入の後、捺印のうえ書面を厳封してください。使用する封筒はご依頼の際に入学志願者がお渡しした提出用封筒をご使用ください。

【評価事項　記入上の観点】

評価事項	記入上の観点
理解力	状況や物事の相互関係や変化を正確に把握し見通す能力。または相手の立場や意見を尊重し、相手の真意を理解する能力。
判断力	自分の責任において、必要な意志決定をタイミングよく的確に行っていく能力。
表現力	相手の立場や状況を踏まえ、自分の考えを明確に伝える能力。
共感力	人の気持ちを敏感に察知し、それに対応する能力。または感情表現が豊かで心を通わせることが出来る能力。
計画力	広い視野と洞察力を持ち、課題の発見、分析及び把握をし、独創的かつ効果的で実現性のある解決策をまとめあげる能力。
指導力	周囲の人々から信頼され、相手の立場や状況を踏まえた効果的な指導及び助言が出来る能力。
実行力	責任回避や責任転嫁せず、目標や課題に対し、最善の対策と行動をもって、実現に結びつけることが出来る能力。
研究心	自分の目指す目標の達成に向けて、関連する知識を積極的に探求していこうとする姿勢。
協調性	他者とよく協力し、信頼を得ていこうとする姿勢。また協力的な人物関係を構築していこうと努力する姿勢。
道義性	常に社会的常識を意識した行動をとり、規律を守ろうと努力する姿勢。
持続性	自分の目指す目標の達成に向けて、開始した行動を最後までやり遂げようと努力する姿勢。
積極性	自分の果たすべき役割について、指示がなくとも自発的に、その責任を果たそうとする姿勢。 また現状に甘んずることなく自らの役割を拡大・充実させようとする姿勢。
明朗性	失敗を引きずることなく、自分がさらに成長する機会ととらえ、次に結びつけていこうとする姿勢。
責任感	自分の果たすべき役割を十分に認識・自覚し、誠実かつ確実に最後までやり遂げようとする姿勢。

【備考】面接試問を希望する場合は、下記に記入してください。希望する曜日・時間帯　※平日：火曜日〜金曜日　時間帯：午前　午後　で選択してください。

☑ 面接試問希望　　例）火曜日　午前　・　金曜日　午後

水曜日　午前・午後、　木曜日　午前

証明者が見つからず、本学で小論文および面接試問を行う場合は、都合のつく曜日（火〜金曜日）・時間帯（午前・午後）を記入してください。日時の指定はできません。

「H 健康診断書」について

「H 健康診断書」は、保健所を含む医療機関にて６ヵ月以内（診断日〜本学到着日）に診断を受けたものを提出してください。本学通信教育部に修学するうえで、入学後の保健指導資料等として参考にさせていただきます。
なお、同一の内容をすべて含むものであれば、勤務先で受けたものでも可能ですが、必ず原本を提出してください。

出願書類上の注意

「I 科目等履修生・認定通信生 登録用紙」
(黒のボールペンで記入してください。裏面も忘れずに記入してください。)

「I 科目等履修生・認定通信生 登録用紙」(記入例)

科目等履修生／認定通信生のみ提出が必要です。

教育職員免許法施行規則第5条別表第1を根拠に履修する場合の記入例

受講を希望する科目コード、科目名および単位数を正確に記入してください。

単位数・科目数を確認のうえ、間違いのないよう記入してください。

＊印の欄は記入しないでください。

I 科目等履修生・認定通信生 登録用紙　表 面

学籍番号 *

＊部分は記入しないでください。

氏名	明星　花子	性別	男・(女)	生年月日	西暦1984年　5月　20日生

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	P B 2 1 0 0	初等教育課程論	2	11			
2	P B 2 1 3 0	初等算数科教育法	2	12			
3	P B 3 0 7 0	道徳教育の指導法(小学校)	2	13			
4	W E 1 0 2 0	法学2(日本国憲法)	2	14			
5				15			
6				16			
7				17			
8				18			
9				19			
10				20			

計（　4　）科目　（　8　）単位

履 修 調 査

教員免許状・資格取得について…1.～3.の該当する項目に☑印を付けてください。　中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状の場合は、( )内に教科を記入してください。

1. 現在所持する教員免許状・資格 (取得見込の免許状も記入してください。その場合、【H○○.○月取得見込】と書き添えてください。)

免許状	□幼1種 □中1種( ) □特支2種	□幼2種 □中2種( ) □特支臨免	□幼臨免 ☑中臨免( ) □所持なし	□小1種 □高1種( ) □その他[ ]	□小2種 □高臨免( )	□小臨免 □特支1種
資格	□保育士					

2. 取得を希望する教員免許状・資格

免許状	□幼1種 □中2種( )	□幼2種 □高1種( )	☑小1種 □特支1種	□小2種 □特支2種	□中1種( ) □その他[ ]
資格	□保育士(□保育士試験免除科目修得 □その他)	□社会教育主事任用資格	□図書館司書	□学校図書館司書教諭	

3. 教員免許状取得根拠(教員免許状取得希望者のみ)

☑ 教育職員免許法第5条別表第1 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [(している)・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第3 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第4 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第7 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第8 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法施行規則第10条の6

記述欄【一部科目の単位を修得[している]場合】
募集要項124・125ページの記入例に記載してある例に従い記入してください。
○○大学在学中。
不足している科目を修得する予定です。

履修上の注意

1. 『学生募集要項』p.061～p.086を参照して、登録する科目コード・科目名および単位数を正確に記入してください。
2. 受講方法が「S」または「SR」の科目は、入学後スクーリングの受講申込手続を必ず行ってください。受講費は別途必要です。
3. 入学後、新たに履修科目を追加するには、履修手続きを行ってください(履修手続きについては、入学後に配付される『履修の手引』を参照)。ただし、理科の実験科目、認定通信生の科目については入学後、新たに履修科目を追加することはできません。

●履修誓約(教員免許状取得希望者のみ)

下記の1・2について確認の上、署名・捺印してください。
1. 受講する科目・単位については、あらかじめ授与権者等(所轄の都道府県教育委員会)または出身大学にて指導を受けています。

◎指導を受けた都道府県教育委員会、または大学名
　　　　教育委員会　　　　△△　大学

2. 他大学に正科生として在学している場合は、学習上支障がないことを確認しています。

本人署名　明星　花子　(明星)

裏面へ

指導を受けた大学名を記入してください。

既に一部修得済みの科目および現在履修中の科目がある場合は記入をしてください。

例1. 現在在学している大学で不足している科目を修得します。

例2. 現在在学中の大学で、中1種(国語)・高1種(国語)免許状取得予定(H28.3月取得見込)明星大学通信教育部で、小1種免許状取得のため来年度再入学予定。その単位の先取りを希望します。

例3. 出身大学で不足した科目を履修します。

例4. 他大学に入学予定。一部単位を修得する予定です。

教育職員免許法施行規則第6条別表第4を根拠に履修する場合の記入例

受講を希望する科目コード、科目名および単位数を正確に記入してください。

単位数・科目数を確認のうえ、間違いのないよう記入してください。

＊印の欄は記入しないでください。

I 科目等履修生・認定通信生 登録用紙　表 面

学籍番号 *

＊部分は記入しないでください。

氏名	明星　花子	性別	男・(女)	生年月日	西暦1984年　5月　20日生

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	P F 2 0 1 0	代数学1	2	11	P F 3 0 3 0	コンピュータ演習3	1
2	P F 2 0 2 0	代数学2	2	12	P F 3 0 4 0	コンピュータ演習4	1
3	P F 2 0 3 0	幾何学1	2	13	P F 2 0 9 0	数学科教育法1	2
4	P F 2 0 4 0	幾何学2	2	14			
5	P F 2 0 5 0	解析学1	2	15			
6	P F 2 0 6 0	解析学2	2	16			
7	P F 3 0 1 0	確率論	2	17			
8	P F 3 0 2 0	統計学	2	18			
9	P F 2 0 7 0	コンピュータ演習1	1	19			
10	P F 2 0 8 0	コンピュータ演習2	1	20			

計（　13　）科目　（　22　）単位

履 修 調 査

教員免許状・資格取得について…1.～3.の該当する項目に☑印を付けてください。　中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状の場合は、( )内に教科を記入してください。

1. 現在所持する教員免許状・資格 (取得見込の免許状も記入してください。その場合、【H○○.○月取得見込】と書き添えてください。)

免許状	□幼1種 ☑中1種(理科) □特支2種	□幼2種 □中2種( ) □特支臨免	□幼臨免 □中臨免( ) □所持なし	□小1種 ☑高1種(理科) □その他[ ]	□小2種 □高臨免( )	□小臨免 □特支1種
資格	□保育士					

2. 取得を希望する教員免許状・資格

免許状	□幼1種 □中2種( )	□幼2種 ☑高1種(数学)	□小1種 □特支1種	□小2種 □特支2種	☑中1種(数学) □その他[ ]
資格	□保育士(□保育士試験免除科目修得 □その他)	□社会教育主事任用資格	□図書館司書	□学校図書館司書教諭	

3. 教員免許状取得根拠(教員免許状取得希望者のみ)

□ 教育職員免許法第5条別表第1 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第3 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
☑ 教育職員免許法第6条別表第4 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [(している)・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第7 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法第6条別表第8 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得 [している・していない]
□ 教育職員免許法施行規則第10条の6

記述欄【一部科目の単位を修得[している]場合】
募集要項124・125ページの記入例に記載してある例に従い記入してください。
○○大学で、一部の単位を修得しています。

履修上の注意

1. 『学生募集要項』p.061～p.086を参照して、登録する科目コード・科目名および単位数を正確に記入してください。
2. 受講方法が「S」または「SR」の科目は、入学後スクーリングの受講申込手続を必ず行ってください。受講費は別途必要です。
3. 入学後、新たに履修科目を追加するには、履修手続きを行ってください(履修手続きについては、入学後に配付される『履修の手引』を参照)。ただし、理科の実験科目、認定通信生の科目については入学後、新たに履修科目を追加することはできません。

●履修誓約(教員免許状取得希望者のみ)

下記の1・2について確認の上、署名・捺印してください。
1. 受講する科目・単位については、あらかじめ授与権者等(所轄の都道府県教育委員会)または出身大学にて指導を受けています。

◎指導を受けた都道府県教育委員会、または大学名
東京都　教育委員会　　　　大学

2. 他大学に正科生として在学している場合は、学習上支障がないことを確認しています。

本人署名　明星　花子　(明星)

裏面へ

指導を受けた教育委員会名を記入してください。

既に一部修得済みの科目および現在履修中の科目がある場合は記入をしてください。

例1. 現在在学している大学で不足している科目を修得します。

例2. 現在在学中の大学で、中1種(体育)・高1種(体育)免許状取得予定(H28.3月取得見込)明星大学通信教育部で、中1種(英語)・高1種(英語)の免許状取得のため履修を希望します。

例3. 一部の科目については既に他大学(出身大学)にて修得済みです。

例4. 他大学に入学予定。一部単位を修得する予定です。

教育職員免許法施行規則第6条別表第7を根拠に履修する場合の記入例

受講を希望する科目コード、科目名および単位数を正確に記入してください。

単位数・科目数を確認のうえ、間違いのないよう記入してください。

＊印の欄は記入しないでください。

❙ 科目等履修生・認定通信生 登録用紙

表 面

学籍番号 ＊

＊部分は記入しないでください。

氏名	明星　花子	性別	男・(女)	生年月日	西暦1984年　5月　20日生

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	PA2120	障害者教育総論	2	11			
2	PL2042	知的障害教育総論	2	12			
3	PL2044	肢体不自由教育総論	2	13			
4	PL2046	病弱教育総論	2	14			
5	PL4032	視覚障害教育総論	1	15			
6	PL4034	聴覚障害教育総論	1	16			
7	PL4036	重複・LD等教育総論	2	17			
8				18			
9				19			
10				20			

計（　7　）科目　（　12　）単位

履修調査

教員免許状・資格取得について…1.～3.の該当する項目に☑印を付けてください。　中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状の場合は、(　)内に教科を記入してください。

1. 現在所持する教員免許状・資格（取得見込の免許状も記入してください。その場合、【H○○.○月取得見込】と書き添えてください。）

免許状	☐ 幼1種　☐ 幼2種　☐ 幼臨免　☐ 小1種　☐ 小2種　☐ 小臨免 ☑ 中1種（国語）　☐ 中2種（　）　☐ 中臨免（　）　☑ 高1種（国語）　☐ 高臨免（　）　☐ 特支1種 ☐ 特支2種　☐ 特支臨免　☐ 所持なし　☐ その他［　］
資格	☐ 保育士

2. 取得を希望する教員免許状・資格

免許状	☐ 幼1種　☐ 幼2種　☐ 小1種　☐ 小2種　☐ 中1種（　） ☐ 中2種（　）　☐ 高1種（　）　☑ 特支1種　☐ 特支2種　☐ その他［　］
資格	☐ 保育士（☐ 保育士試験免除科目修得　☐ その他）　☐ 社会教育主事任用資格　☐ 図書館司書　☐ 学校図書館司書教諭

3. 教員免許状取得根拠（教員免許状取得希望者のみ）
- ☐ 教育職員免許法第5条別表第1 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第3 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第4 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☑ 教育職員免許法第6条別表第7 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・(していない)］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第8 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法施行規則第10条の6

記述欄【一部科目の単位を修得[している]場合】
募集要項124・125ページの記入例に記載してある例に従い記入してください。

履修上の注意

1. 『学生募集要項』p.061～p.086を参照して、登録する科目コード・科目名および単位数を正確に記入してください。
2. 受講方法が「S」または「SR」の科目は、入学後スクーリングの受講申込手続を必ず行ってください。受講費は別途必要です。
3. 入学後、新たに履修科目を追加するには、履修手続きを行ってください（履修手続きについては、入学後に配付される『履修の手引』を参照）。ただし、理科の実験科目、認定通信生の科目については入学後、新たに履修科目を追加することはできません。

●履修誓約（教員免許状取得希望者のみ）

下記の1・2について確認の上、署名・捺印してください。
1. 受講する科目・単位については、あらかじめ授与権者等（所轄の都道府県教育委員会）または出身大学にて指導を受けています。

◎指導を受けた都道府県教育委員会、または大学名

東京都 教育委員会　　　　大学

2. 他大学に正科生として在学している場合は、学習上支障がないことを確認しています。

本人署名　明星　花子　(明星)

裏面へ

指導を受けた教育委員会名を記入してください。

既に一部修得済みの科目および現在履修中の科目がある場合は記入をしてください。

例1．他大学に入学予定。一部単位を修得する予定です。

例2．一部の科目については既に他大学（出身大学）にて修得済みです。

教育職員免許法施行規則第6条別表第8を根拠に履修する場合の記入例

受講を希望する科目コード、科目名および単位数を正確に記入してください。

単位数・科目数を確認のうえ、間違いのないよう記入してください。

＊印の欄は記入しないでください。

❙ 科目等履修生・認定通信生 登録用紙

表 面

学籍番号 ＊

＊部分は記入しないでください。

氏名	明星　花子	性別	男・(女)	生年月日	西暦1984年　5月　20日生

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	PB2110	初等国語科教育法	2	11			
2	PB2130	初等算数科教育法	2	12			
3	PB3030	初等音楽科教育法	2	13			
4	PB3040	初等図画工作科教育法	2	14			
5	PB3060	初等体育科教育法	2	15			
6	PB3090	児童・進路指導論	2	16			
7	PB3100	初等教育相談の基礎と方法	2	17			
8				18			
9				19			
10				20			

計（　7　）科目　（　14　）単位

履修調査

教員免許状・資格取得について…1.～3.の該当する項目に☑印を付けてください。　中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状の場合は、(　)内に教科を記入してください。

1. 現在所持する教員免許状・資格（取得見込の免許状も記入してください。その場合、【H○○.○月取得見込】と書き添えてください。）

免許状	☐ 幼1種　☐ 幼2種　☐ 幼臨免　☐ 小1種　☐ 小2種　☐ 小臨免 ☑ 中1種（社会）　☐ 中2種（　）　☐ 中臨免（　）　☑ 高1種（地歴・公民）　☐ 高臨免（　）　☐ 特支1種 ☐ 特支2種　☐ 特支臨免　☐ 所持なし　☐ その他［　］
資格	☐ 保育士

2. 取得を希望する教員免許状・資格

免許状	☐ 幼1種　☐ 幼2種　☐ 小1種　☑ 小2種　☐ 中1種（　） ☐ 中2種（　）　☐ 高1種（　）　☐ 特支1種　☐ 特支2種　☐ その他［　］
資格	☐ 保育士（☐ 保育士試験免除科目修得　☐ その他）　☐ 社会教育主事任用資格　☐ 図書館司書　☐ 学校図書館司書教諭

3. 教員免許状取得根拠（教員免許状取得希望者のみ）
- ☐ 教育職員免許法第5条別表第1 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第3 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第4 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☐ 教育職員免許法第6条別表第7 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・していない］
- ☑ 教育職員免許法第6条別表第8 …… 希望免許状に関する一部科目の単位を修得［している・(していない)］
- ☐ 教育職員免許法施行規則第10条の6

記述欄【一部科目の単位を修得[している]場合】
募集要項124・125ページの記入例に記載してある例に従い記入してください。

履修上の注意

1. 『学生募集要項』p.061～p.086を参照して、登録する科目コード・科目名および単位数を正確に記入してください。
2. 受講方法が「S」または「SR」の科目は、入学後スクーリングの受講申込手続を必ず行ってください。受講費は別途必要です。
3. 入学後、新たに履修科目を追加するには、履修手続きを行ってください（履修手続きについては、入学後に配付される『履修の手引』を参照）。ただし、理科の実験科目、認定通信生の科目については入学後、新たに履修科目を追加することはできません。

●履修誓約（教員免許状取得希望者のみ）

下記の1・2について確認の上、署名・捺印してください。
1. 受講する科目・単位については、あらかじめ授与権者等（所轄の都道府県教育委員会）または出身大学にて指導を受けています。

◎指導を受けた都道府県教育委員会、または大学名

東京都 教育委員会　　　　大学

2. 他大学に正科生として在学している場合は、学習上支障がないことを確認しています。

本人署名　明星　花子　(明星)

裏面へ

指導を受けた教育委員会名を記入してください。

既に一部修得済みの科目および現在履修中の科目がある場合は記入をしてください。

例1．他大学に入学予定。一部単位を修得する予定です。

例2．一部の科目については既に他大学（出身大学）にて修得済みです。

「A 2015年度入学志願書兼学籍簿」記入用コード表

入学コード

▶▶[正科生/正科・課程履修生コード] ここで選択した希望免許状の組合せパターンは、単位修得免除の審査に関係します。

受講コース	コード①	希望免許種類・教科	コード②	希望免許状・資格 単数/複数	コード③
小学校教員コース	A	幼稚園免許状	1	幼稚園1種	a
				幼稚園2種	b
		小学校免許状	2	小学校1種	a
				小学校2種	b
		幼稚園免許状優先 + 小学校免許状	3	幼稚園1種・小学校1種	a
				幼稚園1種・小学校2種	b
				幼稚園2種・小学校2種	c
		小学校免許状優先 + 幼稚園免許状	4	小学校1種・幼稚園1種	a
				小学校1種・幼稚園2種	b
				小学校2種・幼稚園2種	c
教科専門コース	B	国　語	5	中免1種(国語)	a
				中免2種(国語)	b
				高免(国語)	c
				中免・高免(国語)	d
		社　会	6	中免1種(社会)	a
				中免2種(社会)	b
				中免1種(社会)・高免(地理歴史)	c
				中免1種(社会)・高免(公民)	d
				中免1種(社会)・高免(地理歴史・公民)	e
				高免(地理歴史)	f
				高免(公民)	g
				高免(地理歴史・公民)	h
		数　学	7	中免1種(数学)	a
				中免2種(数学)	b
				高免(数学)	c
				中免・高免(数学)	d
		理　科	8	中免1種(理科)	a
				中免2種(理科)	b
				高免(理科)	c
				中免・高免(理科)	d
		英　語	9	中免1種(英語)	a
				中免2種(英語)	b
				高免(英語)	c
				中免・高免(英語)	d
		音　楽※1	10	－	N
		美　術	11	－	N
特別支援教員コース	C	特別支援学校免許状のみ	12	－	N
		特別支援学校・小学校免許状	13	特支免優先+小学校(1種)	a
				特支免優先+小学校(2種)	b
				小学校(1種)優先+特支免	c
				小学校(2種)優先+特支免	d
子ども臨床コース	D	－	N	保育士のみ	a
		－	N	保育士・幼稚園	ab
教育学コース	E	－	N	図書館司書	a
		－	N	社会教育主事	b
		－	N	図書館司書・社会教育主事	ab
		－	N	学士のみ※2	c

※ コード④:正科生3年次編入学の教科専門コース(コード①:B)で小学校の教員免許状も取得希望の場合は、コード④に○印をつけてください。
※1 正科生1年次入学希望者のみ選択可能です。
※2 学士のみを希望する場合は、正科生を選択してください。

▶▶[科目等履修生・認定通信生コード]

希望免許種類・教科	コード	希望免許種類・教科	コード	希望免許種類・教科	コード
幼稚園	1a	中免(数学)	7a	中免(その他)	12a
小学校	2a	高免(数学)	7b	高免(その他)	12b
中免(国語)	5a	中免・高免(数学)	7ab	中免・高免(その他)	12ab
高免(国語)	5b	中免(理科)	8a	特別支援学校教員免	13
中免・高免(国語)	5ab	高免(理科)	8b	保育士	22
中免(社会)	6a	中免・高免(理科)	8ab	学校図書館司書教諭	23
中免(社会)・高免(地理歴史)	6b	中免(英語)	9a	図書館司書資格	24
中免(社会)・高免(公民)	6c	高免(英語)	9b	社会教育主事任用資格	25
中免(社会)・高免(地理歴史・公民)	6d	中免・高免(英語)	9ab	その他	26
高免(地理歴史)	6e	中免(美術)	11a		
高免(公民)	6f	高免(美術)	11b		
高免(地理歴史・公民)	6g	中免・高免(美術)	11ab		

「C 2015年度志願者登録票」記入用コード表

【1】現住所コード

現 住 所	コード
北 海 道	01
青　森	02
岩　手	03
宮　城	04
秋　田	05
山　形	06
福　島	07
茨　城	08
栃　木	09
群　馬	10
埼　玉	11
千　葉	12
東　京	13
神 奈 川	14
新　潟	15
富　山	16
石　川	17
福　井	18
山　梨	19
長　野	20
岐　阜	21
静　岡	22
愛　知	23
三　重	24
滋　賀	25
京　都	26
大　阪	27
兵　庫	28
奈　良	29
和 歌 山	30
鳥　取	31
島　根	32
岡　山	33
広　島	34
山　口	35
徳　島	36
香　川	37
愛　媛	38
高　知	39
福　岡	40
佐　賀	41
長　崎	42
熊　本	43
大　分	44
宮　崎	45
鹿 児 島	46
沖　縄	47

【2】国籍コード

国　籍	コード
日　本	50
外　国	49

※ 外国籍の場合は、コード記入欄の右側に国名を記入してください。

【3】職業コード

職　業	コード
常 勤 教 諭（幼稚園）	01
常 勤 教 諭（小学校）	02
常 勤 教 諭（中学校）	03
常 勤 教 諭（高等学校）	04
常 勤 教 諭（中等教育学校(中高一貫)）	05
常 勤 教 諭（特別支援学校）	06
非 常 勤 教 諭（幼稚園）	07
非 常 勤 教 諭（小学校）	08
非 常 勤 教 諭（中学校）	09
非 常 勤 教 諭（高等学校）	10
非 常 勤 教 諭（中等教育学校(中高一貫)）	11
非 常 勤 教 諭（特別支援学校）	12
支援員、介助員等（幼稚園）	13
支援員、介助員等（小学校）	14
支援員、介助員等（中学校）	15
支援員、介助員等（高等学校）	16
支援員、介助員等（中等教育学校(中高一貫)）	17
支援員、介助員等（特別支援学校）	18
公務員（教員以外）	19
法 人 職 員	20
会　社　員	21
派 遣 社 員	22
個人営業、自由業	23
パ　ー　ト	24
ア ル バ イ ト	25
専業主婦（主夫）	26
学　生	27
無　職	28
そ　の　他	29
保　育　士	30

【4】教員免許状コード

免　許　状	コード
幼稚園専修	901
幼稚園1種（幼1普）	902
幼稚園2種（幼2普）	903
幼稚園臨時	904
小学校専修	905
小学校1種（小1普）	906
小学校2種（小2普）	907
小学校臨時	908
中学校専修	909
中学校1種（中1普）	910
中学校2種（中2普）	911
中学校臨時	930
高等学校専修（高1普）	912
高等学校1種（高2普）	913
高等学校臨時	931
特別支援（視覚障害者）	914
特別支援（聴覚障害者）	915
特別支援（知的障害者）	916
特別支援（肢体不自由者）	917
特別支援（病弱者）	918
盲学校教諭	919
聾学校教諭	920
養護学校教諭	921
養護教諭	922
その他の教員免許状	950
教員免許状の所持なし（介護等体験実施済）	970
教員免許状の所持なし（介護等体験未実施）	980

【5】保証人コード

本 人 と の 関 係	コード
父	1
母	2
夫	3
妻	4
兄弟（姉妹）	5
その他	6

【6】入学目的コード

入 学 の 動 機	コード
大学卒業資格を得るため	01
職業上の資格を得るため	02
職業上の知識・技術修得のため	03
本学で学びたいから	04
教養のため	05
生涯教育、再学習のため	06
特に動機なし	07
その他	08

「C　2015年度志願者登録票」記入用コード表

【7】最終学歴の学校コード

※ 大学院修了者は、大学(学部)のコードを記入してください。
※ 出身校の統廃合等により、コード表に記載がない場合は **135**ページのその他のコードを参照してください。

(1)大学(国内)

▶▶ 国立大学

50音	学校名	コード
あ	愛知教育大学	105006
	秋田大学	102004
	旭川医科大学	101007
い	茨城大学	103001
	岩手大学	102002
う	宇都宮大学	103002
え	愛媛大学	108003
お	大分大学	109007
	大阪大学	106005
	大阪教育大学	106007
	岡山大学	107003
	小樽商科大学	101001
	お茶の水女子大学	104001
	帯広畜産大学	101002
か	香川大学	108002
	鹿児島大学	109009
	金沢大学	105002
	鹿屋体育大学	109015
き	北見工業大学	101006
	岐阜大学	105004
	九州大学	109001
	九州工業大学	109002
	京都大学	106002
	京都教育大学	106003
	京都工芸繊維大学	106004
く	熊本大学	109006
	群馬大学	103003
こ	高知大学	108004

50音	学校名	コード
こ	神戸大学	106008
さ	埼玉大学	103004
	佐賀大学	109004
し	滋賀大学	106001
	滋賀医科大学	106013
	静岡大学	105005
	島根大学	107002
	上越教育大学	103014
	信州大学	103008
ち	千葉大学	103005
つ	筑波大学	103010
	筑波技術大学	103016
て	電気通信大学	104002
と	東京大学	104003
	東京医科歯科大学	104004
	東京外国語大学	104005
	東京学芸大学	104006
	東京芸術大学	104008
	東京工業大学	104009
	東京農工大学	104012
	東京海洋大学	104015
	東北大学	102003
	徳島大学	108001
	鳥取大学	107001
	富山大学	105001
	豊橋技術科学大学	105012
な	長岡技術科学大学	103011
	長崎大学	109005

50音	学校名	コード
な	名古屋大学	105007
	名古屋工業大学	105008
	奈良教育大学	106010
	奈良女子大学	106011
	鳴門教育大学	108007
に	新潟大学	103009
は	浜松医科大学	105010
ひ	一橋大学	104013
	兵庫教育大学	106014
	弘前大学	102001
	広島大学	107004
ふ	福井大学	105003
	福岡教育大学	109003
	福島大学	102006
ほ	北海道大学	101003
	北海道教育大学	101004
み	三重大学	105009
	宮城教育大学	102007
	宮崎大学	109008
む	室蘭工業大学	101005
や	山形大学	102005
	山口大学	107005
	山梨大学	103007
よ	横浜国立大学	103006
り	琉球大学	109011
わ	和歌山大学	106012

▶▶ 公立大学

50音	学校名	コード
あ	愛知県立大学	205008
	愛知県立芸術大学	205009
	会津大学	202003
	青森公立大学	202002
	青森県立保健大学	202006
	秋田県立大学	202007
	秋田公立美術工芸大学	202010
い	石川県立看護大学	205016
	石川県立大学	205019
	茨城県立医療大学	203005
	岩手県立大学	202005
え	愛媛県立医療技術大学	208003
お	大分県立看護科学大学	209010
	大阪市立大学	206005
	大阪府立大学	206006
	岡山県立大学	207007
	沖縄県立芸術大学	209006
	沖縄県立看護大学	209012
	尾道市立大学(旧尾道大学)	207011
か	香川県立保健医療大学	208002
	神奈川県立保健福祉大学	203011
	金沢美術工芸大学	205001

50音	学校名	コード
き	北九州市立大学	209001
	岐阜県立看護大学	205017
	岐阜薬科大学	205003
	九州歯科大学	209002
	京都市立芸術大学	206001
	京都府立大学	206002
	京都府立医科大学	206003
く	釧路公立大学	201002
	熊本県立大学	209004
	群馬県立女子大学	203004
	群馬県立県民健康科学大学	203012
け	県立広島大学	207012
こ	高知県立大学(旧高知女子大学)	208001
	高知工科大学	208004
	神戸市外国語大学	206008
	神戸市看護大学	206018
	公立はこだて未来大学	201003
	国際教養大学	202009
さ	埼玉県立大学	203009
	札幌医科大学	201001
	札幌市立大学	201005
し	滋賀県立大学	206017

50音	学校名	コード
し	静岡県立大学	205011
	静岡文化芸術大学	205020
	島根県立大学	207009
	下関市立大学	207002
	首都大学東京	204004
た	高崎経済大学	203001
ち	千葉県立保健医療大学	203014
つ	敦賀市立看護大学	205021
	都留文科大学	203003
と	鳥取環境大学	207015
	富山県立大学	205012
な	長岡造形大学	203016
	長崎県立大学	209005
	長野県看護大学	203006
	名古屋市立大学	205006
	名寄市立大学	201004
	奈良県立医科大学	206012
	奈良県立大学	206014
に	新潟県立大学	203015
	新潟県立看護大学	203010
	新見公立大学	207013
ひ	兵庫県立大学	206019

▶▶ 公立大学

50音	学 校 名	コード
ひ	広島市立大学	207008
ふ	福井県立大学	205013
	福岡女子大学	209003
	福岡県立大学	209007
	福島県立医科大学	202001
	福山市立大学	207014
ま	前橋工科大学	203007
み	三重県立看護大学	205015
	宮城大学	202004
	宮崎公立大学	209008
	宮崎県立看護大学	209009
め	名桜大学	209013
や	山形県立保健医療大学	202008
	山形県米沢栄養大学	202011
	山口県立大学	207005
	山梨県立大学	203013
よ	横浜市立大学	203002
わ	和歌山県立医科大学	206013

▶▶ 私立大学

50音	学 校 名	コード
あ	愛国学園大学	303081
	愛知大学	305001
	愛知学院大学	305002
	愛知工業大学	305003
	愛知学泉大学	305020
	愛知医科大学	305027
	愛知淑徳大学	305031
	愛知産業大学	305048
	愛知みずほ大学	305050
	愛知文教大学	305056
	愛知工科大学	305063
	愛知東邦大学	305067
	藍野大学	306103
	青森大学	302012
	青森中央学院大学	302024
	青山学院大学	304001
	秋田看護福祉大学	302029
	朝日大学	305026
	旭川大学	301009
	麻布大学	303005
	亜細亜大学	304002
	足利工業大学	303028
	芦屋大学	306044
	跡見学園女子大学	303015
い	石巻専修大学	302020
	茨城キリスト教大学	303027
	いわき明星大学	302019
	岩手医科大学	302001
う	植草学園大学	303122
	上野学園大学	304003
	宇都宮共和大学	303082
	宇部フロンティア大学	307035
	浦和大学	303104
え	江戸川大学	303061
	エリザベト音楽大学	307002
お	奥羽大学	302015
	桜花学園大学	305057
	追手門学院大学	306049
	桜美林大学	304085
	大阪医科大学	306013
	大阪音楽大学	306014
	大阪学院大学	306015
	大阪経済大学	306016
	大阪工業大学	306017
	大阪歯科大学	306018
	大阪樟蔭女子大学	306019
お	大阪商業大学	306020
	大阪電気通信大学	306021
	大阪薬科大学	306022
	大阪芸術大学	306038
	大阪産業大学	306040
	大阪体育大学	306041
	大阪大谷大学	306050
	大阪経済法科大学	306065
	大阪国際大学	306073
	大阪観光大学	306089
	大阪人間科学大学	306092
	大阪成蹊大学	306097
	大阪女学院大学	306102
	大阪青山大学	306105
	大阪河﨑リハビリテーション大学	306109
	大阪総合保育大学	306110
	大阪保健医療大学	306120
	大阪物療大学	306122
	大阪行岡医療大学	306126
	大谷大学	306001
	大妻女子大学	304004
	大手前大学	306053
	岡崎女子大学	305080
	岡山理科大学	307006
	岡山商科大学	307007
	岡山学院大学	307033
	沖縄大学	309023
	沖縄国際大学	309024
	沖縄キリスト教学院大学	309054
か	嘉悦大学	304110
	学習院大学	304005
	学習院女子大学	304109
	鹿児島国際大学	309011
	鹿児島純心女子大学	309038
	活水女子大学	309031
	神奈川大学	303006
	神奈川歯科大学	303020
	神奈川工科大学	303040
	金沢工業大学	305014
	金沢星稜大学	305021
	金沢医科大学	305028
	金沢学院大学	305038
	鎌倉女子大学	303008
	亀田医療大学	303130
	川崎医科大学	307015
	川崎医療福祉大学	307021
か	川村学園女子大学	304101
	関西大学	306023
	関西外国語大学	306051
	関西福祉科学大学	306081
	関西福祉大学	306082
	関西国際大学	306084
	関西医療大学	306098
	関西看護医療大学	306111
	関西医科大学	306024
	関西学院大学	306029
	環太平洋大学	307036
	神田外語大学	303052
	関東学院大学	303007
	関東学園大学	303041
き	畿央大学	306101
	北里大学	304006
	吉備国際大学	307020
	岐阜経済大学	305022
	岐阜女子大学	305023
	岐阜医療科学大学	305076
	岐阜聖徳学園大学	305029
	九州産業大学	309001
	九州女子大学	309002
	九州国際大学	309008
	九州共立大学	309012
	九州ルーテル学院大学	309040
	九州情報大学	309041
	九州看護福祉大学	309043
	九州保健福祉大学	309044
	九州栄養福祉大学	309047
	京都外国語大学	306002
	京都女子大学	306003
	京都薬科大学	306004
	京都ノートルダム女子大学	306008
	京都光華女子大学	306036
	京都産業大学	306037
	京都橘大学	306059
	京都学園大学	306063
	京都精華大学	306068
	京都造形芸術大学	306076
	京都文教大学	306079
	京都嵯峨芸術大学	306091
	京都医療科学大学	306113
	京都華頂大学	306121
	京都美術工芸大学	306125
	京都看護大学	306128

「C　2015年度志願者登録票」記入用コード表

▶▶ 私立大学

50音	学 校 名	コード
き	共愛学園前橋国際大学	303084
	共栄大学	303094
	共立女子大学	304007
	杏林大学	304089
	桐生大学	303121
	近畿大学	306025
	金城大学	305060
	金城学院大学	305004
	近大姫路大学	306117
く	国立音楽大学	304009
	熊本学園大学	309009
	熊本保健科学大学	309053
	くらしき作陽大学	307008
	倉敷芸術科学大学	307025
	久留米大学	309003
	久留米工業大学	309028
	群馬医療福祉大学	303099
	群馬パース大学	303114
け	敬愛大学	303023
	慶應義塾大学	304010
	恵泉女学園大学	304102
	敬和学園大学	303065
	健康科学大学	303106
こ	皇學館大学	305013
	工学院大学	304011
	甲子園大学	306061
	甲南大学	306030
	甲南女子大学	306045
	神戸女学院大学	306031
	神戸薬科大学	306032
	神戸海星女子学院大学	306047
	神戸女子大学	306054
	神戸学院大学	306055
	神戸松蔭女子学院大学	306056
	神戸親和女子大学	306057
	神戸国際大学	306062
	神戸芸術工科大学	306075
	神戸山手大学	306086
	神戸医療福祉大学 (旧近畿医療福祉大学)	306090
	神戸ファッション造形大学	306107
	神戸夙川学院大学	306115
	神戸常盤大学	306118
	高野山大学	306035
	郡山女子大学	302010
	國學院大學	304012
	国際大学	303045
	国際武道大学	303047
	国際医療福祉大学	303075
	国際基督教大学	304013
	国士舘大学	304014
	こども教育宝仙大学	304128
	駒澤大学	304015
	駒沢女子大学	304106
さ	埼玉医科大学	303036

50音	学 校 名	コード
さ	埼玉工業大学	303042
	埼玉学園大学	303095
	相模女子大学	303010
	作新学院大学	303060
	佐久大学	303124
	札幌大学	301006
	札幌学院大学	301008
	札幌国際大学	301016
	札幌大谷大学	301025
	札幌保健医療大学	301026
	三育学院大学	303123
	産業医科大学	309029
	産業能率大学	303044
	山陽学園大学	307022
し	志學館大学	309030
	至学館大学	305007
	四国大学	308003
	四国学院大学	308001
	四條畷学園大学	306106
	静岡理工科大学	305045
	静岡産業大学	305051
	静岡英和学院大学	305068
	静岡福祉大学	305071
	至誠館大学 (旧 山口福祉文化大学)	307029
	自治医科大学	303037
	実践女子大学	304016
	四天王寺大学	306060
	芝浦工業大学	304017
	修文大学	305079
	就実大学	307019
	秀明大学	303057
	十文字学園女子大学	303079
	淑徳大学	303019
	種智院大学	306005
	純真学園大学	309058
	順天堂大学	304018
	尚絅大学	309027
	尚絅学院大学	302027
	尚美学園大学	303087
	昭和大学	304020
	昭和音楽大学	303048
	昭和女子大学	304021
	昭和薬科大学	304022
	城西大学	303017
	上武大学	303031
	城西国際大学	303066
	上智大学	304019
	湘南工科大学	303009
	松蔭大学	303090
	女子栄養大学	304023
	女子美術大学	304024
	白梅学園大学	304116
	白百合女子大学	304082
	仁愛大学	305066

50音	学 校 名	コード
す	杉野服飾大学	304077
	椙山女学園大学	305005
	鈴鹿医療科学大学	305046
	鈴鹿国際大学	305052
	駿河台大学	303051
	諏訪東京理科大学	303102
せ	成安造形大学	306077
	聖カタリナ大学	308005
	聖学院大学	303054
	成蹊大学	304025
	星槎大学	301024
	聖心女子大学	304027
	星城大学	305069
	成城大学	304026
	聖泉大学	306094
	清泉女学院大学	303105
	清泉女子大学	304028
	聖トマス大学	306028
	聖徳大学	303062
	西南学院大学	309004
	西南女学院大学	309035
	成美大学	306088
	西武文理大学	303085
	聖母大学	304113
	聖マリア学院大学	309055
	聖マリアンナ医科大学	303035
	聖隷クリストファー大学	305047
	聖路加国際大学	304078
	清和大学	303071
	摂南大学	306067
	専修大学	304029
	洗足学園音楽大学	303030
	仙台大学	302011
	仙台白百合女子大学	302023
	千里金蘭大学	306099
そ	相愛大学	306026
	創価大学	304090
	崇城大学	309017
	園田学園女子大学	306058
た	第一薬科大学	309005
	第一工業大学	309022
	大正大学	304030
	太成学院大学	306083
	大東文化大学	304031
	大同大学(旧大同工業大学)	305016
	高岡法科大学	305042
	高崎健康福祉大学	303092
	高崎商科大学	303093
	高千穂大学	304032
	高松大学	308007
	宝塚大学	306071
	宝塚医療大学	306123
	拓殖大学	304033
	玉川大学	304034

▶▶ 私立大学

50音	学 校 名	コード
た	多摩大学	304103
	多摩美術大学	304035
ち	筑紫女学園大学	309033
	千歳科学技術大学	301018
	千葉経済大学	303055
	千葉科学大学	303110
	千葉工業大学	303001
	千葉商科大学	303002
	中央大学	304036
	中央学院大学	303024
	中京大学	305006
	中京学院大学	305049
	中国学園大学	307034
	中部大学	305017
	中部学院大学	305055
つ	つくば国際大学	303069
	筑波学院大学	303078
	津田塾大学	304037
	鶴見大学	303011
て	帝京大学	304086
	帝京平成大学	303053
	帝京科学大学	303063
	デジタルハリウッド大学	304115
	帝塚山大学	306048
	帝塚山学院大学	306052
	田園調布学園大学	303100
	天使大学	301022
	天理大学	306034
	天理医療大学	306127
と	東亜大学	307017
	桐蔭横浜大学	303058
	東海大学	304038
	東海学院大学	305035
	東海学園大学	305053
	東京情報大学	303056
	東京国際大学	303016
	東京工芸大学	303025
	東京成徳大学	303068
	東京福祉大学	303086
	東京医科大学	304039
	東京家政大学	304040
	東京家政学院大学	304041
	東京経済大学	304042
	東京歯科大学	304043
	東京慈恵会医科大学	304044
	東京女子大学	304045
	東京女子医科大学	304046
	東京女子体育大学	304047
	東京神学大学	304048
	東京電機大学	304049
	東京農業大学	304050
	東京薬科大学	304051
	東京理科大学	304052
	東京音楽大学	304056

50音	学 校 名	コード
と	東京都市大学(旧武蔵工業大学)	304068
	東京造形大学	304087
	東京工科大学	304091
	東京基督教大学	304105
	東京純心女子大学	304108
	東京女学館大学	304111
	東京富士大学	304112
	東京医療保健大学	304117
	東京聖栄大学	304118
	東京未来大学	304125
	東京有明医療大学	304129
	東京医療学院大学	304131
	同志社大学	306006
	同志社女子大学	306007
	東都医療大学	303126
	道都大学	301014
	東北学院大学	302002
	東北福祉大学	302003
	東北薬科大学	302004
	東北生活文化大学	302005
	東北工業大学	302008
	東北女子大学	302013
	東北芸術工科大学	302021
	東北文化学園大学	302025
	東北公益文科大学	302026
	東北文教大学	302032
	東邦大学	304053
	東邦音楽大学	303018
	桐朋学園大学	304054
	同朋大学	305008
	東洋大学	304055
	東洋学園大学	303067
	東洋英和女学院大学	304104
	常磐会学園大学	306085
	常磐大学	303046
	徳島文理大学	308004
	徳山大学	307016
	常葉大学(旧常葉学園大学)	305034
	獨協大学	303014
	獨協医科大学	303039
	苫小牧駒澤大学	301019
	富山国際大学	305043
	豊田工業大学	305036
	豊橋創造大学	305054
な	長岡大学	303097
	長岡造形大学	303072
	長崎総合科学大学	309014
	長崎純心大学	309036
	長崎国際大学	309045
	長崎外国語大学	309049
	長崎ウエスレヤン大学	309052
	長野大学	303026
	長浜バイオ大学	306095
	中村学園大学	309013

50音	学 校 名	コード
な	名古屋商科大学	305009
	名古屋学院大学	305018
	名古屋女子大学	305019
	名古屋芸術大学	305025
	名古屋音楽大学	305032
	名古屋経済大学	305033
	名古屋外国語大学	305040
	名古屋造形大学	305044
	名古屋文理大学	305059
	名古屋産業大学	305064
	名古屋学芸大学	305070
	奈良大学	306064
	奈良学園大学	306070
	南山大学	305010
に	新潟薬科大学	303043
	新潟産業大学	303059
	新潟経営大学	303073
	新潟国際情報大学	303074
	新潟工科大学	303076
	新潟青陵大学	303091
	新潟医療福祉大学	303098
	新潟リハビリテーション大学	303120
	西九州大学	309021
	西日本工業大学	309016
	二松学舎大学	304057
	日本医療大学	301027
	日本赤十字北海道看護大学	301020
	日本赤十字秋田看護大学	302031
	日本赤十字看護大学	304092
	日本赤十字豊田看護大学	305074
	日本赤十字広島看護大学	307030
	日本赤十字九州国際看護大学	309048
	日本大学	304058
	日本工業大学	303029
	日本橋学館大学	303089
	日本薬科大学	303108
	日本医療科学大学	303119
	日本保健医療大学	303127
	日本映画大学	303129
	日本ウェルネススポーツ大学	303131
	日本医科大学	304059
	日本歯科大学	304060
	日本社会事業大学	304061
	日本獣医生命科学大学	304062
	日本女子大学	304063
	日本体育大学	304064
	日本女子体育大学	304083
	日本文化大学	304100
	日本福祉大学	305011
	日本文理大学	309018
	日本経済大学(旧第一経済大学、福岡経済大学)	309020
	人間環境大学	305065

「C　2015年度志願者登録票」記入用コード表

▶▶ 私立大学

50音	学校名	コード
に	人間総合科学大学	303088
の	ノースアジア大学	302009
	ノートルダム清心女子大学	307001
は	梅花女子大学	306039
	梅光学院大学	307014
	白鴎大学	303050
	函館大学	301005
	羽衣国際大学	306093
	八戸学院大学	302017
	八戸工業大学	302016
	花園大学	306009
	浜松大学	305039
	浜松学院大学	305072
	阪南大学	306043
ひ	東大阪大学	306100
	東日本国際大学	302022
	光産業創成大学院大学	305075
	ビジネス・ブレークスルー大学	304119
	比治山大学	307023
	姫路獨協大学	306072
	兵庫大学	306078
	兵庫医科大学	306066
	兵庫医療大学	306116
	弘前学院大学	302014
	弘前医療福祉大学	302030
	広島工業大学	307003
	広島修道大学	307004
	広島女学院大学	307005
	広島文教女子大学	307009
	広島経済大学	307012
	広島国際学院大学	307013
	広島文化学園大学	307026
	広島国際大学	307028
	広島都市学園大学	307038
	びわこ学院大学	306119
	びわこ成蹊スポーツ大学	306096
ふ	プール学院大学	306080
	フェリス女学院大学	303021
	福井工業大学	305015
	福岡大学	309006
	福岡工業大学	309007
	福岡歯科大学	309026
	福岡女学院大学	309034
	福岡国際大学	309042
	福岡医療福祉大学	309051
	福岡女学院看護大学	309056
	福島学院大学	302028
	福山大学	307018

50音	学校名	コード
ふ	福山平成大学	307024
	藤女子大学	301001
	藤田保健衛生大学	305024
	富士大学	302007
	富士常葉大学	305062
	佛教大学	306010
	文化学園大学(旧文化女子大学)	304080
	文教大学	303022
	文京学院大学	303064
	文星芸術大学	303083
へ	平安女学院大学	306087
	平成音楽大学	309050
	平成国際大学	303080
	別府大学	309010
ほ	法政大学	304065
	北翔大学	301017
	北星学園大学	301002
	北陸大学	305030
	北陸学院大学	305078
	保健医療経営大学	309057
	星薬科大学	304066
	北海学園大学	301003
	北海商科大学	301012
	北海道科学大学	301007
	北海道医療大学	301010
	北海道薬科大学	301011
	北海道情報大学	301015
	北海道文教大学	301021
ま	松本大学	303103
	松本歯科大学	303038
	松山大学	308002
	松山東雲女子大学	308006
み	三重中京大学	305037
	南九州大学	309019
	身延山大学	303077
	美作大学	307011
	宮城学院女子大学	302006
	宮崎産業経営大学	309032
	宮崎国際大学	309037
む	武庫川女子大学	306033
	武蔵大学	304067
	武蔵野大学	304084
	武蔵野学院大学	303109
	武蔵野音楽大学	304069
	武蔵野美術大学	304070
め	明海大学	303033
	名城大学	305012
	明治大学	304071

50音	学校名	コード
め	明治学院大学	304072
	明治薬科大学	304073
	明治国際医療大学	306069
	明星大学	304081
	目白大学	303070
も	ものつくり大学	303096
	桃山学院大学	306027
	盛岡大学	302018
	森ノ宮医療大学	306114
や	八洲学園大学	303111
	安田女子大学	307010
	山口東京理科大学	307027
	山口学芸大学	307037
	ヤマザキ学園大学	304130
	大和大学	306129
	山梨学院大学	303012
	山梨英和大学	303101
よ	横浜商科大学	303032
	横浜薬科大学	303117
	横浜美術大学	303128
	横浜創英大学	303132
	四日市大学	305041
	四日市看護医療大学	305077
ら	酪農学園大学	301004
り	立教大学	304074
	立正大学	304075
	立命館大学	306011
	立命館アジア太平洋大学	309046
	龍谷大学	306012
	流通科学大学	306074
	流通経済大学	303013
	了德寺大学	303116
る	ルーテル学院大学	304079
れ	麗澤大学	303003
わ	和光大学	304088
	早稲田大学	304076
	稚内北星学園大学	301023
	和洋女子大学	303004

(2)短期大学(国内)

▶▶ 公立短期大学

学校名	コード
会津大学短期大学部	502004
岩手県立大学盛岡短期大学部	502001
岩手県立大学宮古短期大学部	502006
大分県立芸術文化短期大学	509002
大月短期大学	503003
鹿児島県立短期大学	509003
川崎市立看護短期大学	503014
岐阜市立女子短期大学	505002
倉敷市立短期大学	507008
高知短期大学	508001
静岡県立大学短期大学部	505012
島根県立大学短期大学部	507014
長野県短期大学	503004
名寄市立大学短期大学部	501001
新見公立短期大学	507009
三重短期大学	505007
山形県立米沢女子短期大学	502003

▶▶ 私立短期大学

50音	学校名	コード
あ	愛国学園短期大学	604001
	愛知学院大学短期大学部	605010
	愛知大学短期大学部	605012
	愛知学泉短期大学	605013
	愛知文教女子短期大学	605015
	愛知みずほ大学短期大学部	605026
	愛知江南短期大学	605058
	愛知工科大学自動車短期大学	605068
	愛知きわみ看護短期大学	605082
	愛知医療学院短期大学	605085
	藍野大学短期大学部 (旧藍野学院短期大学)	606091
	青森明の星短期大学	602002
	青森中央短期大学	602022
	青山学院女子短期大学	604002
	秋草学園短期大学	603066
	秋田栄養短期大学	602010
	旭川大学短期大学部 (旧旭川大学女子短期大学部)	601014
	亜細亜大学短期大学部	604052
	足利短期大学	603065
	芦屋学園短期大学	606035
	有明教育芸術短期大学	604103
い	飯田女子短期大学	603046
	育英短期大学	603064
	池坊短期大学	606001
	和泉短期大学	604076
	茨城女子短期大学	603039
	今治明徳短期大学	608008
	いわき短期大学	602019
	岩国短期大学	607030
	岩手看護短期大学	602026
う	植草学園短期大学	603109
	上田女子短期大学	603049
	上野学園大学短期大学部	604004
	宇都宮短期大学	603040
	宇都宮文星短期大学	603091
	宇部フロンティア大学短期大学部	607017
	羽陽学園短期大学	602025
	浦和大学短期大学部	603083
お	大分短期大学	609024
	大垣女子短期大学	605054
	大阪音楽大学短期大学部	606013
	大阪学院大学短期大学部	606014
お	大阪キリスト教短期大学	606015
	大阪女子短期大学	606017
	大阪夕陽丘学園短期大学	606018
	大阪信愛女学院短期大学	606019
	大阪成蹊短期大学	606020
	大阪国際大学短期大学部	606030
	大阪芸術大学短期大学部	606032
	大阪城南女子短期大学	606059
	大阪千代田短期大学	606061
	大阪産業大学短期大学部	606066
	大阪薫英女子短期大学	606067
	大阪青山短期大学部	606071
	大阪女学院短期大学	606078
	大阪健康福祉短期大学	606104
	大谷大学短期大学部	606002
	大妻女子大学短期大学部	604005
	大手前短期大学	606023
	岡崎女子短期大学	605034
	岡山短期大学	607004
	沖縄キリスト教短期大学	609056
	沖縄女子短期大学	609057
	小田原短期大学	603009
	帯広大谷短期大学	601001
	折尾愛真短期大学	609033
か	嘉悦大学短期大学部	604053
	香川短期大学	608012
	鹿児島純心女子短期大学	609022
	鹿児島女子短期大学	609031
	鹿児島国際大学短期大学部	609048
	華頂短期大学	606003
	神奈川歯科大学短期大学部 (旧 湘南短期大学)	603016
	金沢学院短期大学	605002
	金沢星稜大学女子短期大学部	605061
	鎌倉女子大学短期大学部	603012
	カリタス女子短期大学	603034
	川口短期大学	603084
	川崎医療短期大学	607031
	関西外国語大学短期大学部	606024
	関西女子短期大学	606060
	環太平洋大学短期大学部 (旧愛媛女子短期大学)	608009
	関東短期大学	603002
き	吉備国際大学短期大学部	607023
き	岐阜聖徳学園大学短期大学部	605040
	岐阜保健短期大学	605084
	九州女子短期大学	609001
	九州龍谷短期大学	609012
	九州造形短期大学	609052
	九州大谷短期大学	609054
	京都外国語短期大学	606005
	京都文教短期大学	606006
	京都女子大学短期大学部	606007
	京都光華女子大学短期大学部	606008
	京都西山短期大学	606010
	京都聖母女学院大学短期大学	606028
	京都嵯峨芸術大学短期大学部	606080
	京都経済短期大学	606100
	共立女子短期大学	604010
	桐生大学短期大学部 (旧桐生大学短期大学)	603003
	近畿大学短期大学部	606025
	近畿大学豊岡短期大学	606075
	近畿大学九州短期大学	609035
	金城大学短期大学部	605060
く	釧路短期大学	601015
	久留米信愛女学院短期大学	609050
	群馬医療福祉大学短期大学部 (旧群馬社会福祉大学短期大学)	603104
こ	光塩学園女子短期大学	601021
	甲子園短期大学	606057
	高知学園短期大学	608014
	神戸女子短期大学	606041
	神戸山手短期大学	606043
	神戸常盤大学短期大学部	606076
	香蘭女子短期大学	609002
	郡山女子大学短期大学部	602012
	國學院大學栃木短期大学	603031
	國學院大學北海道短期大学部	601029
	国際学院埼玉短期大学	603076
	国際短期大学	604013
	駒沢女子短期大学	604073
	小松短期大学	605069
さ	埼玉純真短期大学	603074
	埼玉医科大学短期大学	603093
	埼玉女子短期大学	603094
	埼玉東萌短期大学	603111
	堺女子短期大学	606058

「C　2015年度志願者登録票」記入用コード表

▶▶ 私立短期大学

50音	学校名	コード
	佐賀女子短期大学	609037
	相模女子大学短期大学部	603013
	佐久大学信州短期大学 (旧 信州短期大学)	603090
	作新学院大学女子短期大学部	603041
	作陽音楽短期大学	607005
	桜の聖母短期大学	602013
	札幌大谷大学短期大学部	601003
	札幌大学女子短期大学部 (旧札幌大学女子短期大学)	601024
	札幌国際大学短期大学部	601026
	佐野短期大学	603098
	三育学院短期大学	603057
	産業技術短期大学	606038
	山陽女子短期大学	607010
	山陽学園短期大学	607028
し	至学館大学短期大学部	605019
	滋賀短期大学 (旧滋賀女子短期大学)	606079
	滋賀文教短期大学	606086
	四国大学短期大学部	608001
	四條畷学園短期大学	606054
	静岡英和学院大学短期大学部	605042
	実践女子短期大学部	604018
	四天王寺大学短期大学部	606027
	下関短期大学	607018
	自由が丘産能短期大学	604017
	修紅短期大学	602005
	就実短期大学	607002
	修文大学短期大学部	605014
	十文字学園女子大学短期大学部	603033
	淑徳大学短期大学部	604020
	夙川学院短期大学	606063
	純真短期大学	609003
	樟蔭東短期大学	606068
	頌栄短期大学	606045
	尚絅大学短期大学部	609019
	正眼短期大学	605006
	城西短期大学	603075
	上智短期大学部	603060
	湘北短期大学	603062
	昭和学院短期大学	603004
	昭和音楽大学短期大学部	603054
	昭和女子大学短期大学部	604021
	女子栄養大学短期大学部	604022
	女子美術大学短期大学部	604023
	白梅学園短期大学	604024
	仁愛女子短期大学	605033
	信州豊南短期大学	603077
す	杉野服飾大学短期大学部	604026
	鈴鹿短期大学	605048
	鈴峯女子短期大学	607011
せ	精華女子短期大学	609045
	聖カタリナ大学短期大学部	608011
	聖セシリア女子短期大学	603019

50音	学校名	コード
せ	清泉女学院短期大学	603070
	聖徳大学短期大学部	603026
	西南女学院大学短期大学部	609005
	星美学園短期大学	604029
	成美大学短期大学部	606004
	聖霊女子短期大学	602011
	聖和短期大学	606046
	聖和学園短期大学	602007
	清和大学短期大学部	603043
	洗足こども短期大学 (旧洗足学園短期大学)	603014
	仙台青葉学院短期大学	602031
そ	創価女子短期大学	604088
	園田学園女子大学短期大学部	606047
た	第一幼児教育短期大学	609042
	高崎商科大学短期大学部	603088
	高田短期大学	605049
	高松短期大学	608015
	高山自動車短期大学	605059
	拓殖大学北海道短期大学	601019
ち	千葉敬愛短期大学	603006
	千葉経済大学短期大学部	603051
	千葉明徳短期大学	603055
	筑紫女学園大学短期大学部	609026
	中京学院大学中京短期大学部	605041
	中国短期大学	607006
	中部学院大学短期大学部	605050
つ	つくば国際短期大学	603029
	鶴川女子短期大学部	604085
	鶴見大学短期大学	603015
て	帝京学園短期大学	603045
	帝京大学短期大学	604072
	帝京短期大学	604034
	帝京平成看護短期大学	603099
	貞静学園短期大学	604104
と	戸板女子短期大学	604035
	東海学院大学短期大学部	605007
	東海大学医療技術短期大学	603063
	東海大学短期大学部	604090
	東海大学福岡短期大学	609067
	東京経営短期大学	603103
	東京福祉大学短期大学部	603110
	東京家政大学短期大学部	604037
	東京交通短期大学	604039
	東京女子体育短期大学	604042
	東京農業大学短期大学部	604045
	東京富士大学短期大学部	604058
	東京成徳短期大学	604075
	東京立正短期大学	604081
	東邦音楽短期大学	604047
	桐朋学園芸術短期大学	604070
	東北女子短期大学	602003
	東北生活文化大学短期大学部 (旧東北生活文化大学短期大学)	602008

50音	学校名	コード
と	東北文教大学短期大学部	602018
	東洋食品工業短期大学	606048
	常磐会短期大学	606055
	常磐短期大学	603030
	徳島工業短期大学	608016
	徳島文理大学短期大学部	608002
	常葉学園短期大学	605043
	鳥取短期大学	607029
	富山短期大学	605001
	富山福祉短期大学	605080
	豊橋創造大学短期大学部	605065
な	中九州短期大学	609060
	長崎女子短期大学	609038
	長崎短期大学	609039
	中日本自動車短期大学	605051
	長野女子短期大学	603048
	中村学園大学短期大学部	609006
	名古屋学芸大学短期大学部	605017
	名古屋短期大学	605021
	名古屋女子大学短期大学部	605023
	名古屋文化短期大学	605028
	名古屋柳城短期大学	605029
	名古屋経済大学短期大学部	605035
	名古屋経営短期大学	605038
	名古屋文理大学短期大学部	605046
	奈良佐保短期大学	606064
	奈良学園大学 奈良文化女子短期大学部	606065
	奈良芸術短期大学	606069
	南山大学短期大学部 (旧南山短期大学)	605053
に	新潟青陵大学短期大学部	603028
	新潟工業短期大学	603052
	新潟中央短期大学	603053
	新島学園短期大学	603073
	西九州大学短期大学部	609011
	西日本短期大学	609007
	新渡戸文化短期大学	604046
	日本赤十字秋田短期大学	602029
	日本歯科大学新潟短期大学	603086
	日本体育大学女子短期大学部	604056
	日本大学短期大学部	604057
	日本歯科大学東京短期大学	604102
は	梅花女子大学短期大学部	606033
	白鳳女子短期大学	606101
	函館短期大学	601005
	函館大谷短期大学	601006
	八戸短期大学	602024
	浜松学院大学短期大学部	605009
ひ	東大阪大学短期大学部	606062
	東九州短期大学	609046
	東筑紫短期大学	609008
	比治山大学短期大学部	607022
	姫路日ノ本短期大学	606085

▶▶ 私立短期大学

50音	学 校 名	コード
ひ	兵庫大学短期大学部	606051
	弘前医療福祉大学短期大学部	602030
	広島国際学院大学自動車短期大学部	607019
	広島文化学園短期大学（旧広島文化短期大学）	607020
	びわこ学院大学短期大学部	606099
ふ	プール学院大学短期大学部	606034
	福井医療短期大学	605083
	福岡工業大学短期大学部	609009
	福岡女学院大学短期大学部	609023
	福岡女子短期大学	609034
	福岡こども短期大学	609061
	福岡医療短期大学	609068
	福島学院大学短期大学部	602020
	文化学園大学短期大学部（旧文化女子大学短期大学部）	604059
	文京学院短期大学	604071
へ	平安女学院大学短期大学部	606011
	平成医療短期大学	605086
	別府大学短期大学部	609020
	別府溝部学園短期大学	609025
ほ	北翔大学短期大学部	601012

50音	学 校 名	コード
ほ	北星学園大学短期大学部	601008
	北陸学院大学短期大学部	605003
	北海道科学大学短期大学部	601011
	北海道武蔵女子短期大学	601022
ま	松本大学松商短期大学部	603022
	松本短期大学	603059
	松山短期大学部	608005
	松山東雲短期大学	608007
み	聖園学園短期大学	602016
	湊川短期大学	606049
	南九州短期大学	609029
	美作大学短期大学部	607007
	宮城誠真短期大学	602021
	宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）	609030
む	武庫川女子大学短期大学部	606050
	武蔵丘短期大学	603102
	武蔵野短期大学	603069
め	明倫短期大学	603106
	明和学園短期大学	603025
	目白大学短期大学部	604066
も	盛岡大学短期大学部	602014
や	安田女子短期大学	607016

50音	学 校 名	コード
や	山口芸術短期大学	607027
	山口短期大学	607025
	山梨学院短期大学	603021
	山野美容芸術短期大学	604100
	山村学園短期大学	603095
よ	横浜女子短期大学	603037
	横浜創英短期大学	603096
り	立教女学院短期大学	604084
	龍谷大学短期大学部	606012
わ	和歌山信愛女子短期大学	606053

(3)その他

学 校 区 分	コード
高等専門学校	901001
専修学校専門課程(専門学校)	902001
専修学校高等課程(大学入学資格あり)	902002
専修学校高等課程(大学入学資格なし)	902003
高等学校(全日制)	903001
高等学校(定時制)	903002
高等学校(通信制)	903003
中等教育学校(中高一貫校)	903004
高等学校卒業程度認定試験(旧大検)	904001
明星大学入学資格認定試験	905001
海外の大学	906001
海外の短期大学	906002
学位授与機構	907001
その他	909001
廃止された大学	909002
廃止された短期大学	909003

その他

通信教育Q&A

通信教育Q&A目次

■ 出願について

Q1 出願を希望していますが、いつでも出願はできますか。

A1 4月生と10月生の募集があります。それぞれの出願時期に関しては、005ページを参照してください(教科専門(理科)コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方は4月生のみの募集となり、入学選考試験があります。出願期間は008ページを参照してください)。

Q2 出願の時期で有利・不利はありますか。

A2 4月生、10月生ともに早い時期の出願のほうが、学習時間を長く確保できるため、有利といえます。また、出願期間の締め切り間近に出願すると、その分学習を開始するのが遅くなるため科目終了試験やスクーリングの受験・受講回数が少なくなるなどの不利な点があります。
正科・課程履修生の場合、4月生出願と10月生出願では、教員として勤務開始できる年度が1年違ってくる場合があります。

Q3 2015（平成27）年の3月（または9月）卒業見込みですが、「卒業見込み」による出願はできますか。

A3 早くから学習に着手していただけるよう、卒業見込みの方の出願も受付しています(一部該当者を除く)。ただし、卒業見込みでの出願は、出願期間が短くなっています。また出願後、改めて一部の証明書類を出し直していただきます。
▶113ページ参照
卒業見込みでの出願期間を過ぎた場合は、通常の学生と同じ出願期間となります。

Q4 出願書類の「学力に関する証明書」はこの名称の証明書で提出しなくてはいけないでしょうか。

A4 「学力に関する証明書」は固有名詞であり、様式も教育職員免許法で定義されております。ただし教員免許状が取得できない大学においては、「学力に関する証明書」の発行ができない場合があります。この場合、本学が確認するのは「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目の部分のみになります。同科目が証明されている証明書であれば、異なる名称の証明書でも結構です。 ▶117ページ参照
例)「基礎資格および単位修得証明書」 等
※成績証明書では第66条の6に定める科目の修得確認ができません。

Q5 誤った記入をしてしまいました。修正液を使って訂正してもよいですか。

A5 修正液ではなく、誤った箇所に二重線を引いたうえで訂正印を押印し、訂正してください。修正があまりにも多くなった場合は、新しい用紙を送付しますので事務局入学担当宛へ請求してください。
ただしC票にボールペンで記入をしてしまった場合は、上から鉛筆で正しい語句を記入してください。F票(入学時納入金振込用紙)の金額を誤った場合は、銀行に備え付けの振込用紙を使うか、本学へ再送を依頼してください。

Q6 健康診断書は指定様式でなくてもよいでしょうか。

A6 受診項目が同じであれば指定様式でなくても構いません。ただし、本学が指定する受診項目が一つでも洩れていると不備扱いになりますので注意してください。また、指定様式以外の場合についても証明書印の押印された診断書(原本)であることが必要です。

Q7 揃っている出願書類のみ先に送付しても受付してもらえますか。

A7 すべての書類が揃って初めて受付となります。必ずすべての書類を揃えてから出願してください。

Q8 出身高校より「成績証明書(調査書)」が発行できないといわれてしまいました。

A8 成績保存期限経過のため発行不可の旨の証明書を発行していただける場合がありますので、その証明書を取り寄せ提出してください。

Q9 (出身)大学を卒業した後、他大学の通信教育部を退学しました。その場合、提出書類は通信教育部の「退学証明書」、「成績証明書」、「学力に関する証明書」を提出すればよいのでしょうか。

A9 (出身)大学の「卒業証明書」、「成績証明書」、「学力に関する証明書」は必ず提出してください。大学卒業以降に教育機関に在籍していた場合、二重学籍にあたらないことを確認するために、「卒業(修了)証明書」、「退学証明書」、「在籍期間証明書」のいずれかを提出してください。

Q10 正科生と正科・課程履修生の違いは何ですか。

A10 正科生とは大学卒業を希望するコース、もしくは大学卒業に加え教員免許状や資格を取得するコースです。正科・課程履修生とは大学卒業者が教員免許状や資格のみを取得するコースです。

■ 入学について

Q11 在学期間はどのように扱われますか。

A11 入学許可された日にかかわらず、4月生は4月1日付入学、10月生は10月1日付入学となります。在学期間の終わりに関しては、卒業生であれば卒業年月日、正科・課程履修生や、正科生で退学手続きをとった場合は基本的に退学の届け出が受付られた月に「退学」となります。

※ 本学が指定する学籍更新期間内に退学手続きをした場合は、原則として在籍許可が出ている年度末(4月生は3月31日付、10月生は9月30日付)での退学となります。

※ 科目等履修生、認定通信生は「入学」の代わりに「許可」となります。在学期間については、「在籍期間」という扱いとなり、籍が終わる時には「終了」という扱いになります。

Q12 入学選考試験はありますか。

A12 教科専門(理科)コースおよび科目等履修生で理科の実験科目の単位修得を必要とする方については、小論文および面接などによる入学選考試験を行います。

▶008ページ参照

その他のコースは書類選考のみで入学選考試験はありません。ただし、「G 人物に関する調査書」が用意できない場合は、本学にて面接試問(小論文試験を含む)の受験が必要になります。 ▶122・123ページ参照

Q13 学習はすぐに開始できますか。

A13 出願時期に応じ、入学許可までの日数が変わります。入学許可が出てからまもなく学習を開始することができます。出願から入学許可までの日数については007ページを参照してください。

※ ただし入学選考試験を必要とするコースの方は例外となります。009ページを参照してください。

Q14 現在、他大学に在学中ですが、入学は認められますか。

A14 他の大学院・大学・短期大学に正規の課程で在籍している場合は、二重学籍になるため本学通信教育課程の正科生、正科・課程履修生への入学はできません。ただし、本学以外の大学院・大学・短期大学に正規の課程で在籍中であっても、本学通信教育部の科目等履修生として入学する場合は二重学籍には該当しません。

▶006ページ参照

通信教育Q&A

Q15 現在、各種学校に通っていますが、入学は認められるでしょうか。

A15 各種学校(専修学校専門課程を除く)の場合は二重学籍に該当しませんので、入学は許可されます(2015(平成27)年4月1日現在満18歳以上の大学入学資格のある方に限ります)。

Q16 短期大学を卒業していますが、学士の学位を取得(大学卒業)したいと考えています。卒業までに何年かかりますか。また、短期大学で修得した単位はどの程度認定されますか。

A16 短期大学を卒業していれば正科生3年次編入学となり、卒業までの所要年数は2年間です。
短期大学で修得した単位は、出身学科の専攻内容を問わずに一括50単位を上限として単位認定します。ただし、卒業要件単位と教員免許状取得に必要な単位数が異なり、卒業要件単位124単位(認定単位を含む)より多く単位を修得しなければならない場合もあります。なお、教員免許状が取得できるコースへの入学希望者で短期大学にて、幼稚園・小学校・中学校の2種免許状を取得している場合は免許法上、一部の単位を認定できる可能性があります。具体的には各自の履修していた単位によって異なります。出願前に認定単位数の確認をしたい場合は、「学力に関する証明書」を添え事務局入学担当まで書面にて問い合わせてください。

Q17 海外の大学・海外の短期大学を退学しているのですが編入学できますか。

A17 海外の大学・短期大学を退学している場合、編入学はできません。正科生1年次入学となります。ただし、海外の大学・海外の短期大学を卒業している場合は正科生3年次編入学が可能となる場合があります。事前に事務局入学担当まで問い合わせてください。

■ スクーリングについて

Q18 スクーリングはどのくらい受講しなければなりませんか。また、受講費および必要経費はどのくらいかかりますか。

A18 必修科目における受講方法が「S」か、もしくは"「SR」のみ"の場合にはスクーリングの受講が必要となります。コースによってスクーリングに出席すべき科目数が異なりますので、開講科目一覧を確認してください。
また、正科生(卒業をめざす学生)は卒業までにスクーリング単位を修得する必要があります。
なお、スクーリングに必要な期間・受講費はコースによって異なります。

▶014・015ページ参照

※ このほかに交通費等が必要になります。遠方からスクーリング受講地へ行く場合、さらに宿泊費等がかかります。

Q19 スクーリングを実施する期間はいつ頃ですか。

A19 スクーリング開講時期については014ページを参照してください。開講日程・時間・コマ数については、別紙のリーフレット※を参考にしてください。2015年度開講科目の詳細などについては入学後に配付する補助教材にてお知らせします。

※ 別紙のリーフレットは、リーフレット作成時点での情報のため開講日程が変更・増加する場合がありますのでご了承ください。また、10月生については2015年下半期の開講日程のみの掲載となっております。夏期スクーリングの前年度実績については本学のホームページを参照してください。

Q20 スクーリングに長期間出席できないのですが。

A20 スクーリングの必修科目は、所定の期間出席しなければなりません。基本的には、1科目あたり2～4日間で開講します。大学卒業にあたっては、平均で毎年2～3週間(受講コースにより異なる)のスクーリング出席が必要になります。なお、開講する科目の分割受講はできません。なお、教育学部における教科専門(音楽)コースについては、2年次と3年次にそれぞれ1年間にわたってスクーリングを開講します。このスクーリングに出席できない場合は、当該教員免許状の取得ができません。

Q21 スクーリング受講申込はどのように行うのですか。

A21 学生に毎月送付する部報『めいせい』に、直近に行われるスクーリングの申込要領が掲載され、申込ハガキが添付されますので、それを使って受講申込をします。インターネットからでも申込みができます。受講許可を受けた後、受講費用を振込期限内に振り込むことによって受講ができます。

Q22 スクーリング中に学内施設は利用できますか。

A22 図書館、情報科学研究センター（パソコン）、保健管理室、各種小売店が利用できます。ただし、学納金に施設費を含まないため、体育館、プール、野球場等は利用できません。通学課程の学生向けの各種サービス提供部署である教職センター、学生サポートセンター等も利用できません。

Q23 SR科目のレポート提出期限はありますか。

A23 スクーリング受講時期に応じ、提出目安日があります。目安日に間に合わなかったとしても成績が無効になることはありませんが、スクーリングの合格とレポートの合格が揃ってはじめて単位修得となりますので、早めに提出するようこころがけてください。

Q24 スクーリング期間中の宿泊施設はどうすればよいのでしょうか。

A24 本学では宿泊施設の斡旋はしておりませんので、手配に関しては各自で行ってください。スクーリング受講者を対象に特別料金の宿泊施設を扱う代理店を入学後に配付する補助教材に掲載しますので、代理店に直接申込みをしてください。費用は宿泊期間、条件により異なります。

■ 教員免許状取得について

Q25 大学を卒業しており、教員免許状だけの取得を考えています。どの入学コースになりますか。

A25 正科・課程履修生になります。大学を卒業された方が教員免許状のみを教育職員免許法第5条別表第1を根拠として単位を修得するコースになります。▶042ページ参照

ただし、中学校教諭免許状、高等学校教諭免許状を既に所持されている方が、他教科の同校種の教員免許状を取得したい場合には科目等履修生（第6条別表第4）となります。▶071～075ページ参照

既に教員免許状を所持し、当該学校において3年間の勤務経験がある方が、隣接校種の2種免許状を取得したい場合は、科目等履修生（第6条別表第8）となります。▶077～082ページ参照

Q26 短期大学を卒業し小学校教諭2種免許状を所持していますが、小学校教諭1種免許状を取得するためには何年かかりますか。

A26 小学校教諭1種免許状を取得するには2通りの方法があります。ただし、各自の条件によって選べない方法もあります。下記を参照し、適切な方法を選択してください。

●学士を取得し、小学校1種免許状を取得する場合……最短で2年かかります。▶024ページ以降参照

●学士取得を希望せず、小学校勤務経験のある方が小学校教諭1種免許状を取得する場合……5年以上の勤務経験がある場合、免許法第6条別表第3により取得することができます。▶070ページ参照
教育委員会に単位・経験年数等を確認したうえで、科目等履修生開講科目一覧から必要な科目を選択し修得してください。▶062ページ参照

Q27 出身大学で取得希望の教員免許状に必要な単位を一部修得しましたが、認定してもらえるでしょうか。

A27 教育職員免許法施行規則に定められている同項の科目を本学で再度取得しなくても済むよう、単位修得免除審査をいたします。その際には、出願書類の一つである「学力に関する証明書」をもとに審査し、入学許可時にどの科目が免除されるかを回答します。▶044・045ページ参照

厳密には「認定」ではなく、「免除」となりますので、教員免許状申請の際には出身大学と本学で取得した単位の証明（「学力に関する証明書」等）をあわせて教育委員会に提出する必要があります。

通信教育Q&A

Q28 **出身大学で中学校・高等学校の教員免許状を取得しましたが中学校・高等学校の他教科の教員免許状を取得する場合、免除になる科目はありますか。**

A28 他教科の教員免許状を取得するにあたっては、科目等履修生／認定通信生で教育職員免許法第6条別表第4を根拠法令として取得できます。なお、同法第6条別表第4の方法にて単位修得する場合、既に所持する教員免許状の修得済科目と重なる科目はありませんので、免除科目はありません。 ▶071ページ参照

Q29 **出身大学には高等学校教諭（理科）免許状を取得できる課程があり、免許状に関する一部の単位を修得しました。**
今後は明星大学通信教育部に入学し、正科・課程履修生にて残りの単位を修得し、高等学校1種免許状のみ修得したいと考えております。
実験科目については出身大学で一般的包括的内容を満たしたうえで修得済みとなっていますが、入学選考試験は必要でしょうか？

A29 本学の現行のルールでは、高等学校の教員免許状のみ取得希望であったとしても、中学校の免許法施行規則に定める科目のうち、4つの実験科目が修得できていない場合には入学選考試験を受けていただくことになります。上記については、「学力に関する証明書（中学校・理科）」の取得によって知ることができます。
なお、中学校の課程認定のない大学出身者は入学選考試験が必要となります。

Q30 **高等学校教諭1種免許状（理科）の取得を希望しています。前の大学で高等学校教諭1種免許状（理科）の科目のうち実験科目を3単位分、一般的包括的内容を満たして修得しているため、免許法に従い他の実験科目の修得をしないつもりです。大丈夫でしょうか。**

A30 高等学校教諭1種免許状（理科）の教員免許状取得に必要な「教科に関する科目」は20単位となっています。本学の理科の「教科に関する科目」は4科目の実験科目を含めて20単位しか開講していません。よって実験科目が必要ないとしても、実験科目を1単位分修得しないのであれば、必要な20単位を取得するのは不可能となります。

Q31 **高等学校の教員免許状を取得しています。**
今回、高校理科の教員免許状取得を考えており、教育委員会に指導を受けたところ、別表第4が適用され、実験科目については1科目でよいと指導されたので、実験は1科目しか履修しないつもりです。しかし、「教科に関する科目」は実験4単位を含み20単位しか開講されていません。20単位全部取らないと教員免許状取得要件を満たしません。どうすればよいでしょうか。

A31 高等学校教諭1種免許状（理科）の教員免許状取得に必要な「教科に関する科目」は20単位となっています。本学の理科の「教科に関する科目」は4科目の実験を含めて20単位しか開講していません。4科目の実験をすべて取得しないのであれば、20単位を本学で修得するのは不可能となります。

Q32 **正科生での入学を考えています。卒業しないと教員免許状が取得できないのですか？**

A32 1種免許状は大学卒業資格がないと取得できないので卒業は必要です。しかし、幼・小・中・特別支援学校の2種免許状は、所要資格を満たせば卒業する前に取得できます。 ▶095ページ参照

Q33 **正科生での入学を考えています。教員免許状（1種）を取得しなければ卒業できませんか？**

A33 途中で教員免許状取得を断念しても卒業要件単位を満たし、卒業に必要な手続きを踏めば卒業可能です。

教育実習について

Q34 教育実習はどこで受けるのですか。

A34 教育実習は、現住所から通学が可能な近くの学校･園など教育実習を受け入れてくれるところを自分で探します。なお、教育実習の受け入れについては、独自の受け入れ態勢をとっている地域もあります。公立学校･園で教育実習を希望する場合、詳細については教育委員会へ問い合わせてください。▶097・098ページ参照

Q35 教育実習を行うための受講資格はありますか。

A35 本学の学生として教育実習を実施するためには本学が規定する教育実習の受講資格を満たす必要があります。所定の期日までに必要な手続きをとったうえで教育実習が許可されます。▶099・100ページ参照

なお、初等・中等の各教育実習指導はスクーリングにおいて単位を修得しなければならないので、計画を立てて受講するようにしてください。また、特別支援学校教諭免許状取得の場合は、「特別支援学校教育実習事前オリエンテーション」への出席が必須となっています。

Q36 教育実習の期間はどのくらいですか。

A36 教育実習の期間は2 ～ 4週間で校種によって異なります。▶097ページ参照
なお他校種実習単位の流用や、教員としての勤務経験年数で振替により軽減できる場合があります。詳細については入学後配付する補助教材で確認してください。

Q37 東京都内の公立学校（園）で教育実習を受けたいのですが、手続きはどのようになりますか。

A37 東京都内の公立学校(園)での教育実習の場合、東京都公立学校の卒業者もしくは、東京都在住者であることが条件です。教育実習実施希望の前年度9月に本学実習担当へ申込みを行い、東京都教育委員会から配当された学校(園)での教育実習となります。そのため、個人での受け入れ交渉は一切できません。申込資格等詳細については入学後配付する補助教材で確認してください。▶098ページ参照

Q38 小学校と中学校・高等学校の教員免許状取得を考えています。教育実習は何回、何週間行かなくてはならないのでしょうか。

A38 小学校で1度、中学校もしくは高等学校で1度実施する必要があります。実施期間については、「小学校4週間かつ中学校または高等学校2週間」、もしくは「小学校2週間かつ中学校3週間」のどちらかを選択してください。

介護等体験について

Q39 教員免許状の取得を希望していますが、「介護等体験」は必要ですか。

A39 小学校教諭免許状および中学校教諭免許状の取得には、「介護等体験」が義務付けられておりますが、不要となる場合があります。▶101ページ参照

Q40 「介護等体験」はどこで実施するのですか。

A40 「介護等体験」は特別支援学校(都道府県教育委員会管轄)で2日間、社会福祉施設(都道府県社会福祉協議会管轄)で5日間、計7日間の実施が必要です。「介護等体験」実施にあたっては年1回、大学が一括して申請手続きを行います。体験先・体験期間の自己開拓、個人交渉は一切できません。▶101・102ページ参照

通信教育Q&A

■ 教員採用試験について

Q41 教員採用試験を受験したいのですが、受験手続きはどのようにしたらよいのでしょうか。

A41 都道府県により異なりますが、毎年4月下旬～ 5月下旬にかけて要項が発表されますので、これに従って受験手続きを行ってください。詳細は各自治体のホームページなどを参照してください。
受験に際し、「教員免許状取得見込証明書」の必要な自治体がありますが、「教員免許状取得見込証明書」を発行するためには、本学で定める条件を満たしていることが必要です。なお、科目等履修生、認定通信生には発行できません。
「教員免許状取得見込証明書」に関する詳細については、入学後に配付する補助教材等で確認してください。

Q42 大学・短期大学卒業者ですが、入学した年度に教員採用試験を受験できますか。

A42 教員免許状取得までに最短2年間かかるコースの場合、入学した年度に教員採用試験を受験することはできません。ただし、条件（介護等体験・教職実践演習不要等）が揃っており、1年間で2種免許状取得に必要な単位の修得が可能な場合には受験可能です。10月生の一部のコースの早期出願者は、入学した最初の1年目で採用試験を受験することができる場合があります。

■ 資格取得について

Q43 図書館司書資格を取得したいのですが。

A43 大学を卒業された方は、正科・課程履修生の教育学コース（一部不足単位を履修する場合は科目等履修生を選択することも可）へ、短期大学を卒業された方は、正科生3年次編入学の教育学コースへ出願してください。資格取得に必要な科目を履修し、単位修得をすることで図書館司書資格を取得することができます。
大学・短期大学を卒業していない方は、正科生の教育学コースへ出願してください。図書館司書資格取得に必要な科目を履修し単位修得をすることと、大学卒業（学士の学位）が資格取得の条件となります。

Q44 学校図書館司書教諭資格を取得したいのですが。

A44 小学校、中学校、高等学校の教諭のうち、いずれかの普通免許状を所持する方は、5科目10単位を修得することにより取得できます。この場合、「学校図書館の情報アプローチⅠ」および「学校図書館の情報アプローチⅡ」については夏期または12月（冬期）スクーリングで受講しなければなりません。なお、本学で単位を修得後は、「学校図書館司書教諭講習修了証書」の交付を文部科学省へ申請します。この申請は年に1度（例年5月頃）のみ行われます。申請後、「修了証書」が届くまでに約1年を要します。
教員免許状を所持しない場合は、学校図書館司書教諭の単位修得の他に必ず1種または2種の教員免許状を取得してください。学校図書館司書教諭の修了証書の効力は申請者が学校の教諭の普通免許状を取得した時点から生じるものであることに留意してください。 ▶085ページ参照

Q45 社会教育主事任用資格を取得したいのですが。

A45 教育学コースへ出願してください。資格取得に必要な科目を履修し、単位修得することで社会教育主事任用資格を取得することができます。
なお、大学・短期大学を卒業された方以外は、本学に2年以上在学し、本学通信教育部の定める社会教育主事任用資格の取得に必要な単位を修得する必要があります。大学または短期大学卒業者は必要な12科目24単位を修得することで、最短1年間で取得できますが、「社会教育課題研究1」および「社会教育課題研究2」については、夏期スクーリングでのみ開講される科目のため、1年目に出席できない場合は、1年間での取得はできません。

その他

Q46 通信教育課程で大学を卒業するということは、通学課程の大学を卒業することと同じでしょうか。

A46 本学通信教育課程を卒業すれば通学課程と同等の学士(教育学)の学位が与えられます。通学課程と通信教育課程とは学習方法が異なるのみで、大学卒業であることに変わりはありません。

Q47 就職斡旋は行っていますか。

A47 本学通信教育部では就職斡旋を行っていません。通信教育の在籍者の半数以上が何らかの形で職業に就いており、職業に就いていない人の多くは教師を志し、教員採用試験を受験しているのが現状です。また、学生が全国に散在していることも関係し、就職斡旋をするには難しい面があります。なお、教員採用試験は各都道府県および政令指定都市単位で実施されています。詳細は、受験を希望するところの教育委員会へ直接お尋ねください。社会教育主事(社会教育主事補)等についても最寄りの教育委員会へお尋ねください。なお、本学に寄せられた求人情報は入学後に案内するポータルサイトに掲載しています。

Q48 奨学金について教えてください。

A48 本学通信教育部で受けられる奨学金には、明星大学通信教育課程奨学金、星友会(明星大学通信教育部同窓会)奨学金、日本学生支援機構奨学金があります。本学通信教育部では、建学の精神に則り、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」ために、その一端を担うことを目的として、明星大学通信教育課程奨学金制度を実施しています。この制度は、成績優秀かつ健康な精神をもつ方で、夏期スクーリング参加に援助を必要とする学生に対して、奨学金を授与するものです。2014年度の実績は以下のとおりです。

1 明星大学通信教育課程奨学金制度(夏期スクーリング・給付)
対象者：正科生1年次入学、正科生2・3年次編入学の卒業希望生。入学年度は対象となりません。前年度までの単位修得状況が奨学生推薦基準となります(正科・課程履修生、科目等履修生、認定通信生、特修生は対象外です)。

2 星友会(明星大学通信教育部同窓会)奨学金制度(夏期スクーリング・給付)
対象者：正科生1年次入学、正科生2・3年次編入学の卒業希望生。入学年度は対象となりません。前年度までの単位修得状況が奨学生推薦基準となります(正科・課程履修生、科目等履修生、認定通信生、特修生は対象外です)。

3 日本学生支援機構奨学金制度(夏期スクーリング・貸与)
対象者：正科生1年次入学、正科生2・3年次編入学の卒業希望生。入学年度は対象となりません。前年度までの単位修得状況が奨学生推薦基準となります(正科・課程履修生、科目等履修生、認定通信生、特修生は対象外です)。

※ いずれも事前に書類選考を実施します。

Q49 仕事と勉強の両立は可能でしょうか。

A49 通信教育で学習している学生の多くは何らかの仕事をしながら学習を行っています。毎日少しずつ学習したり、あるいは休みの日に集中して学習したりとそれぞれスタイルは異なりますが、年間や毎月の学習計画を綿密に立てて、それを実行する意志が必要となります。

Q50 遠方に住んでいますが、学習は可能ですか。

A50 本学通信教育部に在学する学生は、北海道から沖縄までさまざまな地域に住んでいます。レポート学習は自宅でも可能です。科目終了試験は全国56ヵ所で実施していますので、試験を受ける際は最寄りの会場での受験が可能です。ただし、スクーリングについては開講会場が限られており、居住地がスクーリング開講会場に近ければ通うことが可能ですが、遠方地域の在住者は、会場近辺に宿泊して必要期間通うことになります。

通信教育Q&A

Q51 地方に住んでいます。入学から目的達成までに、講義や行事等で何回くらい東京（日野）に出向かなくてはならないのでしょうか。

A51 入学コース・目的によって異なるので、一概には言えませんが、代表的なパターンを下記に挙げます。地方実施を行っている場合もありますので、必ずしも東京に来なくてはならないわけではありません。

【正科・課程履修生　教員免許状取得希望者】の場合

■（小・中免取得希望者必須）介護等体験オリエンテーション（不要な方は除く）
　開催地……日野、仙台、名古屋、福岡
■（全員必須）スクーリング（教育実習指導、教職実践演習（教諭））
　開催地……日野、仙台、名古屋、福岡
開講形態がSR科目、S科目はスクーリング参加を必要とします。
スクーリング指定科目数の詳細は、各受講コースの開講科目一覧表をご覧ください。▶046〜057ページ参照

■（特支コースのみ必須）特別支援学校教育実習事前オリエンテーション
　開催地……日野
■（希望者のみ）教員採用試験対策講座、教職実践セミナー
　開催地……日野

【正科生　教員免許状取得希望者】の場合

上記【正科・課程履修生　教員免許状取得希望者】の条件に加え、卒業に伴う手続きのため、日野に来校する必要回数が増えます。
卒業するためには、卒業研究指定科目を単位修得し、卒業資格試験を受験する方法と、卒業論文を書く方法の2種類が選択できる形となっています。
■（卒業論文を選択した場合）卒業論文面接指導　最低2回
　開催地……日野
■（卒業対象者全員必須）卒業総合面接試問
　開催地……日野
卒業のために必要なスクーリング単位数を取得するためにスクーリングによる単位修得方法を選択しなくてはならない科目が正科・課程履修生と比べ、多くなっています。スクーリング単位については、入学後に配付する副教材で確認してください。

Q52 海外に住んでいますが、学習は可能ですか。

A52 レポート学習は可能ですが、スクーリングや科目終了試験は日本国内で行われますので、帰国して出席することが必要になります。各種実習、介護等体験についても同様となります。また、本学からの郵送物やレポート返却はすべて日本国内在住の保証人宛に送付することになります。

Q53 学費の分割納入は可能ですか。

A53 本学通信教育部はすべて一括納入のため、分割納入はできません。

■ 再入学について

Q54 人文学部で修得した単位は、教育学部への再入学にあたり読み替えられますか？

A54 読み替えできる科目とできない科目があります。教員免許状や資格に関する科目の多くは読み替えが可能ですが教育学専修（A、Bコース）の場合、読み替え可能科目は、限定的となっております。
※ 具体的な履修科目を入学前に確認したい場合、出願前に事務局入学担当まで文書で問い合わせてください（回答までに2週間程度を要します）。

Q55 大学を卒業しており、正科・課程履修生での入学を考えています。複数の教員免許状の取得を考えております。同時に取得は可能ですか。

A55 正科・課程履修生では、複数の免許状の取得はできません。再入学が必要となります。 詳細は次ページの表を確認してください。

▶▶ 正科・課程履修生

受講コース	希望免許状・資格		最初に希望する免許状・資格	次に希望する免許状・資格	所要年数	必要単位合計[※1]	追加履修必要単位[※1]	追加履修費[※2]	再入学の必要
小学校教員コース	小学校教諭1種+幼稚園教諭1種		小	幼	2	64	0	0円	
			幼	小	2	72	4	26,000円	
	小学校教諭2種+幼稚園教諭2種		小	幼	2	48	0	0円	
教科専門(国語)コース	中学校教諭・高等学校教諭1種(国語)	+小学校教諭1種	中高(国)	小	3	100	0	0円	あり
			小	中高(国)	4	100	0	0円	あり
	中学校教諭・高等学校教諭1種(国語)	+小学校教諭2種	中高(国)	小	3	86	0	0円	あり
教科専門(社会)コース	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴)		中(社)高(地歴)		2	74	6	39,000円	
	中学校教諭2種(社会)+高等学校教諭1種(地歴)		中(社)高(地歴)		2	60	0	0円	
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(公民)		中(社)高(公民)		2	64	0	0円	
	中学校教諭2種(社会)+高等学校教諭1種(公民)		中(社)高(公民)		2	62	0	0円	
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴・公民)		中(社)高(地歴・公民)		2	78	10	65,000円	
	高等学校教諭1種(地歴・公民)		高(地歴・公民)		2	80	12	78,000円	
	中学校教諭1種(社会)	+小学校教諭1種	中(社)	小	3	98	0	0円	あり
			小	中(社)	3	98	0	0円	あり
	高等学校教諭1種(地歴)		高(地歴)[※5]	小	3	100	0	0円	あり
			小	高(地歴)	4	100	0	0円	あり
	高等学校教諭1種(公民)		高(公民)[※5]	小	3	100	0	0円	あり
			小	高(公民)	4	100	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴)		中(社)高(地歴)	小	3	118	6	39,000円	あり
			小	中(社)高(地歴)	4	118	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(公民)		中(社)高(公民)	小	3	108	0	0円	あり
			小	中(社)高(公民)	4	108	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴・公民)		中(社)高(地歴・公民)	小	3	122	10	65,000円	あり
			小	中(社)高(地歴・公民)	4	122	0	0円	あり
	高等学校教諭1種(地歴・公民)		高(地歴・公民)[※5]	小	3	124	12	78,000円	あり
			小	高(地歴・公民)	4	124	2	13,000円	あり
	中学校教諭1種(社会)	+小学校教諭2種	中(社)	小	3	84	0	0円	あり
			小	中(社)	4	84	0	0円	あり
	高等学校教諭1種(地歴)		高(地歴)[※5]	小	3	86	0	0円	あり
			小	高(地歴)	4	86	0	0円	あり
	高等学校教諭1種(公民)		高(公民)[※5]	小	3	86	0	0円	あり
			小	高(公民)	4	86	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴)		中(社)高(地歴)	小	3	104	6	39,000円	あり
			小	中(社)高(地歴)	4	104	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(公民)		中(社)高(公民)	小	3	94	0	0円	あり
			小	中(社)高(公民)	4	94	0	0円	あり
	中学校教諭1種(社会)+高等学校教諭1種(地歴・公民)		中(社)高(地歴・公民)	小	3	108	10	65,000円	あり
			小	中(社)高(地歴・公民)	4	108	2	13,000円	あり
	高等学校教諭1種(地歴・公民)		高(地歴・公民)[※5]	小	3	110	12	78,000円	あり
			小	高(地歴・公民)	4	110	4	26,000円	あり

通信教育Q&A

▶▶ 正科・課程履修生

受講コース	希望免許状･資格		最初に希望する免許状･資格	次に希望する免許状･資格	所要年数	必要単位合計※1	追加履修必要単位※1	追加履修費※2	再入学の必要
教科専門(数学)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(数学)	+小学校教諭1種	中高(数)	小	3	98	0	0円	あり
教科専門(理科)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(理科)		中高(理)	小	3	98	0	0円	あり
教科専門(美術)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(美術)		中高(美)	小	3	100	0	0円	あり
			小	中高(美)	4	100	0	0円	あり
教科専門(英語)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(英語)		中高(英)	小	3	98	0	0円	あり
教科専門(数学)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(数学)	+小学校教諭2種	中高(数)	小	3	84	0	0円	あり
教科専門(理科)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(理科)		中高(理)	小	3	84	0	0円	あり
教科専門(美術)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(美術)		中高(美)	小	3	86	0	0円	あり
教科専門(英語)コース	中学校教諭･高等学校教諭1種(英語)		中高(英)	小	3	84	0	0円	あり
特別支援教員コース	特別支援学校教諭1種+小学校教諭1種		特別支援または小※3	小または特別支援	2	80	12	78,000円	
	特別支援学校教諭1種+小学校教諭2種		特別支援	小	2	64	0	0円	
教育学コース	社会教育主事任用資格+図書館司書資格※4		社会教育主事	図書館司書	2	46	0	0円	

※1　教育実習単位、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目は除く。
※2　追加履修費は、入学後履修上限単位数を超えて履修する際に振り込んでください。出願時の入学時納入金に加算する必要はありません。
※3　基礎免許状を所持していない場合は、小学校教諭免許状を先に取得する必要があります。
※4　最初に図書館司書資格、次に社会教育主事任用資格を希望した場合も所要年数、必要単位数、追加履修費は変わりません。
※5　初めの教科専門コース在籍時に、介護等体験を行うことが、3年間で高等学校教諭と小学校教諭の免許状を取得する条件となります。

明星大学通信教育部学則抜粋

平成26年10月現在　平成27年4月1日改正予定

第1章　総則

（目的）

第1条 明星大学通信教育課程（以下「本通信教育課程」という。）は、教育の機会均等の理念を拡大するために、明星大学通学課程（以下「通学課程」という。）に則し、主として通信教育の方法により、広い教養と深い専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、自己実現を目指し、社会に貢献する人を育成することを目的とする。

2　本通信教育課程は、前項に掲げる目的を実現するための教育研究の成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

（併置する学部及び学科）

第2条 本通信教育課程は、明星大学教育学部教育学科に併置する。

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科の人材の養成に関する目的及びその他教育研究上の目的等については、通信教育部教則等に定める。

（修業年限と在学年限）

第3条 本通信教育課程の修業年限は4年とする。ただし、在学期間は8年を超えることができない。

（収容定員）

第4条 本通信教育課程の収容定員は、別表第1のとおりとする。（別表省略）

第4章　教育課程、授業方法及び単位の修得等

（教育課程）

第9条 本通信教育課程で開設する授業科目区分は、明星大学学則第18条に準拠して、全学共通科目、学科科目及び全学共通教職・資格科目とする。

2　前項の授業科目の履修形態は、必修科目及び選択科目とする。

（授業科目及び単位）

第10条 本通信教育課程において開設する授業科目及び単位数、並びに履修の方法は、別表第2のとおりとする。（別表省略）

（授業方法）

第11条 学修は、印刷教材その他これに準ずる教材を送付もしくは指定し、主としてこれらの教材により学修させる授業（以下「通信授業」という。）、講義・演習・実験・実習もしくは実技のいずれかにより又は併用により学修させる授業（以下「面接授業」という。）、放送その他これらに準ずるものの視聴により学修させる授業（以下「放送授業」という。）及び多様なメディアを利用し当該授業を行う教室等以外の場所で学修させる授業（以下「メディア授業」という。）のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

（通信授業等における学修指導）

第12条 通信授業及び放送授業（以下「通信授業等」という。）実施に際し、添削等による学修指導を併せ行う。

2　学修に際し、質問票を利用する学修指導を行うことができる。

3　授業科目を通信授業等により学修するとき、当該授業科目に係わる課題報告を提出し、添削指導を受けなければならない。

（単位数）

第13条 授業科目の単位数を定めるにあたっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、以下の基準により計算する。

（1）通信授業については、45時間の学修を必要とする印刷教材等の学修をもって1単位とする。

（2）放送授業については、15時間の放送授業をもって1単位とする。

（3）面接授業及びメディア授業について、講義及び演習については15時間から30時間まで、実験、実習及び実技については30時間から45時間までの範囲で本通信教育課程が定める授業の時間をもって1単位とする。

2　前項の規定にかかわらず、卒業研究については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められるときは、通信教育代表委員会の議を経て、その単位数を定めることができる。

（教材の配付）

第14条 通信授業等に要する教科書、学習指導書等の教材の配付は、教育課程に応じて計画的に配付する。

（補助教材の配付）

第15条 通信授業等の学修に資するための補助教材として、教則、科目概要・レポート課題集、部報等を計画的に配付又はこれに代わる方法で行う。

（年間履修単位）

第16条 1年間に履修できる授業科目の単位数は、45単位を超えることはできない。

2　通信授業による授業科目の履修単位は、年間30単位を標準とする。

3　通信教育代表委員会が必要と認めたとき、第1項に定める上限を超えて履修単位の登録を認めることができる。

（単位の修得）

第17条 単位の修得は、試験によってこれを行う。ただし、授業科目の種類によっては、他の方法によることができる。

2　試験は、授業の方法別に以下に定める条件を満たしたとき、これを行う。

（1）授業科目を通信授業等により学修する場合は、所定の課題報告を提出し、添削を受けそれに合格したとき、あるいは、課題報告を所定の期日までに提出したとき、授業の修了として試験を受けることができる。これを科目終了試験という。

（2）授業科目を面接授業又はメディア授業により学修する場合は、所定の出席日を満たしたとき、授業の修了として試験を受けることができる。これをスクーリング試験という。

（3）授業科目を通信授業及び面接授業、あるいはメディア授業と併せて学修する場合は、所定の出席日を満たしたとき、授業の修了として試験を受けることができる。これを前号と同じくスクーリング試験という。

（4）前号により試験を受けた場合、通信授業等で学修する際の所定の課題報告に合格したとき、単位の修得とする。

（科目終了試験の実施）

第18条 授業科目を通信授業等で学修し科目終了試験を受けるとき、所定の期日までに受験申込をしなければならない。

2　科目終了試験の試験会場、日時等の実施細目は、その都度これを部報等で提示する。

3　受験者は、受験日及び試験会場を選択することができる。

（成績の評価）

第19条 各授業科目の試験成績は、優、良、可、不可で表し、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。

（成績の評価基準等の明示等）

第19条の2 本通信教育課程は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2　本通信教育課程は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

3　前項で定める基準については、本通信教育課程がこれを設け、別に公表する。

（科目終了試験の再受験）

第20条 科目終了試験受験の結果、不可となった者は、所定の受験申込を

明星大学通信教育部学則抜粋

平成26年10月現在　平成27年4月1日改正予定

経て、再受験することができる。

2　科目終了試験の再受験について必要な事項は、通信教育部教則等に定める。

（面接授業を行う教育施設等）

第21条　面接授業は、本学の校地における教育施設又は本学が指定する施設において実施する。

2　本通信教育課程が必要と認めたとき、本学以外の教育施設として地方学習センターを設けることができる。

3　本通信教育課程生の学修に資するため、図書館、情報科学センター等を面接授業時に開放する。

（他大学等の授業科目の履修）

第22条　通信教育代表委員会が教育上有益と認めたときは、国内及び諸外国の他大学等の授業科目を履修させることができる。

2　前項により学修した授業科目について修得した単位は、通信教育代表委員会の議を経て認定することができる。ただし、60単位を超えて認定することはできない。

3　国内及び諸外国の他大学等における授業科目の履修について必要な事項は、別に定める。

第5章　卒業の要件及び学士の学位の授与

（卒業要件）

第23条　本通信教育課程を卒業するには、4年以上在学し、全学共通科目32単位以上、並びに学科科目92単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。

2　第24条及び第25条に定める全学共通教職・資格科目の単位を修得した場合は、通信教育代表委員会が定めれば、当該単位のうち12単位までを限度とし、全学共通科目の修得単位に充てることができる。

3　第24条及び第25条に定める全学共通教職・資格科目の単位を修得した場合は、通信教育代表委員会が定めれば、当該単位のうち28単位までを限度として、卒業に必要な単位として認めることができる。ただし、前項の規定により、全学共通科目の修得単位として充てたものを除くとする。

4　本通信教育課程を卒業するためには、授業科目を通信授業による学修のほか、面接授業又はメディア授業による学修によって30単位以上修得しなければならない。

5　前各項に定める要件を満たした者は、卒業総合面接試問による審査を受け、それに合格しなければならない。

6　卒業の要件を満たした者には、学士の学位を授与する。

7　本通信教育課程において授与する学士の学位の種類は、別表第3のとおりとする。（別表省略）

第7章　入学、編入学、転籍、休学、退学、除籍及び再入学等

（入学の時期）

第26条　本通信教育課程の入学の時期は、4月及び10月とする。

2　4月入学生を4月生、10月入学生を10月生と称する。

3　4月生の学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終わり、10月生の学年は10月1日に始まり翌年9月30日に終わる。

（入学資格）

第27条　本通信教育課程に入学することのできる者は、次の各号の1に該当する者とする。

（1）高等学校を卒業した者

（2）中等教育学校を卒業した者

（3）通常課程による12年の学校教育を修了した者

（4）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

（5）専修学校高等課程の修業年限3年以上の課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

（6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

（7）文部科学大臣の指定した者

（8）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）

（9）その他本通信教育課程において、相当の年令に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

（10）本通信教育課程に特修生として入学し、全学共通科目のうち18単位以上を修得した者。ただし、上記基準を満たすまでの修業年数は、卒業要件年数には含まない。

（入学許可）

第28条　入学は選考の上、これを許可する。通信教育代表委員会が必要と認めたときは、面接試問（小論文を含む）を行う。

2　本通信教育課程へ入学を志願する者は、所定の出願書類を提出し、入学選考料を納めなければならない。

3　入学選考料は、別表第7のとおりとする。（別表省略）

4　入学者の選考について必要な事項は、別に定める。

（入学手続）

第29条　入学の許可を得た者は、保証人を定めた上、所定の書類を提出し、学費を納めなければならない。

2　前項に掲げる保証人及び所定の書類等について必要な事項は、別に定める。

（編入学）

第30条　本通信教育課程の第2年次及び第3年次への編入学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、入学を許可することができる。

2　編入学の選考について必要な事項は、別に定める。

（編入学の資格）

第31条　本通信教育課程に編入学できる者は、次の各号の1に該当する者とする。

（1）学士の学位もしくは学士号を有する者

（2）短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者

（3）学校教育法第132条に該当する者

（4）大学、短期大学に1年以上在学した者

（5）その他通信教育代表委員会が編入学するに相応しいと認めた者

2　編入学の許可を得た者の本通信教育課程への入学の手続きは、第29条に準ずる。

（編入学者の在学期間）

第32条　編入学した者の本通信教育課程において在学すべき年数は、前条第1項各号に掲げる大学等における修業年数に相当する年数以下の期間を控除した期間とすることができる。

2　その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

（編入学の単位認定）

第33条　通信教育代表委員会が教育上有益と認めたとき、本通信教育課程に入学する前に大学又は短期大学等において修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本通信教育課程において修得した単位として認定することができる。

2　前項により認定された単位数と第22条第2項により認定され

た単位数の合計は、60単位を超えてはならない。

3 単位の認定について必要な事項は、別に定める。

（通学課程への転籍）

第34条 本通信教育課程の学生が、通学課程に転籍を志願したときは、選考の上、学長がこれを許可することができる。

2 転籍について必要な事項は、別に定める。

（休学）

第35条 病気その他やむを得ない事由で3ヶ月以上修学できない者は、休学することができる。その場合、医師の診断書又は理由書を添え、休学願を保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。

2 休学は当該年度限りとする。ただし、引き続き休学する場合は、許可を得て休学を延長することができる。

3 休学期間は通算して2年を超えることができない。

4 休学期間は在学期間に算入しない。

5 休学した者は、休学期間が満了したときは、復学することができる。

（休学費）

第36条 前条第1項により休学を許可された者は、別表第7に定める休学費を納めなければならない。（別表省略）

（依願退学）

第37条 病気、その他の事由により退学する場合は、その理由を添えて保証人連署の上、願い出て、許可を得なければならない。

（除籍）

第38条 次の各号の1に該当する者は除籍する。

（1）在学期間が所定の年数を超える者

（2）学費を滞納し催告しても納入しない者

（3）死亡の届け出があった者

（再入学）

第39条 本通信教育課程を退学又は除籍された者で、再入学を志願する者については、選考の上、再入学を許可することができる。

2 第45条により退学となった者は、再入学することができない。

3 再入学について必要な事項は、別に定める。

（二重学籍の禁止）

第40条 本通信教育課程の正科生は、学校教育法第1条及び第124条に定める他の学校に、同時に正規の学生として在学することはできない。

2 本通信教育課程の科目等履修生は、本学通信教育課程が認めた場合を除き、学校教育法第1条及び第124条に定める他の学校に正規の学生として在学することはできない。

第8章　学費

（学費等）

第41条 学費は、入学金、授業料及び補助教材費とし、別表第7のとおりとする。（別表省略）

2 入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続きと同時に前項の学費を納めなければならない。

3 科目等履修生は、別表第7に定める授業料等を納めなければならない。（別表省略）

4 特修生は、別表第7に定める授業料等を納めなければならない。（別表省略）

5 いったん納入した学費は返還しない。ただし、入学の許可を得た者で、所定の期日までに入学手続きの取消しを願い出た者については、入学金を除く学費を返還する。

（学費の延納）

第41条の2 学費を延納しなければならない事由があるときは、直ちにその旨を願い出て許可を得なければならない。

（卒業審査料等）

第42条 卒業の審査については、別表第7に定める卒業審査料を納めなければならない。（別表省略）

2 卒業研究を履修する者は、前項の卒業審査料のほかに、別表第7に定める卒業研究指導料及び卒業研究審査料を納めなければならない。（別表省略）

（面接授業等の学費）

第43条 面接授業及びメディア授業を受講するときは、別表第7に定める受講費を別途納めなければならない。（別表省略）

第9章　賞罰

（表彰）

第44条 品行方正で学業優秀な者、又は他の学生の範とすべき篤行ある者は表彰することができる。

（懲戒）

第45条 本通信教育課程生の本分に反した行為があった場合は、その軽重に従い譴責、停学、又は退学処分に付される。

2 次の各号の1に該当する者は退学させることができる。

（1）性行不良で改善の見込がないと認められる者

（2）学業成績劣等で成業の見込がないと認められる者

（3）大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第10章　科目等履修生及び特修生

（科目等履修生）

第46条 本通信教育課程における授業科目の1又は複数を履修しようとする者があるとき、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

（科目等履修生の入学資格）

第47条 科目等履修生は次の各号の1に該当する者でなければならない。

（1）大学入学資格を有する者

（2）教育職員免許状を有する者

2 科目等履修生として入学許可を得た者の本通信教育課程への入学の手続きは、第29条に準ずる。

（科目等履修生の単位の修得）

第48条 科目等履修生が学修した授業科目について試験を受け、これに合格した場合はその単位の修得を認める。

（科目等履修生からの編入学）

第49条 科目等履修生が本通信教育課程に入学又は編入学を志願するときは、選考の上、これを許可する。

2 前項の場合、本通信教育課程科目等履修生として修得した単位は、通信教育代表委員会の議を経て、これを卒業要件単位として認定又は換算することができる。

3 科目等履修生として在籍した期間は、卒業要件としての修業年限に算入しない。

（特修生）

第50条 第1条の目的を達成するため、本通信教育課程に特修生の制度を置く。

2 第27条に定める入学資格のない者が学修を志願するときは、選考の上、特修生として入学を許可することができる。

明星大学通信教育部学則抜粋

（特修生の入学資格）

第51条　特修生は、以下に該当する者でなければならない。

（1）中学校を卒業し、本通信教育課程に志願時、満18歳以上の者

2　特修生として入学許可を得た者の本通信教育課程への入学の手続きは、第29条に準ずる。

（特修生の単位の修得）

第52条　特修生が学修した授業科目について試験を受け、これに合格した場合はその単位の修得を認める。

（特修生からの入学）

第53条　第27条第10号に該当する資格を得た特修生が、本通信教育課程に入学を志願するときは、選考の上、これを許可する。

2　前項の場合、本通信教育課程特修生として修得した単位は、通信教育代表委員会の議を経て、これを卒業要件単位として認定又は換算することができる。

3　特修生として在籍した期間は、卒業要件としての修業年限に算入しない。

（他章の準用）

第54条　科目等履修生及び特修生に関しては、この章に定めるものの他は、本学則の他の各章の規程を準用する。

第13章　明星大学学則の準用

（学則の準用）

第59条　本学則に定めるもののほか必要な事項は、明星大学学則の定めるところによる。

附　則　平成26年4月1日改正

個人情報の取り扱いについて

出願者の皆様へ

明星大学通信教育部

「個人情報の保護に関する法律」（以下「法」という。平成15年5月30日法律第57号）が、平成17年4月1日より施行されました。教育機関としての業務遂行のため、本学では学生本人及び保証人等、多くの個人情報（氏名、生年月日、住所等、その個人を識別、特定化できるもの）を利用しております。保有している個人情報は個人の権利利益を尊重するためにも厳重に取り扱われなければなりません。
本学通信教育部では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の流出や不正使用を防ぎ適切に利用していくため、「学校法人明星学苑個人情報保護方針（プライバシー・ポリシー）」に基づき、適正な利用、管理、保護に努めてまいります。
入学出願書類、科目終了試験申込み、スクーリング受講申込み、各種証明書申請手続き等により、就学に係わりご提出いただいた学生本人及び保証人等の個人情報は、入学選考、各種事務手続き関連業務に使用します。
また、入学後の在学時におきましては、教育研究及び学生支援の円滑な教育運営に必要な範囲内で適切に利用いたします。
取得した個人情報の教育運営業務の主な利用目的は下記の通りです。

【主な利用目的】

○ 入学選考業務に関すること。
○ 学習活動及び教育活動の指導・支援に関すること。
○ 事務連絡等に係わる通知や指導、照会についての電話連絡に関すること。
○ 郵送、宅配物の授受に関すること。
○ 履修に伴う各種申請手続きに関すること。
○ 各種証明書等の発行に関すること。
○ 学納金出納他、経理関連手続きに関すること。
○ 個人を特定しない統計処理に関すること。
○ 本学通信教育部が実施するアンケート等の調査・研究に関すること。
○ 本学通信教育部に係わる奨学金、寄付金等の募集に関すること。
○ 上記に付帯する関連業務に関すること。

以上の利用目的の実施のために業務の必要上、データ処理業務や教材の送付業務等を外部機関に委託する場合があります。その際は秘密保持契約の締結等により、委託業務以外に個人情報の不適切な利用がないよう厳重に管理いたします。
また、スクーリング時の講義風景や大学が実施する行事等の様子を、写真やビデオ撮影することがあります。撮影の目的は、記録や講義計画作成、入学要項に関する広報、部報『めいせい』の出版編集等に掲載、利用させていただきます。
入学相談または入学後の履修指導に際して、電話や窓口等における対応時の様子を、本学が必要と判断する場合に録音・録画させていただくことがありますのでご了承ください。収録の目的は、対応内容の正確な記録及び履修指導の継続等に利用いたします。

さらに、個人情報は在学生の履修に対する学習目的達成や卒業生の支援のため下記の事項について外部機関等に対する提供を行います。

【外部機関への個人情報の提供について】

○ 教員免許状取得のために履修を要する教育実習や介護等体験の指導・調整等、実施に必要な内容の受入機関への提供
○ 教育提携校や学習センターとの業務活動に対する提供
○ 学生の教育活動に伴う損害保険加入及び保険金支払い手続きのため当該機関への提供
○ 各種奨学金貸与、返還猶予手続きに対する個人情報の提供
○ 通信教育課程の卒業生による同窓会組織「星友会」への提供
○ 学術振興のため、調査・研究機関への提供
○ 上記の他に、本学が教育に係わる業務や管理運営について、必要な事項を処理するための提供

なお、原則として取得した個人情報を前述のようなデータ処理等、目的遂行に必要な業務を請け負う事業者や機関以外には本人の同意なしに第三者へ提供することはありません。但し、以下のような、法第二十三条における第三者提供の制限の例外規定にあたる場合は、本人の同意なく個人情報を当該第三者へ提供することがあります。
予めご了承ください。

1 法令に基づく場合
2 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
3 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
4 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

以　上
平成18年12月改定

学校法人明星学苑
個人情報の取り組みについて（プライバシー・ポリシー）

基本方針

近年、社会の高度情報化に伴い、個人情報保護についての意識が世界的に高まってきており、わが国においても、平成17年４月１日より個人情報保護に関する法律が施行されました。学校法人明星学苑（以下「本法人」という。）では、個人情報は個人の重要な財産であり、その適切な利用と保護は極めて重要であると捉え、本法人で業務に従事するすべての者が、個人情報保護に係る法令を遵守し、児童、生徒、学生及び保護者、教職員、卒業生等の個人情報を正確かつ安全に取扱うことにより、本法人関係者の個人情報を守り、社会の信頼に応えていきます。

組織体制

本法人は、基本方針を具体化するため、以下の活動を行います。

1 業務に従事するすべての者は、個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守します。
2 個人情報統括責任者を選任し、本法人の個人情報の取扱いを統括させるとともに、運用に関する責任及び権限を与え、個人情報の適正な取扱いを確保します。
3 個人情報管理責任者を各学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学）及び法人本部に選任し、学校及び法人本部における個人情報の適正な管理を行います。
4 関係する個人及び企業等に対し、本基本方針の目的達成のための協力を要請します。
5 本基本方針は、本法人のホームページ等に掲載することにより、いつでも閲覧可能な状態とします。
6 本法人で定める個人情報保護に係る規程等を継続的に改善します。

個人情報の取扱い

【収集・目的】
個人情報の収集にあたり、その目的を明らかにするとともに、収集した個人情報の使用範囲を目的達成のために必要な限度に限定し、適切に取扱います。
【保管管理】
収集した個人情報は、本法人で定める規程等に則して、適切に保管・管理します。
【安全対策】
個人情報の正確性及び安全性を確保するため、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の予防に努めます。

以上
学校法人明星学苑

日野キャンパス案内

日野キャンパス

2014年10月現在

交通アクセス

新宿方面からの場合

- 京王線で、京王八王子行、高尾山口行(特急、準特急)に乗車、「高幡不動」駅で乗り換えです。
  「高幡不動」駅より多摩モノレール多摩センター行に乗車、3駅目「中央大学・明星大学」駅で下車。
- 京王線で橋本行、京王多摩センター行(特急、急行、区間急行、快速)に乗車、「京王多摩センター」駅で乗り換えです。
  「多摩センター」駅より多摩モノレール多摩センター行に乗車、「中央大学・明星大学」駅で下車

立川方面からの場合

「立川南」駅より多摩モノレール多摩センター行に乗車、「中央大学・明星大学」駅で下車。

多摩センター方面からの場合

「多摩センター」駅より多摩モノレール上北台行または高松行に乗車、「中央大学・明星大学」駅で下車。

羽田空港からの場合

羽田空港と「調布」駅、「聖蹟桜ヶ丘」駅、「多摩センター駅」間の直行バスが運行しています。所要時間は道路事情によって異なりますので、支障がないか確認してから利用してください。

通信教育部事務局は、多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩1分です。なお、京王線「多摩動物公園」駅から通信教育部事務局まで徒歩約20分です。

自動車・二輪車(自転車も含む)での来校禁止について

本学では、大学付近の道路事情などにより、自動車・二輪車(自転車も含む)による通学を固く禁止しております。来校する際は、公共交通機関を利用してください。

事務局への問合せについて

入学相談について

入学、履修等に関してのご質問、ご相談は、直接本学通信教育部にお越しいただくか、文書または電話にてご連絡ください。なお、直接お越しになる場合は、事前にご一報ください。
また、各地でも入学説明会を実施しています。会場、日時については通信教育部事務局またはホームページ等で確認してください。なお、最適なコースをご案内するため、問合せの際に次の項目についてお尋ねします。

1 入学目的
2 最終学歴（短期大学、大学卒業者は卒業した学部・学科について）
3 教員免許状を取得する場合は、現在所持する教員免許状の種類、教諭としての実務経験年数について

受付時間

窓口
火曜日～金曜日　９時15分～ 18時00分
土曜日　９時15分～ 15時00分

電話
火曜日～金曜日　8時45分～ 18時30分
土曜日　9時15分～ 15時00分

下記の日程は事務局休業予定です。なお、変更となることもあります。
① 日曜日、祝日、振替休日、月曜日
② 2014（平成26）年 12月28日（日）～2015（平成27）年1月7日（水）〈冬期休業〉
③ 2015（平成27）年 1月17日（土）･18日（日）〈大学入試センター試験実施のため休業〉
④ 2015（平成27）年 3月26日（木）〈学位記授与式〉
⑤ 2015（平成27）年 5月20日（水）〈明星学苑創立記念日〉
⑥ 2015（平成27）年 9月上旬～9月中旬〈夏期休業･予定〉
（最新情報は、ホームページにてご確認ください）

問合せ先

明星大学通信教育部
〒191－8506　東京都日野市程久保2－1－1
TEL 042－591－5115

入学説明会の案内は、明星大学通信教育部ホームページにも掲載されています。
http://www.meisei-u.ac.jp/dce/

明星大学通信教育部　学生募集要項

MEISEI UNIVERSITY　2015年度

通信教育部
TEL 042-591-5115
http://www.meisei-u.ac.jp/dce/